

公益財団法人慈愛会 年 報

第⑩号

2025 年度



医療の原点は、慈愛にあり。

母が子を慈しみ育てる心、愛を持って病める人の苦しみを除く。
慈しみ、愛する心、その素朴で純粋な気持ちが慈愛会の医療理念です。

患者様を肉親と思い医療の達人（プロフェッショナル）を目指します。

同時に

全職員の物心両面の幸せを追求します。

公益財団法人慈愛会は「医療理念」を実践するために
5つの項目を掲げて質の向上を図っています。

1. 医療を通して地域社会へ貢献します。
2. 良心的な高度医療を提供します。
3. 心に届く慈愛の看護を実践します。
4. 快適な医療環境を提供します。
5. 働きがいのある職場環境を目指します。

目次

巻頭言

公益財団法人慈愛会 理事長 今村英仁	2
公益財団法人慈愛会 副理事長 帆北修一	3

総 括

今村総合病院	5
いづろ今村病院	6
谷山病院	7
奄美病院	7
徳之島病院	8
介護老人保健施設 愛と結の街	8
慈愛会在宅支援部	9
鹿児島中央看護専門学校	9
慈愛会クリニック	10
七波クリニック	10
高麗町クリニック	10
かごしまオハナクリニック	11
慈愛会垂水サテライトクリニック	11

概 要

法人・病院施設概要	12
組織図	17
病院施設別職員数	18
職種別常勤換算人員表	19

病院施設指標

今村総合病院	20
いづろ今村病院	27
谷山病院	35
奄美病院	41
徳之島病院	47
介護老人保健施設 愛と結の街	51
慈愛会在宅支援部	55
高麗町クリニック	56
慈愛会クリニック	57
七波クリニック	58
かごしまオハナクリニック	58
慈愛会垂水サテライトクリニック	59
鹿児島中央看護専門学校	60

法人業績一覧

論文	62
データベース登録（遺伝子配列）	72
学会発表	73
第5回慈愛会学会学術集会	89
研究会・講演会	94
受賞	107
マスメディア	108
公的研究	110

医師育成への取り組み

初期研修プログラム「錦江湾プログラム」	111
慈愛会専門研修プログラム	113

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

看護部門	114
リハビリテーション部門	134
薬剤部門	153
画像診断 / 放射線治療部門	162
臨床検査部門	169
栄養管理部門	174
ソーシャルワーカー部門 (JSW)	179
臨床工学技士 (CE) 部門	192
事務部門	194
医療情報室 慈愛会総合情報システム (J-TIS)	199
教育開発室	201

一年のあゆみ

慈愛会各施設の一年のあゆみ	211
---------------	-----

編集後記

◎ 巻頭言



公益財団法人慈愛会
理事長 今村 英仁

医療 DX—全員経営—組織開発（Jiaikai Transformation）—直接対話。一見、常人には不可能にも思えるこれらのパズルを解決する魔法の杖があるのか？それが、去年までの疑問であり、同時に悩みでもありました。AI の登場により、この魔法の杖を手に入れるのではないかと思い始めたのが今年の初め、そして確信に変わったのがつい最近です。

AI という魔法の杖を慈愛会スタッフ全員が使えるようにするための大事な仕組みが、慈愛会データベースです。当法人では慈愛会総合情報システム（J-TIS）としてその構築を行っています。従来のデータベースは、はじめから将来予測を考慮して構築することが求められ、想定外の利用やそのための紐付け作業には非常に弱く、また再構築には膨大な費用がかかっていました。しかし AI の登場により、バラバラなデータベースから必要な情報を紐付けて抜き出す作業が機械的に可能になり、かつ、その情報をもとに新しいアイデアも出してくれる SF の世界が現実化しました。

AI を用いれば、一見、どこの医療機関も良質な医療を提供できるようになるかもしれませんが。それ以上の差別化を求める一つの手段が「歴史」だと考えます。あぐらをかくための歴史ではなく、歴史の積み重ねで培った記録をデータベース化し、再利用できる仕組みを構築するための歴史です。

業績集は毎年作成すること自体に意味はありますが、その業績を再利用できる組織の構築を目指さなければなりません。

この業績集は法人の発展のための大切な土台です。これからも先人が築き上げた土台の上に、さらなる土台を積み重ねていく業績集を目指していきましょう。

◎ 巻頭言



公益財団法人慈愛会
副理事長 帆北 修一

2026年6月1日付けで公益財団法人慈愛会の副理事長を拝命しました帆北修一です。今村英仁理事長が日本医師会常任理事として2026年6月から3期目となり、ますます忙しくなりますので理事長と現場の懸け橋となるように副理事長職を新設されました。

2025(令和7)年度を振り返りますと「経済財政運営と改革の基本方針2025」(骨太の方針)が2025年6月に公表されました。「地域の人材育成と処遇改善については、アドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成に取り組むほか、医療・介護・保育・福祉等の人材確保に向けて、保険料負担の抑制努力を継続しつつ、公定価格の引上げを始めとする処遇改善を進める」「医療・介護・障害福祉の処遇改善について、過去の報酬改定等における取組の効果を把握・検証し、2025年末までに結論が得られるよう検討する」という言葉が見られます。2025年10月21日高市早苗氏が内閣総理大臣となり、令和7年度補正予算として「医療・介護等支援パッケージ」1兆3,649億円(医療1兆368億円介護等3,281億円)が計上され、当法人を含む全国の医療機関は赤字解消の一部に補填することができました。令和8年度診療報酬改定については+3.09%でした。内訳が賃上げ、物価対応等がほとんどで医療機関としては、大きな引き上げにはなっておりません。従って医療機関の経営は厳しい状況が継続しています。

慈愛会では、2025年5月より経営マネジメント推進室を設置して、慈愛会各施設を俯瞰して現在の課題を考える会議を始めました。日本医師会常任理事として今村英仁理事長は多忙ですが、週1回の理事長ミーティングで今後の方向性について多くの提言をいただいております。

1934年創設の慈愛会は、91年の時の流れを持っています。日本には数百年以上の歴史をもつ企業が多数ありますが、100年前後の歴史を持つ医療機関は数少ないと思います。慈愛会各施設ではそれぞれにおいて年報の作成がなされておりますが、法人全体としての年報作成は今年が10号目となります。2026年度は公益財団法人慈愛会の第3次中長期5カ年計画の最後の年となります。この5年間を振り返ると同時に20年後、50年後の慈愛会に想いを馳せ、今年の年報を読みたいと存じます。

今村総合病院

院長 常盤 光弘



2025年度は、今村総合病院にとって、医療機能の強化と病院DXの推進が着実に進んだ一年でした。新たな治療法として、2025年3月にガンナイク治療が開始され、順調に運用が進んでいます。地域における高度医療への貢献度はさらに高まっており、今後も地域の実情を踏まえると、より一層のニーズが見込まれます。また、手術室の増室も完了し、5月からは従来の6室体制から9室体制での運営となりました。一方で、麻酔科医師や手術室スタッフの確保は十分とは言えず、2026年4月末時点で300名を超える手術待機患者さんがいる現状を踏まえると、手術室スタッフの強化は引き続き最重要課題です。

電子カルテ更新については、導入システムの業者が決定し、2026年度は病院全体で本格的な準備を進める段階となります。当初の予定より遅れは生じているものの、円滑な導入に向けて、各部署が連携しながら着実に準備を進めていく必要があります。病院DXに関しては、DXテクニカルチームを中心に、業者や院内現場担当者との調整を重ね、スマート面会、デジタル問診、AI電話、iPhone導入などが進展しました。これらの多くは補助金を活用した事業であり、今後は単なる導入にとどまらず、運用を根付かせ、その成果を示していくことが求められます。次期電子カルテ導入の時期に合わせ、可能な限り完成形に近づけていくことが重要です。

新型コロナウイルス感染症については、2025年度は比較的落ち着いた状況でした。しかし、新たなパンデミックがいつ起こるかは予測できません。

鹿児島県をリードすべき医療機関として、コロナ禍で得た経験を風化させることなく、感染症対策の備えを継続していく必要があります。一方で、医療機関を取り巻く経営環境は厳しさを増しており、診療報酬改定や国の医療政策の変化に適応できる体制づくりが求められています。

そのような時代にあっても、慈愛会が大切にしてきた「慈愛にあふれる医療」と、「一人でも多くの患者さんとそのご家族を幸せにする」という信念は変わりません。ITやAIがどれほど進歩しても、最後に求められるのは人による温かさ、思いやり、礼儀を大切にする真摯な姿勢です。2025年度は職員の皆さんの協力により難局を乗り越えることができました。2026年度は、情報共有の工夫をさらに進め、職員がより働きやすい環境を整えながら、全職員の協力と積極的な提案を得て、さらなる発展を目指してまいります。

いづろ今村病院

院長 長野 真二郎



入院診療実績としては、新入院患者数は増加しましたが平均在院日数が短縮したことにより、延べ入院患者数、病床利用率の増加には繋がりませんでした。外来においては、延べ外来患者数、紹介率、逆紹介率には大きな変動は見られず、初診外来患者数は減少傾向を認めました。健康管理センターは、常勤医の充実により目標受診者数をクリアし、業務の整理、職員教育により超過勤務の減少を含め増益となりました。全体として、前年度と比較し増収となったものの事業利益の増加には及ばず減益となりました。

病床運用では、年間を通してDPC一般病床の維持に向けて地域包括ケア病棟への転棟を含めたDPCデータ提出件数維持の取り組みをはじめ、DPC係数向上に向けた疾患別受け入れの取り組み、急性期一般入院料1取得への取り組み、感染対策向上加算1取得への取り組みが行われ成果を残しました。週末患者減に対しては、井後眼科術後患者の受け入れ、連休中入院患者減少の対策としては、地域連携室を通じて情報発信をすることでレスパイト入院の幅広い受け入れを行い一定の成果は残せました。

診療科別では、眼科の勤務体制の変更により7月以降手術件数が大幅に減少しました。糖尿病教育入院も薬剤の進歩により減少傾向の流れは変わりませんでした。血液内科、消化器内科、緩和ケア内科は堅調に推移。外科は常勤医2名体制となり、今村総合病院との連携がさらに強化され術後入院患者の受け入れが増加しました。内科、循環器内科は内科常勤医2名体制となる中で訪問診療実績を確実に増やしましたが、大幅な入院増にはつながらず十分な成果は出せませんでした。

医療安全委員会は、医療事故調査委員会への報告も含め重大事案への対応もありましたが、その機能を十分に果たせました。感染対策委員会は、ICD資格を持つ常勤医を迎え、さらなる充実を図ることができました。

地域連携強化への取り組みは、近隣医療機関、訪問診療医療機関との地域連携の会、ケアマネジャーとの勉強親睦会、名山校区コミュニティ協議会との共催によるいづろ健康・介護まつり、地域市民モニターに参加いただく病院モニター会議を例年通り開催し、連携をより強化できました。

次年度は、今村総合病院との連携強化、慈愛会在宅支援センターの立ち上げ、新電子カルテ導入など多くのプロジェクトを含め、病院の機能強化、経営安定化、職員のレベルアップに向けて職員一丸となって邁進していきます。

谷山病院

院長 福田 恭哉



2024年4月より院長を務めてまいりましたが、2025年度の谷山病院は、平均外来患者数や病床利用率は2024年度に比べ良い結果を残せたと思います。

現在も全国的に多くの医療機関で人材不足が顕著となっており谷山病院も例外ではありません。そのため、引き続き人材不足が医療の質の低下につながらないように、職員教育や多職種連携にも力を入れてきました。

このほか、

- ①精神科救急の地域拠点病院として時間外122件(内84件入院)の受け入れ
- ②設置されている認知症疾患医療センターの役割としてかかりつけ医や地域包括支援センターとの連携
- ③結核を合併した精神障害者の受け入れ
- ④社会復帰施設等と連携し長期入院患者の地域移行・地域定着支援を進める

等に取り組み、一定の結果を残してきました。さらに、精神疾患に対する非薬物療法にも力を入れるべく、多職種でチームを作り、複数の新しい取り組みに向けた準備を進めることができました。

このような取り組みを続けることで、精神障害にも対応した「地域包括ケアシステム」において谷山病院としての役割を果たしてきたと思います。

2026年度も良い結果が残せるよう、数字に表れない部分も含めて、努力を継続していきたいと思えます。

奄美病院

管理者 坂江 清弘



日頃より当院へ多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年度、当院は最優先課題として「精神科地域包括ケアシステム」の構築に注力しました。2025年4月に開設したグループホーム等の複合施設「結浜ビル」は、年度を通じて高いニーズをいただき、2026年4月時点で満室稼働となっています。離島という限られた資源の中で、住み慣れた地域での生活基盤を整えられたことは、地域移行支援において大きな一歩となりました。

また、25周年を迎えた喜界島巡回診療では、2026年1月よりオンライン診療を導入しました。ICTの活用により、無医地区における医療の安定供給と、スタッフの移動負担軽減を両立する新たな体制を構築しています。

一方で、慢性的なマンパワー不足は依然として喫緊の課題です。この状況を打破するため、電子カルテ導入に向けた検討を本格化させるなど、業務の効率化と職員の負担軽減を急いでいます。

次年度は診療報酬改定への対応に加え、SST（生活技能訓練）の導入や環境調整入院の推進など、多様なニーズに応える体制整備を進めていきます。奄美の地域医療を支える一翼として、離島特有の課題に真摯に向き合い、職員一丸となって精神科医療福祉の向上に邁進いたします。

徳之島病院

院長 加納 達雄

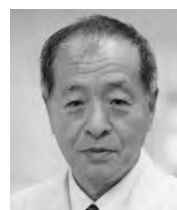


2025年度は、前院長が7月末で、名誉院長が9月末で病院を離れました。これに伴って、診療の担い手は、昭和医科大からの派遣医が中心となりました。前年度から6カ月の猶予があったとはいえ、患者さんや診療体制への影響は大きかったと思います。この混乱期を乗り越えるにあたって、法人内精神科病院から応援医師の派遣があり、また当直業務についても法人内病院から派遣を受けました。

経営に目を向けますと、最優先課題は患者数の確保でした。自院での外来診療に加え、沖永良部島・与論島への訪問診療とリモートでの対面診療を併用し、その確保に努めました。一方、将来的には南3島（徳之島、沖永良部島、与論島）の住民人口の減少とそれに伴う新規患者数の減少を前提にする必要があります。診療圏の人口は、現在約36,000人で、過去30年間で15,000人が減少し、その減少率は30%にも及びます。今後も同程度の減少率が見込まれています。そこで患者確保のためには診療域を南3島以外に求めることができないかという発想が必要となりました。その答えとして、都市部に住む心を病んだ人たちの癒しの場となることが提案されました。病院の立地環境も含めて日常生活から離れて静養する人達へのホスピタリティが求められます。徳之島病院がその役割に幅を持たせ、将来にわたって発展していく契機となることを期待しています。

介護老人保健施設 愛と結の街

前施設長 海江田 一也



2025年度を振り返りますと、ここ数年下がり続けていた入所利用率が87.7%（2024年度）→88.4%（2025年度）プラス0.7%ではありますが横ばいとなりました。入所者延べ数も年間プラス108名となった1年でした。相談員の配置が充分でない中、ショートステイの受け入れを積極的に行ったことも入所利用率の横ばいに繋がった要因のひとつと考えております。

また5つの重点目標のうち2つの重点目標が期を跨いでの取り組みとなりました。1点目は「労働生産性の向上に向けDX化も含めた業務効率化に取り組む」において、地域医療介護総合確保基金を活用した介護施設等の施設開設準備経費等支援事業補助金の内示があり、期を跨ぎましたが2026年度上半期にはICT化（ナースコールの更新・見守りカメラ100台・排泄記録の自動化10台・インカム50台他）が整備される見込みです。2点目は「谷山病院との連携・人事交流の推進」において、厨房の協業化が図られクックチル方式となり、人材確保困難からの解消とコスト低減の実現を目指していきたいと思います。

2026年度も引き続き「入るを量りて出ずるを制す」を实践すべく収入に見合うコストの削減や既存の介護サービスの見直しを行い、適材適所のスタッフの配置や助勤体制の拡充を進めます。今後も愛と結の街グループ7つの事業所が地域に寄り添い必要不可欠な存在となるべく、スタッフ一丸となってこの難局を乗り越えていきます。信頼され選ばれる存在であること、そして何よりも一緒にここで働くことがスタッフ個々の楽しい生活の糧となることを胸に日々精進してまいります。

慈愛会在宅支援部

笹貫訪問看護ステーション愛の街顧問 中蘭 明子



2025年度の訪問実績は12,169件（目標値：12,000件）と目標に達することができました。精神科同行訪問率の上昇や一般科訪問看護件数の上昇は、訪問看護質向上の指標としては評価できる結果となりました。これは昨年度から重点的に取り組んだ「切れ目のない在宅支援連携」が推進でき、それぞれ「点」だったことが「線」につながって大きな成果を生んだことの表れだと思います。今までは、「受け身」の訪問看護ステーションでしたが、診療報酬改定の後押しも病院との「顔の見える連携」も成果指標の一つと言えます。

「利用者のえがおをみたい」という理念のもと、地域から選ばれる事業所となるよう更なる努力を重ねていきたいと思っています。

鹿児島中央看護専門学校

副校長 櫻美 尚美



鹿児島中央看護専門学校では、本年度も3つの事業目標達成に向け取り組みました。本年度は学生確保に苦戦し、慈愛会、同窓会の皆さまにもご尽力いただきながら、広報活動の強化を行い、2026年度入学生は32名と学生定員を8割は満たすことができました。

前年度より受け入れを開始した外国人留学生は、専任の教員の支援を受けながら、順調に単位修得し、進級しています。今後、入学希望者も控えており、外国人留学生の看護師資格取得への道に貢献できるようにしっかり取り組んで参ります。

また、本年度は「発達障害の基本的理解と支援」のテーマで、北川明先生（順天堂大学保健看護学部教授）をお迎えし、教育セミナー開催いたしました。鹿児島県内より96名の看護師、看護教員等が参加しました。発達障害傾向のある人の理解と接し方について学ぶ機会となり、地域貢献にもつながりました。

本年度の教育活動の成果は、鹿児島県内就業率93%、国家試験合格率95.0%、卒業時到達評価(4.0基準)3.38であり、卒業生のうち78%が慈愛会に入職しました。

2026年度も、時代の変化の中で看護学校の学生確保は大きな課題です。広報活動に力を入れながら、更なる教育の質の向上を目指し、教職員一丸となって取り組んで参ります。

慈愛会クリニック

院長 今村 尚子



2025 年度は、前年度から取り組んだ生活習慣病管理料Ⅱなどの算定に加え、外来データ管理加算の算定を開始しました。また、带状疱疹ワクチンの定期接種を始めました。

外来患者数も増加傾向にあり本年度は 10,969 人で過去 3 年の中で一番多くなりました。それに伴い透析予防の指導数も増加しました。透析予防の指導を行った患者の中で HbA 1c、血圧、クレアチニンの数値に改善または維持が認められたものの割合はいずれも前年度より増加し 75% 以上の高値を維持できていました。毎年恒例の「糖尿病川柳」も好評で、今年もいづろ今村病院広報誌「にじ」への掲載ができました。治療中断の患者への連絡など、これからも患者数維持と増加に向けて努力していきます。

七波クリニック

院長 鮫島 久子



2025 年の外来患者数は 1 カ月平均実人数 1,054 名で、前年度より減少でした。2025 年度は外来データ加算により収入面で微増あり、また、一人あたりの保険点数も増加しているため 1 年を通じてのマイナスはなかったものの予算達成できませんでした。公共の交通機関が利用できなくなり、通院が難しくなっているケースもふえ、外来患者数をいかに増やすかが課題となっております。2024 年度から糖尿病教室を開始、スタッフたちの計画がうまくいき、2025 年度は 4 回施行できました。今後も継続し、患者教育や患者さんのコミュニケーションの場を提供することで通院意欲へつなげていきたいです。

高麗町クリニック

院長 木原 浩一



2025 年度における当院は、カルテベースの訪問・往診患者数が 108-125 名で、居宅療養は 91-109 名で推移しました。前年度と比較するとやや低調でした。紹介入院や看取りで減少した分を十分に補うことができませんでした。当院スタッフの規模に対して限界に近づいてきている面も有るかと思えます。一方で、訪問リハビリは概ね堅調に推移しました。しかし、現在の理学療法士 2 名体制では同様に頭打ち傾向で、今村総合病院へのスポット応援依頼を検討中です。以上を反映して、本年度の事業収益も予算に対して 95.1% となり、目標を達成できませんでした。今後は契約件数を増やしつつ、スタッフ増員を模索したいと考えております。

かごしまオハナクリニック 院長 林 恒存



かかりつけ機能と在宅療養支援機能を、無理なく末永く提供する業務体制への変革に着手した1年でした。また2025年度は、初めて総合診療専攻医1名が9カ月間当院で研修し、外来・訪問診療業務を数多く行い、総合診療・在宅医療を専門的に学べる機会を提供しました。今後、様々な職種に、当院で研修する機会提供を通じて仲間を増やせる方策を再認識できた点でも大きな収穫でした。また看護師も5名から9名に増員し、緊急往診や予約外診療へも柔軟に応需し最終黒字も達成しましたが、診療支援部門の業務負荷が増加したため、特に医事部門強化が来年度の達成課題です。地域医療の窓口としての役割拡大、無理なき生産性と質向上の両立、人材育成の3つを柱に、無理せずとも成果を出し続けられる工夫を来年度も継続します。

慈愛会垂水サテライトクリニック

院長 貴島 佳子



開院2年目となる2025年度は、延べ外来患者数や婦人科患者数、子宮がん検診受診者数が増加し、地域における産婦人科医療の需要の高さを改めて実感した一年となりました。特に、垂水市との連携によるハイリスク妊婦への早期介入や、交通手段の限られる高齢者の受診機会確保など、地域医療への貢献について多くのお声をいただいております。また、外国人技能実習生等の増加に伴い、多言語・多文化への対応も重要な課題となっております。今後も行政や関係医療機関と連携を図りながら、地域住民一人ひとりに寄り添った、安心して受診いただけるクリニックを目指し、診療体制の充実に努めてまいります。

概 要

公益財団法人慈愛会

主たる事務所 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号	理事長 今村 英仁 事業所 5病院 1介護老人保健施設 1看護師養成所 5診療所 19併設事業所	職員数 2,477名(2026年3月1日現在) 総病床数 1,536床
従たる事務所 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号		

今村総合病院

管 理 者 常盤 光弘
所 在 地 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町11番23号
T E L 099-251-2221
病 床 数 428床（一般330床、回復50床、精神48床）
標榜診療科 内科、救急科（総合内科）、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、人工透析内科、脳神経内科、外科、消化器外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科、眼科、泌尿器科、頭頸部・耳鼻咽喉科（2025年8月より、旧「耳鼻咽喉科」を科名変更）、気管食道・耳鼻咽喉科、脳神経外科、整形外科、放射線科、精神科、病理診断科、麻酔科、小児科、産科、婦人科、歯科口腔外科、腫瘍内科、感染症内科、肝臓内科、膠原病・リウマチ内科、形成外科（2025年10月増科）

指定医療機関等

- ・臨床研修病院
- ・救急告示病院
- ・生活保護法指定医療機関
- ・被爆者一般疾病医療機関
- ・労働者災害補償保険法指定医療機関
- ・公害健康被害補償法による医療機関
- ・障害者自立支援法による医療機関（更生医療・精神通院医療）【腎臓に関する医療、免疫に関する医療】
- ・特定疾患治療研究事業委託医療機関
- ・小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
- ・鹿児島県がん診療指定病院
- ・特定行為研修指定研修機関
- ・母体保護法指定医師研修連携施設
- ・第一種協定指定医療機関
- ・第二種協定指定医療機関
- ・重症薬疹診療拠点病院
- ・紹介受診重点医療機関
- ・文部科学省科学研究費助成事業指定研究機関

学会等認定施設

- ・日本プライマリ・ケア連合学会認定新家庭医療後期研修プログラム
- ・日本透析医学会専門医制度認定施設
- ・日本血液学会認定専門研修認定施設
- ・日本HTLV-1学会登録医療機関
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本ペインクリニック学会ペインクリニック専門医指定研修施設
- ・日本脳卒中学会専門医制度研修教育施設
- ・日本神経学会専門医制度教育施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本精神神経学会精神科専門医研修施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）
- ・日本輸血・細胞治療学会認定臨床輸血看護師制度指定研修施設
- ・日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度（I&A制度）認証施設
- ・日本病理学会病理専門医制度研修登録施設
- ・日本臨床神経生理学学会認定施設準教育施設（筋電図・神経伝導分野）
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設

概要

- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター
- ・日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
- ・日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設
- ・日本造血・免疫細胞療学会非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科
—認定カテゴリー1（血液内科）
- ・日本骨髓バンクならびに日本造血・免疫細胞療学会非血縁者間骨髄採取認定施設
- ・日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本大腸肛門病学会関連施設
- ・日本胃癌学会認定施設B
- ・日本放射線腫瘍学会（JASTRO）認定施設
- ・日本輸血・細胞治療学会認定輸血検査技師制度指定研修施設
- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG:Ver.2.0）
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・鹿児島県消化器がん検診精密検査医療機関
- ・日本診療放射線技師会医療被ばく低減施設
- ・日本診療放射線技師会臨床実習指導施設
- ・日本専門医機構専門医制度総合診療領域専門研修プログラム
- ・日本専門医機構専門医制度内科領域専門研修プログラム
- ・日本医学放射線学会（JRS）画像診断管理認定施設
- ・日本専門医機構専門医制度皮膚科領域専門研修プログラム

いづろ今村病院

管 理 者 長野 真二郎

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-2600

病 床 数 115床（一般35床、地域包括ケア58床、緩和ケア22床）

標榜診療科 内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、血液内科、外科、消化器外科、婦人科、放射線科、眼科、緩和ケア内科、皮膚科、
内分泌代謝内科（2025年4月増科）

指定医療機関等

- ・厚生労働省協力型臨床研修指定病院
- ・開放型病院
- ・救急告示病院
- ・生活保護法指定医療機関
- ・被爆者一般疾病指定医療機関
- ・結核予防法指定医療機関
- ・特定疾患医療指定医療機関
- ・母体保護法指定医療機関
- ・母子保健法指定医療機関
- ・小児慢性特定疾患医療指定医療機関
- ・労働者災害補償保険法指定医療機関
- ・労働者災害補償保険法二次健診等給付指定医療機関
- ・人間ドック指定病院
- ・健康保険法指定医療機関
- ・各種健診（検診）・予防接種等受託医療機関

学会等認定施設

- ・日本糖尿病学会認定教育施設Ⅱ
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本総合健診医学会・日本人間ドック・予防医療学会 人間ドック
健診専門医研修施設

その他の認定施設

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver. 3.0）
- ・日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価認定（Ver. 4.0）
- ・全日本病院内協会日帰り人間ドック実施指定施設
- ・鹿児島県救急災害医療情報システム参加登録病院

通所リハビリテーション ウェルネスじあい

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
T E L 099-226-5206

指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあい

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
T E L 099-226-2600

指定居宅介護支援事業所 ウェルネスじあい

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
T E L 099-226-5207

谷山病院

管 理 者 福田 恭哉
 所 在 地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
 T E L 099-269-4111
 病 床 数 392床
 標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver2.0）
- ・生活保護法指定医療機関
- ・身体障害者福祉法による医療機関
- ・被爆者一般疾病医療機関（原爆被爆者援護法）
- ・難病医療費助成指定医療機関
- ・結核指定医療機関
- ・結核患者収容モデル事業（A2病棟5床）
- ・肝炎治療特別促進事業
- ・自立支援医療機関（精神通院医療）
- ・精神保健福祉法第19条の8に基づく病院（10床）
- ・精神保健福祉法応急入院指定病院
- ・医療観察法指定通院医療機関
- ・鹿児島県指定認知症患者医療センター
- ・協力型臨床研修病院（医師臨床研修制度）
- ・精神科専門医制度認定研修施設（日本精神神経学会）
- ・精神科救急地域拠点病院（鹿児島県）
- ・災害時支援中心病院（日本精神科病院協会）
- ・精神科認定看護師教育課程 実習施設（日本精神科看護協会）
- ・DPAT登録病院（鹿児島県）
- ・労働者災害補償保険法指定医療機関

就労支援センター ステップ

所 在 地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
 T E L 099-260-5810

地域活動支援センター ひだまり

所 在 地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
 T E L 099-260-5865

グループホーム しらゆりの郷

所 在 地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町6番1号
 T E L 099-266-3214

奄美病院

管 理 者 坂江 清弘
 所 在 地 〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町170番地
 T E L 0997-53-1200
 病 床 数 （2025年9月まで）326床
 （2025年10月から）315床
 標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver.3.0）
- ・生活保護法指定医療機関
- ・原爆被爆者医療法一般疾病医療取扱病院
- ・臨床研修医制度臨床研修病院（協力型）
- ・自立支援医療機関（精神通院医療）
- ・精神保健福祉法第19条の8に基づく病院（10床）
- ・医療観察法にかかる指定通院医療機関
- ・鹿児島県指定認知症患者医療センター

訪問看護ステーション イルカ
 指定特定相談支援事業所 あゆみ

所 在 地 〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町171番1号
 T E L 0997-57-6750（イルカ）
 0997-57-6633（あゆみ）

概要	
指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま	所在地 〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿佐仁金久2838 TEL 0997-54-8911
グループホーム ひまわり	所在地 〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿砂田2879番1号 TEL 0997-54-8787
グループホーム ゆいはま (2025年6月開設)	所在地 〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町171番地9 結浜ビル TEL 0997-57-1315

徳之島病院

管理者 (2025年7月まで) 太田 憲輔 (2025年8月から) 加納 達雄 所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5190番地 TEL 0997-83-0275 病床数 (2025年9月まで) 206床 (2025年10月から) 186床 標榜診療科 精神科 認定・指定 ・生活保護法指定医療機関 ・自立支援医療機関(精神通院医療) ・精神保健福祉法第19条の8(指定病床数8床) ・医療観察法指定通院医療機関	
グループホーム うんばた	所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5201番1号 TEL 0997-83-2840
訪問看護ステーション わたりどり	所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5190 徳之島病院旧棟2F TEL 070-5535-3317

介護老人保健施設 愛と結の街

施設長 海江田 一也 所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号 TEL 099-260-6060 入所定員数 100床	
指定居宅介護支援センター 愛と結の街 ヘルパーステーション 結の街	所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号 TEL 099-267-6818 (居宅) 099-267-0177 (ヘルパー)
グループホーム 愛と結の街 デイサービスセンター あしたの風(認知症対応型)	所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番28号 TEL 099-267-0533 (グループホーム) 099-263-6630 (あしたの風)
デイサービス はなぶさ (通常規模型通所介護事業所)	所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号 TEL 099-284-5663
住宅型有料老人ホーム あいゆいの家	所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号 TEL 099-260-6060

慈愛会在宅支援部

笹貫訪問看護ステーション 愛の街

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号
TEL 099-210-0150

慈愛会クリニック

管理者 今村 尚子
標榜診療科 内科, 糖尿病内科所在地 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号1F
TEL 099-239-0588

七波クリニック

管理者 鯨島 久子
標榜診療科 内科所在地 〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町51番1号
ニシムタスカイマーケット鴨池内テナント
TEL 099-284-0610

高麗町クリニック

管理者 木原 浩一
標榜診療科 内科
・在宅療養支援診療所所在地 〒890-0051 鹿児島県鹿児島市高麗町39番11号
TEL 099-812-7712

かごしまオハナクリニック

管理者 林 恒存
標榜診療科 内科所在地 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号
TEL 099-263-8787

慈愛会垂水サテライトクリニック

管理者 貴島 佳子
標榜診療科 産婦人科所在地 〒891-2123 鹿児島県垂水市本町77番
TEL 0994-35-1583

鹿児島中央看護専門学校

校長 今村 英仁

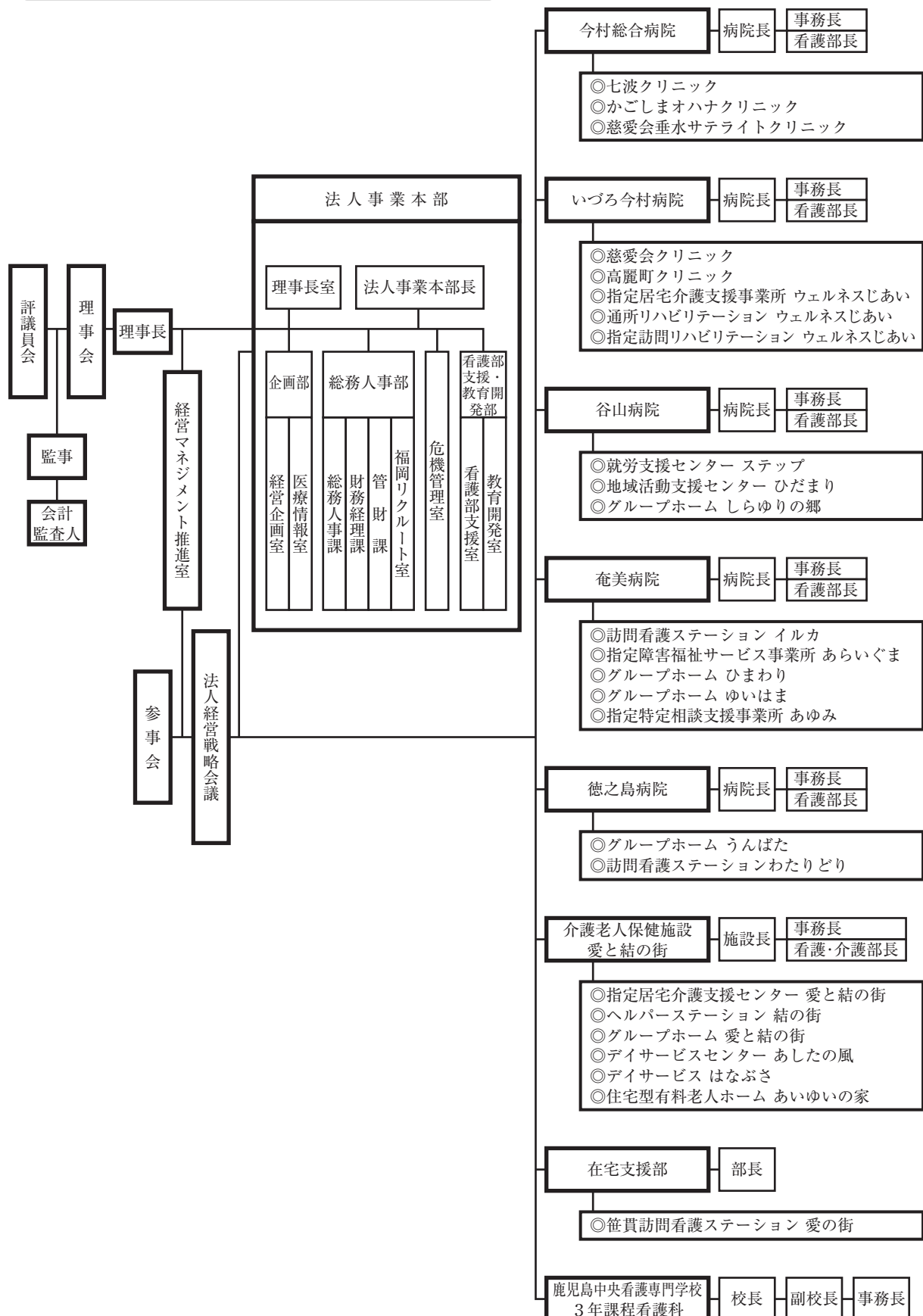
3年課程看護科

定員 1学年40名

所在地 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町12番7号
TEL 099-227-5330

公益財団法人慈愛会 組織図

2026年3月1日現在



病院施設別職員数 2026年3月1日現在 () は非常勤・パート (人)

	医師		看護部		診療支援部		事務員		その他職員		常勤計	パート他計	合計(実働)
今村総合病院	126	(66)	411	(48)	254	(8)	127	(16)	22	(16)	940	(154)	1094
七波クリニック	1	(5)	4	(6)	1	(1)	6	(1)			12	(13)	25
かごしまオハナクリニック	3	(2)	8				10				21	(2)	23
垂水サテライトクリニック	1	(4)		(2)							1	(6)	7
いづろ今村病院	26	(35)	140	(15)	67	(7)	46	(11)	2		281	(68)	349
慈愛会クリニック	1	(4)	2	(3)	1		5				9	(7)	16
谷山病院	12	(17)	157	(10)	63	(11)	22	(1)	3		257	(39)	296
就労支援センターステップ			1		11		1				13	(0)	13
地域活動支援センターひだまり			2		8				(1)		10	(1)	11
グループホームしらゆりの郷			3	(1)	4		3	(1)			10	(2)	12
奄美病院	6	(4)	108	(19)	34	(24)	16	(1)	7		171	(48)	219
指定特定相談支援事業所あゆみ					3		1				4		4
訪問看護ステーションイルカ			9				1				10		10
グループホーム ひまわり			3								3		3
グループホーム ゆいはま			2				2				4		4
指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま			8	(1)	2		2				12	(1)	13
徳之島病院	3	(5)	50	(10)	27	(3)	7		11	(4)	98	(22)	120
グループホームうんばた			2				1				3		3
訪問看護ステーションわたりどり			4	(1)	2		1				7	(1)	8
介護老人保健施設 愛と結の街		(3)	41.1	(17.2)	25.5	(6)	7		2	(7)	75.6	(33)	108.76
居宅介護支援センター愛と結の街			4				1				5	(0)	5
グループホーム愛と結の街			11.2	(2)							11.2	(2)	13.2
ヘルパーステーション結の街			3.6	(7)							3.6	(7)	10.6
デイサービスあしたの風			5.3	(1)							5.3	(1)	6.3
デイサービスはなぶさ			6.2	(4.01)							6.2	(4)	10.21
住宅型有料老人ホーム あいゆいの家			0.1	(4)							0.1	(4)	4.1
在宅支援部 訪問看護ステーション愛の街			13	(2)	3		2				18	(2)	20
高麗町クリニック	1	(1)	4		2		3		(2)		10	(3)	13
鹿児島中央看護専門学校							2	(2)	13	(2)	15	(4)	19
法人事業本部	3		4				27	(3)			34	(3)	37
合 計	183	(146)	1006.5	(153)	507.5	(60)	293	(36)	60	(32)	2050	(427)	2477

職種別常勤換算人員表（年度推移：人）

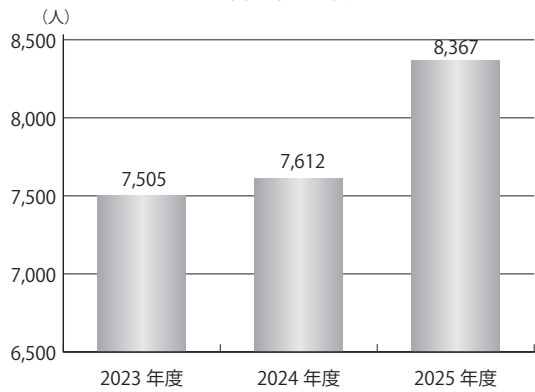
	職 種	2023 年度	2024 年度	2025 年度
1	医 師	192.5	212.3	218.6
2	歯 科 医 師	1.3	1.3	1.3
	診 療 部	193.8	213.7	219.9
3	保 健 師	7.1	9.6	11.2
4	助 産 師	10.7	10.8	9.6
5	看 護 師	782.6	759.4	766.3
6	専 任 教 員	13.0	13.4	13.4
7	准 看 護 師	39.1	37.1	38.4
8	看 護 助 手	103.0	108.9	105.6
9	介 護 福 祉 士	167.4	160.5	155.3
10	介 護 支 援 専 門 員	7.1	6.9	7.8
11	ケ ア ワ ー カ ー	0.0	0.0	0.0
12	ヘルパー	2.4	2.4	1.8
13	歯 科 衛 生 士	2.4	2.2	2.4
	看 護 部	1134.7	1111.2	1,111.8
14	薬 剤 師	44.3	46.8	46.6
15	薬 剤 師 助 手	12.8	13.2	12.8
16	診 療 放 射 線 技 師	31.6	32.9	36.6
17	臨 床 検 査 技 師	43.8	40.7	42.9
18	臨 床 検 査 助 手	2.6	2.8	2.8
19	臨 床 心 理 士	2.0	2.0	3.0
20	臨 床 心 理 技 術 者	0.0	0.0	0.0
21	公 認 心 理 師	4.2	6.0	5.6
22	理 学 療 法 士	72.2	77.3	82.8
23	作 業 療 法 士	59.3	61.7	66.6
24	言 語 聴 覚 士	20.5	20.8	27.6
25	音 楽 療 法 士	0.3	0.4	0.6
26	リ ハ ビ リ 助 手	6.0	6.4	5.4
27	臨 床 工 学 技 士	20.9	20.1	20.6
28	内 視 鏡 技 師	3.6	3.5	4.0
29	視 能 訓 練 士	3.6	4.0	5.0
30	管 理 栄 養 士	27.7	25.6	25.0
31	栄 養 士	13.4	14.7	14.5
32	調 理 師	52.7	50.6	46.4
33	調 理 員	28.7	28.3	28.7
34	社 会 福 祉 士	15.7	14.4	12.6
35	精 神 保 健 福 祉 士	43.8	44.0	47.3
36	精 神 保 健 福 祉 士 助 手	1.8	2.5	2.2
37	そ の 他 (※)	1.5	2.3	4.4
	診 療 支 援 部	512.9	521.0	543.8
38	事 務 員	255.8	267.2	285.9
39	診 療 情 報 管 理 士	11.7	13.4	11.8
40	シ ス テ ム エ ン ジ ニ ア	5.0	5.2	6.0
41	売 店	5.0	5.3	4.5
42	施 設 係	32.7	38.2	37.0
43	保 育 士	19.1	19.3	19.7
44	保 育 士 助 手	7.9	7.3	7.5
45	ピ ア サ ポ ー タ ー	0.3	0.1	0.2
46	そ の 他	1.5	0.0	0.0
	事 務 部	337.5	355.9	372.6
	合 計	2178.9	2201.7	2248.1

(※) 2025 年 5 月より採用開始した「救急救命士」(2026 年 3 月末時点 3 名在籍)を含む。

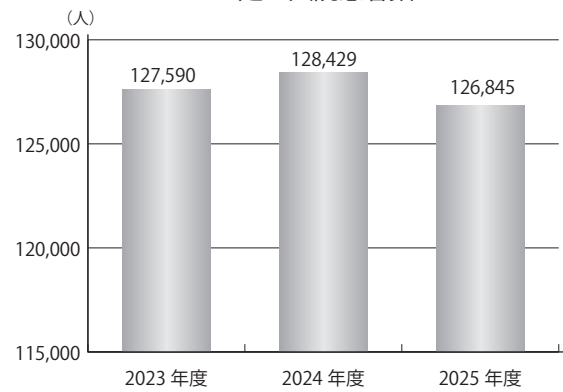
病院施設指標

今村総合病院

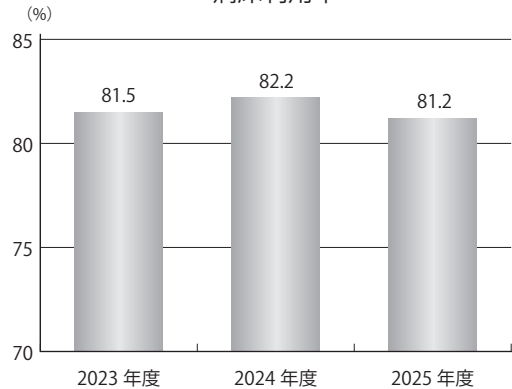
新入院患者数



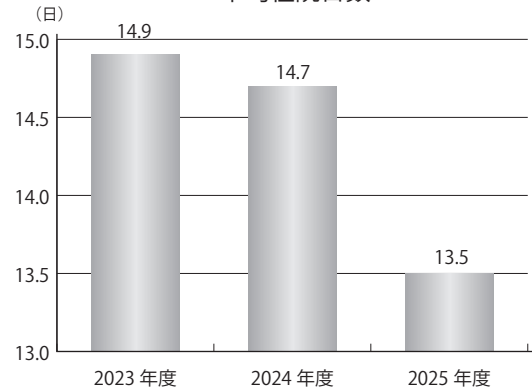
延べ入院患者数



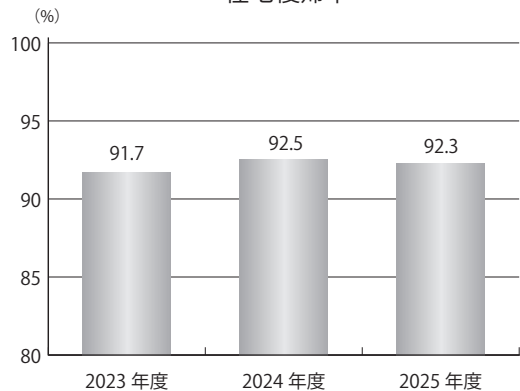
病床利用率



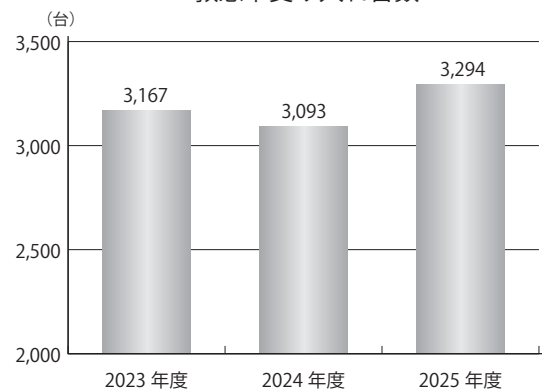
平均在院日数

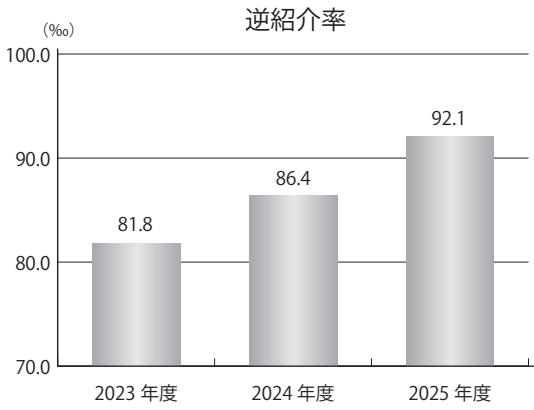
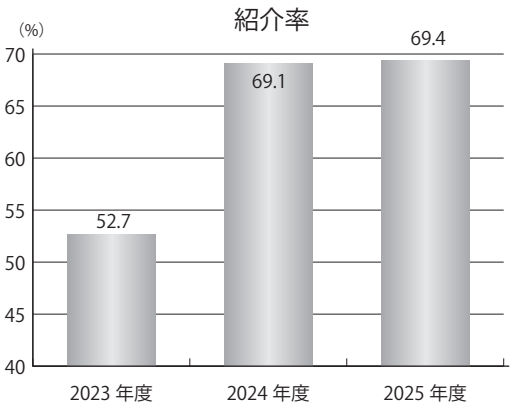
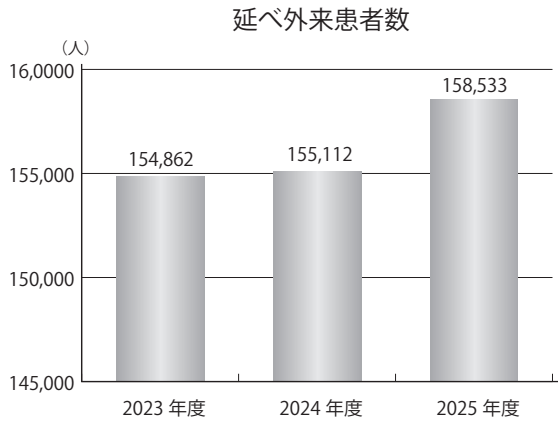
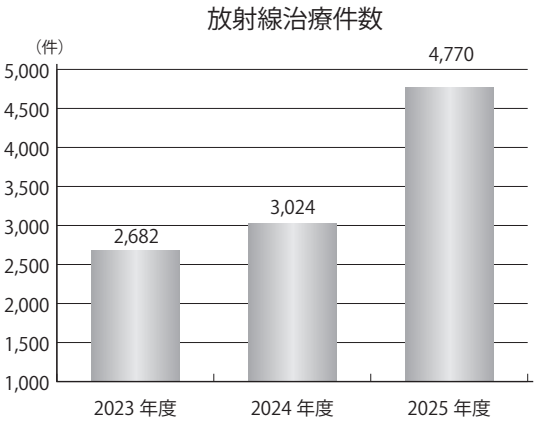
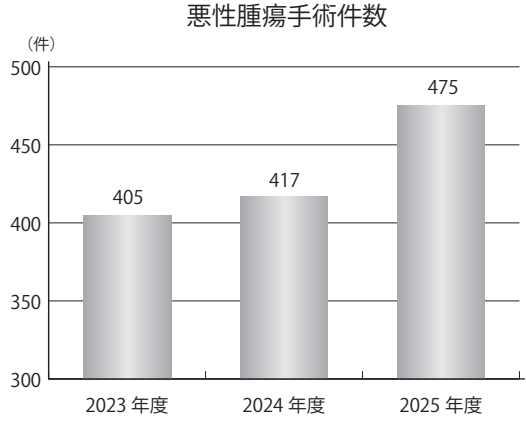
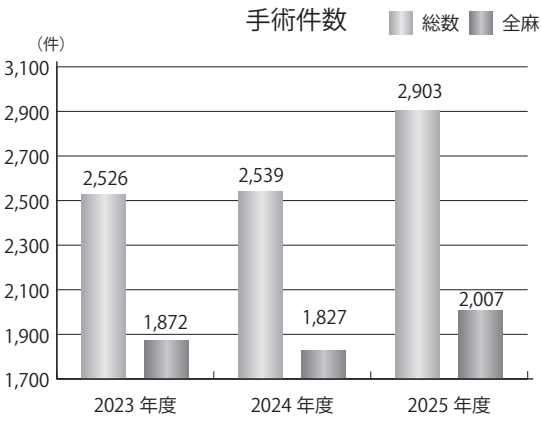


在宅復帰率



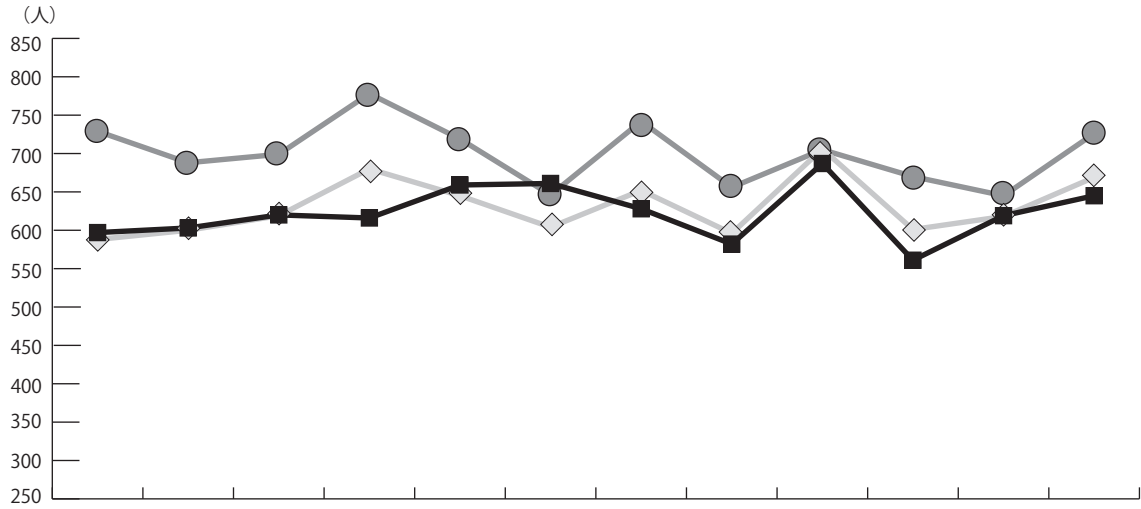
救急車受け入れ台数



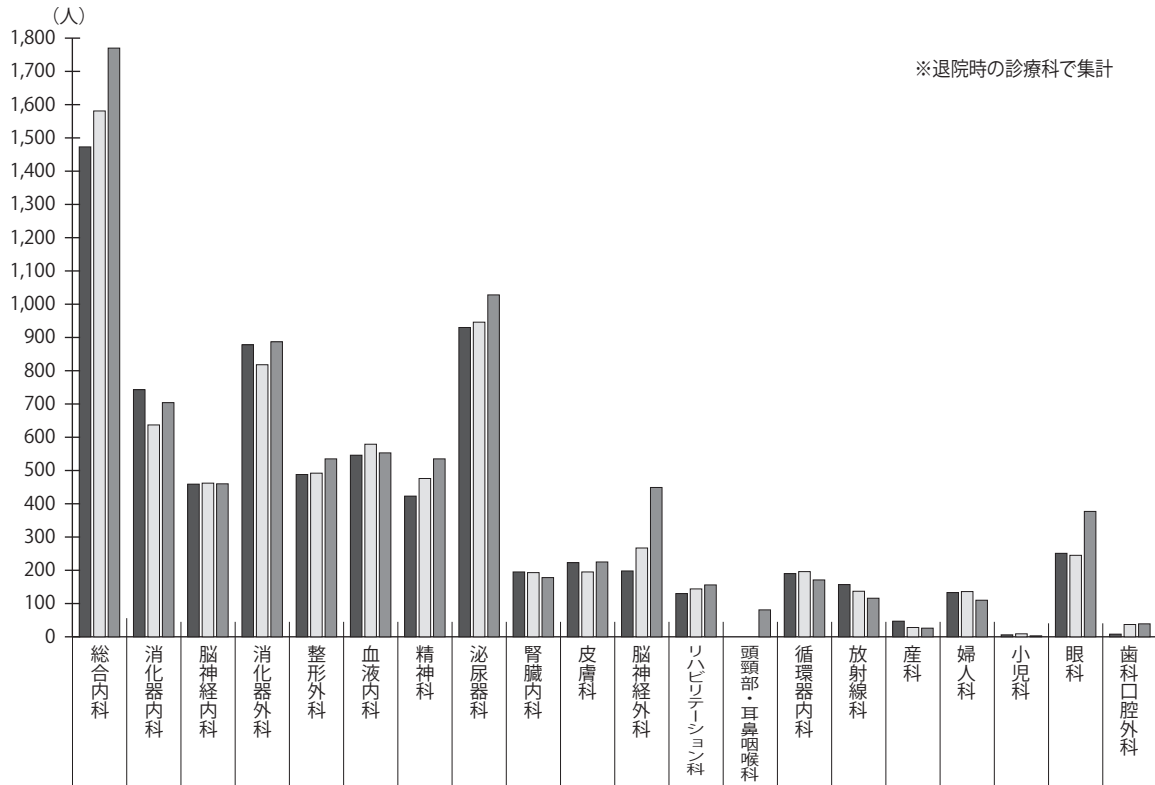


患者動向

年度別月別退院患者数

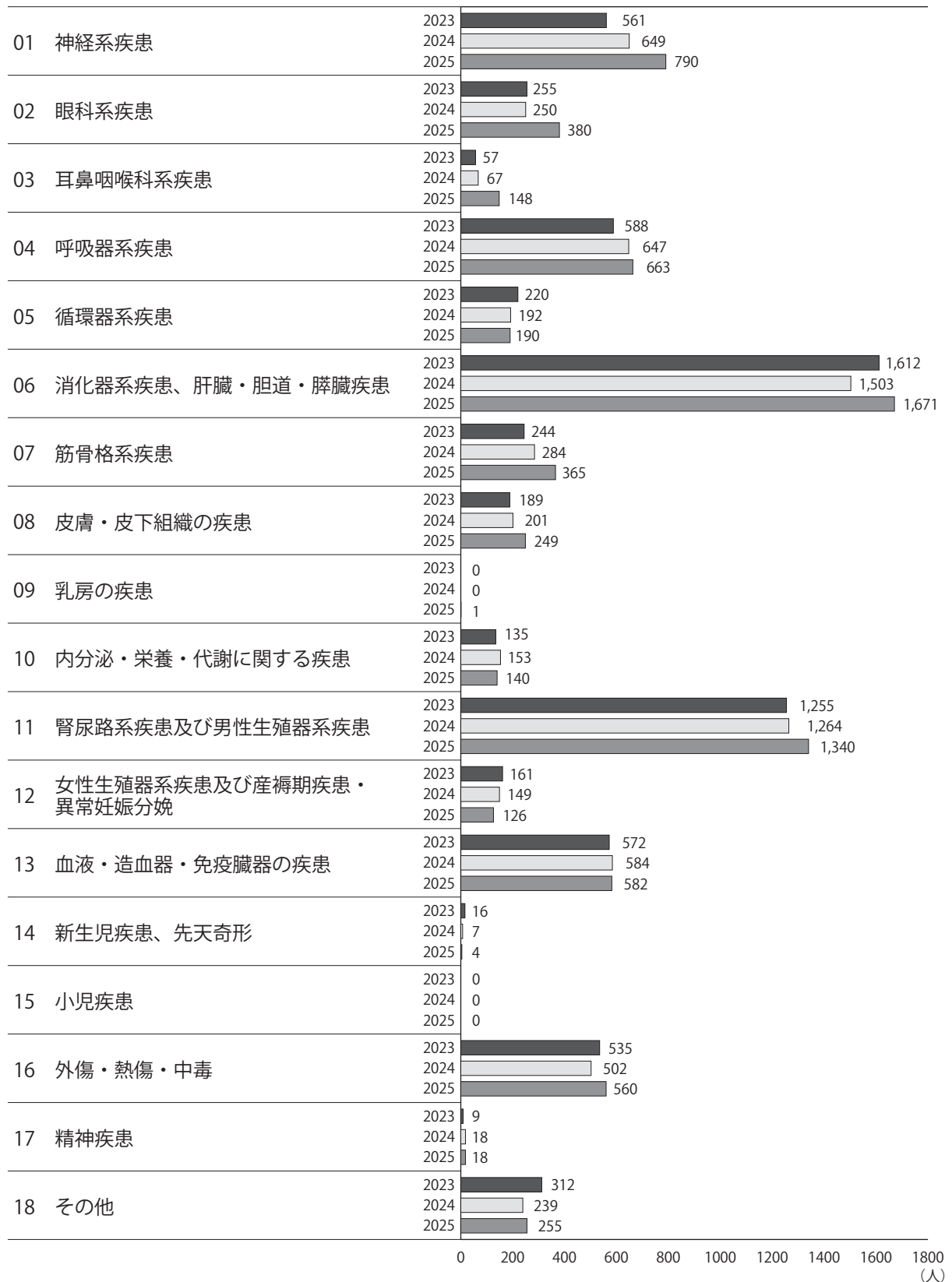


年度別診療科別退院患者数



患者統計（MDC、ICD）

年度別MDC別退院患者数



ICD-10 大分類による診療科別統計（2023 年度） 2023 年 4 月～2024 年 3 月までの退院患者

大 分 類		総合 内科	腎臓 内科	血液 内科	消化器 内科	脳神経 外科	泌尿 器科	皮膚科	放射 線科	脳神経 内科	リハビ リテー ション 科	整形 外科	循環器 内科	消化器 外科	精神科	産科	婦人科	小児科	眼科	歯科口 腔外科	計
1	感染症および寄 生虫症 (A00-B99)	122	5	20	10	1	4	45	4	0	0	0	2	5	2	0	1	1	0	0	222
2	新生物 (C00-D48)	32	2	430	175	12	272	84	106	0	4	2	0	314	41	0	93	0	0	0	1,567
3	血液および造血 器の疾患ならび に免疫機構の障 害 (D50-D89)	26	3	30	1	0	1	1	1	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	70
4	内分泌、栄養お よび代謝疾患 (E00-E90)	72	3	3	1	0	0	0	0	4	0	0	3	12	11	0	0	4	0	0	113
5	精神および行動 の障害 (F00-F99)	9	0	0	11	0	0	0	0	2	0	0	0	0	109	0	0	0	0	0	131
6	神経系の疾患 (G00-G99)	23	0	1	10	24	1	0	0	60	1	0	3	0	5	0	0	0	0	0	128
7	眼および付属器 の疾患 (H00-H59)	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	28	0	0	0	250	0	284
8	耳および乳様突 起の疾患 (H60-H95)	3	0	1	0	1	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
9	循環器系の疾患 (I00-I99)	52	9	5	14	83	2	2	12	337	102	0	149	0	18	0	0	0	0	0	785
10	呼吸器系の疾患 (J00-J99)	498	14	25	5	0	3	1	9	6	3	0	8	4	43	0	0	1	1	1	622
11	消化器系の疾患 (K00-K93)	80	2	4	474	0	2	0	17	0	1	0	1	494	84	0	0	0	0	6	1,165
12	皮膚および皮下 組織の疾患 (L00-L99)	39	0	0	0	0	3	86	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0	138
13	筋骨格系および 結合組織の疾患 (M00-M99)	156	5	1	4	0	0	2	1	3	4	76	1	3	7	0	0	0	0	0	263
14	腎尿路生殖器系 の疾患 (N00-N99)	202	123	1	3	0	603	0	0	3	1	0	1	5	43	0	38	0	0	0	1,023
15	妊娠、分娩およ び産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	1	0	0	0	39
16	周産期に発生し た病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9
17	先天奇形、変形 および染色体異 常 (Q00-Q99)	0	0	0	0	1	2	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	8
18	症状、徴候およ び異常臨床所 見・異常検査所 見で他に分類さ れないもの (R00-R99)	16	0	2	7	0	20	0	3	1	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	56
19	損傷、中毒およ びその他の外因 の影響 (S00-T98)	38	8	0	11	76	15	1	2	10	12	376	2	15	15	0	0	0	0	1	582
20	傷病および死亡 の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響 をおよぼす要因 及び保健サービ スの利用 (Z00-Z99)	0	0	11	1	0	0	0	0	0	0	34	0	12	0	0	0	0	0	0	58
22	原因不明の新た な疾患の暫定分 類 (U00-U49) 抗菌薬及び抗腫 瘍薬への耐性 (U82-U85)	100	21	12	16	0	2	1	1	16	1	0	17	3	4	0	0	0	0	0	194
計		1,473	195	546	743	198	930	223	157	459	130	488	190	878	423	47	133	6	251	8	7,478

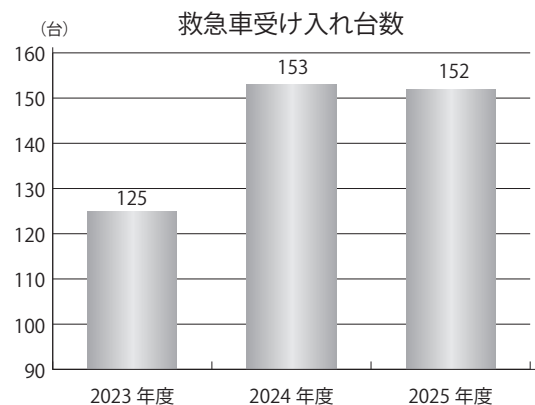
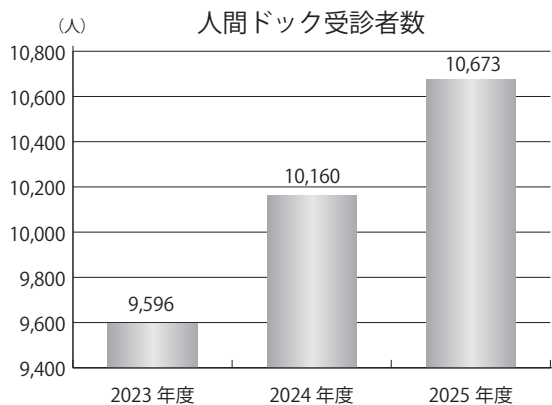
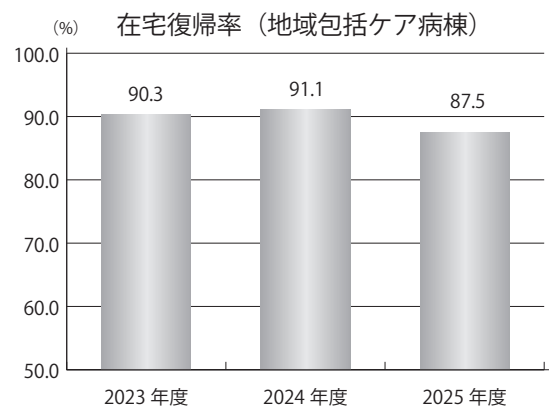
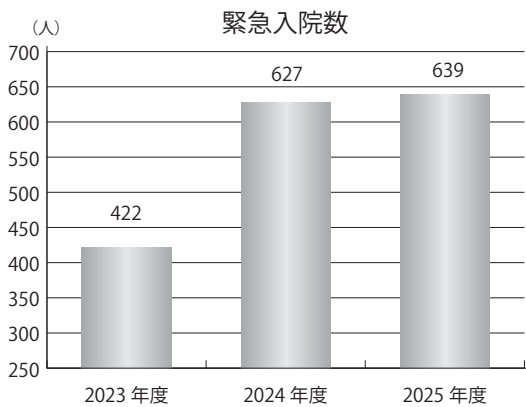
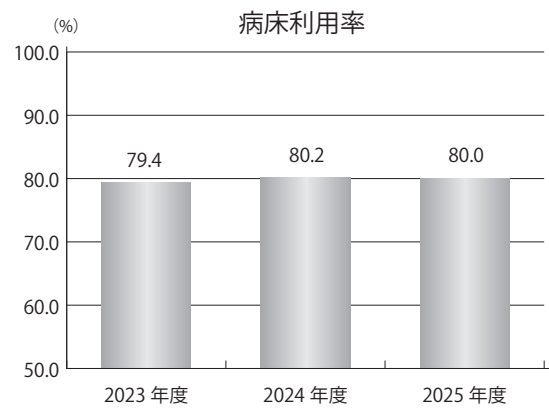
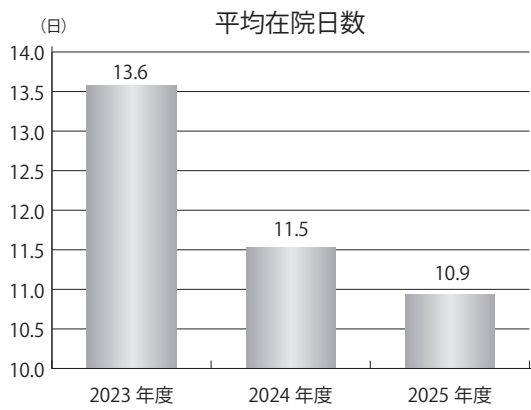
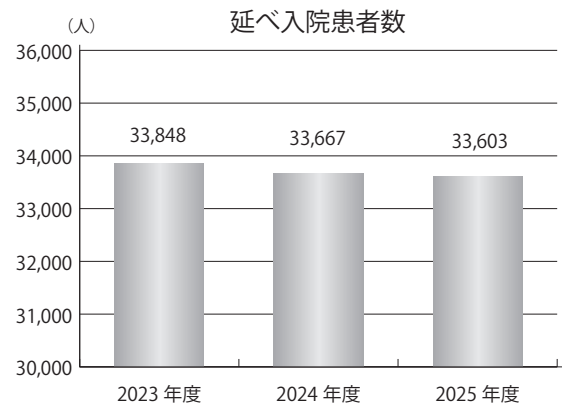
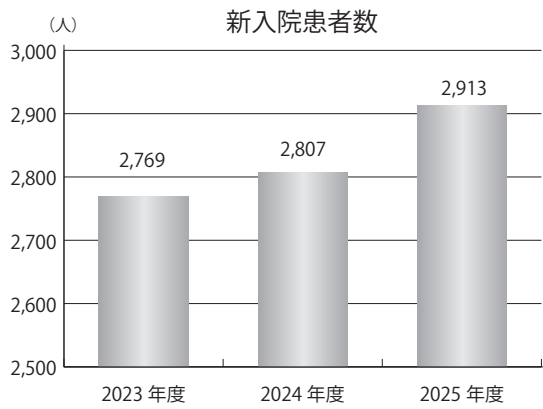
ICD-10 大分類による診療科別統計 (2024 年度) 2024 年 4 月～2025 年 3 月までの退院患者

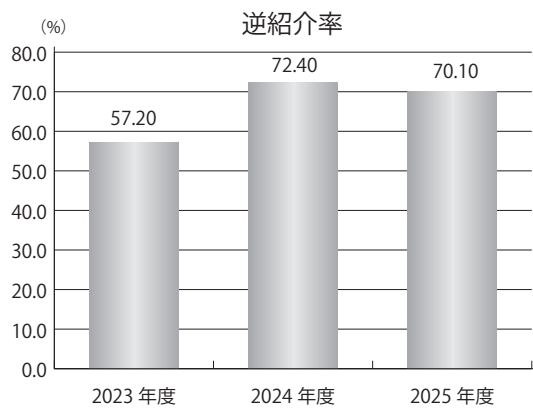
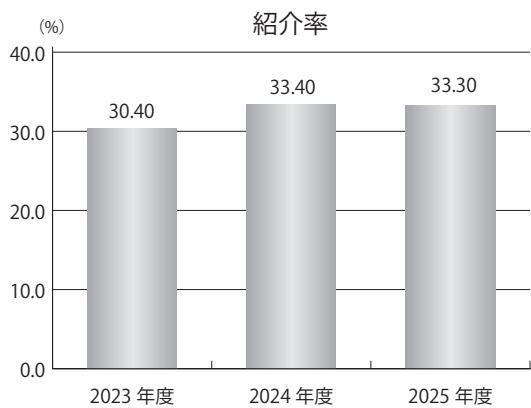
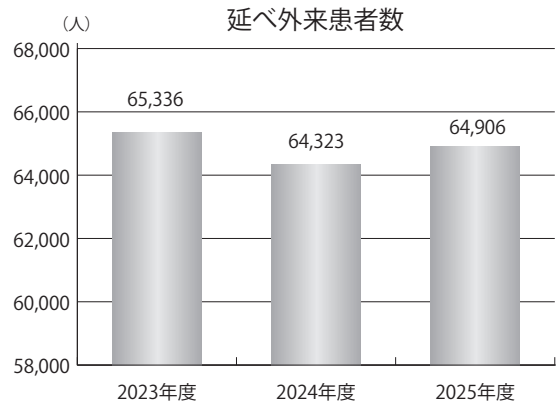
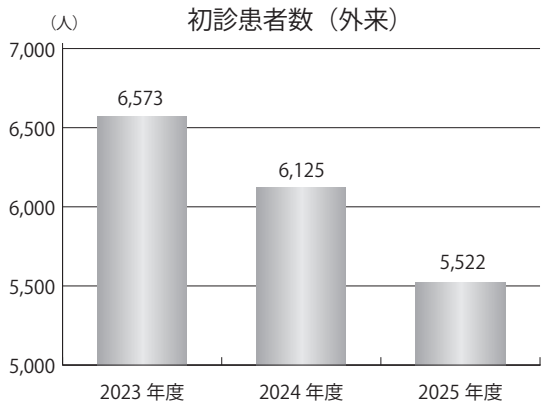
大 分 類		総合 内科	腎臓 内科	血液 内科	消化器 内科	脳神経 外科	泌尿 器科	皮膚科	放射 線科	脳神経 内科	リハビ リテー ション 科	整形 外科	循環器 内科	消化器 外科	精神科	産科	婦人科	小児科	眼科	歯科口 腔外科	計
1	感染症および寄 生虫症 (A00-B99)	98	7	16	9	1	10	33	2	1	0	0	1	7	12	1	0	0	1	0	199
2	新生物 (C00-D48)	29	2	465	192	50	323	68	105	1	2	1	0	286	32	0	108	0	0	1	1,665
3	血液および造血 器の疾患ならび に免疫機構の障 害 (D50-D89)	22	5	25	6	0	2	0	1	0	0	0	2	9	3	0	1	0	0	0	76
4	内分泌、栄養お よび代謝疾患 (E00-E90)	91	4	3	0	0	2	0	2	7	0	0	5	9	12	0	1	9	0	0	145
5	精神および行動 の障害 (F00-F99)	13	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	119	0	0	0	0	0	135
6	神経系の疾患 (G00-G99)	45	1	0	0	23	1	0	0	83	5	0	0	1	5	0	0	0	0	0	164
7	眼および付属器 の疾患 (H00-H59)	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	46	0	0	0	244	0	294
8	耳および乳様突 起の疾患 (H60-H95)	10	0	0	0	3	0	0	0	20	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	34
9	循環器系の疾患 (I00-I99)	47	4	1	3	128	0	2	7	316	110	0	156	0	18	0	0	0	0	0	792
10	呼吸器系の疾患 (J00-J99)	592	10	20	6	1	4	1	1	6	6	0	12	8	51	0	0	0	0	0	718
11	消化器系の疾患 (K00-K93)	59	2	8	376	0	2	1	8	0	2	0	1	455	72	0	0	0	0	31	1,017
12	皮膚および皮下 組織の疾患 (L00-L99)	43	5	2	0	1	0	82	1	1	0	0	0	2	15	0	0	0	0	4	156
13	筋骨格系および 結合組織の疾患 (M00-M99)	193	4	3	0	0	0	2	0	2	3	89	0	0	9	0	0	0	0	0	305
14	腎尿路生殖器系 の疾患 (N00-N99)	202	124	1	1	0	522	0	3	3	1	0	1	8	51	0	26	0	0	0	943
15	妊娠、分娩およ び産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	24
16	周産期に発生し た病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
17	先天奇形、変形 および染色体異 常 (Q00-Q99)	1	1	0	0	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9
18	症状、徴候およ び異常臨床所 見・異常検査所 見で他に分類さ れないもの (R00-R99)	24	0	1	29	0	23	2	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	85
19	損傷、中毒およ びその他の外因 の影響 (S00-T98)	44	9	12	3	57	53	2	2	9	13	369	3	3	26	0	0	0	0	1	606
20	傷病および死亡 の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響 をおよぼす要因 及び保健サービ スの利用 (Z00-Z99)	1	0	17	0	0	0	0	0	0	0	31	0	23	0	0	0	0	0	0	72
22	原因不明の新た な疾患の暫定分 類 (U00-U49) 抗菌薬及び抗腫 瘍薬への耐性 (U82-U85)	67	15	5	12	0	2	1	1	8	2	1	14	3	5	0	0	0	0	0	136
計		1,581	193	579	637	267	946	195	137	462	144	492	196	818	476	28	136	9	245	37	7,578

ICD-10 大分類による診療科別統計（2025 年度） 2025 年 4 月～2026 年 3 月までの退院患者

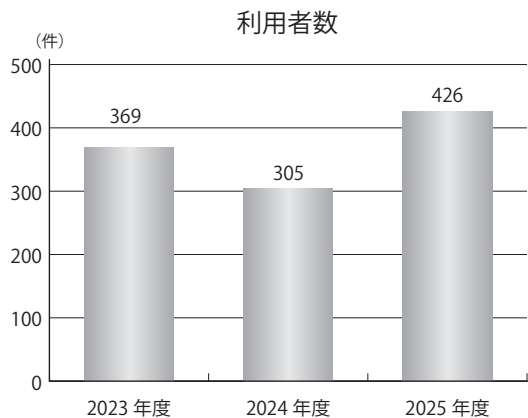
大 分 類		総合 内科	腎臓 内科	血液 内科	消化器 内科	脳神経 外科	泌尿 器科	皮膚科	頭頸部 ・耳鼻 咽喉科	放射 線科	脳神経 内科	リハビ リテー ション 科	整形 外科	循環器 内科	消化器 外科	精神科	産科	婦人科	小児科	眼科	歯科口 腔外科	計
1	感染症および寄生虫症 (A00-B99)	166	10	23	9	0	10	46	2	1	3	0	0	0	6	13	0	0	0	0	0	289
2	新生物 (C00-D48)	29	1	444	218	259	355	72	6	92	4	2	1	1	335	38	0	85	0	0	4	1,946
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	46	3	18	8	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3	4	0	8	0	0	0	93
4	内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	85	3	2	2	4	3	1	0	0	2	0	0	6	2	22	0	0	3	0	0	135
5	精神および行動の障害 (F00-F99)	20	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	122	0	0	0	0	0	144
6	神経系の疾患 (G00-G99)	37	1	0	0	35	0	0	52	0	74	4	0	0	0	7	0	0	0	0	0	210
7	眼および付属器の疾患 (H00-H59)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	376	0	429
8	耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	10	0	0	0	5	0	0	6	0	20	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	43
9	循環器系の疾患 (I00-I99)	49	9	2	4	67	4	3	0	10	301	120	0	128	1	19	0	0	0	0	0	717
10	呼吸器系の疾患 (J00-J99)	576	11	20	6	1	3	0	11	3	6	6	0	12	5	70	0	0	0	0	0	730
11	消化器系の疾患 (K00-K93)	93	3	4	408	0	6	1	0	6	2	1	0	3	489	83	0	0	0	0	35	1,134
12	皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	61	4	2	0	0	1	92	0	0	0	0	0	0	2	9	0	0	0	0	0	171
13	筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	243	4	1	1	0	1	2	0	0	2	8	109	0	0	16	0	0	0	0	0	387
14	腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	224	109	7	4	0	580	2	0	3	5	0	0	4	7	38	0	15	0	0	0	998
15	妊娠、分娩および産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	1	0	0	0	25
16	周産期に発生した病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
17	先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	0	1	0	1	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	29	0	1	25	2	38	1	4	1	13	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	116
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	68	7	15	8	67	23	5	0	0	18	15	398	3	10	39	0	1	0	0	0	677
20	傷病および死亡の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用 (Z00-Z99)	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	23	0	0	0	0	0	0	61
22	原因不明の新たな疾患の暫定分類 (U00-U49) 抗菌薬及び抗腫瘍薬への耐性 (U82-U85)	34	11	3	10	0	1	0	0	0	9	0	0	11	1	2	0	0	0	1	0	83
計		1,770	178	553	704	449	1,028	225	81	116	460	156	535	171	887	535	26	110	3	377	39	8,403

いづろ今村病院





指定居宅介護支援事業所 ウェルネスじあい



【2025 年度総括】

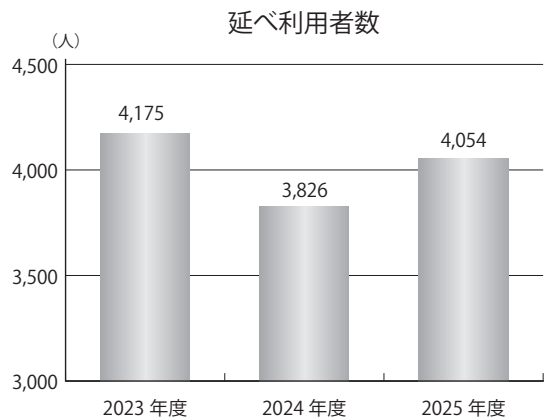
〈目標達成度〉

利用者の入退院時には、多職種と迅速に情報共有しスムーズに入退院に繋げることができました。2025年度は、ケアマネジャー増員に伴い新規の受け入れを積極的に行い、ターミナル利用者を16件受け入れることができました。特定事業所加算の取得を2026年度より予定していましたが、事業所体制を早期に整え12月より取得でき、収益増収に結びつけることができました。

〈総括〉

在宅支援センターの設置により、在宅支援を多職種協働で支援することができました。ケアマネジャー増員に伴い事業所体制を早期に整えたことで、特定事業所加算Ⅲの取得を行うことができました。利用者が増えることで関係する病院や介護サービス等へ紹介できるように努めていきます。

通所リハビリテーション ウェルネスじあい



【2025 年度総括】

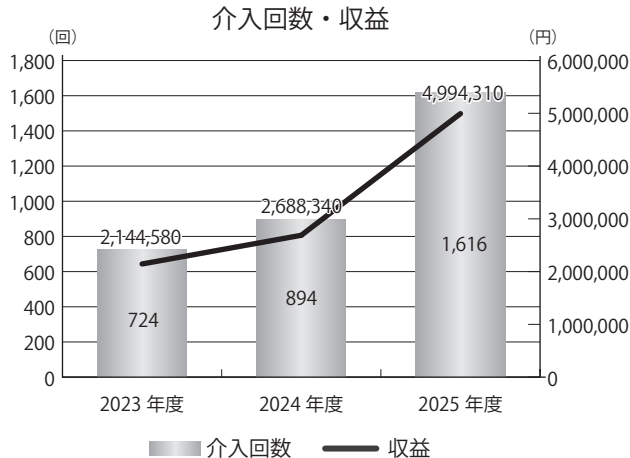
〈目標達成度〉

収益は目標値を下回り年間29,322,830円でした（達成率92.4％）。利用率も目標75%以上に対し70%と下回ってしまいました。リハビリ会議は全利用者に行い、担当医の説明も行うことで、加算取得に繋がりました。インシデントや交通事故等は0件で、利用者やスタッフの安全に繋がられました。

〈総括〉

収益や利用率が伸びなかったことを再度認識し、新規利用者獲得のための体験利用を地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に呼び掛け、利用者確保に努めます。また、新しい加算を取得できるように、準備や書類等の整備を行い、収益アップに努めます。

指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあい



【2025 年度総括】

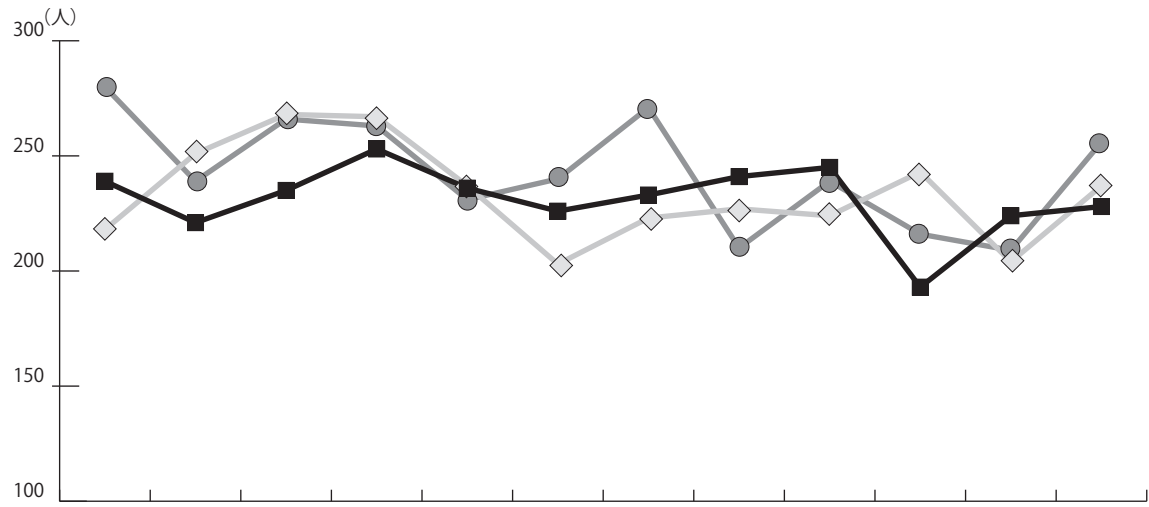
延べ提供回数が2024年度894回から2025年度1,616回（前年度比81%増）となりました。人員体制を0.5人から1.0人と増員し、目標を30%増と立てていましたので、目標を大きく上回ることができました。新規のご依頼も多く、1.0人体制では対応困難となり、現在は1.2人体制となっています。慈愛会内の訪問リハ各施設との連携会議を再開し、組織横断的な連携の強化も達成できました。

〈総括〉

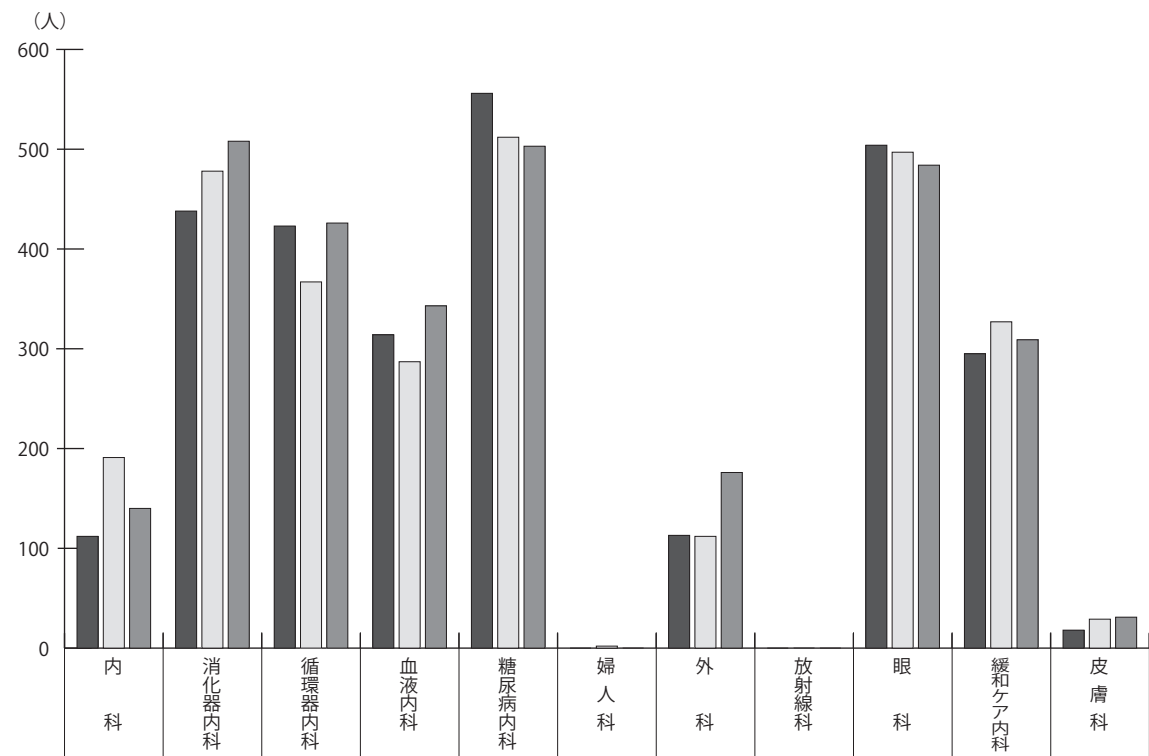
当事業所の訪問リハ対象者は当院退院後の患者様、もしくは当院かかりつけの患者様に限られており、大幅な利用者増は困難、もしくは時間が必要と考えていましたが、ありがたいことに他事業所のケアマネジャーより新規依頼を多数頂いています。次年度以降も増員体制を検討しながら、地域の皆様、ご利用者のお役に立てるよう取り組んでまいります。

患者動向

年度別月別退院患者数

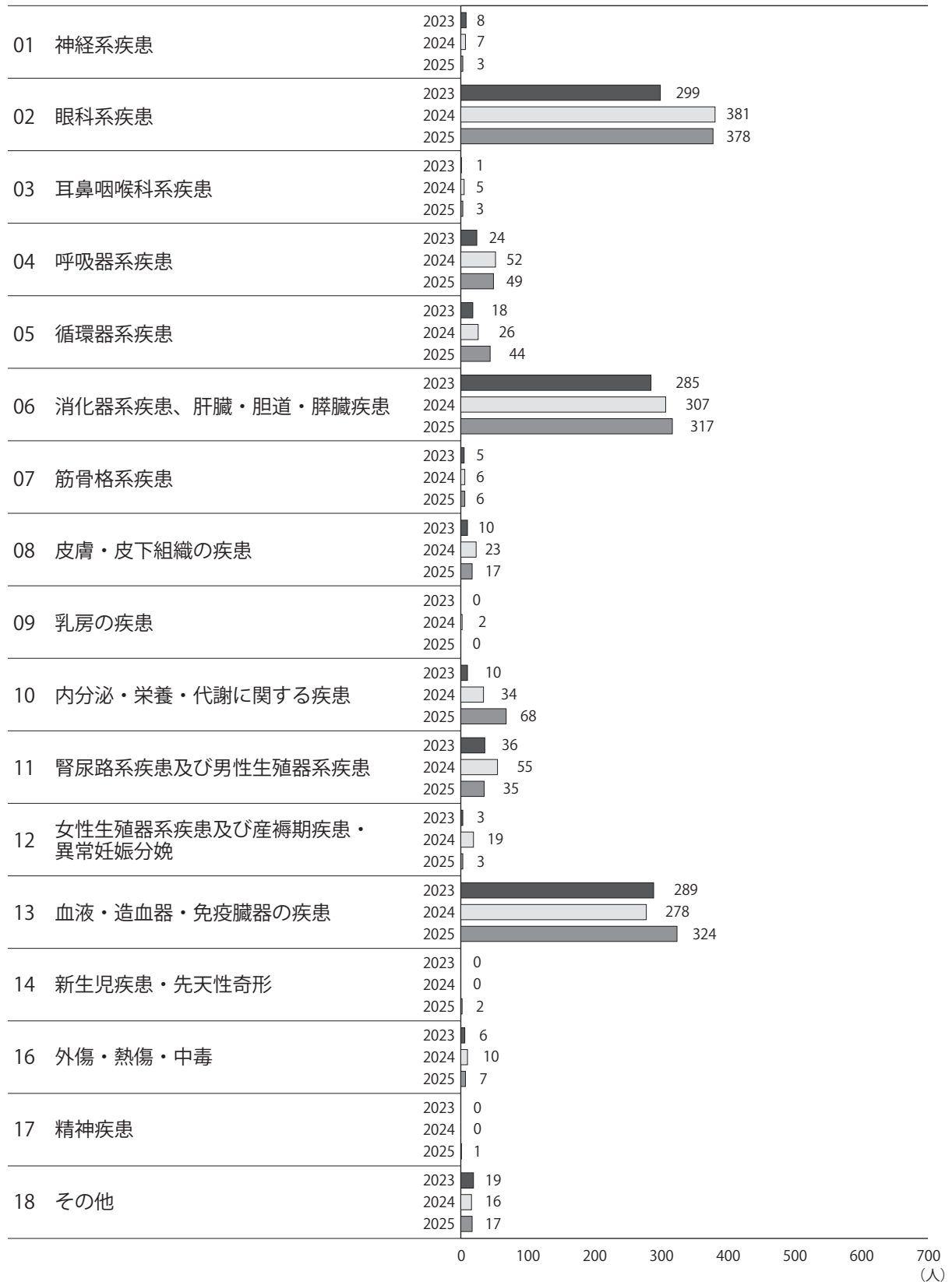


年度別診療科別退院患者数



患者統計（MDC、ICD）

年度別MDC別退院患者数



ICD-10 大分類による診療科別統計（2023 年度）
2023 年 4 月～2024 年 3 月までの退院患者

大分類	内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	皮膚科	計
1 感染症および寄生虫症 A00-B99	2	13	6	4	2		3			2	32
2 新生物 C00-D48	8	150	281	5	46		8	254		1	753
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89	6	7	15				3				31
4 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	8	3		512	1		9		2		535
5 精神および行動の障害 F00-F99	10	2		3	2		3	1			21
6 神経系の疾患 G00-G99	4	7		1	1		4	1			18
7 眼および付属器の疾患 H00-H59	1	1		1			251		500		754
8 耳および乳様突起の疾患 H60-H95	4	1					3				8
9 循環器系の疾患 I00-I99	15	9		4	11		74	1			114
10 呼吸器系の疾患 J00-J99	15	4	8	6	8		18	3			62
11 消化器系の疾患 K00-K93	2	226		2	25		4	1			260
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99	2		1	5			3	1		13	25
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	17	3			9		26	1			56
14 腎尿路生殖器系の疾患 N00-N99	10	1	2	10	2		5	33			63
15 妊娠、分娩および産褥 O00-O99											
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	5	11	1		6		8		1	2	34
22 特殊目的用コード U00-U99	3			3			1				7
計	112	438	314	556	113	0	423	296	503	18	2,773

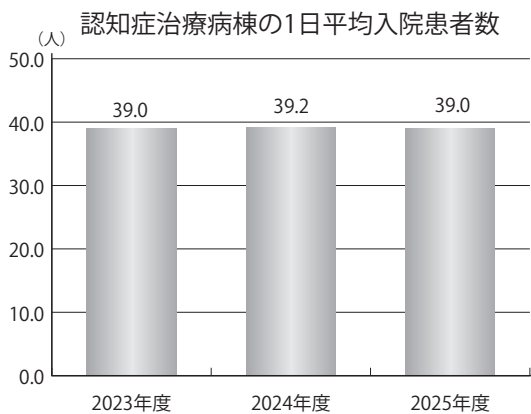
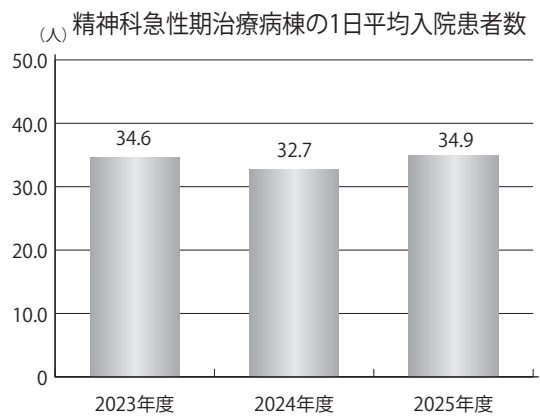
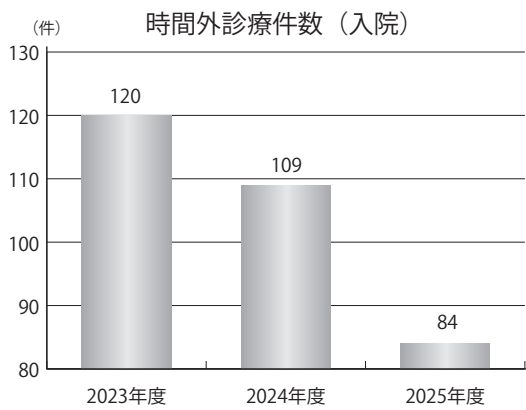
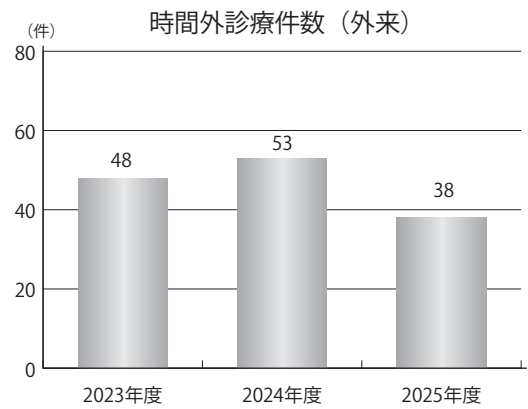
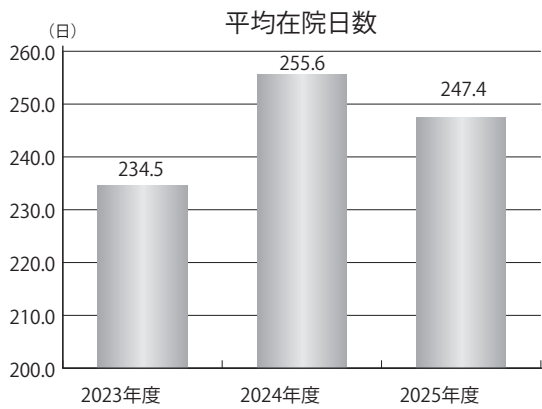
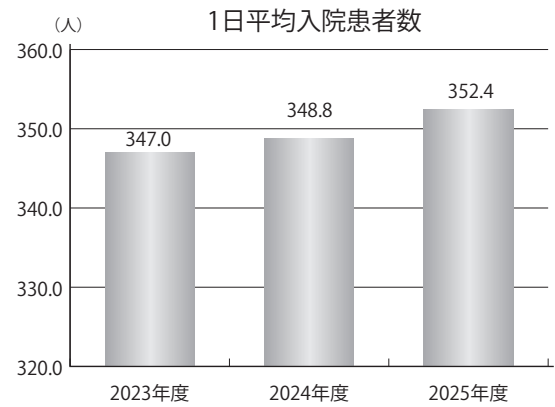
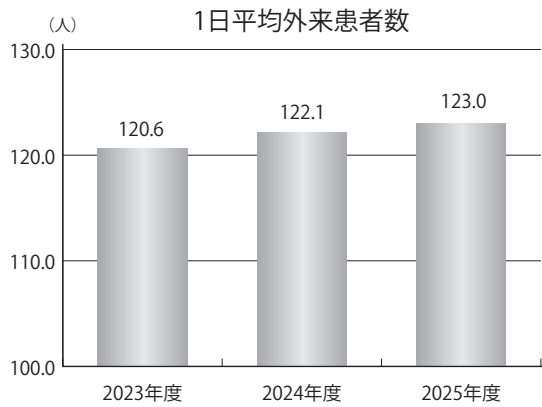
ICD-10 大分類による診療科別統計（2024 年度）
2024 年 4 月～2025 年 3 月までの退院患者

大分類	内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	皮膚科	計
1 感染症および寄生虫症 A00-B99	8	29	4	2	2		1	1		5	52
2 新生物 C00-D48	10	145	260	1	55	2	4	293		1	771
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89	1	4	11		1						17
4 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	18	8		475	1		4				506
5 精神および行動の障害 F00-F99	8	2			1		8				19
6 神経系の疾患 G00-G99	7	3			1		4				15
7 眼および付属器の疾患 H00-H59							202		496		698
8 耳および乳様突起の疾患 H60-H95	3		1	1			2				7
9 循環器系の疾患 I00-I99	18	23		2	7		79	1		5	135
10 呼吸器系の疾患 J00-J99	58	4	8	4	6		19	3			102
11 消化器系の疾患 K00-K93	8	244		4	20		1	1			278
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99	3		1	5	2		6			17	34
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	16	2		2	7		19				46
14 腎尿路生殖器系の疾患 N00-N99	12	6		4	2		5	28			57
15 妊娠、分娩および産褥 O00-O99				1							1
17 先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99							1				1
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	11	8	1	2	6		7	1	1	1	38
22 特殊目的用コード U00-U99	10		1	9	1		4				25
計	191	478	287	512	112	2	366	328	497	29	2,802

ICD-10 大分類による診療科別統計（2025 年度）
2025 年 4 月～2026 年 3 月までの退院患者

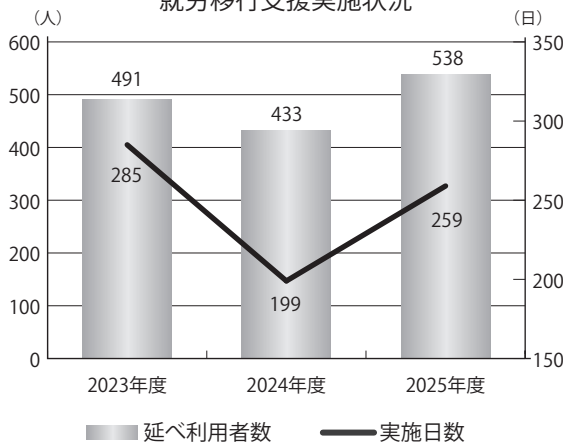
大分類	内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	皮膚科	計
1 感染症および寄生虫症 A00-B99	6	24	5	1	1					2	39
2 新生物 C00-D48	19	173	296	1	94		6	283			872
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89	1	3	22		1		3				30
4 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	8	8	2	471	3		9	1			502
5 精神および行動の障害 F00-F99	5	1			2		2				10
6 神経系の疾患 G00-G99	5	2			3		8	1			19
7 眼および付属器の疾患 H00-H59	1			4			248		483		736
8 耳および乳様突起の疾患 H60-H95	1										1
9 循環器系の疾患 I00-I99	30	22	2	2	11		101			6	174
10 呼吸器系の疾患 J00-J99	23	5	15	11	9		22	1			86
11 消化器系の疾患 K00-K93	3	247	1	2	22			1			276
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99	7	1		5	5		5	1		21	45
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	10	5			9		13	1		1	39
14 腎尿路生殖器系の疾患 N00-N99	8	1		3	2		3	16			33
15 妊娠、分娩および産褥 O00-O99				2							2
17 先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99		2									2
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	5	14			8		5		1	1	34
22 特殊目的用コード U00-U99	8			1	6		1	4			20
計	140	508	343	503	176		426	309	484	31	2,920

谷山病院

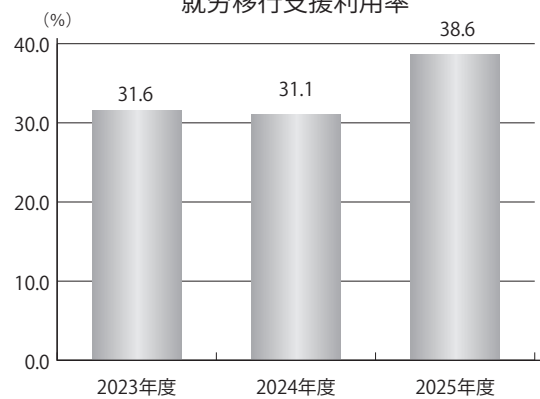


就労支援センター ステップ

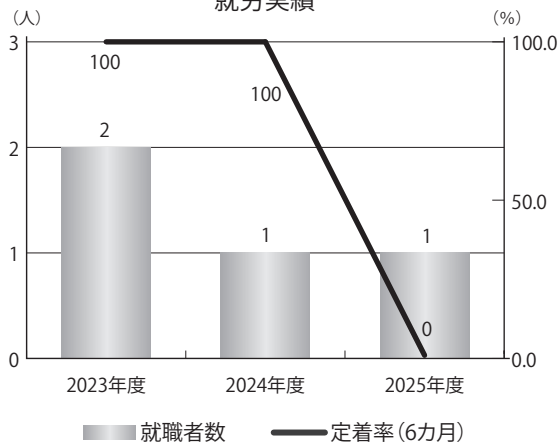
就労移行支援実施状況



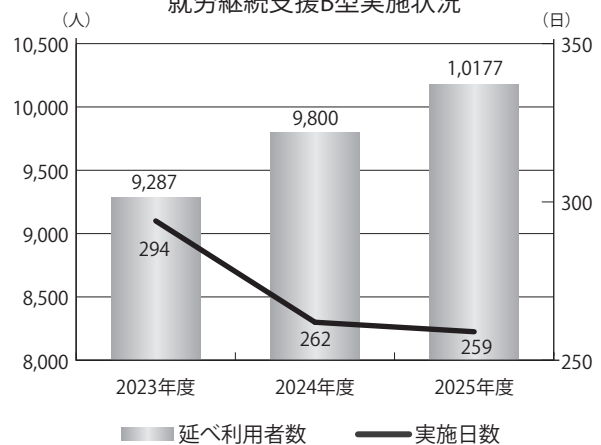
就労移行支援利用率



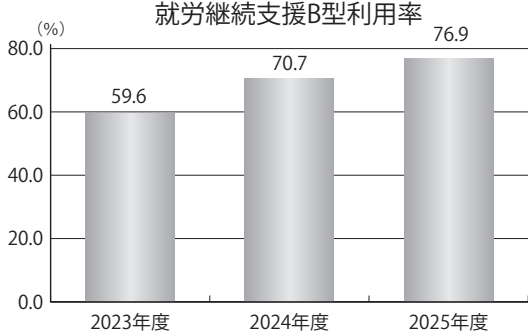
就労実績



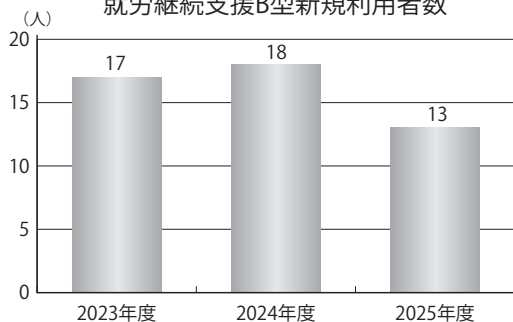
就労継続支援B型実施状況



就労継続支援B型利用率



就労継続支援B型新規利用者数



【2025 年度総括】

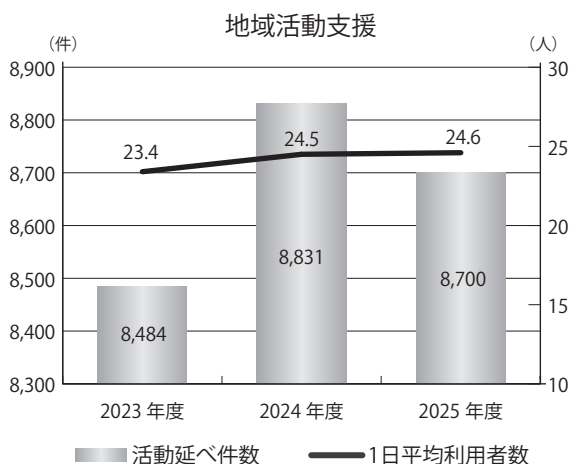
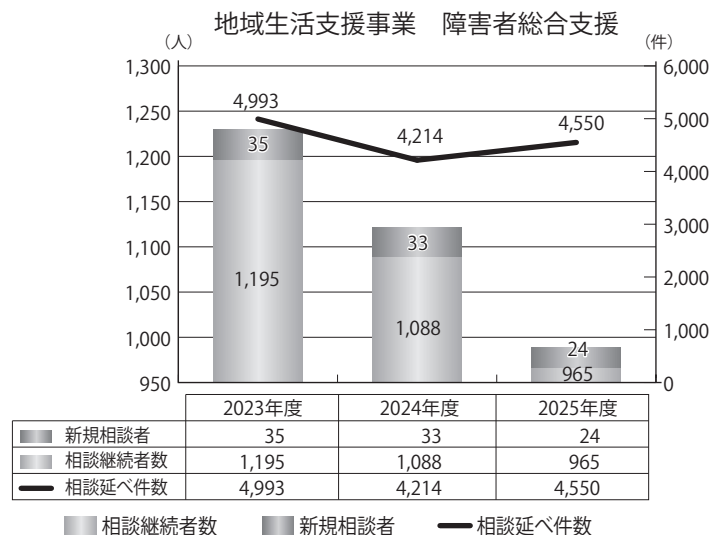
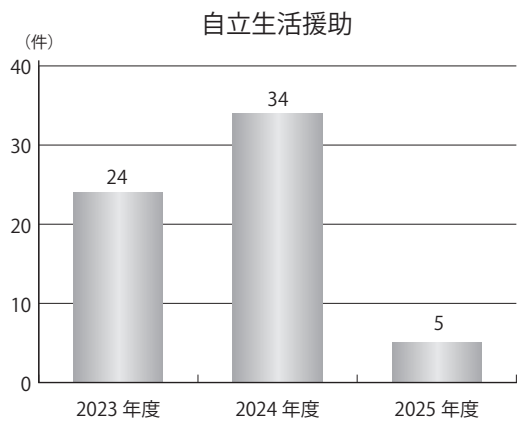
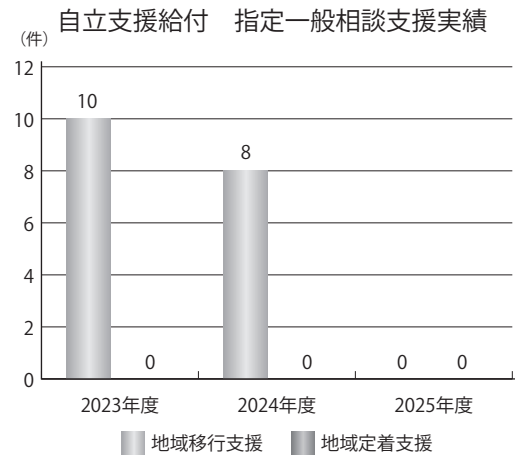
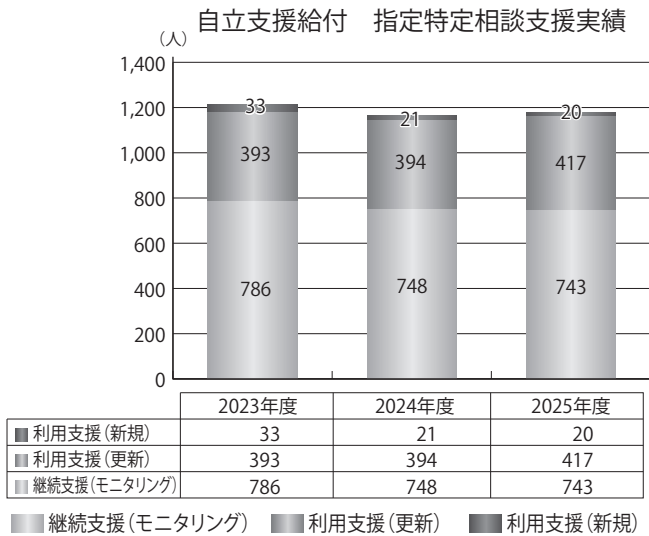
〈目標達成度〉

- ・2025度は、B型790名/月を目標値とし、年間通して概ね目標値は達成。
- ・就労移行支援利用者から就職者1名。
- ・10月から就労選択支援を開始。市役所と連携し制度の理解を深め、関係機関と協働して実施。
- ・BCP訓練を実施し、日頃の備えや災害発生時の対応、アクションカードの見直し等ができました。
- ・利用者のニーズに合わせ、積極的に就労アセスメントを実施しました。

〈総括〉

B型は延べ数も増え概ね安定した数値でしたが、就労移行支援は利用者獲得が難しいため2025年度末で終了とします。今後はB型からの就職を目指し、就労移行支援体制加算の取得を目指します。10月から開始した就労選択支援事業についても利用者獲得が課題です。ステップができる就労選択支援について積極的に発信し集客を行っていきます。就労支援は生産活動と支援とバランスが難しい現場ではあります。新たな事業（レンタル衣類）の展開や課題である利用者の安定した通所について取り組んでいきます。

地域活動支援センター ひだまり



【2025年度総括】

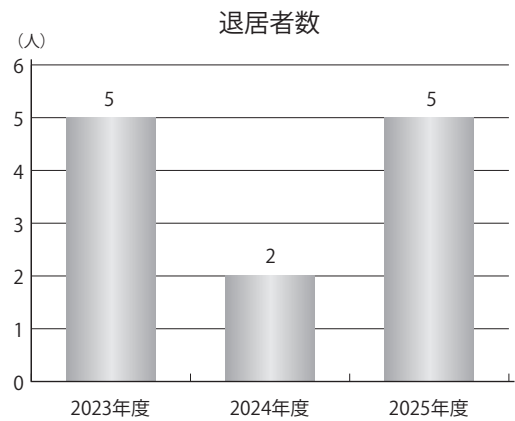
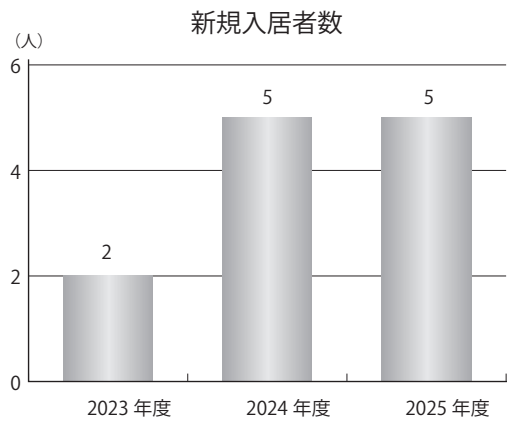
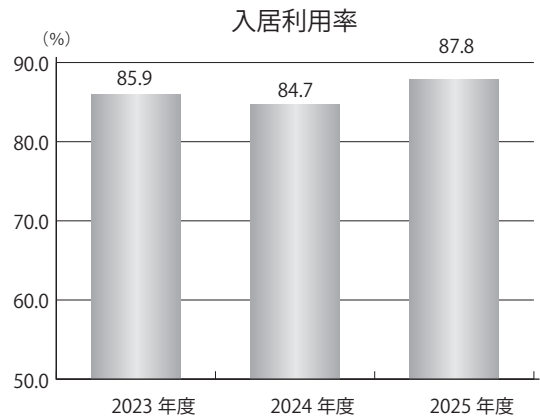
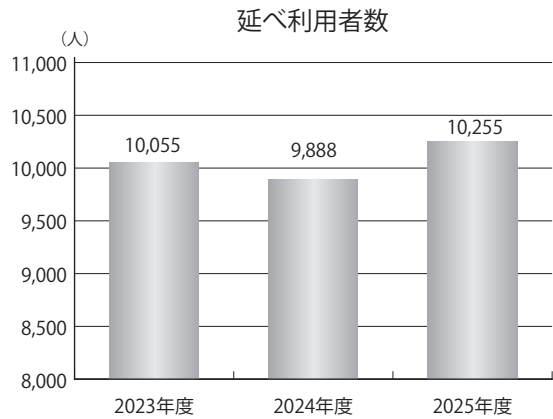
〈目標達成度〉

1. 地域活動支援センター事業の1日平均利用者数は24.6件(年間平均)目標値は達成。
2. 指定特定相談支援事業における基本報酬は月平均約98件で未達。相談支援専門員の資格失効が減少の大きな要因。
3. 指定一般相談支援事業は申請したもの、利用者の症状悪化により実績には繋がらず。自立生活援助は下半期に上記の資格失効が重なり対応できず。

〈総括〉

地域活動支援センター事業においては、今年度から新たな行事(ステップとの合同レク、映画館ツアー等)を追加。結果として行事への参加人数が年間30名ほど増加しています。鹿児島市は作業所やデイケア等が充実し、日中の居場所は大幅に増えています。そのような中でも利用者にとって居心地の良い場所を目指し、目標値を達成できるよう、利用者の声を反映した、活動や行事を企画していきます。指定特定相談支援においては、相談支援専門員の資格失効があり、実績が減少。しかし2月には資格を再取得し、3月からは新規の受け入れも再開。また今年度はDXにより、超過勤務の減少や有給休暇取得率が上昇。次年度においては、更なる業務効率化を図り、新規対応や収益増加の取り組みを行えるのではないかと考えます。

グループホーム しらゆりの郷



【2025年度総括】

〈目標達成度〉

平均入居者数は目標30名に対し28.1名と未達成。新規入居者5名、退居者5名で、昨年度比で延べ利用者数が367名増加していますが、長期の入院者や外泊者が多かったために伸び悩んでいると思料されます。

〈総括〉

個々のニーズに応じた支援を行い中間施設での役割を果たし安心安全な生活環境を提供することを重点目標としており、多様化する個々のニーズは週1回のミーティングで重点的に情報共有・意見交換して、本人の意向を踏まえながら日々の支援を行うことができたと考えます。今後も地域包括ケアシステムの中で生活支援の充実を図るため、多職種チームで支援の質向上を目指していきます。

3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）における人事交流者数（延べ人数）

		2025 年									2026 年			計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
谷山→徳之島	看護師	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
谷山→奄美	薬剤師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

認定看護師養成コース修了、臨床実習指導者養成人数

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
認 定 看 護 師	2	0	1
臨 床 実 習 指 導 者	1	0	2

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6 月 30 日現在の在院患者数

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	25	27	32
F 01 血管性認知症	5	9	6
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	33	25	24
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	11	12	4
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	0
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	209	214	210
F 3 気分（感情）障害	26	35	34
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	17	13	17
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	2	1	1
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	1	2
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	6	7	9
F 8 心理的発達の障害	4	3	2
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障	0	0	0
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	0	1	1
その他	0	1	2
計	339	349	344

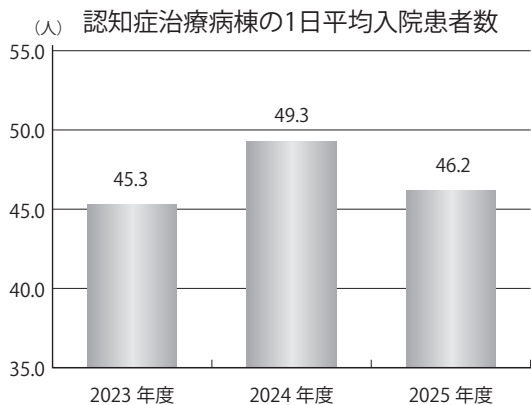
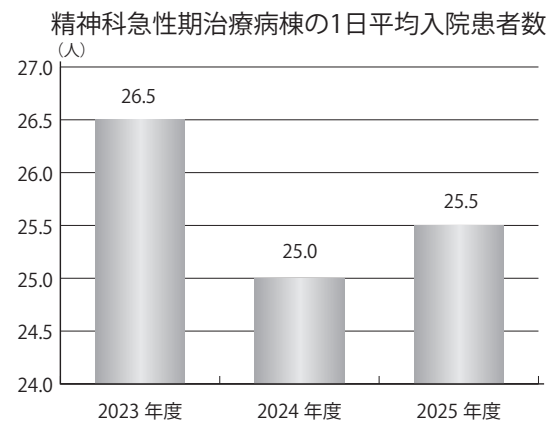
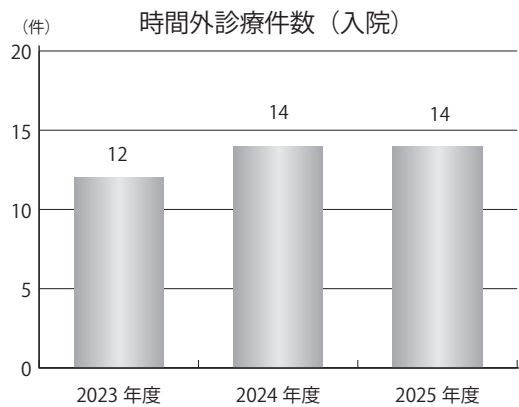
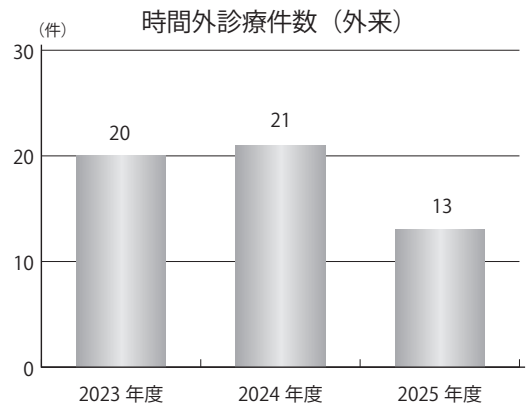
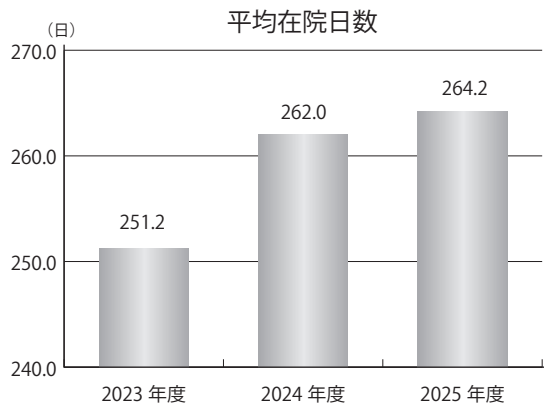
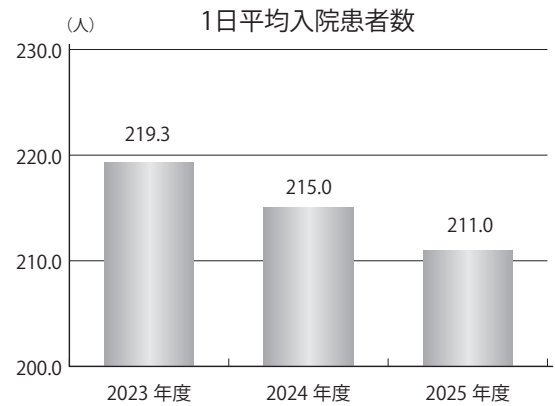
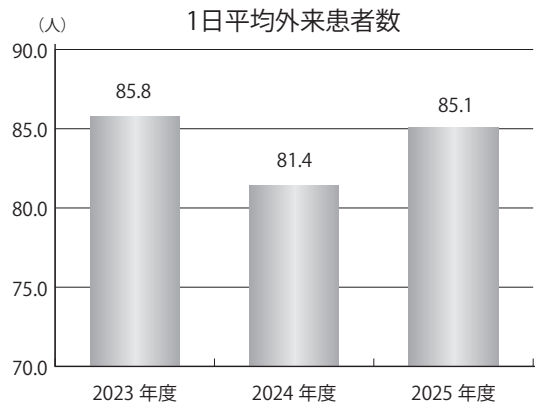
b. 6 月中に退院した患者の退院先

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
家庭復帰等	30	21	20
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	7	10	6
高齢者福祉施設	5	3	3
転院・院内転科	5	6	10
死亡	0	4	2
その他			
計	47	44	41

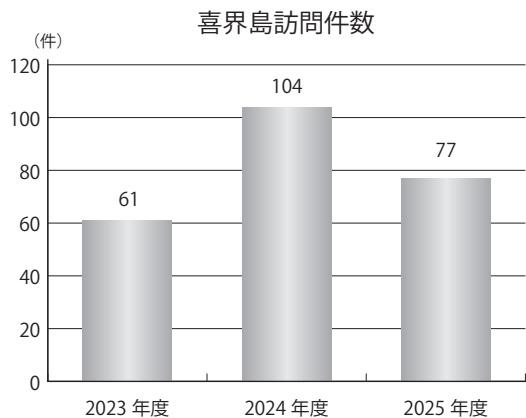
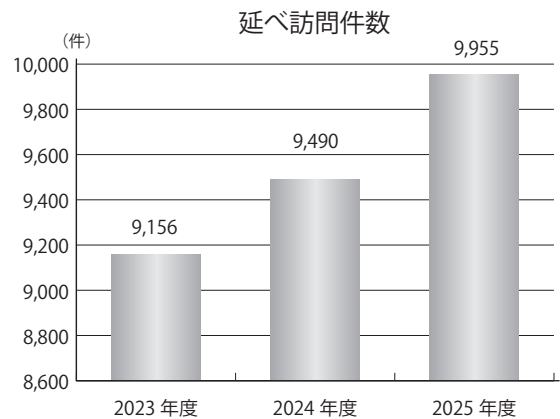
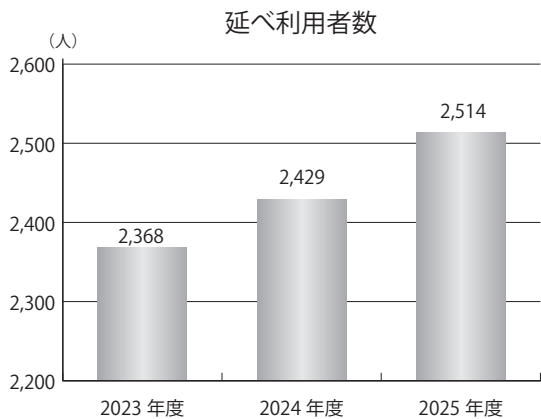
630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	57	40	37
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	34	21	16
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	7	5	6
転院・院内転科	7	3	3
死亡	1	2	4
計	49	31	29
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	8	9	8

奄美病院



訪問看護ステーション イルカ



【2025 年度総括】

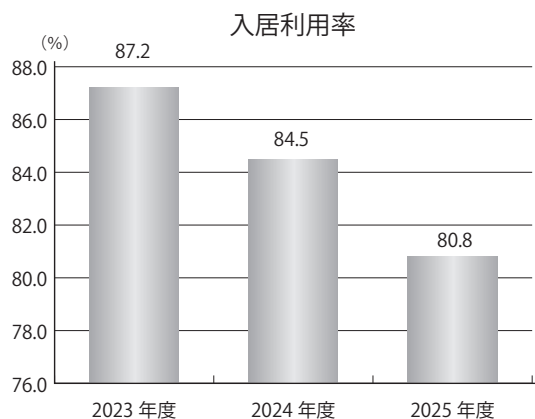
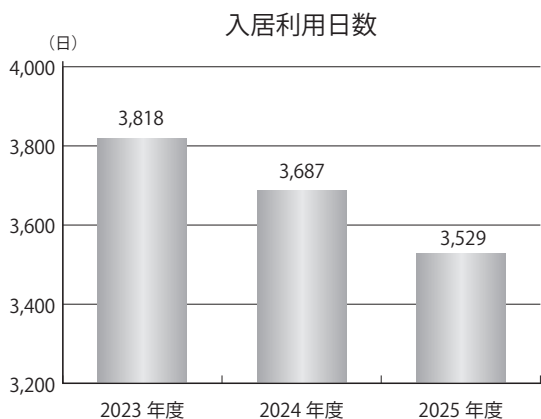
〈目標達成度〉

- | | | |
|------------|-----------------|-----|
| 1. 利用者数 | 目標205名⇒209名 | 達成 |
| 2. 訪問件数 | 目標830件/月⇒829件/月 | 未達成 |
| 3. 喜界島訪問件数 | 目標80件/年⇒77件/年 | 未達成 |
- 目標達成ならずも、前年度の訪問件数790件/月は上回るなど実績は上がっています。

〈総括〉

喜界島訪問は2024年度より2人体制とし、従来は単独での訪問でしたが2025年8月より同行訪問を行っています。利用者が11名から7名と減少しており、今後は喜界町役場との情報共有や連携を図り新規利用者獲得に努めます。チーム体制をとり患者の情報共有、定期的な話し合いを行い、利用者の訪問を個人でなくチーム体制で行っていきます。対応困難な利用者においては、医療安全のためにも同行訪問を行っています。

グループホーム ひまわり



【2025 年度総括】

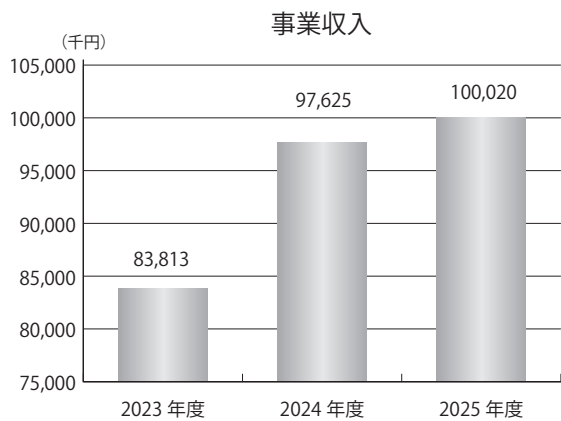
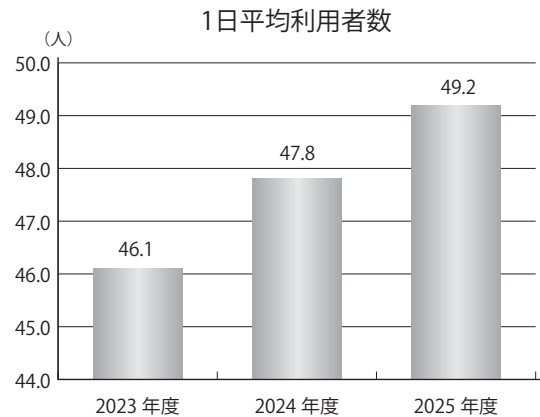
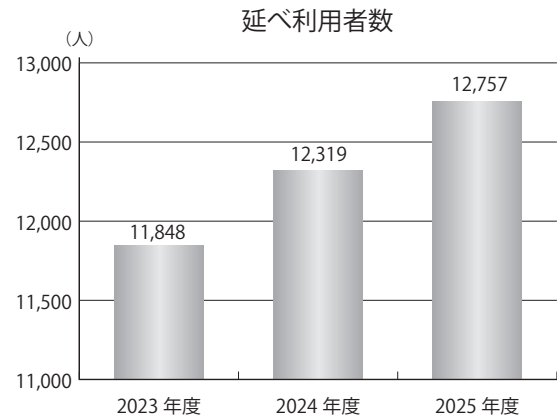
〈目標達成度〉

2025年度は入居率80.8%の実績となり目標達成することができませんでした。入院治療を必要とする方が多く、それに伴い入居利用率も年々減少しています。今後、奄美病院グループで連携をとり目標達成できるようにしていきたい。

〈総括〉

病状悪化等で利用者数・入居率共に減少傾向にありますが、体験外泊を積極的に受け入れ入居率向上に努めています。利用者の精神等を把握し、入選委員会を通して空室をなくし今後も入居者様が安心して生活できる環境を提供してまいります。

指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま



【2024 年度総括】

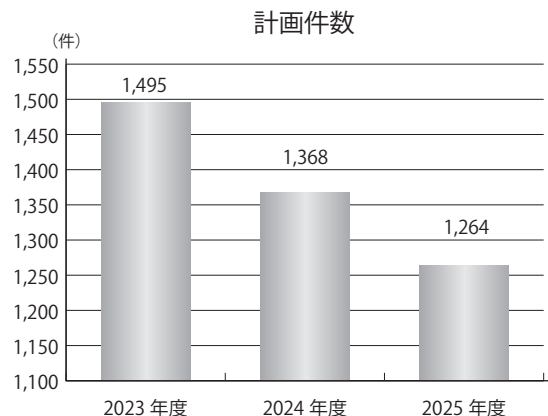
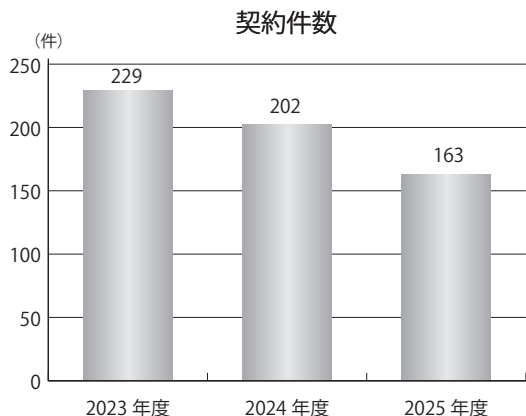
〈目標達成度〉

- ・1日平均利用者数 目標：51名、実績：49.2名
目標未達ながら、前年度比103%と増加。参加者総数も前年度比104%に増加しました。
- ・登録者数 目標：85名、実績：78名
実績として昨年度の81名から78名へと減少しました。見学・体験の数は増加し新規利用者を受け入れましたが、死亡や長期入院により契約終了となる件数が上回りました。
- ・事業収入 目標：98,000,000円、実績：100,020,248円
報酬単価が下がった分を参加者増加により補填することができ、増収となりました。

〈総括〉

利用者の高齢化などの事業所の課題を整理し、総合的に判断し、今年度はサービス提供時間の修正とそれに伴い利用者工賃の見直しを行いました。利用者の満足度や働きやすさにつながり、参加者総数および1日平均利用者数は増加しました。算定できない加算があった中で参加者数を増やし、事業収入を維持・増加する方向性で対策しました。結果として平均工賃月額区分が上がり、2026年の報酬単価増加に繋げることができました。

指定特定相談支援事業所 あゆみ



【2025 年度総括】

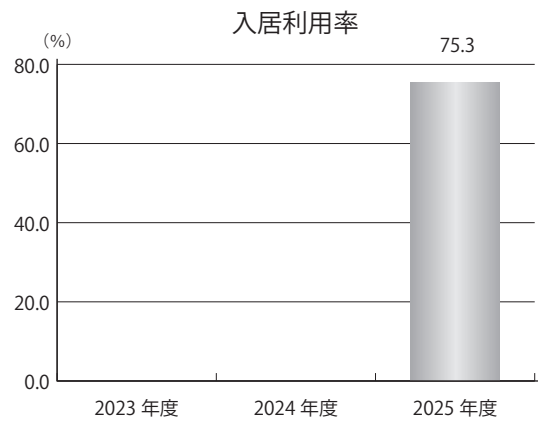
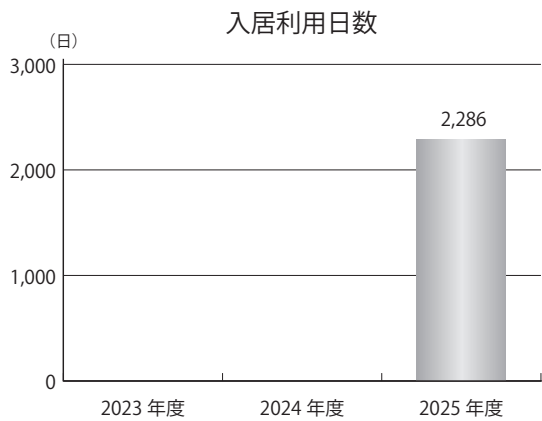
〈目標達成度〉

2025年度は相談支援専門員の人員減に伴い、契約者の他所への割り振りを行いました。そのため契約件数、計画件数共に予め目標値を下げています。契約件数は目標170件に対して年度末には163件となりました。就労訓練の結果、就職し「あゆみ」との契約を終了した者や死亡による終了者が数名いました。計画件数は、月平均90件の目標に対して105件の実績（年間1,264件）でした。

〈総括〉

2025年度の計画件数は、目標値より多くの実績をあげることができました。基本計画件数以外での加算部分を積極的に取得する意識を高めた結果といえます。しかし年間請求金額は、人員不足の影響もあり前年度費86%でした。4月の入職者が障害福祉分野に未経験ながら12月には資格を取得するなど、少しずつ体制が整いつつあり、今後他関係機関と連携し利用者に寄り添った支援の継続を目指していきます。

グループホーム ゆいはま（2025年6月開設）



【2025年度総括】

〈目標達成度〉

2025年6月に開所、入居率75.3% 月を追うごとに入居率も上げる状態ができています。1月には満床状態となり次年度の目標として90%を達成できるよう取り組んでまいります。

〈総括〉

2025年度の総括として、人員不足の中においても他部署の協力を得ながら24時間体制を維持し、安定した運営を継続することができました。また、入居者の日常生活の安定を図るとともに、日中活動への積極的な参加を促進するため、個々の状況に応じた支援に取り組みました。今後もより質の高い支援の実現に向けて、体制強化とサービス向上に努めてまいります。

3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2025 年									2026 年			計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
奄美→徳之島	看護師	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
谷山→奄美	作業療法士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	薬剤師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2023 年度	2024 年度	2025 年度
10	11	11

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6 月 30 日現在の在院患者数

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	25	17	27
F 01 血管性認知症	11	11	10
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	15	10	12
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	11	17	13
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	1
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	1	0	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	125	127	121
F 3 気分（感情）障害	12	10	13
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	4	0	6
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1	1	0
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	1	1
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	3	6	6
F 8 心理的発達の障害	0	0	0
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	2
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	1	0	0
その他	3	21	3
計	213	221	215

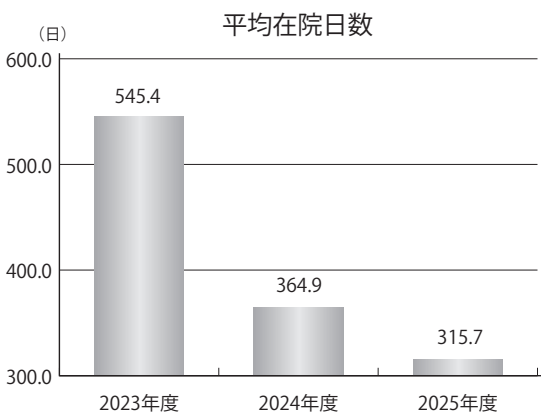
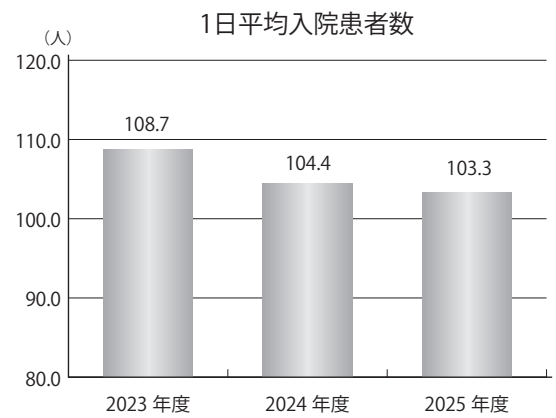
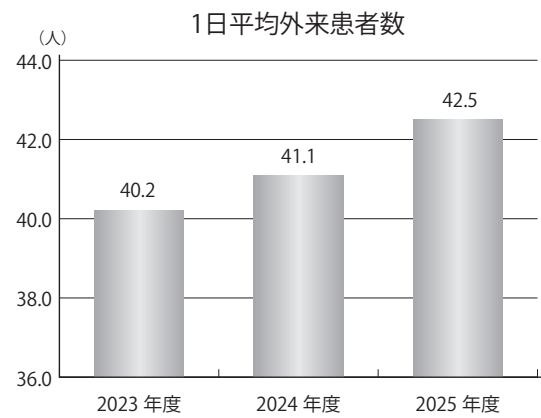
b. 6 月中に退院した患者の退院先

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
家庭復帰等	20	13	13
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	2	2	9
高齢者福祉施設	6	2	5
転院・院内転科	4	7	5
死亡	0	0	1
その他	0	0	0
計	32	24	33

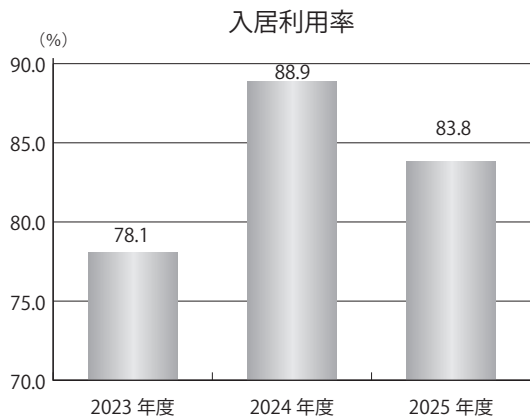
630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	21	32	26
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	11	14	12
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	4	4	0
転院・院内転科	0	4	6
死亡	0	2	2
計	15	24	20
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	6	8	6

徳之島病院



グループホーム うんばた



【2025 年度総括】

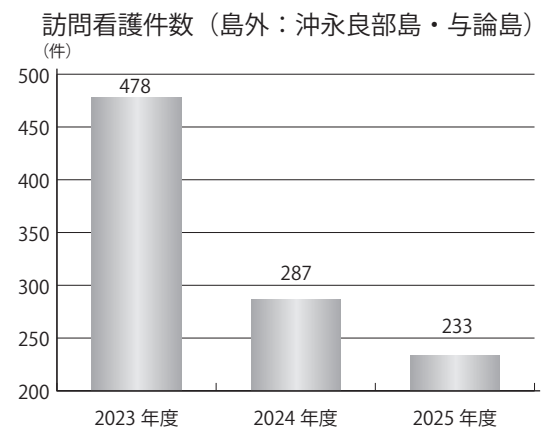
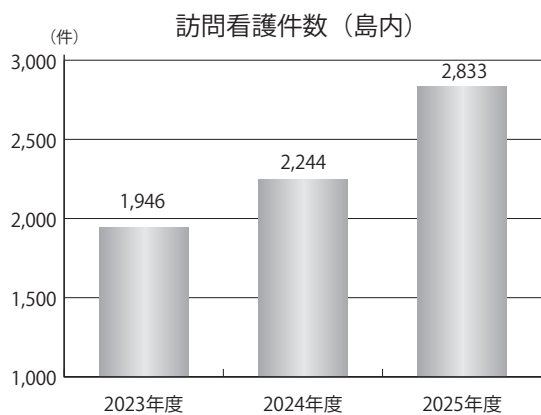
〈目標達成度〉

2025年度は全12室中11室（利用率91.7%）を入所目標に掲げ、年度末に達成することができました。目標のクリアとともに、入居者の入退所後の総合的な支援をきめ細かく行い、定期的な個別面談と日常生活における支援に世話人一同で取り組みました。

〈総括〉

グループホーム入居者の入退所後の総合的な支援として、きめ細やかな個別支援、健康管理、日常生活における生活支援を目標に掲げます。今後の方針として、利用率は満床を目指し入居者の社会復帰促進（一人暮らしへ向けた支援）をより一層進めていきます。

訪問看護ステーション わたりどり



【2025 年度総括】

〈目標達成度〉

目標：年間訪問件数	2,760件以上
月平均訪問件数	230件以上
実績：年間訪問件数	3,066件
月平均訪問件数	255件

〈総括〉

年間訪問件数及び月平均訪問件数の数値目標を達成するため、徳之島病院外来支援部や病棟との連携強化に取り組みました。医師層の変化に伴い、これまでの精神疾患に加え、神経発達症群や神経症性障害等の新規利用者の獲得につながりました。また、複数名による訪問看護についても、訪問スケジュールの調整や利用者の状況変化に応じた柔軟な対応を行った結果、目標値を上回ることができました。さらに、専門的知識に基づいた生活支援の取り組みとして、徳之島島内の相談支援事業所へ情報提供書を作成し共有することで、利用者の生活の質の向上に努めました。これにより、地域の関係機関との連携強化を図ることができました。今後の課題としては、離島（与論島・沖永良部島）への訪問看護の調整が困難な状況があります。今年度は訪問看護師の増員があったため、徳之島病院の病棟とも更に連携を強化しながら、定期的かつ安定した訪問看護が実施できる体制の構築に努めます。

3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流

		2025 年									2026 年			計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
奄美→徳之島	看護師	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

臨床実習指導者養成人数

		2023 年度	2024 年度	2025 年度
臨床実習指導者	作業療法士	1	0	0

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2023 年度	2024 年度	2025 年度
3	10	13

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6 月 30 日現在の在院患者数

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	0	1	3
F 01 血管性認知症	0	0	0
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	3	4	3
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	2	0	3
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	0
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	102	93	94
F 3 気分（感情）障害	3	0	5
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	0	0	0
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1	0	0
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	0	0	0
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	1	0	0
F 8 心理的発達の障害	0	0	0
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	1	0	0
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	1	1	0
その他	1	0	1
計	115	99	109

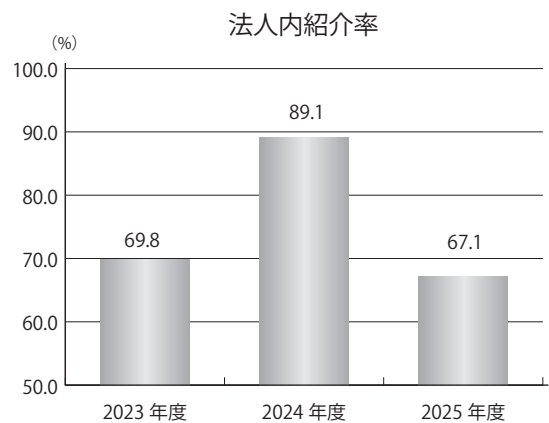
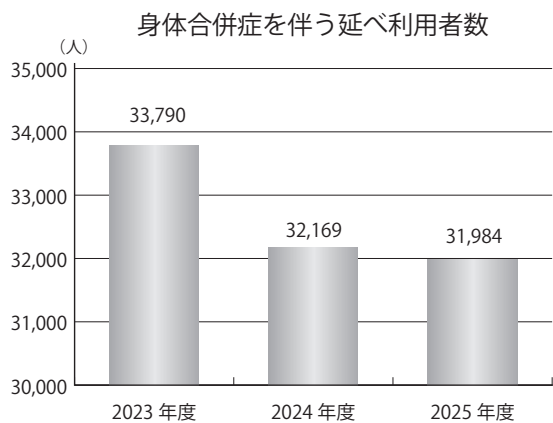
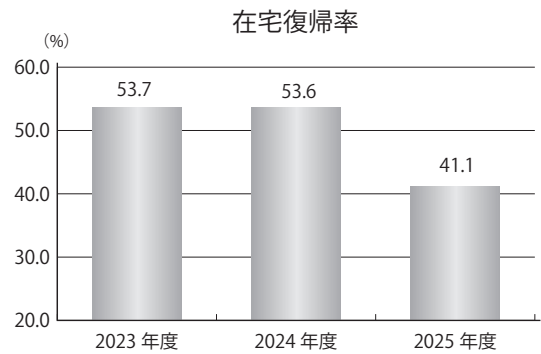
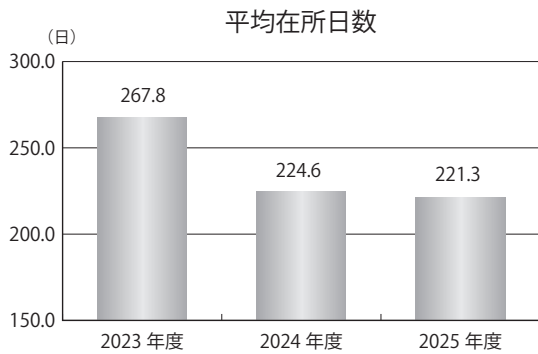
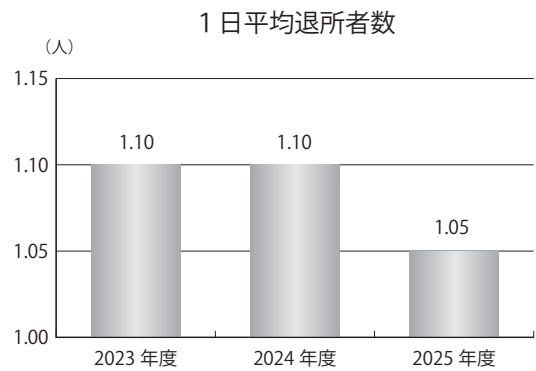
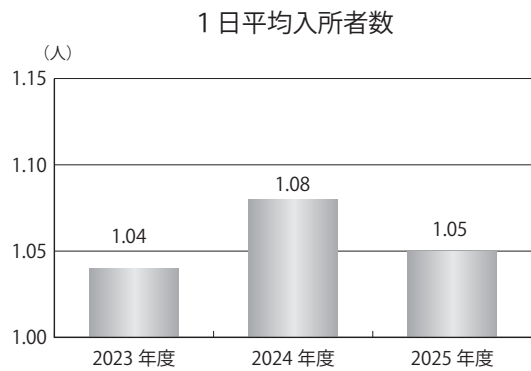
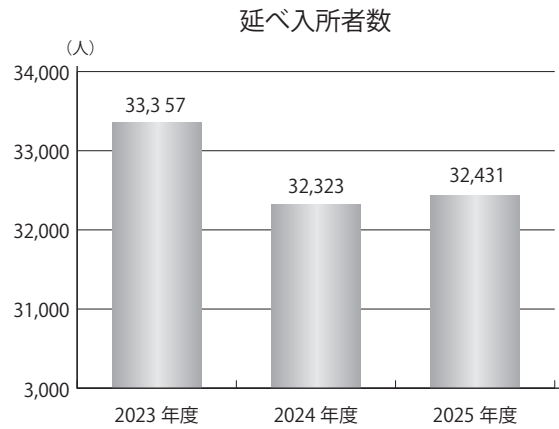
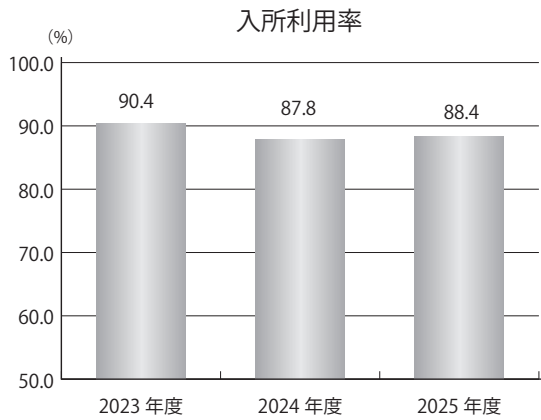
b. 6 月中に退院した患者の退院先

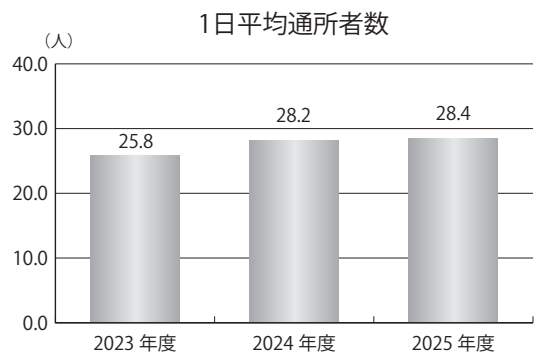
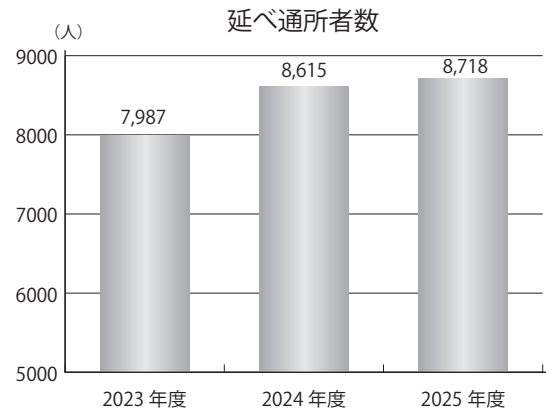
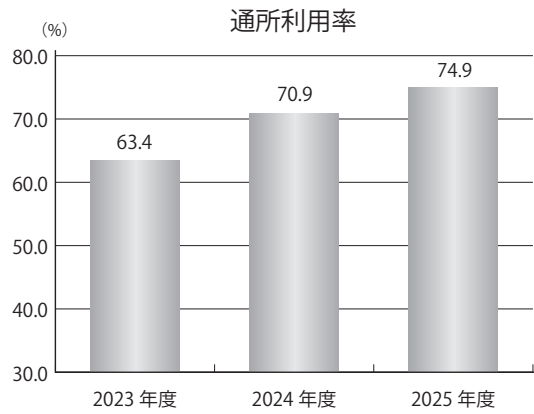
	2023 年度	2024 年度	2025 年度
家庭復帰等	2	4	2
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	0	0	1
高齢者福祉施設	0	1	0
転院・院内転科	2	3	1
死亡	0	2	1
その他	0	0	0
計	4	10	5

630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

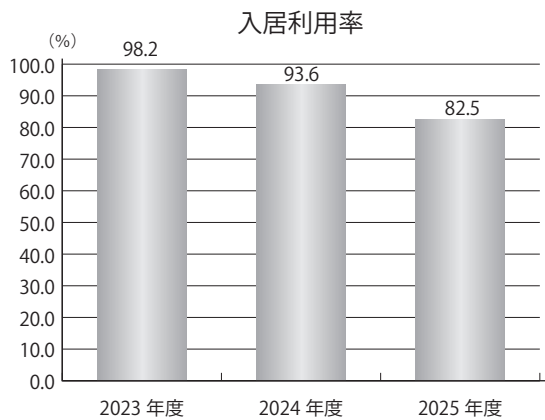
	2023 年度	2024 年度	2025 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	1	3	3
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	0	1	1
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	1	0	0
転院・院内転科	0	1	1
死亡	0	0	0
計	1	2	2
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	0	1	1

介護老人保健施設 愛と結の街





グループホーム 愛と結の街



【2025 年度総括】

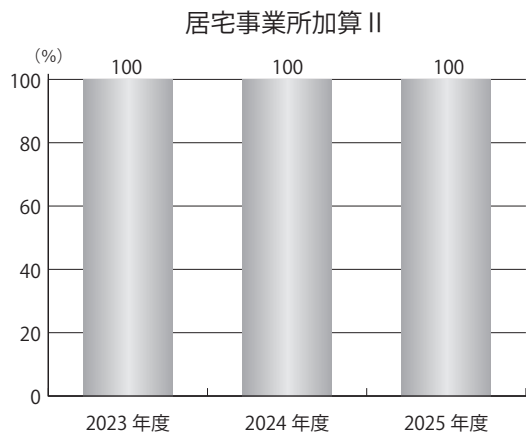
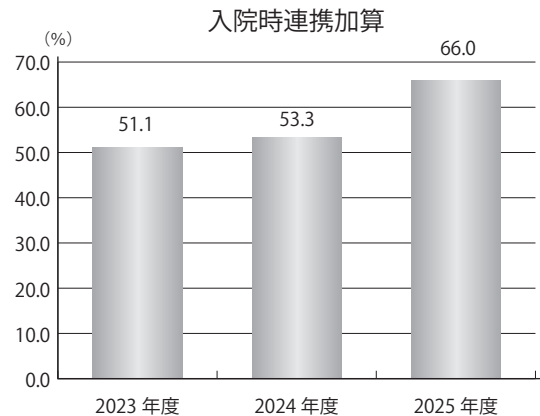
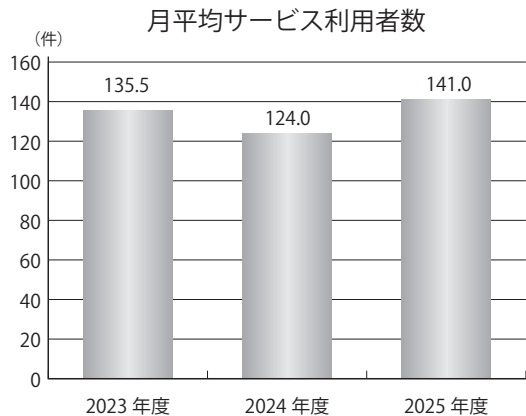
〈目標達成度〉

利用率は目標98.4%に対して年間平均82.5%となり、目標達成には至りませんでした。未達成の要因としては、ユニット体制やスタッフ配置の見直しをはじめ、複数の要因が考えられます。課題であった入居者の医療ニーズや介護量の増加に伴う重度化への対応については、一定の時間を要しましたが、体制を段階的に調整して適切なケアを提供する環境を整備することができたと思います。

〈総括〉

今年度はユニット体制の見直し（1ユニット化）、スタッフ体制の見直し等、大幅な業務改善を実施しました。入居者の関連施設異動の調整やスタッフ配置転換もあり、当初の計画通りに進まない部分もあったため、結果的に安定するまでに相当の時間を要しました。次年度は健全な運営を図れるように、利用率の安定(目標90%以上)と予防的観点から入居者の専門性の高い認知症ケア、多職種連携を推進します。

指定居宅介護支援センター 愛と結の街



【2025 年度総括】

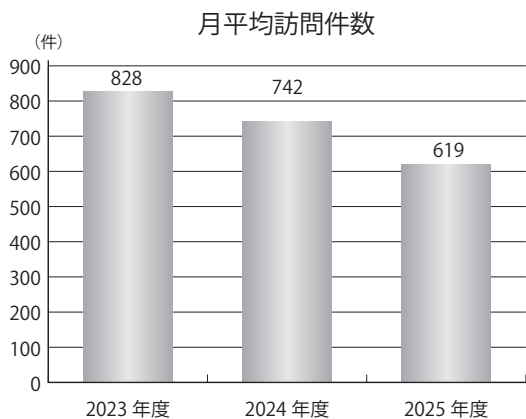
〈目標達成度〉

居宅担当件数月平均130件以上の目標値に対して月141件となり、目標達成しました。医療機関との連携による入院時連携加算算定は平均70%以上の目標値に対し平均66%と未達ながらも、前年より10%以上の伸びとなりました。今後も加算取得に取り組めます。

〈総括〉

新規の受け入れを断らない体制の構築に努めました。今後も在宅支援に向けて、柔軟に対応し、医療及び介護サービスが切れ目なく提供されるように、マネジメントを行っていきます。

ヘルパーステーション 結の街



【2025 年度総括】

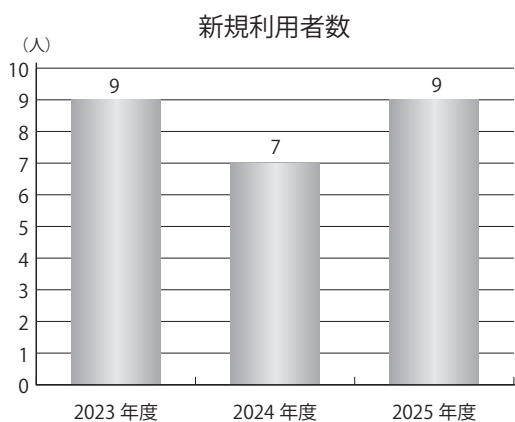
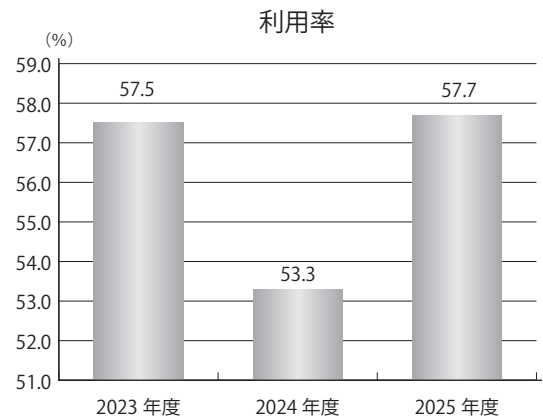
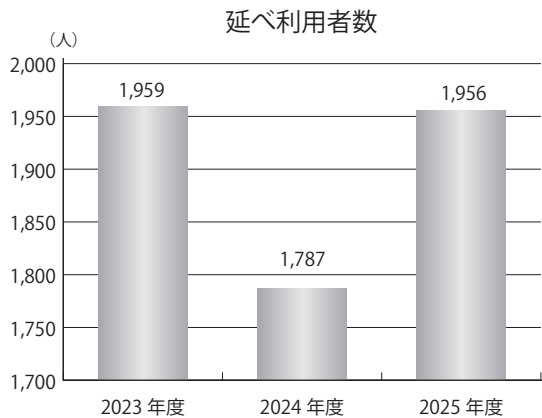
〈目標達成度〉

2025年度は、月間の目標650件に対して619件と達成できず。身体介護の件数も目標250件に対して244件とわずかに未達でした。新規利用者は年間4名の獲得でした。重度訪問介護は、利用者3名に増加し、件数が前年度の月42.5件から今年度は57.3件と増加することができました。

〈総括〉

2025年度は人員増加ができず、高齢化によるマンパワーの低下も進む中で、新規の受け入れや件数増加ができませんでした。介護保険から重度訪問介護に移行する方が増え、件数増加に対し収益は減少することになるため、今後の受け入れ方の検討が必要であると考えます。

デイサービスセンター あしたの風



【2025 年度総括】

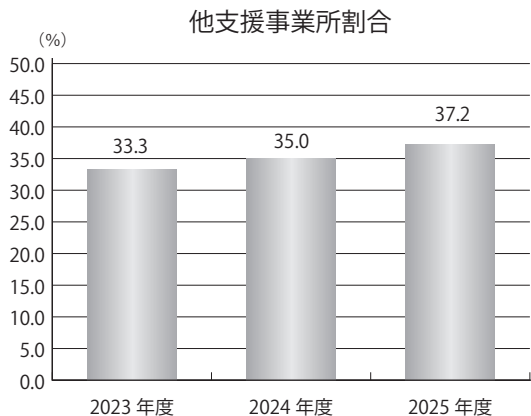
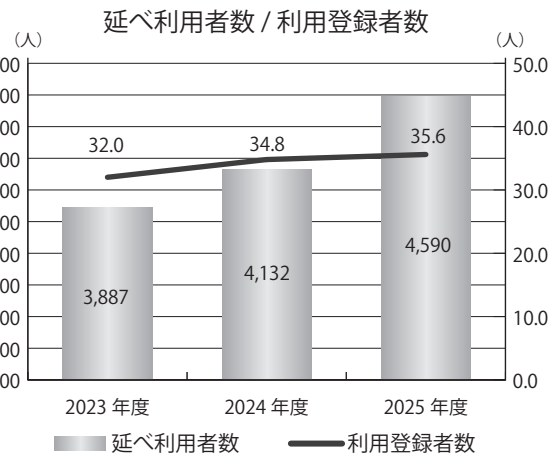
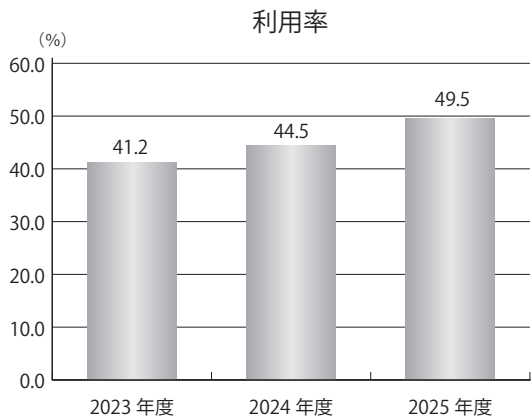
〈目標達成度〉

利用率向上および安定した事業運営に向けた取り組みを継続した結果、年間延べ利用者数・稼働率は前年度を上回る実績となりました。新規利用者の受け入れにも繋がり、地域ニーズに応じたサービス提供を行うことができました。また、毎月認知症カフェを開催し、認知症への理解促進や家族支援、地域との連携強化を図ることができました。

〈総括〉

利用者一人ひとりの認知機能や生活状況に応じた個別ケアを実践し、安心して在宅生活を継続できるよう支援を行いました。多職種および関係機関との情報共有・連携を強化し、利用者状態の変化に応じた柔軟な対応に努めました。また、認知症カフェの継続開催を通じて地域交流や相談支援機能の充実を図り、地域に開かれた事業所運営に取り組みました。

デイサービス はなぶさ



【2025 年度総括】

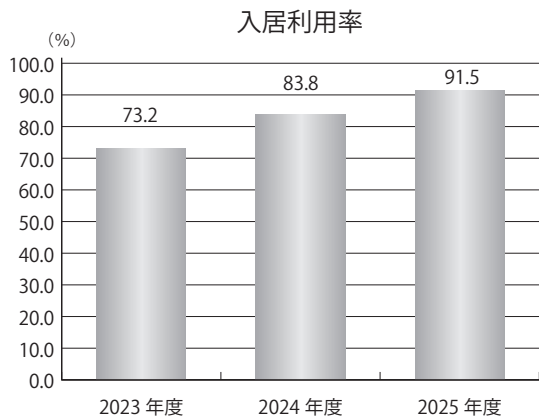
〈目標達成度〉

2025年度は稼働率55%以上を重点目標に取り組みました。年間を通じて利用相談や再開利用に繋がった結果、11月・12月には稼働率52%台を達成し、年間平均稼働率は49.5%とここ数年では最も高い水準となりました。一方で入院や体調不良による利用中止の影響もあり、目標達成には至らず、収支面で課題の残る結果となりました。今後は収支改善と利用継続向上が課題となります。

〈総括〉

ご利用者の体調や生活状況に合わせた支援を意識し、安心して通っていただける環境づくりに努めました。多職種との連携や定期的なカンファレンスを通じて情報共有を図り、サービスの質向上に繋げることができました。また職員同士で意見を出し合いながら業務改善にも取り組み、協力しながら運営を行うことができました。今後も、ご利用者・ご家族に信頼される事業所を目指し、安定した運営と更なるサービス向上に努めていきます。

住宅型有料老人ホーム あいゆいの家



【2025 年度総括】

〈目標達成度〉

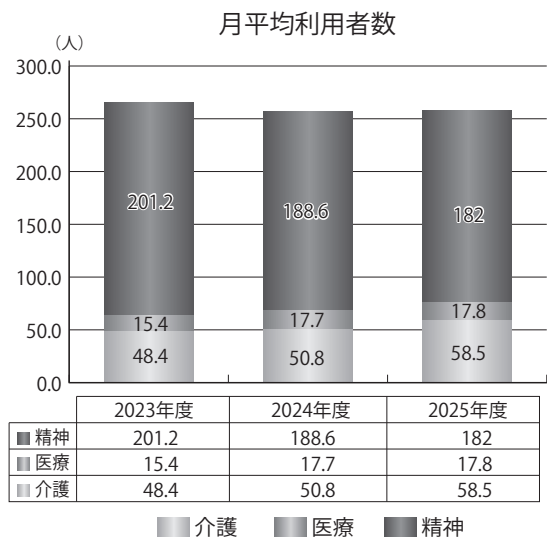
2025年度の年間入居率は91.5%に達し、前年度から8%ほど上昇しました。要因としては、前年度同様に「デイサービスはなぶさ」の利用者が在宅での生活が困難になったことに伴い入居に繋がったこと、また、老健からの退所後に次の施設への待機場所として一時的に当施設を利用されるケースなど、多様なニーズに柔軟に対応できたことが挙げられます。

〈総括〉

ご家族や他事業所（通所・訪問サービス、老健施設など）の協力のもと、入居者の方が安定した生活を送る環境を維持することができました。特にデイサービスやデイケアの利用は入居者の方の心身の健康を維持・向上させる上で、極めて重要な役割を担っています。今後も、住み慣れた「あいゆいの家」での生活を1日でも長く継続できるよう、他事業所との連携を強化し安心して生活できる環境づくりに努めてまいります。

慈愛会在宅支援部

笹貫訪問看護ステーション 愛の街



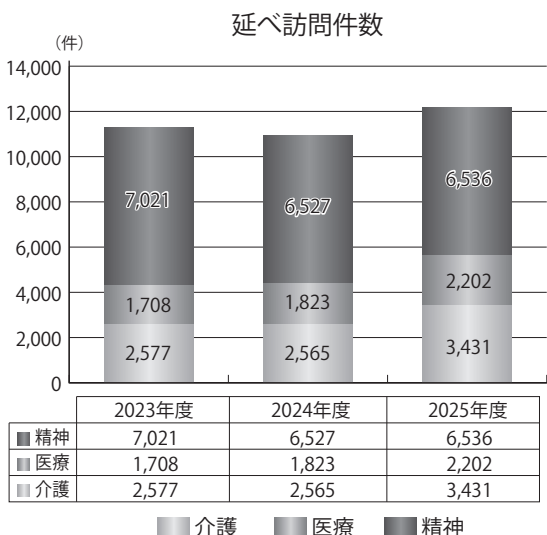
【2025 年度総括】

〈目標達成度〉

- ・目標値（12,000件）に対し実績は12,169件で目標達成。
- ・一般の医療は379件前年より増加。介護に関しても866件増加。精神は9件のみの増加でした。

〈総括〉

- ・精神科訪問介護の利用者は横ばいであり、利用者の高齢化に加え入院した場合に長期入院になっており、施設などが退院先となるケースが増加しています。
- ・一般の利用者は前年度と大きく変化はなく、介護の利用者は月平均7.7人の増加で件数増加に繋がりました。今後も法人内連携を図り、急性期・緩和ケア・終末期在宅支援を行い、安全な訪問看護を提供していきます。

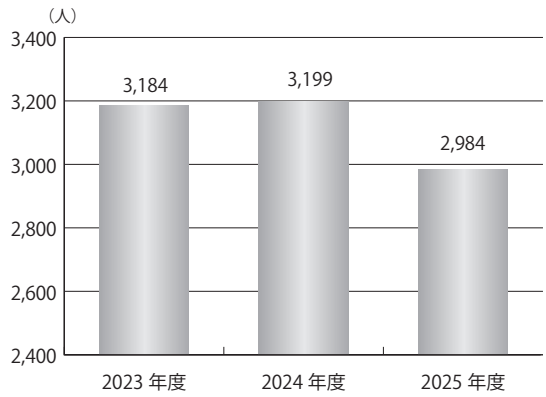


※一般の訪問看護のうち医療保険利用の訪問看護を「医療」、介護保険利用の訪問看護を「介護」として集計。

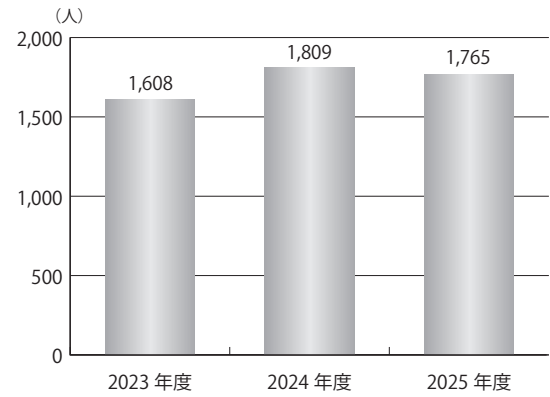
高麗町クリニック

病院施設指標

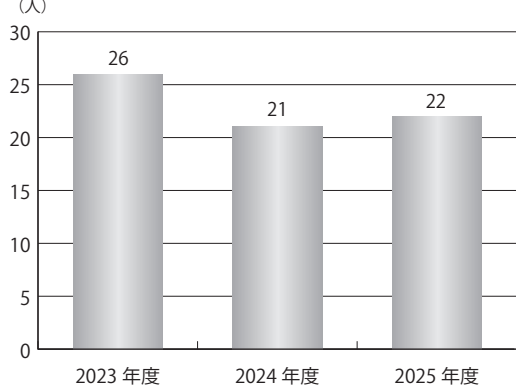
訪問診療延べ患者数



訪問リハ延べ患者数

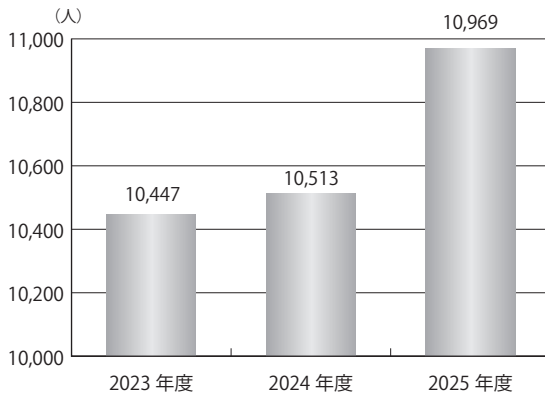


在宅看取り数

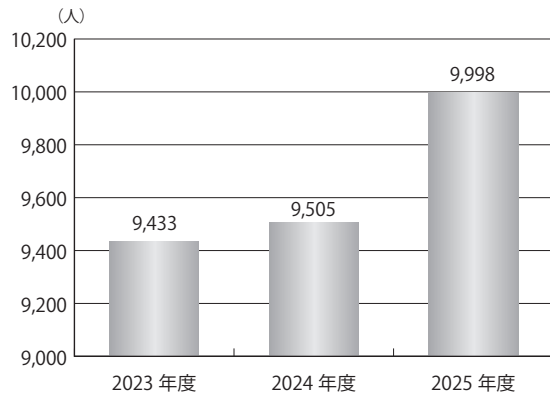


慈愛会クリニック

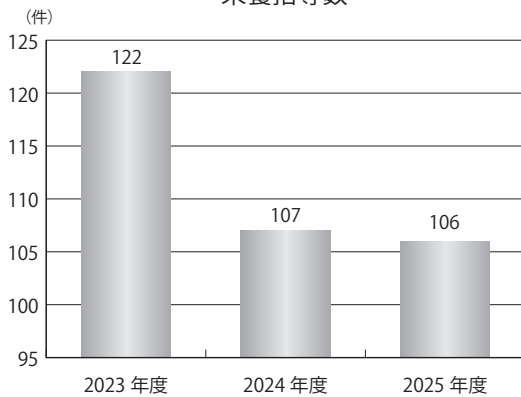
外来患者数



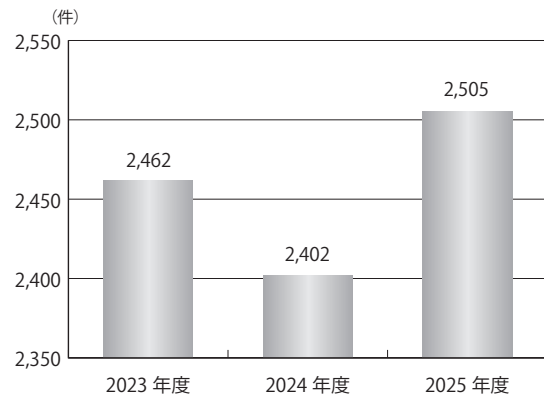
糖尿病患者延べ数



栄養指導数

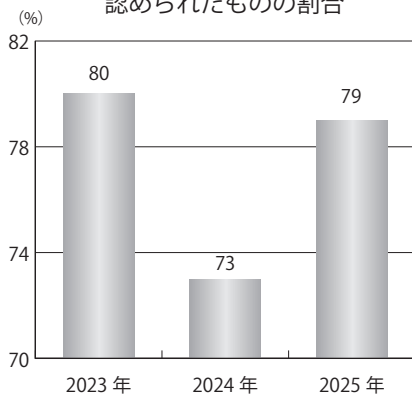


透析予防に関する指導数

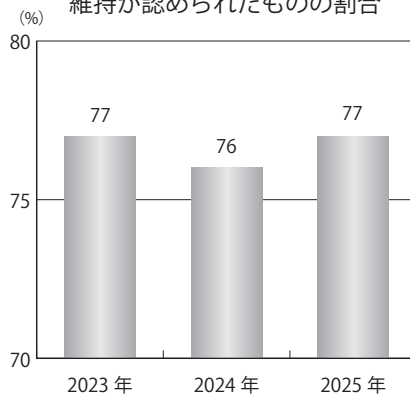


上記の透析予防に関する指導を行った患者における割合

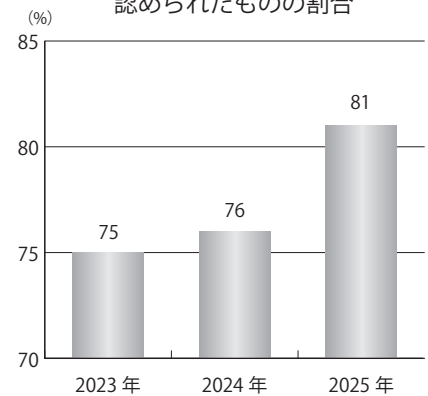
HbA1cの改善または維持が認められたものの割合



クレアチニン・eGFRの改善または維持が認められたものの割合

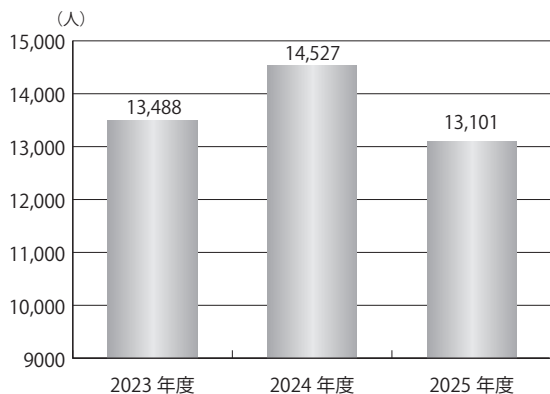


血圧の改善または維持が認められたものの割合

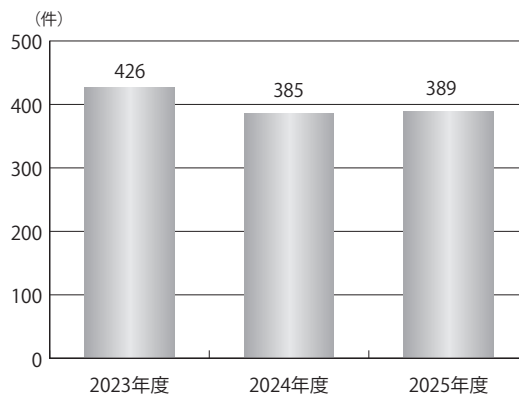


七波クリニック

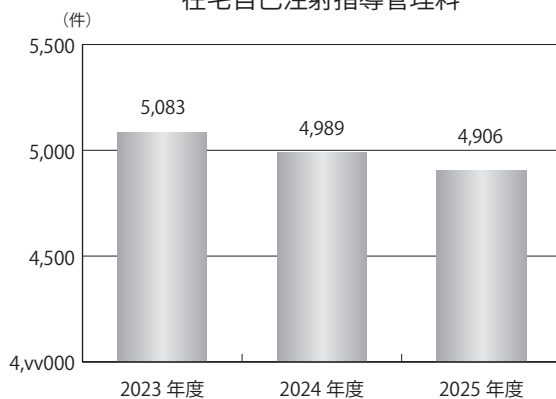
延べ外来患者数



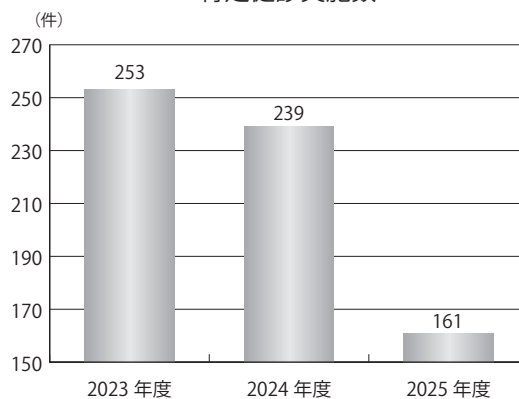
個別栄養食事指導件数



在宅自己注射指導管理料

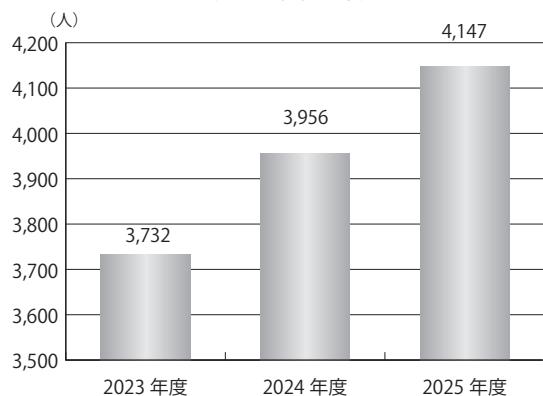


特定健診実施数

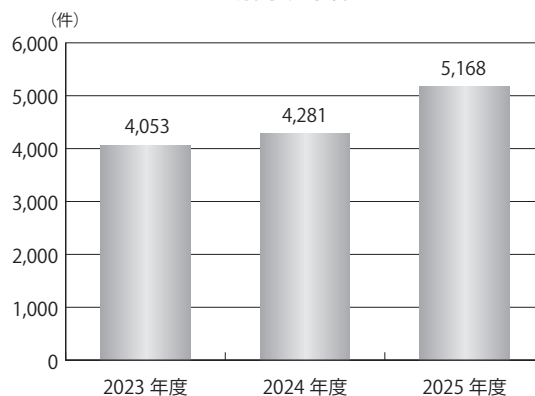


かごしまオハナクリニック

延べ外来患者数

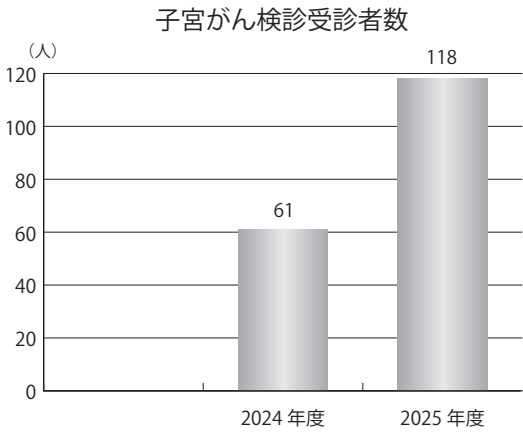
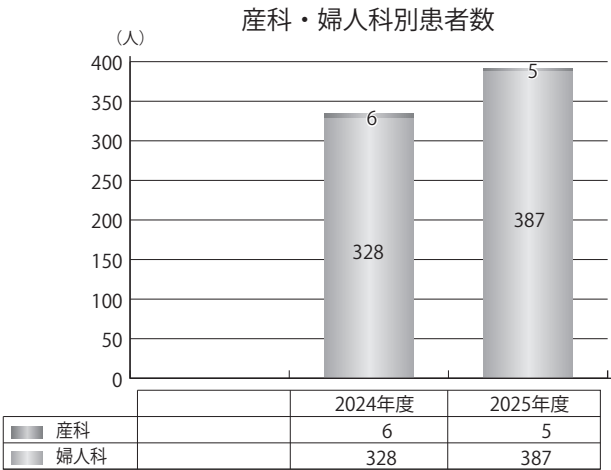
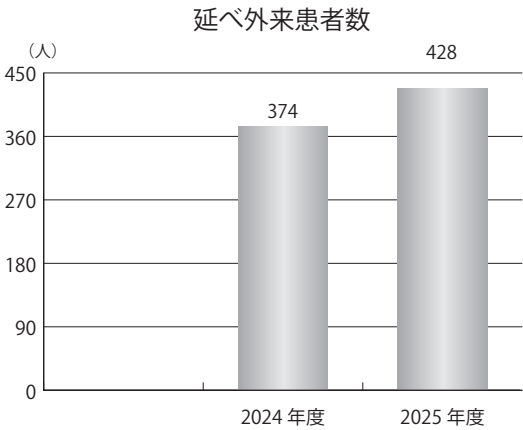


訪問診療件数



慈愛会垂水サテライトクリニック

※2024年5月診療開始

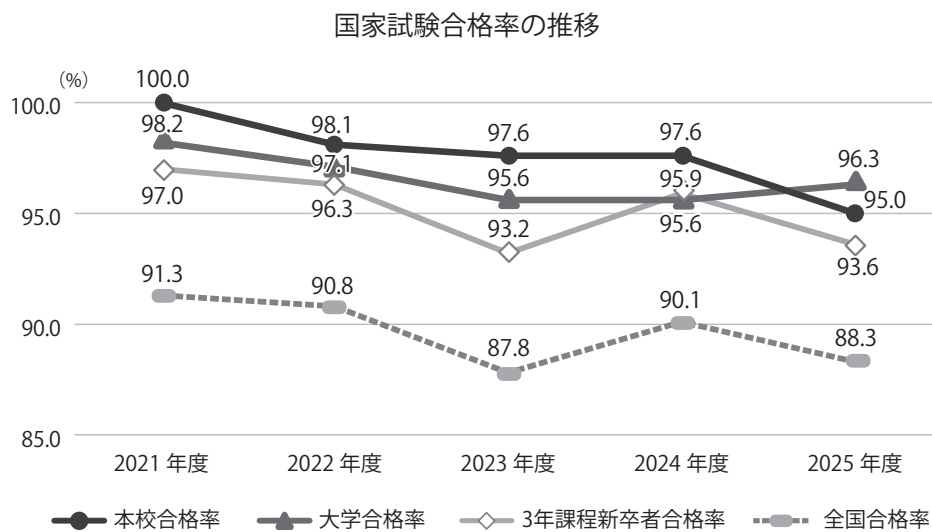
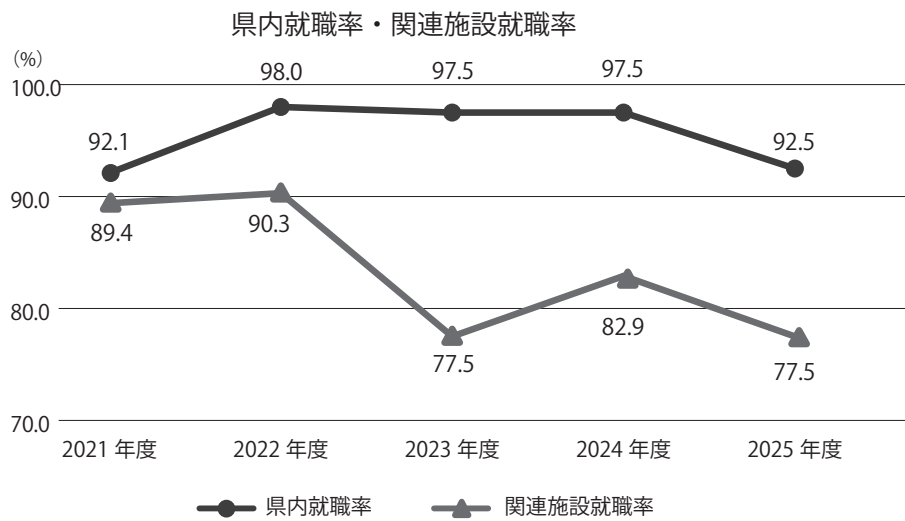


※月別実患者数の累計

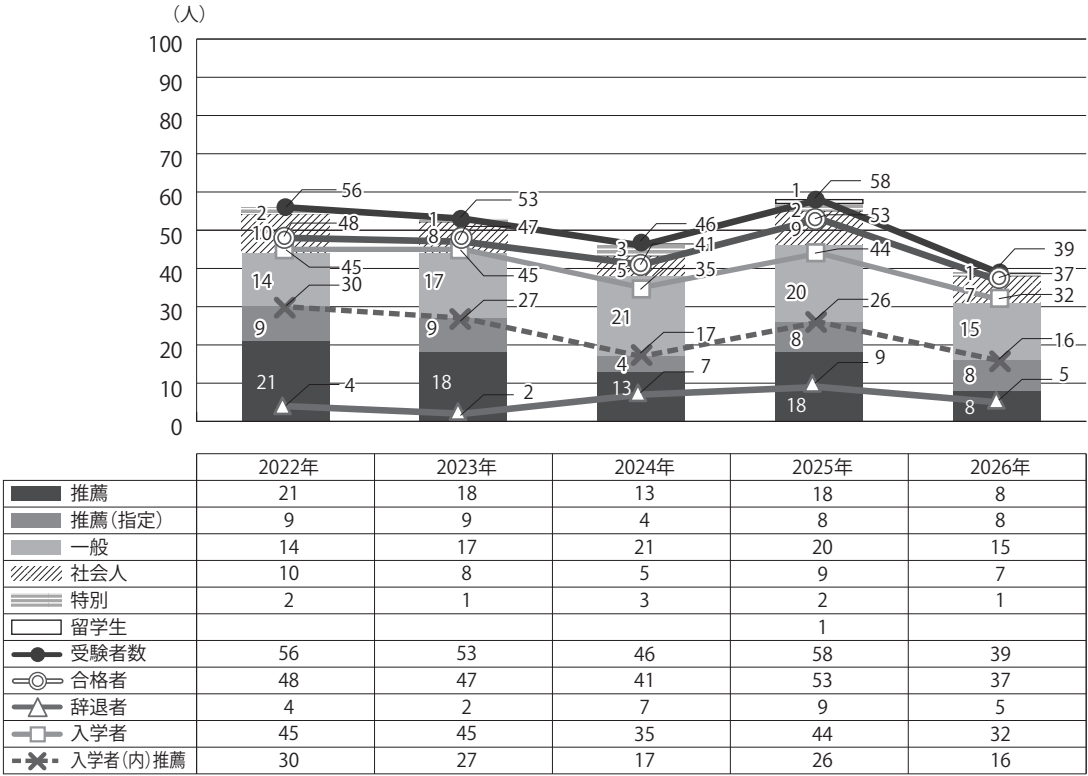
病院施設指標

鹿児島中央看護専門学校

病院施設指標



受験者数・合格者数・辞退者数推移



法人業績一覧

【論文(論文・著書・雑文)】

法人事業本部

<和文>

1. 今村英仁, 角田徹: 2024 年 世界医師会 (WMA) ヘルシンキ宣言改訂作業について - ヘルシンキ宣言改訂作業における日本医師会の関わり. 日本医師会雑誌 154(5): 537-541, 2025 年 8 月

今村総合病院

<雑文>

1. 常盤光弘: 地域と医療 医療機関と行政がともに築く未来の地域医療. 最新医療経営 PHASE3 (フェイズ・スリー) 2025 年 12 月号 Vol.496, pp74-77, 2025

救急・総合内科

今村総合病院

<著書>

1. 西垂水和隆: 総合内科診断メソッド 病歴と視診で捉える. 医学書院, 2025

膠原病・リウマチ内科

今村総合病院

<和文>

1. 伊藤加菜絵: 日常診療における血管炎—早期診断のコツと最新の治療—. 鹿児島市医報 65(3), pp29-32, 2026

血液内科

今村総合病院

<欧文>

1. Tokunaga M, Makiyama J, Shiratsuchi M, Toyama T, Oka S, Choi I, Yoshida T, Okazuka K, Utsunomiya A: A Multicenter Real-World Retrospective Study for Brentuximab Vedotin, Cyclophosphamide, Doxorubicin, and Prednisolone for Previously Untreated Patients With CD30-Positive Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma. Hematol Oncol 43(6): e70141, 2025(Nov), doi: 10.1002/hon.70141

<欧文><共著>

1. Saito M, Sato T, Hasegawa H, Tanabe K, Yoshida-Furihata H, Horibe E, Coler-Reilly A, Nojiri N, Yamauchi S, Nakashima M, Araya N, Yagishita N, Takahashi K, Sasaki D, Sagara Y, Uchimaru K, Utsunomiya A, Ki-Ryang K, Kato T, Itonaga H, Miyazaki Y, Yanagihara K, Oshima K, Arai A: Clonality analysis of HTLV-

- 1-infected cells enhances prognostic precision in smoldering adult T-cell leukemia/lymphoma. *Haematologica* 110(10) : 2513-2517, 2025(Apr), doi : 10.3324/haematol.2025.287521
2. Yoshimitsu M, Choi I, Kusumoto S, Shimokawa M, Utsunomiya A, Suehiro Y, Hidaka T, Nosaka K, Sasaki H, Rai S, Tamura S, Owatari S, Koh KR, Nakamura D, Tokunaga M, Sekine M, Sakamoto Y, Inagaki H, Ishida T, Ishitsuka K : A phase 2 Trial of CHOP with Anti-CCR4 Antibody Mogamulizumab for older Patients with Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma. *Blood* 46(12) : 1440-1449, 2025(May), doi : 10.1182/blood.2024027902
3. Sugata K, Rahman A, Niimura K, Monde K, Ueno T, Rajib SA, Takatori M, Sakhor W, Hossain MB, Sithi SN, Jahan MI, Matsuda K, Ueda M, Yamano Y, Ikeda T, Ueno T, Tsuchiya K, Tanaka Y, Tokunaga M, Maeda K, Utsunomiya A, Okuma K, Ono M, Satou Y : Intragenic viral silencer element regulates HTLV-1 latency via RUNX complex recruitment. *Nat Microbiol* 10(6) : 1447-1462, 2025(Jun), doi : 10.1038/s41564-025-02006-7
4. Itonaga H, Fukushima T, Kato K, Muranushi H, Tokunaga M, Fukuda T, Kawakita T, Kato T, Mori Y, Nakachi S, Suehiro Y, Kuriyama T, Fujioka M, Onizuka M, Ichinohe T, Ohbiki M, Atsuta Y, Fuji S, Yoshimitsu M : Bone marrow versus peripheral blood stem cells as the graft source for allogeneic transplantation from HLA-matched relative donors in adult T-cell leukemia/lymphoma. *Bone Marrow Transplant* 60(6) : 906-909, 2025 (Jun), doi : 10.1038/s41409-025-02563-9
5. Takekiyo T, Ito Y, Miyazono T, Tokunaga M, Nakano N, Odawara J, Fujino S, Dozono K, Nara S, Shimoyama S, Okamura T, Utsunomiya A : Post-transplant changes in physical functioning and quality of life in patients undergoing two allogeneic hematopoietic stem cell transplants. *Int J Hematol* 122(5) : 700-708, 2025(Jul), doi : 10.1007/s12185-025-04030-z
6. Sakamoto H, Sawayama Y, Fuji S, Kato K, Ito A, Tokunaga M, Eto T, Kawakita T, Suehiro Y, Miyazaki Y, Akizuki K, Yamamoto G, Kamimura T, Nagafuji K, Uehara Y, Ogata M, Ishitsuka K, Onizuka M, Fukuda T, Atsuta Y, Yoshimitsu M : Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Older Patients With Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma : A Nationwide Retrospective Study. *Transplant Cell Ther* 31(11) : 924.e1-924.e12, 2025(Aug), doi : 10.1016/j.jtct.2025.08.019
7. Konuma T, Shimomura Y, Mizuno S, Yamasaki S, Yui S, Uchida N, Doki N, Tanaka M, Yoshihara S, Eto T, Katayama Y, Katsuoka Y, Tokunaga M, Ota S, Sakata-Yanagimoto M, Ishiwata K, Kanda Y, Kawakita T, Onizuka M, Kanda J, Fukuda T, Atsuta Y, Yanada M : Prognostic factors for allogeneic haematopoietic cell transplantation outcomes in primary refractory acute myeloid leukaemia (2013-2022). *Br J Haematol* 207(2) : 484-497, 2025 (Aug), doi : 10.1111/bjh.20208
8. Karpe SD, Artesi M, Wayet J, Durkin K, Hahaut V, Uchimar K, Makiyama J, Iwanaga M, Utsunomiya A, Kolijn PM, Langerak AW, Burny A, Marçais A, Hermine O, Watanabe T, Georges M, Van den Broeke A : A viral clonality evenness score to predict progression to adult T-cell leukaemia in asymptomatic carriers of human T-lymphotropic virus type 1 in Japan : a retrospective longitudinal cohort study. *Lancet Microbe* 6(11) : 101198, 2025(Nov), doi : 10.1016/j.lanmic.2025.101198
9. Yoshimitsu M, Itonaga H, Kato K, Tokunaga M, Fujioka M, Uchida N, Mori Y, Itoh A, Serizawa K, Eto T, Yonezawa A, Uehara Y, Endo S, Ishitsuka K, Kanda Y, Fukuda T, Atsuta Y, Fuji S : Second Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma : A Nationwide Registry Analysis. *Transplant Cell Ther* : Online ahead of print, 2025 (Dec), doi : 10.1016/j.jtct.2025.12.992

<雑文>

1. 宇都宮興:我夢中人 卓球がもたらしたもの ―卓球とともに生きる人生―. 大塚葉報 2026年1・2月合併号(No.812). 大塚ホールディングス株式会社, pp30-33, 2026

消化器内科

今村総合病院

<欧文><共著>

1. Koga T, Ishida Y, Hashigo S, Shimokawa Y, Harima H, Okamoto K, Ohno A, Miyagahara T, Fujita T, Fukuchi S, Takahashi K, Taguchi H, Araki N, Ohtsuka Y, Uekitani T, Tsuneyoshi K, Akiyama T, Ishigaki N, Maruo T, Saito H, Ihara R, Yamasuji A, Oe S, Yoshinari M, Sagami R, Fujimori N, Fukuda Y, Ozawa E, Jikuya K, Shinohara H, Sen-yo M, Ueki T, Tsuchiya N, Kitaguchi T, Matsumoto K, Fukuyama M, Hirai F: Feasibility and safety of EUS-guided biliary drainage in inexperienced centers : a multicenter study in southwest Japan. *Gastrointestinal Endoscopy* 101(4) : 843-852, 2025(Apr), <https://doi.org/10.1016/j.gie.2024.09.014>
2. Araki T, Shirakawa T, Shimokawa M, Otsuka T, Hayashi K, Sonoda Y, Honda T, Miyaaki H, Nakazawa J, Shimokawa H, Shinohara Y, Koga F, Oza N, Oda H, Takeshita S, Arima S, Arita S, Kawaguchi Y, Nishikawa K, Otsu S, Taguchi H, Jikuya K, Sakai T, Ueda Y, Sakae T, Araki N, Sawase H, Ide Y, Kawahira M, Nio K, Mizuta T, Mitsugi K : Chemotherapy-induced neutropenia predicts short-term outcome of patients with pancreatic cancer treated with nanoliposomal irinotecan, fluorouracil, and folinic acid. *International Journal of center* 158(1) : 140-152, 2025(Aug), <https://doi.org/10.1002/ijc.70072>

脳神経内科

今村総合病院

<和文>

1. 吉元裕亮, 神田直昭 : 脳梗塞慢性期の抗血小板療法のポイント～脳卒中ガイドライン 2021 (改訂 2025) の変更点を中心に～. *鹿児島県内科医会報* 57 : 14-16, 2026

循環器内科

今村総合病院

<欧文>

1. Ohno A, Higo K, Hiwatari S, Kawabata T, Nakashima H, Ohishi M : Visualization of vascular inflammation using diffusion-weighted whole-body imaging with background body signal suppression. *Ann Vasc Dis : Online ahead of print*, 2025

小児科

今村総合病院

<欧文><共著>

1. Seki Y, Kakimoto H, Tamada I, Oku S, Morita S, Tokunaga M, Mizota M, Amano N, Uchida N, Hasegawa T, Okamoto Y : Phenotypic variation among four members in a family with DAX1 deficiency. *J Pediatr Endocrinol Metab* 38(11) : 1237-1240, 2025

<雑文>

1. 溝田美智代 : 始良地区成長曲線パイロット事業について. *始良地区医師会報*, pp 4-6, 2025

脳神経外科・ガンマナイフセンター

今村総合病院

<欧文>

1. Masuda K, Higa N, Akahane T, Baba S, Yatsushiro K, Yonezawa H, Uchida H, Makino R, Takajo T, Kirishima M, Isoda T, Kuga D, Yoshimoto K, Tanimoto A, Hanaya R : Potential of Preoperative 11C-Methionine Positron Emission Tomography in Predicting EGFR Alterations and CDKN2A/B Homozygous Deletion in Diffuse Astrocytic Gliomas. Cureus 17(7) : e87747, 2025(Jul), doi : 10.7759/cureus.87747

<雑文>

1. 八代一孝：新型ガンマナイフ Esprit の新規導入と病院価値の醸成. 月刊新医療 52(12). エム・イー振興協会, pp36-39, 2025

外科・消化器外科

今村総合病院

<和文>

1. 米盛圭一, 上之園芳一, 田辺寛, 馬場研二, 大塚隆生：神経性やせ症による極度の低体重を呈した進行上行結腸癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌 86(10) : 1363-1368, 2025

<和文><共著>

1. 日高翼, 久保莞太, 田辺寛, 出口楽々, 馬場研二, 黒島直樹, 和田真澄, 向田眞志保, 大塚隆生, 小野智司, 重井徳貴：腹腔鏡下手術映像における時系列行動セグメンテーションのアンサンブル手法の提案. 知能と情報 37(1) : 571-576, 2025

<雑文> 1. 帆北修一：編集後記. 鹿児島市医報 64(4), pp61, 2025

2. 帆北修一：論説と話題 新しい地域医療構想. 鹿児島市医報 64(11). pp6-9, 2025

3. 帆北修一：編集後記. 鹿児島市医報 64(12). pp99, 2025

スポーツ整形外科

今村総合病院

<欧文>

1. Nakajyo M, Fujimoto Y, Uezono N, Ijuin T, Shimanoe K, Taniguchi N : Staged Hip Arthroplasty and High Tibial Osteotomy for Ipsilateral Knee Osteoarthritis After Hip Arthrodesis : A Case Report. JBJS Case connector : Online ahead of print, 2026, <http://dx.doi.org/10.2106/JBJS.CC.25.00603>

<和文>

1. 前園恵慈, 海江田英泰, 中條正英, 福島佳織：陸上長距離選手に生じた仙骨疲労骨折の臨床像と発生高位・進展様式の検討 : Analysis of clinical features, location, progression pattern of sacral stress fracture in Long Distance Runners. 日本臨床スポーツ医学会誌 34(1) : 120-125, 2026

<和文><共著>

1. 吉田研吾, 海江田英泰, 福島佳織: 鏡視下腱板修復術後における再断裂と危険因子の保有数について. 肩関節 49(1): 138-141, 2025, doi: <https://doi.org/10.11296/katakansetsu.49.138>

<雑文>

1. 福島佳織: こどものスポーツ傷害の実態 ～発生機序・診療・予防～. 鹿児島県小児科医会会報. 鹿児島県小児科医会, pp34-35, 2026 年 3 月

皮膚科

今村総合病院

<欧文>

1. Yonekura K, Muto I, Takenaka M, Aoi J, Fujimura T, Amano M, Kanekura T, Miyagi T, Saito K, Kiyohara E, Shimauchi T, Watanabe K, Miyake T, Ito T, Uhara H, Fujii K, Sudo A, Watanabe T, Iwatsuki K, : An Open-Label, Multicenter, Phase II Study of Bexarotene in Patients with Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma. J Dermatol 52(11): 1619-1628, 2025(Nov), doi: 10.1111/1346-8138.17919

<欧文><共著>

1. Hamada T, Sugaya M, Sakaida T, Hirai Y, Boki H, Shimauchi T, Hisamoto T, Kiyohara E, Fujii K, Sunagawa K, Ozaki S, Ohnishi K, Izutsu K, Shiratori S, Amagai R, Yonekura K, Iwata M, Miyagaki T, Koga H, Uchi H, Nakamura Y: Japanese Dermatological Association Guidelines: Outlines of Japanese Guidelines for the Management of Primary Cutaneous Lymphomas 2025. J Dermatol 52(12): e1017-e1056, 2025(Dec), doi: 10.1111/1346-8138.70037
2. Aoki M, Fujii K, Yonekura K, Nishida H, Iwata M, Tozawa T, Ikoma T, Matsushita S: Efficacy and Safety of Helical Tomotherapy Combined With Paclitaxel in Cutaneous Angiosarcoma. J Dermatol 52(12): 1888-1891, 2025(Dec), doi: 10.1111/1346-8138.17981
3. Nakashima S, Nakano M, Fukami T, Ishida T, Ri M, Ishitsuka K, Eguchi G, Maeda Y, Yonekura K, Sasaki H, Iida S, Ueda R, Osabe M, Tohkin M, Nakajima M: Germline or somatic mutations in genes encoding microRNAs as biomarkers predicting the risk of adult T-cell leukemia/lymphoma. J Hum Genet 71(3): 137-144, 2026(Mar), doi: 10.1038/s10038-025-01417-y

<和文>

1. 米倉健太郎: 【最近のトピックス 2025 Clinical Dermatology 2025】皮膚疾患治療のポイント 成人 T 細胞白血病 リンパ腫の新規治療 (解説). 臨床皮膚科 (0021-4973) 79(5): 149-153, 2025 年 4 月

<和文><共著>

1. 濱田利久, 菅谷誠, 坂井田高志, 平井陽至, 坊木ひかり, 島内隆寿, 久本晃義, 清原英司, 藤井一恭, 砂川湜, 尾崎紗恵子, 大西かよ子, 伊豆津宏二, 白鳥聡一, 天貝諒, 米倉健太郎, 岩田昌史, 宮垣朝光, 古賀弘志, 内博史, 中村泰大: 日本皮膚科学会ガイドライン 皮膚がん診療ガイドライン第 4 版 皮膚リンパ腫診療ガイドライン 2025 (解説). 日本皮膚科学会雑誌 (0021-499X) 135(6): 1433-1529, 2025 年 5 月

眼科

今村総合病院

<欧文>

1. Nagayama M, Terasaki H, Mihara N, Funatsu R, Okamura K, Miyake S, Sonoda S, Sakamoto T : Short-term outcomes of intravitreal brolucizumab injection and sub-Tenon injection of triamcinolone acetonide for diabetic macular edema : a pilot study. J Vitreoretin Dis : Online ahead of print, 2025 Dec. doi:10.1177/24741264251405057

<欧文><共著>

1. Yamashita T, Asaoka R, Iwase A, Sakai H, Terasaki H, Sakamoto T, Araie M : Association between fundus sex index and hypertension, diabetes mellitus, and smoking in the Kumejima study. Jpn J Ophthalmol : Online ahead of print, 2026(Mar), doi:10.1007/s10384-026-01334-3
2. Kawano H, Nakazawa M, Kawano K, Terasaki H, Sakamoto T : A case report of late-onset Leber's hereditary optic neuropathy diagnosed following vision loss after cataract surgery. Neuroophthalmology 50(2) : 180-185, 2025, doi:10.1080/01658107.2025.2495295
3. Suzuma K, Murata T, Shimura M, Yoshida S, Kishino G, Berliner AJ, Chu KW, Sakamoto T : Intravitreal aflibercept 8 mg in patients from Japan with diabetic macular edema : 48-week subgroup analysis of the PHOTON trial. Jpn J Ophthalmol 70(1) : 123-138, 2026, doi:10.1007/s10384-025-01271-7
4. Sonoda S, Okamura K, Terasaki H, Yamanari M, Totani K, Sakamoto T : Choroidal fibrosis in secondary focal choroidal excavation detected by polarization-sensitive OCT : a report of two cases. Jpn J Ophthalmol : Online ahead of print, 2025(Dec). doi:10.1007/s10384-025-01317-w
5. Ueda-Arakawa N, Sato Y, Miyake M, Takahashi A, Mori Y, Miyara Y, Sakamoto T : Impact of reticular pseudodrusen on clinical and ocular characteristics and progression rate of geographic atrophy in Japanese patients. Ophthalmol Sci 6(2) : 100984, 2025, doi:10.1016/j.xops.2025.100984
6. Funatsu R, Mihara N, Miyake S, Okamura K, Imatsuji H, Sakono T, Sakamoto T : Subretinal fluid duration and clinical outcomes in central serous chorioretinopathy : an analysis of time-to-photodynamic therapy. Am J Ophthalmol 283 : 46216, 2026, doi:10.1016/j.ajo.2025.11.039
7. Honbou M, Yamashita T, Terasaki H, Asaoka R, Yoshihara N, Kakiuchi N, Sakamoto T : Longitudinal changes in macular curvature and axial elongation in school children. Int J Retina Vitreous 11 : 129, 2025, doi:10.1186/s40942-025-00752-8
8. Do DV, Wykoff CC, Sivaprasad S, Brown DM, Boyer DS, Sakamoto T : Intravitreal aflibercept 8 mg for diabetic macular edema : ninety-six-week results from the randomized phase 2/3 PHOTON trial. Ophthalmology : Online ahead of print, 2025(Nov), doi:10.1016/j.ophtha.2025.10.028
9. Nagai N, Shinoda H, Matsubara H, Terasaki H, Kato A, Sakamoto T : Associations between progression of retinal pigment epithelial and outer retinal atrophy and choroidal thickness : a 2-year observation. Ophthalmol Sci 6(1) : 100939, 2025. doi:10.1016/j.xops.2025.100939
10. Kawano H, Kubota M, Yamashita T, Yamakiri K, Sakamoto T, Terasaki H : Usefulness of color laser scanning ophthalmoscopy and optical coherence tomography angiography in the diagnosis of acute zonal occult outer retinopathy complex : a report of two cases. Case Rep Ophthalmol 16(1) : 711-719, 2025, doi:10.1159/000547672
11. Yanai R, Murao F, Miki A, Terasaki H, Chujo S, Sakaeda Y, Sakamoto T : Six-month outcomes of intravitreal faricimab injection for neovascular age-related macular degeneration and their relationships with clinical findings : a multicentre cohort study from the J-CREST. BMJ Open Ophthalmol 10(1) : e002415, 2025, doi:10.1136/bmjophth-2025-002415

12. Sharma A, Wu L, Bloom S, Stanga P, Sakamoto T, Srinivasan J : RWC update : combined phacovitrectomy vs sequential surgery; the dancing delight; welding arc maculopathy. *Ophthalmic Surg Lasers Imaging Retina* 56(8) : 451-454, 2025, doi:10.3928/23258160-20250711-01
13. Nishi T, Mizusawa Y, Terasaki H, Sakamoto T, Ogata N, Ueda T. : The ocular shape and retinal structure in children with a history of treated retinopathy of prematurity. *Sci Rep* 15(1) : 29229, 2025, doi:10.1038/s41598-025-15271-7
14. Brown DM, Boyer DS, Do DV, Wyckoff CC, Sakamoto T : Plain language summary of publication of the 48-week results from the PHOTON study : intravitreal aflibercept 8 mg for diabetic macular edema. *Ther Adv Ophthalmol* 17 : 1-13, 2025, doi:10.1177/25158414251347689
15. Yamashita T, Terasaki H, Hamada T, Asaoka R, Yoshihara N, Kakiuchi N, Sakamoto T : Relationship between acceleration of axial elongation and ocular biometry in schoolchildren. *Jpn J Ophthalmol* 69(6) : 844-849, 2025, doi:10.1007/s10384-025-01227-x
16. Yamashita T, Asaoka R, Iwase A, Sakai H, Terasaki H, Sakamoto T, Araie M : Refractive error and axial length prediction using fundus parameters of normal eyes in the Kumejima population study. *Jpn J Ophthalmol* 69(4) : 606-615, 2025, doi:10.1007/s10384-025-01192-5
17. Tsuruoka M, Hiratsuka Y, Inoue K, Murakami M, Oku K, Kondo H, Sakamoto T : Retrospective multicentre study on functional vision score calculation using automated perimeter. *Br J Ophthalmol* 109(10) : 1144-1150, 2025, doi:10.1136/bjo-2025-327122
18. Sakono T, Mihara N, Sakamoto T, Terasaki H : Effect of eyelid opener on wound closure time in cataract surgery. *J Clin Med* 14(9) : 3163, 2025, doi:10.3390/jcm14093163
19. Yamaguchi M, Yamashita T, Asaoka R, Terasaki H, Yoshihara N, Kakiuchi N, Sakamoto T : Macular curvature in vertical cross sections of optical coherence tomography in school-age children. *Sci Rep* 15(1) : 13416, 2025, doi:10.1038/s41598-025-98597-6
20. Funatsu R, Terasaki H, Sonoda S, Mihara N, Hirokawa M, Tanabe Y, Sakamoto T : Structural changes in vortex vein ampullae in eyes with pachychoroid-spectrum disorder. *Sci Rep* 15(1) : 11125, 2025, doi:10.1038/s41598-024-82731-x
21. Terasaki H, Funatsu R, Okamura K, Mihara N, Shiihara H, Yamashita T, Sakamoto T : Association between inferior posterior staphyloma on choroidal vessels running patterns in healthy eyes. *Int J Retina Vitreous* 11(1) : 37, 2025, doi:10.1186/s40942-025-00661-w
22. Imazeki M, Takeuchi M, Yasukawa T, Terasaki H, Yamamoto Y, Jujo T, Sakamoto T : Predictors of disengagement and loss to follow-up of intravitreal injection for neovascular age-related macular degeneration in a real-world clinical setting : post hoc analysis of the multicenter survey from the Japanese Clinical Retinal Study (J-CREST) Group. *J Clin Med* 14(6) : 1803, 2025, doi:10.3390/jcm14061803
23. Yamashita T, Terasaki H, Asaoka R, Yoshihara N, Kakiuchi N, Sakamoto T : Longitudinal changes in the position and thickness of the peak peripapillary retinal nerve fiber layer in school children. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol* 263(7) : 1977-1984, 2025, doi:10.1007/s00417-025-06810-z
24. Funatsu R, Terasaki H, Mihara N, Sonoda S, Shiihara H, Miyake S, Sakamoto T : Identification of leakage sites in central serous chorioretinopathy using optical coherence tomography and the assessment of the characteristics of the biomarkers. *Retina* 45(5) : 893-900, 2025, doi:10.1097/IAE.0000000000004404

<雑文>

1. 坂本泰二 : 『臨床眼科』 誌の歴史的使命とその将来—日本の医学出版社を育てる必要性. *臨床眼科* 80(1). 医学書院, pp94-98, 2026

以上、診療部門

看護部門

今村総合病院

<雑文>

1. 徳田勝哉：提言Ⅱ. 医療安全の方策. 透析医療における医療安全のための提言, 日本透析医会, pp13-18, 2025
2. 徳田勝哉：正常な AVF と AVG の例、狭窄・閉塞症例. 透析ケア 2025 年冬季増刊 透析穿刺&シャントエコーを
きわめる！, メディカ出版, pp138-143, 2025
3. 徳田勝哉：Ⅰ. 腎臓リハビリテーション総論 Ⅳ. リハビリテーション継続のための社会資源. 腎臓リハビリテーショ
ン診療ガイドライン改訂第2版, 日本腎臓リハビリテーション学会, 南江堂, pp12-17, 2026
4. 吉森みゆき：今村総合病院における特定行為研修の受講推進・修了者の活動推進とキャリア支援の取り組み, 日本
看護協会機関誌「看護」1月号, 日本看護協会, pp25-27, 2026

リハビリテーション部門

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形）

<和文>

1. 吉田研吾, 海江田英泰, 福島佳織：鏡視下腱板修復術後における再断裂と危険因子の保有数について. 肩関節
49(1) : 138-141, 2025, doi:<https://doi.org/10.11296/katakansetsu.49.138>

今村総合病院 理学療法士（一般総合）

<欧文>

1. Takekiyo T, Ito Y, Miyazono T, Tokunaga T, Nakano N, Odawara J, Fujino S, Dozono K, Nara S, Shimoyama S, Okamura T, Utsunomiya A : Post-transplant changes in physical function and quality of life in patients undergoing two allogeneic hematopoietic stem cell transplants. Int J Hematol 122(5) : 700-708, 2025, doi : 10.1007/ s 12185-025-04030-z.

臨床検査部

今村総合病院

<欧文><共著>

1. Okita K, Mizokami T, Yasuda O, Ikeda Y : Acute kaempferol ingestion lowers oxygen uptake during submaximal exercise and improves high-intensity exercise capacity in well-trained male athletes. Physiol Rep 13(9) : e70369, 2025 (May), doi : 10.14814/phy2.70369

輸血管理部

今村総合病院

<欧文><共著>

1. Takekiyo T, Ito Y, Miyazono T, Tokunaga M, Nakano N, Odawara J, Fujino S, Dozono K, Nara S, Shimoyama S, Okamura T, Utsunomiya A : Post-transplant changes in physical functioning and quality of life in patients undergoing two allogeneic hematopoietic stem cell transplants. Int J Hematol 122(5) : 700-708, 2025(Jul), doi : 10.1007/s12185-025-04030-z

栄養管理部門

慈愛会クリニック

<雑文>

1. 加藤実穂：循環器病予防に関する情報コラム 生活指導法の紹介. 循環器病予防療養指導士ニュースレター No.50, 2025

臨床研究センター

今村総合病院

<欧文>

1. Tokunaga M, Makiyama J, Shiratsuchi M, Toyama T, Oka S, Choi I, Yoshida T, Okazuka K, Utsunomiya A : A Multicenter Real-World Retrospective Study for Brentuximab Vedotin, Cyclophosphamide, Doxorubicin, and Prednisolone for Previously Untreated Patients With CD30-Positive Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma. Hematol Oncol 43(6) : e70141, 2025(Nov). doi : 10.1002/hon.70141

<欧文><共著>

1. Saito M, Sato T, Hasegawa H, Tanabe K, Yoshida-Furihata H, Horibe E, Coler-Reilly A, Nojiri N, Yamauchi S, Nakashima M, Araya N, Yagishita N, Takahashi K, Sasaki D, Sagara Y, Uchimar K, Utsunomiya A, Ki-Ryang K, Kato T, Itonaga H, Miyazaki Y, Yanagihara K, Oshima K, Arai A, Watanabe T, Yamano Y : Clonality analysis of HTLV-1-infected cells enhances prognostic precision in smoldering adult T-cell leukemia/lymphoma. Haematologica 110(10) : 2513-2517, 2025(Apr). doi : 10.3324/haematol.2025.287521
2. Sugata K, Rahman A, Niimura K, Monde K, Ueno T, Rajib SA, Takatori M, Sakhor W, Hossain MB, Sithi SN, Jahan MI, Matsuda K, Ueda M, Yamano Y, Ikeda T, Ueno T, Tsuchiya K, Tanaka Y, Tokunaga M, Maeda K, Utsunomiya A, Okuma K, Ono M, Satou Y : Intragenic viral silencer element regulates HTLV-1 latency via RUNX complex recruitment. Nat Microbiol 10(6) : 1447-1462, 2025(Jun). doi : 10.1038/s41564-025-02006-7
3. Karpe SD, Artesi M, Wayet J, Durkin K, Hahaut V, Uchimar K, Makiyama J, Iwanaga M, Utsunomiya A, Kolijn PM, Langerak AW, Burny A, Marçais A, Hermine O, Watanabe T, Georges M, Van den Broeke A : A viral clonality evenness score to predict progression to adult T-cell leukaemia in asymptomatic carriers of human T-lymphotropic virus type 1 in Japan : a retrospective longitudinal cohort study. Lancet Microbe 6(11) : 101198, 2025(Nov). doi : 10.1016/j.lanmic.2025.101198

<雑文>

1. 宇都宮興：我夢中人 卓球がもたらしたもの ―卓球とともに生きる人生―. 大塚薬報 2026年1・2月合併号(No.812). 大塚ホールディングス株式会社, pp30-33, 2026

【かごしま慈愛会ジャーナル第4巻】

2025年4月30日刊行

<トピックス>

【野村秀洋先生 追悼】

1. 元いづろ今村病院 医師 石澤隆：野村秀洋先生のご功績
2. 法人事業本部 医師 帆北修一：故野村秀洋先生を偲んで

【第4回慈愛会学会学術集会パネルディスカッション まとめ】

1. 今村総合病院 医師 常盤光弘（大会長）：「Jiaikai2040 未来を先取りする創造力を」
2. 法人事業本部 事務員 今村英香：データから見る 2040 年の慈愛会
3. 今村総合病院 事務員 福康浩：2040 年 未来予測（社会変化について）
4. ニプロ株式会社 メディカル営業本部 平山拓三：2040 年に向けての医療機器の今後 ～医療 DX に貢献 医療機器データ通信サポートシステム HN LINE ～
5. 奄美病院 事務員 碩弘一朗：すでに起こった？未来より
6. かごしまオハナクリニック 医師 林恒存：地域医療 in 2040 変わること、変えるべきこと、変わらないこと

<論文>

1. 今村総合病院 医師 福島佳織，前園恵慈，海江田英泰，中條正英：当院における関節鏡下前十字靱帯再建術の変遷と臨床成績
2. 今村総合病院 臨床検査技師 炭谷一行：当院におけるファブリー病検査の現状 ～尿検査の視点から～
3. 今村総合病院 看護師 野元海輝，山本朱音，馬込愛香，井手扶紗：術前オリエンテーションの統一化とその効果 ～オリエンテーションのパンフレット作成と指導～
4. 今村総合病院 診療放射線技師 西田崇友，川上真司，榊大樹，吉見敦，恵智徳：造影 CT における適切な静脈路確保方法の検討
5. 今村総合病院 理学療法士 本室勝彦，高麗町クリニック 理学療法士 西村允宏，永田祥吾，医師 木原浩一：訪問リハビリテーションからみた施設間連携について ～在宅生活の維持につなげる情報共有の方法～
6. 谷山病院 作業療法士 濱迫なる光：退院への不安が強い長期入院患者に対する支援 ～退院準備プログラムを通して患者の悩みを知る～
7. 今村総合病院 看護師 吉森みゆき，上山テルヨ，嘉村早苗，中谷明実，医師 西垂水和隆：今村総合病院における特定行為研修修了者の現状と課題
8. 奄美病院 看護師 千田多摩希：キャリア開発ラダーへの支援を考える ～看護管理者の意識調査から見てきた課題～
9. 介護老人保健施設愛と結の街 介護福祉士 坂野初代，海平由起子，徳謙志郎，切田諒，山添裕美，永井智喜，看護師 福元利英：入所者のケアをみんなで支える ～業務改善を実施して～
10. 今村総合病院 事務員 佐々木大輔，池田祐太：入力 EXCEL を活用した低コストでの集計業務の負担軽減
11. かごしまオハナクリニック 事務員 木原翔，医師 横山大輔，下村寛貴，林恒存：デジタル化推進による恩恵と課題 ～訪問診療スケジュール管理ソフト導入による業務改善への挑戦～
12. いづろ今村病院 薬剤師 田原七海，古澤夕紀子，東條知子，東屋敷史織，遠矢素子，内山ゆかり，神門孝典：インスリンボールの影響により血糖コントロール不良を認めた症例
13. 今村総合病院 理学療法士 津曲麻美，納村千夏，瀬戸口綾子，浜田香穂麗：今村総合病院の産前産後リハビリテーションの取り組み ～より良い妊産婦生活を送るために～
14. 地域活動支援センターひだまり 精神保健福祉士 佐澤佳史朗：地域活動支援センター事業における現状と今後の課題 ～TQM 活動を通して見えた地域を巻き込んだ今後の事業展開について～
15. 鹿児島中央看護専門学校 専任教員 大磯陽子，中村栄子：A 校学生の臨地実習における社会人基礎力の変化と属性による特徴 ～看護基礎教育での社会人基礎力育成に向けて（第1報）～
16. 今村総合病院 事務員 池田祐太：RPA（Robotic Process Automation）の活用による業務改善
17. 社会福祉法人慈愛会きずな保育園 保育士 帖佐智子：慈愛の保育の実践 ～多様性（国の違い）を認め合う保育～

かごしま慈愛会ジャーナル第4巻

https://www.jiaikai.or.jp/datas/page/3027/page_2037.pdf



【データベース登録（遺伝子配列）】

血液内科

今村総合病院

1. Kuramitsu M, Tokunaga M, Ito Y, Utsunomiya A : HTLV-1 provirus sequence derived from a medical worker infected by needle stick injury, JIAI-0219-2024, GenBank accession No. LC815002, 2024
※新規遺伝子配列として、針刺し感染症例由来 HTLV-1 プロウイルス配列を国際データベースに登録
2. Kuramitsu M, Tokunaga M, Odawara J, Ito Y, Saito M, Utsunomiya A : HTLV-1 provirus sequence derived from patients undergone allogeneic hematopoietic stem cell transplantation, JIAI2300-2024 GenBank accession No. LC842177, 2024
※新規遺伝子配列として、造血幹細胞移植レシピエント由来の HTLV-1 プロウイルス配列を国際データベースに登録
3. Kuramitsu M, Tokunaga M, Odawara J, Ito Y, Saito M, Utsunomiya A : HTLV-1 provirus sequence derived from patients undergone allogeneic hematopoietic stem cell transplantation, JIAI8837-2024, GenBank accession No. LC842178, 2024
※新規遺伝子配列として、造血幹細胞移植レシピエント由来の HTLV-1 プロウイルス配列を国際データベースに登録

【学会発表】

救急・総合内科

今村総合病院

<国内>

1. 夏田圭汰, 西垂水和隆, 市来征仁, 有水琢朗, 有馬丈洋, 田中友樹, 西村時紘, 加倉健太郎, 鶴本亜衣, 生駒彩夏: マイコプラズマ肺炎の加療中に発症した若年性脳梗塞の1例. 第349回日本内科学会九州地方会, 2025年5月25-27日, 沖縄
2. 岡田大門, 西垂水和隆, 市来征仁, 畠中成己, 大塚暢, 大保舞, 永山宗太郎, 白石大瑛, 上原夕季: ビタミン B1 欠乏による衝心脚気が原因と考えられた急性肺水腫により人工呼吸管理を要した1例. 第349回日本内科学会九州地方会, 2025年5月25-27日, 沖縄
3. 永山宗太郎, 西垂水和隆, 市来征仁, 大塚暢, 畠中成己, 田中友樹: 硬膜外腫瘍の合併により外科的介入を要した Mycobacterium intracellulare 椎体炎の1例. 第351回日本内科学会九州地方会, 2025年11月30日, 福岡

膠原病・リウマチ内科

今村総合病院

<国内>

1. 上原夕季, 伊藤加菜絵, 大保舞, 伊藤貴祥, 中村大悟, 船元源太: アニフロルマブ使用中に発症した VZV 髄膜炎の一例. 第70回日本リウマチ学会九州・沖縄支部学術集会, 2025年9月13-14日, 福岡
2. 猿渡佐也子, 下津奈央, 船元源太, 永山宗太郎, 中村大悟, 伊藤貴祥, 大保舞, 伊藤加菜絵: 蜂窩織炎治療後に四肢の浮腫・疼痛を来した皮膚筋炎の一例. 第71回日本リウマチ学会九州・沖縄支部学術集会, 2026年3月7-8日, 長崎

血液内科

今村総合病院

<国際><共同発表>

1. Valcarcel B, Sano H, Utsunomiya A, Otsuka M, Miyahara M, Takamatsu Y, Ishitsuka K, Kimura S, Suzumiya J, Tamura K, Enriquez D, Vasquez J, Beltran B, Castro D, Runciman T, Quintero H, Arrieta E, Arias O, Gotuzzo E, Garrido G, Roa M, Fiad N, Khan A, Sandoval-Sus J, Sica RA, Ye H, Janakiram M, Tanwar A, Cordover E, Shah L, Tuz-Zahra F, Zhang Y, Bell B, Cook L, Miranda E, Katsuya H, Ramos JC, Chiattonne C, Malpica L: Clinical features and outcomes of adult T-cell leukemia/lymphoma across world regions: An international retrospective cohort study. The 67th ASH Annual Meeting Abstracts, 7 Dec 2025, Orlando, Florida, USA

<国内>

1. 宮園卓宜, 寺野玉枝, 川畑理月, 井上彩乃, 藤山裕輝, 小林果蓮, 平野美香, 牧野桃子, 小田原淳, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮興, 常盤光弘: 濃厚血小板輸血後に Streptococcus agalactiae によって敗血症となった1例. 第73回日本輸血・細胞治療学会学術総会, 2025年5月31日, 札幌
2. 宮園卓宜, 稲葉頌一, 中堂園文子, 大木浩, 山田麻里江, 松永光博: 離島における, 院内血(生血)に関する I & A 制度リモート審査について. 第73回日本輸血・細胞治療学会学術総会, 2025年5月31日, 札幌
3. 宮園卓宜: 急性 GVHD におけるマネージメント ～間葉系幹細胞(MSC)の使用法～. 第122回近畿血液学会地方会,

2025年6月14日, 奈良

4. 宇都宮與, 牧山純也, 白土基明, 外山孝典, 岡聡司, 崔日承, 吉田孝寛, 岡塚貴世志, 徳永雅仁: BV-CHP(brentuximab vedotin, cyclophosphamide, doxorubicin and prednisolone) in Previously Untreated Patients with CD30-Positive Adult T-Cell Leukemia Lymphoma (ATL): A Multicenter Retrospective Study. 第65回日本リンパ腫学会学術集会・総会, 2025年7月5日, 名古屋
5. 野中大樹, 小田原淳, 武田浩一郎, 徳永雅仁, 藤野聡司, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清: 壊疽性膿皮症を契機に診断された MGCS に対し DVd 療法が奏功した1症例. 日本内科学会第350回九州地方会, 2025年8月23日, 大分
6. 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 藤野聡司, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清: FLT3-ITD 変異陽性 AML における同種移植後 Quizartinib 維持療法. 第87回日本血液学会学術集会, 2025年10月11日, 神戸
7. 宮園卓宜, 澤邊太郎, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 再発難治性多発性骨髄腫4例に対する elranatamab の当院での使用経験~多職種チーム医療のもとで. 第87回日本血液学会学術集会, 2025年10月11日, 神戸
8. 徳永雅仁: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫の初発治療. 第87回日本血液学会学術集会 (イブニングセミナー 2-11), 2025年10月11日, 神戸
9. 宮園卓宜: 災害時の血液製剤融通. 第32回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム, 2025年10月24日, 東京
10. 徳永雅仁, 倉光球, 斎藤益満, 伊藤能清, 相良康子, 宇都宮與: 夫婦間感染における水平感染マーカーとしての HTLV-1 Env gp49(197-216) 抗体の解析. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月8日, 鹿児島
11. 中野伸亮, 藤野聡司, 小波津武志, 福盛貴子, 宮田理沙, 盛田麻里, 上栗明郁, 前田宏一: 移植後早期再発の状態でクリニックへ転院し治療を要した ATL 症例. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月8日, 鹿児島
12. 小田原淳, 中野伸亮, 藤野聡司, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 倉光球, 斎藤益満, 宇都宮與, 伊藤能清: 臍帯血移植後に HTLV-1 関連リンパ増殖性疾患を発症した2症例. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月9日, 鹿児島
13. 徳永雅仁, 田代幸恵, 藤野聡司, 小田原淳, 宮園卓宜, 米倉健太郎, 中野伸亮, 宇都宮與, 伊藤能清: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する BV-CHP 療法の有用性. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月9日, 鹿児島
14. 宮園卓宜, 田代幸恵, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 伊藤能清, 宇都宮與: 当院における HTLV-1 感染のある患者にホジキンリンパ腫様組織像を呈した7例の経験. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月9日, 鹿児島
15. 山口貴弘, 小田原淳, 徳永雅仁, 藤野聡司, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清: 減弱化学療法後にイノツズマブおよびブリナツモマブを投与し深い寛解を得た高齢 Ph 陰性 B-ALL の2例. 日本内科学会第351回九州地方会, 2025年11月30日, 福岡
16. 宮園卓宜, 寺野玉枝, 川畑理月, 井上彩乃, 藤山裕輝, 小林果蓮, 平野美香, 牧野桃子, 伊藤能清, 宇都宮與, 常盤光弘: 血小板輸血由来 Streptococcus agalactiae 感染症の1例. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会第72回総会・第93回例会, 2026年1月17日, 那覇
17. 鹿嶽侑哉, 小田原淳, 中野伸亮, 藤野聡司, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清: T 細胞性前リンパ球性白血病 (T-PLL) に対して臍帯血移植が奏功した1症例. 第352回 日本内科学会 九州地方会, 2026年1月24日, 福岡
18. 小田原淳, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 藤野聡司, 宇都宮與, 伊藤能清: 当院における造血幹細胞移植後 CMV 感染症に対する Maribavir 使用経験. 第48回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026年2月28日, 東京
19. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 田代幸恵, 米倉健太郎, 宇都宮與, 伊藤能清: 成人 T 細胞白血病リンパ腫 (ATLL) さい帯血移植施行後に精神症状を併発した一例. 第48回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026年3月1日, 東京

＜国内＞＜共同発表＞

1. 加藤光次, Yoon DH, Cho H, 牟田毅, 高瀬謙, 小川亮介, 黒岩三佳, 伊藤能清, 上村智彦, 長藤宏司, 谷本一樹, 藤崎智明, 衛藤徹也, 河野徳明, 原田直樹, 赤司浩一, Chan JY, Huang H, Cai Q, Lin T, Bunworasate U, Tan SM, Chen TY, Chan E, Ng SC, Sutandyo N, Tadjoedin H, Lubis AM, Kim D, Kim WS : 再発・難治性マントル細胞リンパ腫に対する BTK 阻害剤の位置付け : アジア太平洋地域国際共同研究. 第 87 回日本血液学会学術集会, 2025 年 10 月 10 日, 神戸
2. 中村大輔, 宮園卓宜, 中嶋秀人詞, 新居亮彦, 川田英明, 井上大栄, 米倉健太郎, 川平尚生, 竹内昇吾, 中別府聖一郎, 小代彩, 有馬直佑, 鎌田勇平, 原口浩一, 伊藤能清, 大塚真紀, 花田修一, 吉満誠, 石塚賢治 : 鹿児島県 ATL レジストリーによる ATL 治療解析 (2021 年～2024 年). 第 87 回日本血液学会学術集会, 2025 年 10 月 11 日, 神戸
3. 高瀬謙, 宮本敏浩, 衛藤徹也, 藤崎智明, 菊繁吉謙, 崔日承, 今村豊, 盛暁生, 長藤宏治, 河野徳明, 大野裕樹, 竹中克斗, 上村智彦, 小川亮介, 伊藤能清, 豊嶋崇徳, 吉本五一, 石塚賢治, 米本孝二, 原田実根, 赤司浩一 : 初発急性前骨髄球性白血病に対する ATRA と ATO 早期併用療法多施設共同試験 FBMTG APL 2017. 第 87 回日本血液学会学術集会, 2025 年 10 月 11 日, 神戸
4. 島隆宏, 長藤宏司, 宮本敏浩, 伊藤能清, 菊繁吉謙, 加藤光次, 吉原享子, 永嶋貴博, 石川立則, 村田祥吾, 山本隆介, 迫田哲平, 沼田晃彦, 中村剛之, 高瀬謙, 山口享祐, 埜中広一, 鎧高健志, 牧田雅典, 細井裕樹, 勝岡優奈, 山内拓司, 陳之内文昭, 中尾文彦, 吉田周郎, 岩永愛実, 小田原淳, 赤司浩一 : 新規 PEG-Asparaginase の副作用と薬剤活性 : JSCT ALL/MRD2023 中間報告. 第 87 回日本血液学会学術集会, 2025 年 10 月 11 日, 神戸
5. 牧山純也, 加藤光次, 宮園卓宜, 徳永雅仁, 伊藤歩, 衛藤徹也, 糸永英弘, 河北敏郎, 内田直之, 末廣陽子, 藤岡真知子, 宮崎泰彦, 吉満誠, 神田善伸, 福田隆浩, 大引真理恵, 熱田由子, 藤重夫 : 成人 T 細胞白血病・リンパ腫慢性型に対する同種造血幹細胞移植療法の成績. 第 87 回日本血液学会学術集会, 2025 年 10 月 11 日, 神戸
6. Akter S, Fang H, Sugata K, Rahman A, Niimura K, Sithi SN, Ueno T, Okuma K, Tokunaga M, Utsunomiya A, Satou Y : HTLV-1 サイレンサー複合体の分子メカニズム. 第 11 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025 年 11 月 8 日, 鹿児島
7. 中村大輔, 大渡五月, 伊藤能清, 中嶋秀人詞, 川田英明, 井上大栄, 竹内昇吾, 中別府聖一郎, 川平尚生, 花田修一, 米倉健太郎, 大塚真紀, 吉満誠, 石塚賢治 : 鹿児島県における多施設による ATL 診療実態調査 (2021 年～2024 年). 第 11 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025 年 11 月 9 日, 鹿児島
8. 吉満誠, 糸永英弘, 加藤光次, 徳永雅仁, 藤岡真知子, 内田直之, 森康雄, 神田善伸, 福田隆浩, 熱田由子, 藤重夫 : 成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する再移植の治療成績. 第 11 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025 年 11 月 9 日, 鹿児島
9. 菅田謙治, イスラム エムディ サイフル, 中村秀明, 末岡榮三朗, 中島誠, 佐藤知雄, 山野嘉久, 徳永雅仁, 宇都宮與, 佐藤賢文 : HAM/AC 由来 HLA-A24 拘束性 Tax 特異的 TCR の比較解析. 第 11 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025 年 11 月 9 日, 鹿児島
10. 中村貴久, 井上明威, 武田航, 河北敏郎, 宮崎泰彦, 緒方正男, 今田和典, 糸永英弘, 徳永雅仁, 末廣陽子, 吉満誠, 神田善伸, 福田隆浩, 熱田由子, 藤重夫 : 成人 T 細胞白血病リンパ腫に対する強度減弱前処置を用いた同種移植における低線量全身放射線照射の影響. 第 48 回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026 年 2 月 28 日, 東京
11. 糸永英弘, 福島卓也, 井上明威, 村主啓行, 中野伸亮, 徳永雅仁, 福田隆浩, 衛藤徹也, 河北敏郎, 加藤丈晴, 石川淳, 神田善伸, 吉満誠, 熱田由子, 藤重夫 : 成人 T 細胞白血病・リンパ腫の同種移植における移植時期とドナー種類の予後への影響. 第 48 回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026 年 2 月 28 日, 東京
12. 楠本茂, 小野澤真弘, 鉄塚八千代, 宮園卓宜, 田中正嗣, 名島悠峰, 岡田耕平, 白鳥聡一, 佐藤貴之, 諫田淳也, 稲垣裕一郎, 村山徹, 畑野おる, 小野寺晃一, 櫻井政寿, 遠藤慎也, 口分田貴裕, 糸永英弘, 由井俊輔, 渡邊光正, 東梅友美, 中野伸亮, 立花崇孝, 清水啓明, 太田秀一, 杉山真也, 熱田由子, 豊嶋崇徳, 吉住朋晴, 溝上雅史 :

同種移植後 B 型肝炎再活性化予防ワクチンランダム化比較試験 (PREVENT HBV) . 第 48 回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026 年 3 月 1 日, 東京

消化器内科

今村総合病院

<国内>

1. 和田竣太郎, 軸屋賢一, 森聡志, 田平悠二, 松岡慧, 井戸章雄: 固有肝動脈瘤の十二指腸穿破により出血性ショックをきたし, 急激な経過をたどった一例. 第 125 回日本消化器病学会九州支部例会, 2025 年 5 月 16-17 日, 久留米

腎臓内科

今村総合病院

<国内>

1. 福元まゆみ, 中村英仁, 村岡良朗, 阿部正治, 竹之内聖三, 三重陽一, 吉嶺陽仁, 上村修司, 井戸章雄: アセトアミノフェン誘発性の急性尿細管間質腎炎の一例. 第 55 回日本腎臓学会西部学術大会, 2025 年 10 月 11-12 日, 奈良

小児科

今村総合病院

<国内>

1. 徳永美菜子, 溝田美智代: 思春期早発症の精査で診断に至った Klinefelter 症候群の 10 歳男児. 第 58 回日本小児内分泌学会学術集会, 2025 年 10 月 30 日 -11 月 1 日, 千葉

<国内><共同発表>

1. 加藤嘉一, 檜作和子, 徳永美菜子, 溝田美智代, 福重寿郎: 頭部外傷から 9 年経過し診断された複合型下垂体機能低下症の 10 才女児例. 第 189 回日本小児科学会鹿児島地方会, 2025 年 10 月 18 日, 鹿児島
2. 加藤嘉一, 檜作和子, 徳永美菜子, 溝田美智代, 福重寿郎: 頭部外傷から 9 年経過し診断された複合型下垂体機能低下症の 10 才女児例. 第 58 回日本小児内分泌学会学術集会, 2025 年 10 月 30 日 -11 月 1 日, 千葉
3. 池側研人, 糸永知代, 橘真紀子, 有安大典, 長崎啓祐, 澤野堅太郎, 溝田美智代, 山本幸代, 森川俊太郎, 明利総瑠, 八木弘子, 尾崎佳代, 永原敬子, 田嶋朝子, 森潤, 川井正信, 今野麻里絵, 天野直子, 石井智弘, 長谷川行洋: LC-MS/MS による前思春期 Turner 症候群の血清 E2 値の検討: 多機関共同観察研究. 第 58 回日本小児内分泌学会学術集会, 2025 年 10 月 30 日 -11 月 1 日, 千葉
4. 金倉章子, 吉永正夫, 二宮由美子, 野中由希子, 森田智, 溝田美智代: 鹿児島市における学童の肥満度と空腹時インスリンとの相関. 第 190 回日本小児科学会鹿児島地方会, 2026 年 2 月 1 日, 鹿児島

リハビリテーション科

今村総合病院

<国内>

1. 堂園浩一郎, 奈良聡一郎, 吉田一成: 脳卒中の亜急性期における回復や予後に影響をする既往歴や依存症の検討. 第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2025 年 6 月 12-14 日, 京都

病理診断科

今村総合病院

<国内><共同発表>

1. 玉井真理子, 武田浩一郎, 佐藤浩子, 田代幸恵, 二之宮謙次郎, 畠中美帆, 米倉健太郎: Ossifying fibromyxoid tumor, non-ossifying variant の1例. 第199回日本皮膚科学会 鹿児島地方会・総会, 2025年4月13日, 鹿児島
2. 宮園卓宜, 澤邊太郎, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 再発難治性多発性骨髄腫4例に対する elranatamab の当院での使用経験〜多職種チーム医療のもとで. 第87回日本血液学会学術集会, 2025年10月10-12日, 鹿児島
3. 徳永雅仁, 田代幸恵, 藤野聡司, 小田原淳, 宮園卓宜, 米倉健太郎, 中野伸亮, 宇都宮與, 伊藤能清: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する BV-CHP 療法の有用性. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月7-9日, 鹿児島
4. 宮園卓宜, 田代幸恵, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 伊藤能清, 宇都宮與: 当院における HTLV-1 感染のある患者にホジキンリンパ腫様組織像を呈した7例の経験. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月7-9日, 鹿児島
5. 有馬武尊, 田辺寛, 平川雄太, 中嶋太極, 米盛圭一, 帆北修一, 上之園芳一, 田代幸恵, 二之宮謙次郎: 残胃癌切除後に異時性に大腸転移を来した一例. 第87回日本臨床外科学会学術集会, 2025年11月20-22日, 東京
6. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 田代幸恵, 米倉健太郎, 宇都宮與, 伊藤能清: 成人 T 細胞白血病リンパ腫(ATLL)さい帯血移植施行後に精神症状を併発した一例. 第48回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026年2月27日-3月1日, 東京

脳神経外科・ガンマナイフセンター

今村総合病院

<国内>

1. 八代一孝: Gamma Knife SRT と LINAC based SRT の共通点と相違点. 第28回日本臨床脳神経外科学会, 2025年7月20日, 高知
2. 八代一孝: ガンマナイフ治療の進歩ー分割照射で広がる治療の世界ー. 第150回日本脳神経外科学会九州支部会, 2025年10月11日, 沖縄
3. 八代一孝, 岩元博史, 増田圭亮, 藤尾信吾, 菅田淳, 内田裕之, 花谷亮典: 下垂体腺腫に対するガンマナイフ治療後の有害事象の検討. 第8回ガンマナイフ治療計画勉強会・サテライトセミナー, 2026年2月14-15日, 東京
4. 増田圭亮, 八代一孝, 岩元博史, 山中葉央, 青山真裕奈, 吉元裕亮, 有水琢朗, 神田直昭, 花谷亮典: 生成 AI による日本語での安全な脳卒中診療を目指したベンチマーク JapaneseStrokeBench の提案. STROKE2026, 2026年3月13-14日, 大阪

外科・消化器外科

今村総合病院

<国際>

1. 田辺寛, 有馬武尊, 平川雄太, 中嶋太極, 米盛圭一, 帆北修一, 上之園芳一: Pilot study on surgical procedure labeling using artificial intelligence video analysis. SAGES 2026 Annual Meeting, 2026年3月27日, Tampa

<国内>

1. 田辺寛, 成尾知紀, 椎葉忠恕, 中嶋太極, 米盛圭一, 瀧川譲治, 帆北修一, 上之園芳一: 手術映像解析による手術

手技のラベル化～修練医と内視鏡外科技術認定医の違い～. 第125回日本外科学会定期学術集会, 2025年4月10日, 仙台

2. 中嶋太極, 田辺寛, 宇都宮麻子, 椎葉忠恕, 米盛圭一, 瀧川譲治, 帆北修一, 上之園芳一: 上肢麻痺を契機に診断に至った孤立性脳転移を伴う直腸癌の1例. 鹿児島市外科医会春季例会, 2025年4月18日, 鹿児島
3. 山田直侑, 中嶋太極, 有馬武尊, 平川雄太, 米盛圭一, 田辺寛, 瀧川譲治, 中島三郎, 帆北修一, 上之園芳一: 上肢麻痺で発症した孤立性脳転移を伴う直腸癌の1例. 第90回鹿児島県臨床外科学会総会・医学会, 2025年9月6日, 鹿児島
4. 西元凌, 中嶋太極, 有馬武尊, 平川雄太, 米盛圭一, 田辺寛, 上之園芳一: Hybrid手術で修復を行った非還納性巨大鼠径ヘルニアの1例. 第18回九州ヘルニア研究会学術集会, 2025年9月27日, 鹿児島
5. 田辺寛, 有馬武尊, 平川雄太, 中嶋太極, 米盛圭一, 瀧川譲治, 中島三郎, 帆北修一, 上之園芳一: ロボット支援下直腸切除術における直腸間膜処理の変遷—効率性とコストの両立を目指して—. 第50回日本大腸肛門病学会九州地方会, 2025年10月4日, 北九州
6. 中嶋太極, 田辺寛, 有馬武尊, 平川雄太, 米盛圭一, 上之園芳一: 当院における直腸脱に対する腹腔鏡下直腸縫合固定術の経験. 第50回日本大腸肛門病学会九州地方会, 2025年10月4日, 北九州
7. 椎葉忠恕, 田辺寛, 宇都宮麻子, 中嶋太極, 米盛圭一, 瀧川譲治, 中島三郎, 帆北修一, 上之園芳一: 結腸悪性腫瘍手術の機能的端々吻合における縫合不全予防のための手技定型化. JDDW2025 日本消化器外科学会大会, 2025年10月30日, 神戸
8. 米盛圭一, 上之園芳一, 有馬武尊, 平川雄太, 中嶋太極, 田辺寛, 帆北修一: Mycobacterium fortuitumによる腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術後メッシュ感染の一例. 第38回日本外科感染症学会, 2025年11月7日, 山形
9. 有馬武尊, 米盛圭一, 平川雄太, 中嶋太極, 田辺寛, 瀧川譲治, 中島三郎, 帆北修一, 上之園芳一: 切除不能胃癌に対する化学療法でNivolumabのRe-challengeが奏功した1例. 鹿児島市外科医会秋季例会, 2025年11月14日, 鹿児島
10. 有馬武尊, 田辺寛, 平川雄太, 中嶋太極, 米盛圭一, 帆北修一, 上之園芳一, 田代幸恵, 二之宮謙次郎: 残胃癌切除後に異時性に大腸転移を来した一例. 第87回日本臨床外科学会学術集会, 2025年11月20日, 東京
11. 田辺寛, 有馬武尊, 平川雄太, 中嶋太極, 米盛圭一, 帆北修一, 上之園芳一: ロボット支援下直腸切除術における効率性とコストを意識したfusion surgery. 第38回日本内視鏡外科学会総会, 2025年12月12日, 横浜
12. 平川雄太, 田辺寛, 有馬武尊, 中嶋太極, 米盛圭一, 帆北修一, 上之園芳一: 膿瘍を伴う局所進行直腸癌に対してTNT後にロボット支援下腹会陰式直腸切断術で根治切除し得た1例. 第38回日本内視鏡外科学会総会, 2025年12月11日, 横浜
13. 平川雄太, 田辺寛, 有馬武尊, 中嶋太極, 米盛圭一, 帆北修一, 上之園芳一: 大腸癌穿孔7例の検討. 第62回日本腹部救急医学会総会, 2026年3月12日, 横浜
14. 平山瑠峰, 田辺寛, 有馬武尊, 中嶋太極, 米盛圭一, 瀧川譲治, 中島三郎, 帆北修一, 上之園芳一: 重度栄養障害を伴う精神疾患合併盲腸癌に対し段階的治療で根治切除を行った1例. 第62回九州外科学会, 2026年3月7日, 北九州

泌尿器科

今村総合病院

<国内><共同発表>

1. 藤朗毅, 米森雅也, 西村博昭, 一美貴弘, 下稲葉耕生, 中川昌之, 常盤光弘, 二之宮謙次郎, 田代幸恵: 5-ALAを用いたPODシステムによるTURBTにて悪性リンパ腫の診断を得た1例. 第150回日本泌尿器科学会鹿児島地方会, 2025年7月12日, 鹿児島

法人業績一覧 学会発表

2. 八木静男, 一美貴弘, 坂口大, 有馬純矢, 大迫洋一: 慢性尿閉患者に対する尿管ステント (メモカス) の有用性. 第 150 回日本泌尿器科学会鹿児島地方会, 2025 年 7 月 12 日, 鹿児島
3. 米森雅也, 上前晃平, 斎藤朗毅, 西村博昭, 一美貴弘, 下稲葉耕生, 中川昌弘, 常盤光弘, 川上優海, 田代幸恵, 二宮謙次郎, 坂田雅道, 岡村俊介: 陰嚢部痛を主症状とした結節性多発性動脈炎の 1 例. 第 151 回日本泌尿器科学会鹿児島地方会, 2025 年 12 月 7 日, 鹿児島
4. 八木静男, 坂口大, 大迫洋一, 有馬純矢, 一美貴弘: 重症腎不全から Reverse 可能であった 2 例. 第 151 回日本泌尿器科学会鹿児島地方会, 2025 年 12 月 7 日, 鹿児島
5. 西村博昭, 斎藤朗毅, 米森雅也, 下稲葉耕生, 常盤光弘, 中川昌之, 一美貴弘, 高江洌伸, 八木静男, 久保博幸: 前立腺癌密封小線源療法後に白血球減少症を認めた症例の報告. 第 151 回日本泌尿器科学会鹿児島地方会, 2025 年 12 月 7 日, 鹿児島

スポーツ整形外科

今村総合病院

<国内>

1. 前園恵慈: 陸上競技選手の足舟状骨疲労骨折に対する術後プロトコルの有効性の検討. 第 36 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2025 年 11 月 2-3 日, 幕張
2. 中條正英, 中村俊介, 上蘭直弘, 井手貴之, 谷口昇: 股関節固定術後の同側変形性膝関節症に対し THA 後に Hybrid CWHO を施行した 1 例. 第 3 回日本膝関節学会, 2025 年 12 月 5-7 日, 姫路

<国内><共同発表>

1. 多田克史, 白尾泰宏, 海江田英泰, 前園恵慈, 福島佳織: 上腕骨遠位端骨折術後拘縮に対する肘関節観血的授動術後の可動域制限に対し、拡散型圧力波が有効であった一例. 第 7 回日本体外衝撃波医学会学術集会, 2025 年 9 月 28 日, 東京
2. 吉田研吾, 海江田英泰, 福島佳織: 高校生投手における投球障害肩群と健常群の身体機能面の比較. 第 52 回日本肩関節学会学術集会, 2025 年 10 月 10-11 日, 福岡
3. 吉田研吾, 轟原与織, 岡弥津希, 鮫島智志, 山口隆文, 大渡昭彦, 白尾泰宏, 海江田英泰, 福島佳織: 高校生投手における投球障害肘群と健常群の身体機能面の比較. 第 13 回日本運動器理学療法学会学術大会, 2025 年 11 月 22-23 日, 大阪
4. 山口隆文, 吉田研吾, 白尾泰宏, 海江田英泰: 肩肘検診時の肘異常所見の有無とその後の肘痛の発生率・投球パフォーマンス状況について. 第 39 回鹿児島県理学療法士学会, 2026 年 2 月 15 日, いちき串木野

皮膚科

今村総合病院

<国内>

1. 玉井真理子, 武田浩一郎, 佐藤浩子, 田代幸恵, 二之宮謙次郎, 畠中美帆, 米倉健太郎: Ossifying fibromyxoid tumor, non-ossifying variant の 1 例. 第 199 回日本皮膚科学会 鹿児島地方会・総会, 2025 年 4 月 13 日, 鹿児島
2. 武田浩一郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 米倉健太郎, 畠中美帆: 水疱型壊疽性膿皮症の 1 例. 第 199 回日本皮膚科学会 鹿児島地方会・総会, 2025 年 4 月 13 日, 鹿児島
3. 米倉健太郎: 成人 T 細胞白血病リンパ腫 (ATL) の診断と治療〜タルグレチンの使用経験を含めて〜. 第 124 回日本皮膚科学会総 ランチョンセミナー 6, 2025 年 5 月 29 日, 横浜

4. 米倉健太郎：ATL の皮膚病変に対するタルグレチンの有効性と安全性. 第 41 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 ランチョンセミナー 3, 2025 年 6 月 27 日, 札幌
5. 米倉健太郎：皮膚 T 細胞リンパ腫に対するトモセラピーによる放射線治療. 第 2 回皮膚リンパ腫症例検討会, 2025 年 8 月 23 日, 鹿児島
6. 米倉健太郎：膿疱性乾癬（汎発型）（GPP）を対象とした学会認定教育プログラム（PIONEERS® GPP）. 第 40 回日本乾癬学会学術大会, 2025 年 9 月 6 日, 札幌
7. 米倉健太郎：ATL の皮膚病変の治療と予後. 第 87 回日本血液学会学術集会 ランチョンセミナー 2, 2025 年 10 月 10-11 日, 神戸
8. 武田浩一郎, 大久保葵, 玉井真理子, 佐藤浩子, 米倉健太郎：左下肢有棘細胞癌術後に多発転移を来した 1 例. 第 77 回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 2025 年 10 月 18 日, 岡山
9. 米倉健太郎：乾癬診療におけるバイオシミラーの使いどころを考える. 第 77 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 モーニングセミナー 6-2, 2025 年 10 月 19 日, 岡山
10. 米倉健太郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 米倉健太郎, 島田祥子, 石井文人, 古賀浩嗣：インドレント ATL の現在地と今後の展望. 第 11 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025 年 11 月 7-9 日, 鹿児島
11. Yonekura K : Diagnosis and treatment of adult T-cell leukemia-lymphoma with skin lesions. 日本研究皮膚科学会 第 50 回年次学術大会・総会 モーニングセミナー 2, 2025 年 12 月 6 日, 甲府
12. 武田浩一郎, 大久保葵, 佐藤浩子, 米倉健太郎, 柚木健太郎：サイトメガロウイルス初感染を伴った非典型的な成人発症 Still 病の 1 例. 第 201 回日本皮膚科学会 鹿児島地方会, 2025 年 12 月 14 日, 鹿児島
13. 米倉健太郎：ATL の皮膚病変に対するタルグレチンの効果と安全性. 第 48 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 ランチョンセミナー 12 ATL 治療 Update, 2026 年 2 月 28 日, 東京

<国内><共同発表>

1. 青木恵美, 藤井一恭, 米倉健太郎, 西田博利, 岩田昌史, 戸澤貴久, 生駒宗禎, 松下茂人：皮膚血管肉腫に対するトモセラピーとタキサン系薬剤併用療法の有用性に関する後ろ向き観察研究. 日本皮膚科学会第 200 回鹿児島地方会, 2025 年 7 月 12 日, 鹿児島

頭頸部・耳鼻咽喉科

今村総合病院

<国内>

1. 宮本佑美：IgG4 関連疾患精査中に EGPA 主要所見が顕在化した一例. 第 8 回日本アレルギー学会九州・沖縄支部地方部会, 2026 年 2 月 28 日, 長崎

緩和ケア内科

いづろ今村病院

<国内>

1. 松下格司：パネルディスカッション 医師・歯科医師のスピリチュアルペイン. スピリチュアルケア研究会第 18 回大会, 2025 年 10 月 18 日, 鹿児島

かごしまオハナクリニック

<国内><共同発表>

1. 鳥巢裕一, 横山大輔: 今年も開催しちゃいます! KOPE ポートフォリオフェスティバル, 第 20 回日本プライマリ・ケア連合学会九州支部学術総会, 2026 年 1 月 31 日 -2 月 1 日, 沖縄 (Web)

以上、診療部門

看護部門

今村総合病院

<国内>

1. 平川あゆみ: 当院における災害への取り組み ～災害訓練の定期的な開催に向けて～, 日本医療マネジメント学会第 4 回鹿児島県支部学術集会, 2025 年 5 月 17 日, 鹿児島
2. 徳田勝哉: Cannula Guide Needle, 日本医工学治療学会第 41 回学術大会, 2025 年 6 月 6-8 日, 熊本
3. 徳田勝哉: VA エコーハンズオンセミナー (講義+実技指導), 日本医工学治療学会第 41 回学術大会, 2025 年 6 月 6-8 日, 熊本
4. 徳田勝哉: VA 看護と VA 管理の Redesign, 第 70 回日本透析医学会学術集会・総会, 2025 年 6 月 27-29 日, 大阪
5. 徳田勝哉: VA 看護の概論・実践・評価 ～名もなき看護のネーミングと創造～, 第 70 回日本透析医学会学術集会・総会, 2025 年 6 月 27-29 日, 大阪
6. 徳田勝哉: 穿刺痛とバスキュラーアクセス看護: 可視化による Active Life の実現, 第 70 回日本透析医学会学術集会・総会, 2025 年 6 月 27-29 日, 大阪
7. 徳田勝哉: 医療安全管理体制と医療安全の方策, 第 70 回日本透析医学会学術集会・総会, 2025 年 6 月 27-29 日, 大阪 (Web)
8. 徳田勝哉: 腎不全患者の人生を豊かにする生活目標 (Life Targets) の実践とその意義, 第 70 回日本透析医学会学術集会・総会, 2025 年 6 月 27-29 日, 大阪 (Web)
9. 新美美夕: 当院 ICU における経口挿管患者の口腔内環境についての実態調査 ～歯科口腔外科介入群と非介入群を比較した患者特性の違い～, 第 21 回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 2025 年 7 月 5-6 日, 東京
10. 油木貴子: 基礎看護学実習での指導者の関わりによる看護学生の学びの変化 ～WEB アンケート活用による迅速な実習環境の整備～, 第 56 回日本看護学会学術集会, 2025 年 9 月 12-14 日, 名古屋
11. 徳田勝哉: VA 穿刺の理論的アプローチ ～DANTE～, 第 29 回日本透析アクセス医学会学術集会・総会, 2025 年 9 月 13-14 日, 東京
12. 徳田勝哉: 急性血液浄化療法に対する看護師の役割 ～初期察知と再発予防を見据えた包括的ケア～, 第 36 回日本急性血液浄化学会学術集会, 2025 年 9 月 20-21 日, 東京
13. 平川あゆみ: 院内迅速対応システム稼働中のコードブルー急増要因の解析, 第 27 回日本救急看護学会学術集会, 2025 年 11 月 6-7 日, 札幌
14. 垣添有佳: ATL 治験のために作成した業務支援ツールの活用実態とその有用性についての後方視的検討, 第 11 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025 年 11 月 7-9 日, 鹿児島
15. 藤原めぐみ: 看護管理者シャドー研修企画 ～キャリアビジョンの重要性～, 日本医療マネジメント学会第 22 回九州・山口連合大会, 2025 年 11 月 28-29 日, 別府
16. 吉森みゆき: 特定行為研修修了者の現状と展望ー看護管理者が行う育成支援とシステム構築, 日本医療マネジメント学会第 22 回九州・山口連合大会, 2025 年 11 月 28-29 日, 別府
17. 荒田由衣, 川野彩華, 吉本真未, 深川友里, 徳田加奈子, 江内谷由佳, 伊藤能清, 中野伸亮: 造血幹細胞移植における食事摂取量と在院日数の関連性, 第 48 回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2026 年 2 月 27 日 -3 月 1 日, 東京

いづろ今村病院

<国内>

1. 榎本真智子：当健康管理センター婦人科検診の有効性の検討. 第27回九州沖縄健診施設研究会大会・第10回九州健診経営研究会・日本人間ドック予防医療学会 地域交流セミナー in 鹿児島, 2026年2月14-15日, 鹿児島

谷山病院

<国内>

1. 田中聖将, 福盛衣真, 三好久美子, 福島愛：精神科病院における新型コロナウイルス感染症患者受け入れから得た学びの経験. 第50回日本精神科看護学術集会, 2025年6月6-7日, 姫路

奄美病院

<国内>

1. 平田恵美：安心・安全な薬業務への取り組み～1人双方向型チェックを導入して～. 第32回日本精神科看護専門学術集会, 2025年11月1-2日, 福島
2. 山田かおり：認知症患者の車イス安全ベルト解除に向けた取り組み～多職種協働によるスタッフの意識変化. 第32回日本精神科看護専門学術集会, 2025年11月1-2日, 福島

愛と結の街

<国内>

1. 川元真由美：A氏が教えてくれた「転んだっていいんじゃない。」という考え方 ～本人の思いを尊重することとはパーソンセンタードケア～. 第24回九州ブロック介護老人保健施設大会, 2025年7月10-11日, 熊本
2. 畠中政樹：やっぱり家が一番だよ ～住み慣れた自宅での生活を支える支援～. 第36回全国介護老人保健施設大会, 2025年11月27-28日, 山口
3. 上赤栄造：星探しサーキットで生まれる「意欲と笑顔」～楽しみながら心と体の活性化を促す自主トレーニング～. 第30回鹿児島県介護老人保健施設大会, 2026年2月17-18日, 鹿児島

笹貫訪問看護ステーション愛の街

<国内>

1. 中蘭明子：シンポジウム～自由に発想しよう、未来の精神科看護（シンポジスト）. 第50回日本精神科看護学術集会 in 兵庫, 2025年6月7日, 姫路

リハビリテーション部門

今村総合病院 理学療法士(スポーツ整形)

<国内>

1. 吉田研吾, 白尾泰宏, 前園恵慈, 福島佳織：KOH デバイスを用いた BTB 再建術と従来の BTB 再建術におけるスポーツ復帰状況の比較. 第3回日本スポーツ整形外科学会, 2025年9月12-13日, 東京
2. 多田克史, 白尾泰宏, 海江田英泰, 前園恵慈, 福島佳織：上腕骨遠位端骨折術後拘縮にたいする肘関節観血的授動術後の可動域制限に対し、拡散型圧力波が有効であった一例. 第7回日本体外衝撃波医学会学術集会, 2025年9月28日, 東京
3. 吉田研吾, 海江田英泰, 福島佳織：高校生投手における投球障害肩群と健常群の身体機能の比較. 第52回日本肩関節学会学術集会, 2025年10月10-11日, 福岡
4. 吉田研吾, 轟原与織, 岡弥津希, 鮫島智志, 山口隆文, 白尾泰宏, 大渡昭彦, 海江田英泰, 福島佳織：高校生投

手における投球障害肘群と健常群の身体機能面の比較. 第13回日本運動器理学療法学会学術大会, 2025年11月22-23日, 大阪

5. 迫田彩夏, 轟原与織, 多田克史, 白尾泰宏, 川田将之, 木山良二, 福島佳織: 膝前十字靱帯再建術後症例における片脚スクワット時の膝関節外反角度に関連する因子の検討. 第12回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2025年11月29-30日, 札幌
6. 迫田彩夏, 白尾泰宏: 女子中学生・高校生の月経随伴症状とスポーツパフォーマンスとの関連性について. 第11回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法学会学術大会, 2025年12月13-14日, 大阪
7. 山口隆文, 吉田研吾, 白尾泰宏, 海江田英泰: 肩肘検診時の肘異常所見の有無とその後の肘痛の発症率・投球パフォーマンス状況について. 第39回鹿児島県理学療法学会, 2026年2月15日, いちき串木野

今村総合病院 理学療法士(一般総合)

<国内>

1. 宮島康輔, 桑野大介, 宮ヶ原卓, 堂園浩一郎: 右橋梗塞により運動麻痺と病巣とは対側へのBody Lateropulsionを呈した症例に対する理学療法とその経過. 第23回日本神経理学療法学会学術大会, 2025年10月31日-11月1日, 金沢
2. 武清孝弘, 伊藤能清, 堂園浩一郎, 宮園卓宜, 徳永雅仁, 中野伸亮, 藤野聡司, 小田原淳, 下山秀一郎, 宇都宮與: ATL患者における同種造血幹細胞移植前後のQOL変化. 第11回日本HTLV-1学会学術集会, 2025年11月7-9日, 鹿児島
3. 下山秀一郎, 伊藤能清, 堂園浩一郎, 武清孝弘, 宮園卓宜, 徳永雅仁, 中野伸亮, 藤野聡司, 小田原淳, 奈良聡一郎, 吉田一成, 堂園充代, 宇都宮與: 自家末梢血幹細胞移植における身体機能・筋肉量・QOL変化. 第48回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026年2月27日-3月1日, 東京
4. 武清孝弘, 伊藤能清, 堂園浩一郎, 下山秀一郎, 宮園卓宜, 徳永雅仁, 中野伸亮, 藤野聡司, 小田原淳, 奈良聡一郎, 吉田一成, 堂園充代, 宇都宮與: 移植時病勢と一般状態が同種造血幹細胞移植前後の身体機能変化に及ぼす影響. 第48回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026年2月27日-3月1日, 東京

いづろ今村病院 理学療法士

<国内>

1. 西洋樹, 牧迫飛雄馬, 白土大成, 赤井田将真, 木内悠人, 三宅悠斗, 田平健人, 川田将之, 木山良二, 竹中俊宏, 窪蘭琢郎, 大石充: 地域在住中高齢者におけるメタボリックシンドロームが体組成および身体機能の3年間の変化に及ぼす影響. 第12回日本サルコペニアフレイル学会, 2025年11月1日, 熊本

今村総合病院 作業療法士

<国内>

1. 日高まり子, 新福友果子: 回復期における脳卒中患者に手指機能訓練支援ロボット AMADEO を自主訓練に活用しADL時の麻痺側手参加が増えた1例. 九州作業療法学会 2025 in 宮崎, 2025年6月21-22日, 宮崎
2. 泉由佳, 蓮井春彦, 黒島麻衣, 村田耕一: 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対して、AMPSによる作業分析が、家事動作獲得につながった事例. 第59回日本作業療法学会, 2025年11月7-9日, 香川

谷山病院 作業療法士

<国内>

1. 鯉坂憲弘: MTDLPを活用した就労継続支援B型事業所における就労支援 ～関連部署と連携し包括的支援ができた事例～. 第34回鹿児島県作業療法学会, 2025年10月12日, 伊佐

今村総合病院 言語聴覚士

<国内>

1. 生田鈴奈：脳卒中集中治療室（SCU）専従看護師による食事形態選定における MMASA の有効性. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 2025 年 9 月 19-20 日, 横浜

薬剤部門

今村総合病院

<国内>

1. 志氣成, 横山里穂, 厚地絵理, 前田冬海, 橋本直美, 鬼丸俊司：精神科認定薬剤師による BPSD 発症患者へ対する薬学的介入効果. 第 84 回九州山口薬学大会, 2025 年 9 月 14-15 日, 佐賀 (Web)
2. 野元優基, 國師奈緒美, 木場綾乃, 鬼丸俊司：ICT 担当薬剤師による周術期クリニカルパスの見直しと抗菌薬適正使用への介入効果. 第 84 回九州山口薬学大会, 2025 年 9 月 14-15 日, 佐賀 (Web)
3. 橋本直美, 堀口大輔, 高田大貴, 森田咲季, 鬼丸俊司：当院におけるゾルベツキシマブ投与症例に対する薬剤師の介入. 第 35 回日本医療薬学会年会, 2025 年 11 月 22-24 日, 神戸 (Web)
4. 鬼丸俊司, 七枝美香, 山崎良子, 國師奈緒美, 森田咲季, 東牧里奈, 下永春紫, 末川由佳, 浜崎彩, 徳永雅仁, 上之園芳一：ICU 早期栄養管理加算における多職種協働と薬剤師の関わり. 第 20 回鹿児島 NST 研究会, 2026 年 2 月 21 日, 鹿児島 (Web)
5. 橋本直美, 堀口大輔, 高田大貴, 鬼丸俊司：BiTE 抗体による CRS 管理に対する薬剤師の取り組み—多職種連携によるクリニカルパス運用の有用性—. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2026 (第 15 回), 2026 年 3 月 7-8 日, 福岡 (Web)

<国内><共同発表>

1. 田中万祐子, 池田優生, 小田原淳, 伊藤能清, 鬼丸俊司, 坂崎友香, 近藤悠希, 三輪徹, 竹田大樹, 折田頼尚, 竹尾透, 山田侑世, 池田龍二, 入江徹美, 宇都宮興, 石塚洋一：レテルモビル注射剤に含有されている添加剤 2-hydroxypropyl- β -cyclodextrin の聴覚毒性に関する検討. 第 78 回日本薬理学会西南部会, 2025 年 11 月 8 日, 宮崎 (Web)

いづろ今村病院

<国内>

1. 松山淳史, 田原七海, 遠矢素子, 古澤夕紀子, 東屋敷史織, 東條知子, 内山ゆかり, 神門孝典, 吉永浩之：冷所保存医薬品における温度管理システム導入の有用性. 第 84 回九州山口薬学大会, 2025 年 9 月 14-15 日, 佐賀

谷山病院

<国内>

1. 青崎春菜, 新村味穂子, 長曾我部翔, 永井未仁, 新留亜希子, 四本晶子, 神門孝典：早期診療体制充実加算に対する薬剤師の取り組み. 第 9 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2026 年 1 月 25 日, 鹿児島

奄美病院

<国内>

1. 染川考佑, 中得聡, 佐多卓也, 四本晶子, 新留亜希子, 永井未仁, 長曾我部翔, 青崎春奈, 新村味穂子, 神門孝典, 吉永浩之：LAI（持続性抗精神病注射薬剤）導入に関する取り組み. 第 84 回九州山口薬学大会, 2025 年 9 月 14-15 日, 佐賀

画像診断・放射線治療部門

今村総合病院

<国内>

1. 馬場隆行：一般撮影装置とイメージングトランスフォーメーションとトモシンセシス臨床有用性. 第84回日本医学放射線学会総会, 2025年4月10-13日, 横浜
2. 蓑田辰則：ガンマナイフ治療を支える技師の力. 鹿児島県診療放射線技師会春季学術大会, 2025年6月8日, 鹿児島
3. 馬場隆行, 中馬修平, 福田萌乃, 下茂大輝, 小林晃也：教養としての頸椎開口位アトラスビュー：ATLAS-Viewを再構築する. 第41回日本診療放射線技師学術大会, 2025年9月12-14日, 福井
4. 福田萌乃, 中馬修平, 馬場隆行：下肢長尺撮影における大腿骨頭の直下に足関節を位置させるための検討. 第41回日本診療放射線技師学術大会, 2025年9月12-14日, 福井
5. 馬場隆行, 福田萌乃, 小林晃也：頸椎開口位撮影における環軸椎関節描出不良の要因分析とATLAS-Viewによる改善策の検討. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島
6. 馬場隆行, 福田萌乃, 小林晃也：パワーアシスト搭載・ワイヤレス化の進んだ最新一般撮影装置のワークフロー向上と身体負荷軽減効果. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島
7. 福田萌乃, 中馬修平, 馬場隆行：下肢長尺撮影における大腿骨頭の直下に足関節を位置させるためのクロスラインレーザを用いた撮影法の検討. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島
8. 小林晃也, 馬場隆行：足趾斜位撮影における従来撮影法に対し、補助具を用いた撮影法の比較. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島
9. 川上眞司：造影CT業務におけるタスクシェアへの取り組み. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島

<国内><共同発表>

1. 能勢記代, 馬場隆行, 福田萌乃：横倉法を元にしたX線入射方向の違いがアーチ高率に及ぼす影響. 第41回日本診療放射線技師学術大会, 2025年9月13日, 福井
2. 時任潤弥, 西田崇友, 吉見敦, 恵智徳：セルロースナノファイバーを用いたDWI評価用ファントムの開発. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島

いづろ今村病院

<国内>

1. 脇田慎一：当院における静脈路確保業務への取り組み. 第104回鹿児島県放射線技師会定時総会・春季学術大会, 2025年6月8日, 鹿児島
2. 上釜健作, 津曲楓真, 下田知佳, 徳永遥佳, 上舞優介, 二間瀬竜太, 脇田慎一：診断に苦慮した自己免疫性膵炎の1症例. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島

臨床検査部門

今村総合病院

<国内>

1. 比良泰士, 久保恵子, 日高まゆみ, 藤山裕輝, 西野璃子, 小田原淳：骨髓異形成症候群に対して臍帯血移植後、ドナー由来の白血病を発症した1例. 第26回日本検査血液学会学術集会, 2025年7月26-27日, 京都
2. 比良泰士, 小田原淳, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 藤野聡司, 中野伸亮, 米倉健太郎, 日高まゆみ, 藤山裕輝, 西野璃子, 宇都宮與, 伊藤能清：HAS-flowとTRBC1/2抗体を組み合わせた新しいHTLV-I感染細胞解析技術の開発. 第11回日本HTLV-I学会学術集会, 2025年11月7-9日, 鹿児島

輸血管理部

今村総合病院

<国内>

1. 宮園卓宜, 稲葉頌一, 中堂園文子, 大木浩, 山田麻里江, 松永光博: 離島における, 院内血(生血)に関するI & A 制度リモート審査について. 第73回日本輸血・細胞治療学会学術総会, 2025年5月31日, 札幌
2. 宮園卓宜: 急性GVHDにおけるマネージメント ～間葉系幹細胞(MSC)の使用法～. 第122回近畿血液学会地方会, 2025年6月14日, 奈良
3. 宮園卓宜, 澤邊太郎, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 再発難治性多発性骨髄腫4例に対する elranatamab の当院での使用経験～多職種チーム医療のもとで. 第87回日本血液学会学術集会, 2025年10月10-12日, 神戸
4. 宮園卓宜: 災害時の血液製剤融通. 第32回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム, 2025年10月24-25日, 東京
5. 宮園卓宜, 田代幸恵, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 伊藤能清, 宇都宮與: 当院における HTLV-1 感染のある患者にホジキンリンパ腫様組織像を呈した7例の経験. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月7-9日, 鹿児島
6. 宮園卓宜, 寺野玉枝, 川畑理月, 井上彩乃, 藤山裕輝, 小林果蓮, 平野美香, 牧野桃子, 伊藤能清, 宇都宮與, 常盤光弘: 血小板輸血由来 Streptococcus agalactiae 感染症の1例. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会第72回総会・第93回例会, 2026年1月17日, 那覇
7. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 田代幸恵, 米倉健太郎, 宇都宮與, 伊藤能清: 成人T細胞白血病リンパ腫(ATLL)さい帯血移植施行後に精神症状を併発した一例. 第48回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026年2月27日-3月1日, 東京

<国内><共同発表>

1. 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 藤野聡司, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清: FLT3-ITD 変異陽性 AML における同種移植後 Quizartinib 維持療法. 第87回日本血液学会学術集会, 2025年10月10-12日, 神戸
2. 中村大輔, 宮園卓宜, 中嶋秀人詞, 新居亮彦, 川田英明, 井上大栄, 米倉健太郎, 川平尚生, 竹内昇吾, 中別府聖一郎, 小代彩, 有馬直佑, 鎌田勇平, 原口浩一, 伊藤能清, 大塚真紀, 花田修一, 吉満誠, 石塚賢治: 鹿児島県 ATL レジストリーによる ATL 治療解析 (2021年～2024年). 第87回日本血液学会学術集会, 2025年10月10-12日, 神戸
3. 牧山純也, 加藤光次, 宮園卓宜, 徳永雅仁, 伊藤歩, 衛藤徹也, 糸永英弘, 河北敏郎, 内田直之, 末廣陽子, 藤岡真知子, 宮崎泰彦, 吉満誠, 神田善伸, 福田隆浩, 大引真理恵, 熱田由子, 藤重夫: 成人T細胞白血病・リンパ腫慢性型に対する同種造血幹細胞移植療法の成績. 第87回日本血液学会学術集会, 2025年10月10-12日, 神戸
4. 小田原淳, 中野伸亮, 藤野聡司, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 倉光球, 斎藤益満, 宇都宮與, 伊藤能清: 臍帯血移植後に HTLV-1 関連リンパ増殖性疾患を発症した2症例. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月7-9日, 鹿児島
5. 徳永雅仁, 田代幸恵, 藤野聡司, 小田原淳, 宮園卓宜, 米倉健太郎, 中野伸亮, 宇都宮與, 伊藤能清: 成人T細胞白血病・リンパ腫に対する BV-CHP 療法の有用性. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月7-9日, 鹿児島
6. 山口貴弘, 小田原淳, 徳永雅仁, 藤野聡司, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清: 減弱化学療法後にイノヅマブおよびブリナツモマブを投与し深い寛解を得た高齢 Ph 陰性 B-ALL の2例. 日本内科学会第351回九州地方会, 2025年11月30日, 福岡
7. 小田原淳, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 藤野聡司, 宇都宮與, 伊藤能清: 当院における造血幹細胞移植後 CMV 感染症に対する Maribavir 使用経験. 第48回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026年2月27日-3月1日, 東京

法人業績一覧 学会発表

8. 楠本茂, 小野澤真弘, 欽塚八千代, 宮園卓宜, 田中正嗣, 名島悠峰, 岡田耕平, 白鳥聡一, 佐藤貴之, 諫田淳也, 稲垣裕一郎, 村山徹, 畑野かおる, 小野寺晃一, 櫻井政寿, 遠藤慎也, 口分田貴裕, 糸永英弘, 由井俊輔, 渡邊光正, 東梅友美, 中野伸亮, 立花崇孝, 清水啓明, 太田秀一, 杉山真也, 熱田由子, 豊嶋崇徳, 吉住朋晴, 溝上雅史: 同種移植後B型肝炎再活性化予防ワクチンランダム化比較試験 (PREVENT HBV). 第48回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026年2月27日-3月1日, 東京

臨床工学部門

今村総合病院

<国内>

1. 川井田季睦, 竹之内聖三, 村岡良朗, 田淵智久, 中村英仁, 三重陽一, 福元まゆみ, 坂口政人, 原康隆: 当院での電子聴診器 (HVSI モニタ) の使用経験. 第70回日本透析医学会学術集会・総会, 2025年6月27-29日, 大阪
2. 塩浦大介, 土屋雄大, 古川正貴, 松田宣明, 里葵衣, 川井田季睦, 坂口政人, 竹之内聖三: 疼痛緩和を目的とした当院透析患者に対する交番磁界治療機器の使用経験. 第20回九州・沖縄臨床工学会 第17回大分県臨床工学学会, 2026年1月17-18日, 大分
3. 里葵衣: 透析患者の待ち時間における運動療法への取り組み. 第16回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2026年3月14-15日, 久留米

事務部門

今村総合病院 総務課

<国内>

1. 前田雄介, 川北莉愛, 川田原ひかる, 喜村華恋: 診療情報管理士クリニカルラダーの実践. 第51回日本診療情報管理学会学術大会, 2025年8月28-29日, さいたま
2. 佐々木大輔, 池田祐太: Excelを活用した低コストでの集計業務の負担軽減. 第66回全日本病院学会 in 北海道, 2025年10月11-12日, 札幌
3. 前田雄介, 中馬敦志: 重症度・医療・看護必要度の精度向上に向けた取り組み. 第66回全日本病院学会 in 北海道, 2025年10月11-12日, 札幌
4. 栗ヶ窪みゆき, 植村靖子: 選ばれる病院を目指す多面的アプローチ～「私たちの病院」を育てるために～. 日本医療マネジメント学会第22回九州・山口連合大会, 2025年11月28-29日, 別府

今村総合病院 医師事務補助課

<国内>

1. 登美奈子: 業務フロー活用事例の報告～院内の業務改善をめざして～. 第60回全国病院経営管理学会, 2025年11月21日, 東京

臨床研究センター

今村総合病院

<国際><共同発表>

1. Valcarcel B, Sano H, Utsunomiya A, Otsuka M, Miyahara M, Takamatsu Y, Ishitsuka K, Kimura S, Suzumiya J, Tamura K, Enriquez D, Vasquez J, Beltran B, Castro D, Runciman T, Quintero H, Arrieta E, Arias O,

Gotuzzo E, Garrido G, Roa M, Fiad N, Khan A, Sandoval-Sus J, Sica RA, Ye H, Janakiram M, Tanwar A, Cordover E, Shah L, Tuz-Zahra F, Zhang Y, Bell B, Cook L, Miranda E, Katsuya H, Ramos JC, Chiattonne C, Malpica L : Clinical features and outcomes of adult T-cell leukemia/lymphoma across world regions : An international retrospective cohort study. The 67th ASH Annual Meeting Abstracts, 7 Dec 2025, Orlando, Florida, USA

<国内>

1. 宇都宮與, 牧山純也, 白土基明, 外山孝典, 岡聡司, 崔日承, 吉田孝寛, 岡塚貴世志, 徳永雅仁: BV-CHP (brentuximab vedotin, cyclophosphamide, doxorubicin and prednisolone) in Previously Untreated Patients with CD30-Positive Adult T-Cell Leukemia Lymphoma (ATL) : A Multicenter Retrospective Study. 第65回日本リンパ腫学会学術集会・総会, 2025年7月5日, 名古屋
2. 徳永雅仁, 倉光球, 斎藤益満, 伊藤能清, 相良康子, 宇都宮與: 夫婦間感染における水平感染マーカーとしての HTLV-1 Env gp49(197-216) 抗体の解析. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月7-9日, 鹿児島
3. 小田原淳, 中野伸亮, 藤野聡司, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 倉光球, 斎藤益満, 宇都宮與, 伊藤能清: 臍帯血移植後に HTLV-1 関連リンパ増殖性疾患を発症した2症例. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月7-9日, 鹿児島
4. 垣添有佳: ATL 治験のために作成した業務支援ツールの活用実態とその有用性についての後方視的検討. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月7-9日, 鹿児島

<国内><共同発表>

1. 菅田謙治, イスラム エムディ サイフル, 中村秀明, 末岡榮三朗, 中島誠, 佐藤知雄, 山野嘉久, 徳永雅仁, 宇都宮與, 佐藤賢文: HAM/AC 由来 HLA-A24 拘束性 Tax 特異的 TCR の比較解析. 第11回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025年11月7-9日, 鹿児島

【慈愛会学会学術集会】

＜これまでの歩み＞

- ◆第1回 テーマ「逆境に強い体力のある組織づくり」
大会長 今村英仁 公益財団法人慈愛会理事長
2021年7月10日 鹿児島県市町村自治会館
- ◆第2回 テーマ「過去から学び 飛躍する慈愛会」
大会長 宇都宮典 今村総合病院名誉院長
2022年7月9日 鹿児島県市町村自治会館
- ◆第3回 テーマ「地域医療構想と地域包括ケアシステムの体制構築」
大会長 野村秀洋 介護老人保健施設愛と結の街施設長
2023年7月1日 鹿児島県市町村自治会館
- ◆第4回 テーマ「Jiaikai2040 いまこそ未来へつなぐ創造力を」
大会長 常盤光弘 今村総合病院院長
2024年7月27日 カクイックス交流センター

【第5回慈愛会学会学術集会】

テーマ「JIAIKAI TRANSFORMATION」

大会長 長野真二郎 いづろ今村病院院長
2025年7月26日 鹿児島県市町村自治会館

(所属・氏名は抄録に基づく)

＜特別セッション＞

今ならまだ間に合う医療 DX ～みんなで学び・考え・創造する働き方とは～

◆特別講演

講師：富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 ソリューション&サービス営業統括部 亀岡義文先生

◆今村総合病院 DX テクニカルチーム 報告と共有

今村総合病院 システムエンジニア 野崎真吾

今村総合病院 言語聴覚士 鮫島悠子

◆ディスカッション

コーディネーター：いづろ今村病院 院長 長野真二郎

登壇者：富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 亀岡義文先生、今村総合病院 システムエンジニア

野崎真吾、今村総合病院 言語聴覚士 鮫島悠子、いづろ今村病院 看護師 中窪尊子

<口演>

第Ⅰセッション

1. 今村総合病院 看護師 油木貴子, 武加奈子, 臨床看護教員 松山日実子: 基礎看護学実習での指導者の関わりによる看護学生の学びの変化 ~ WEB アンケート活用による迅速な実習環境の整備 ~ ***口演発表奨励賞**
2. 今村総合病院 看護師 藤原めぐみ, 小濱奈々, 田所育美, 助産師 吉松美恵子: 看護管理者シャドー研修企画 ~ キャリアビジョンの重要性 ~
3. 谷山病院 看護師 内田宏貴, 伊地知綾美: LAI エキスパートナースの院外育成 ~ 奄美病院と谷山病院の人事交流によるスタッフ育成 ~ ***今村節子賞**
4. 社会福祉法人慈愛会幼保連携型認定こども園おひさまこども園 保育教諭 若松幸夏, 濱島百香, 竹内香代子: 園内研修を通じた人材育成とチーム力 ~ 保育の質の向上へ ~ ***口演発表奨励賞**
5. いづろ今村病院 理学療法士 土井敦, 西賢一郎, 今村総合病院 理学療法士 松元龍 谷山病院 作業療法士 迎雄作, 奄美病院 理学療法士 加納道貴, 徳之島病院 作業療法士 真喜志元希, 介護老人保健施設愛と結の街 理学療法士 有蘭大紀: 慈愛会ノーリフティングケア推進プロジェクト全体活動報告 ~ 腰痛のない職場環境の実現で人材不足に立ち向かう ~ ***口演発表奨励賞**
6. 今村総合病院 理学療法士 松元龍, 桑野大介, 浜田香穂麗, 医師 堂園浩一朗, 中川昌之, いづろ今村病院 理学療法士 土井敦, 西賢一郎, 谷山病院 作業療法士 迎雄作, 奄美病院 理学療法士 加納道貴, 徳之島病院 作業療法士 真喜志元希, 介護老人保健施設愛と結の街 理学療法士 有蘭大紀: 業務形態による腰痛発生の異なる関連要因について ~ 慈愛会ノーリフティングケア推進プロジェクト 今村総合病院報告 ~

第Ⅱセッション

1. 奄美病院 精神保健福祉士 西牟田智子, 森越志保, 医師 杉本東一, 谷山病院 精神保健福祉士 別府千尋, 医療法人純青会せいざん病院 看護師 笹川美子, 医療法人博仁会宮之城病院 精神保健福祉士 原田莉江: 認知症支援の啓発“しまロバ隊”で鹿児島をオレンジに染める① ~ SNS やオンラインツールで離島の距離的ハンデを強みに変えて ~ ***口演発表奨励賞**
2. 居宅介護支援事業所ウェルネスじあい 介護支援専門員 長野加代子: 住み慣れた地域での生活を支えるマネジメントを考える ~ サービス付き高齢者向け住宅での看取りを通しての一考察 ~
3. 高麗町クリニック 理学療法士 西村允宏, 永田祥吾, 医師 木原浩一, 今村総合病院 理学療法士 本室勝彦: 終末期訪問リハビリテーションの必要性 ***口演発表優秀賞**
4. ヘルパーステーション結の街 介護福祉士 福元宗幸, 坂口香美, 寺園裕子, 土喰典子, 新原香代子, 荒木かずえ: 利用者の自立に向けた関わり ~ 男性ヘルパーの訪問で変化が見られた事例 ~
5. 社会福祉法人慈愛会障害者支援施設 愛の浜園 生活支援員 屋園ゆき: 愛の浜園と私 ~ 施設 50 年のあゆみと共生社会について考える ~ ***口演発表優秀賞**
6. 今村総合病院 看護師 平川あゆみ: 能登半島地震支援活動報告 ~ 看護師として何が出来たのか ~ ***口演発表最優秀賞**

第Ⅲセッション

1. いづろ今村病院 医師 飯屋毅彦, 新中須敦, 向井舞, 松下敬亮, 田川理笑, 大重聡彦, 上久保定一郎, 鎌田哲郎: 病病・病診連携による周術期血糖コントロールの実際 ~ 症例から見えてくる連携のメリット ~
2. いづろ今村病院 薬剤師 遠矢素子, 東屋敷史織, 古澤夕紀子, 内山ゆかり, 東條知子, 田原七海, 松山淳史, 医師 新中須敦, 谷山病院 薬剤師 神門孝典: イメグリミンの効果・安全性に関する検討
3. 今村総合病院 薬剤師 東牧里奈, 下永春紫, 野元優基, 橋本直美, 鬼丸俊司: 周術期薬剤管理業務の実践
4. 今村総合病院 看護師 樋渡拓也: 急性期病棟における特定行為看護師としての活動報告 ~ 人工呼吸器からの離脱

を目指した患者との関り～

5. 今村総合病院 看護師 平川あゆみ, 中村倫丈, 上野真由美, 切手康加, 越路ゆかり: 当院における災害への取り組み～災害へ意識を向けることの大切さ～
6. 今村総合病院 助産師 吉松美恵子, 看護師 入佐美子, 梅本ゆかり, 桑野恵梨子, 福元優一, 松山郁子, 吉森みゆき, 中谷明実: 副看護師長による小集団活動を通したセル看護提供方式の導入

第Ⅳセッション

1. いづろ今村病院 看護師 榎本真智子, 皆村敦美, 宮田美穂, 事務員 坂之上智恵子, 医師 内田久美子, 比良高明, 常盤二起子: 健康管理センター婦人科検診報告 (2022 年～ 2024 年)
2. いづろ今村病院 医師 久保田敬子, 事務員 坂之上智恵子, 秋廣定也: 健診結果を生かした産業医活動
3. いづろ今村病院 医師 内田久美子, 常盤二起子, 久保田敬子, 木佐貫彰, 西本千恵美, 田口裕一郎, 保健師 石塚鈴, 東桃花, 中村好美, 若松美穂, 水口理沙, 松崎美帆, 角浩美, 森山実央, 下笠真里奈, 古田真弥子, 看護師 宮田美穂, 榎本真智子: 禁煙: やめられた人・やめられなかった人・やめる気がない人～禁煙指導のための予備的研究～
*口演発表奨励賞
4. 今村総合病院 看護師 浦崎千波, 内菌咲希, 柳田美結, 井手扶紗: 術後合併症予防のための取り組み～入院前にパンフレットを配布する効果～
5. いづろ今村病院 事務員 宮原健太: 地域医療構想による診療報酬の変化～地域包括医療病棟入院料分析～
*口演発表奨励賞
6. 今村総合病院 事務員 栗ヶ窪みゆき, 植村靖子: ファンを増やす病院広報の在り方について～クラウドファンディングでみるファンづくり～ *口演発表優秀賞

<ポスター>

1. いづろ今村病院 事務員 安本清美, 前野祐香, 山元奈々, 真辺志信, 坂之上智恵子: 人間ドック及び協会けんぽ健診時のオプション検査追加の動向について
2. いづろ今村病院 保健師 角浩美, 松崎美帆, 水口理沙, 若松美穂, 中村好美, 看護師 宮田美穂: 標準的問診票の生活習慣項目からみる当センターにおけるメタボリックシンドローム該当者の特徴 *ポスター発表最優秀賞
3. 谷山病院 薬剤師 四本晶子, 新留亜希子, 永井未仁, 長曾我部翔, 青崎春菜, 新村味穂子, 神門孝典, 奄美病院 薬剤師 染川考佑: 谷山病院におけるバルベナジンの使用状況について
4. いづろ今村病院 臨床検査技師 白田歩実, 湯浅由合, 紺屋仁, 医師 山下誠, 木佐貫彰, 長野真二郎: 加算平均心電図検査の導入による成果 *ポスター発表奨励賞
5. 今村総合病院 臨床検査技師 比良泰士, 久保友恵, 日高まゆみ, 藤山裕輝, 西野璃子, 医師 小田原淳: 骨髄異形成症候群に対して臍帯血移植後, ドナー由来の白血病を発症した1例
6. いづろ今村病院 看護師 山下志緒莉, 宮内智美, 宮田美穂: 前処置用スティックを使用した経鼻内視鏡検査前処置方法変更後の現状～人間ドック受検者の増加を目指して～ *ポスター発表優秀賞
7. いづろ今村病院 診療放射線技師 上釜健作, 津曲楓真, 下田知佳, 上舞優介, 脇田慎一: 人間ドックの腹部超音波検査における質の向上に向けた取り組みについて
8. いづろ今村病院 視能訓練士 小浜百合香, 岩田修子, 永井野侑貴, 田原実歩: 自動視野計を用いた等級判定について
9. いづろ今村病院 管理栄養士 中菌智美, 萬福有理, 内田紗弥, 下野真央, 言語聴覚士 松元潤, 東慎也: 嚥下調整食3への対応～継続可能な食形態と経口摂取維持を目指して～
10. 地域活動支援センターひだまり 相談支援専門員 (精神保健福祉士) 島由紀子: 重度知的障害の子を持つ母からのSOSに対応した事例報告～既存の障害福祉サービスでは支援が困難だった事例から, 地域に必要な社会資源について

て考察する～ ***ポスター発表奨励賞**

11. いづろ今村病院 看護師 永野真由美, 山元優佳子, 奥村珠里, 植木真樹子, 皆村敦美, 尾堂ゆかり: 外来がん薬物療法を受ける患者の不安や悩みに関する実態調査 ～患者の求める支援や介入に繋げるために～
12. 今村総合病院 看護師 田中恵美, 柳井真夏, 谷之口実夕, 中村倫丈, 嘉村早苗: 当院 ICU における経口挿管患者の口腔内環境についての実態調査 ～歯科口腔外科介入群と非介入群を比較～
13. 今村総合病院 看護師 厚地絵理: 急性期病院における院内デイケアの取り組み
14. いづろ今村病院 看護師 白澤美穂, 水流尚子, 岩元里美, 有村智子: 緩和ケア病棟看護師の鎮静に関する困難感軽減に向けた取り組み ～鎮静の手引きを活用して～
15. いづろ今村病院 看護師 岩崎さくら, 浜藺なな子, 森山桜乃, 屋田美結, 櫻井雅子: 多職種連携での業務効率化に向けた取り組み ～業務中断によるインシデント減少に向けて～
16. いづろ今村病院 看護師 松田理瑚, 上田緋奈, 永田ゆい, 盛岡沙織, 岩切郁美: 内服インシデントの背景に関する分析と検討 ～内服自己管理患者のインシデントの発生要因と今後の課題～
17. 奄美病院 看護師 平田恵美, 川畑明澄: 精神科における医療安全教育を考える ～KYT カンファレンスの定着に向けて～
18. 谷山病院 看護師 伊地知綾美, 加藤和広: 虐待防止に向けた看護師長会の取り組み
19. 社会福祉法人慈愛会サービス付き高齢者向け住宅 架け橋 介護福祉士 根本原拓郎: ご利用者の笑顔を引き出すために ～不適切ケアからご利用者の尊厳を守る～ ***ポスター発表優秀賞**
20. 谷山病院 看護師 小湊久留実: 感染対策リンクナース育成にむけた取り組み
21. 今村総合病院 理学療法士 本田恵祐, 松元龍, 浜田香穂麗: 褥瘡対策の指導者育成に向けたポジショニング研修の取り組みについて ～研修後アンケートの意見を通して～ ***ポスター発表優秀賞**
22. いづろ今村病院 看護師 甲斐葉理, 山本綾香, 林和宏, 介護福祉士 福盛夏美: 転倒予防カンファレンス導入の効果と今後の課題
23. 奄美病院 看護師 平美奈子: 転倒転落減少にむけての取り組み ～ウォーキングカンファレンス導入のシステム作り～
24. 奄美病院 看護師 川畑富士美: 多職種連携による退院支援の構築 ～入院時カンファレンスを導入して～ ***ポスター発表優秀賞**
25. 奄美病院 精神保健福祉士 森越志保, 西牟田智子, 医師 杉本東一, 谷山病院 精神保健福祉士 別府千尋, 医療法人純青会せいざん病院 看護師 笹川美子, 医療法人博仁会宮之城病院 精神保健福祉士 原田莉江: 認知症支援の啓発“しまロバ隊”で鹿児島をオレンジに染める② ～しまロバ隊がつかない離島地域の絆～
26. いづろ今村病院 看護師 櫻井雅子: 地域包括ケアシステムの構築を目指して ～認知症看護特定認定看護師としての役割～
27. 谷山病院 精神保健福祉士 清水一寿子, 濱田凌, 作業療法士 濱迫なる光, 公認心理師 杉田美咲: 主体的な目標設定に向けて ～治療プログラム参加を通しての試み～
28. 就労支援センターステップ 作業療法士 鯉坂憲弘, 小澤孝典, 公認心理師 小川香織: MTDLP を活用した就労継続支援 B 型事業所における就労支援 ～就労移行支援事業の利用を目指して～
29. 指定共同生活援助事業所しらゆりの郷 精神保健福祉士 遠矢ふみ: サテライトグループホームのニーズと今後の展望
30. 徳之島病院 管理栄養士 清水崇: いづろ今村病院糖尿病内科通院 11 年を振り返って
31. 鹿児島中央看護専門学校 専任教員 飯田かずよ, 中村栄子: 本校における学年交流技術演習の実践報告 ～学年の学びの差に焦点をあてて～ ***特別賞**
32. いづろ今村病院 理学療法士 西賢一郎, 土井敦, 今村総合病院 理学療法士 松元龍, 谷山病院 作業療法士 迎雄作, 奄美病院 理学療法士 加納道貴, 徳之島病院 作業療法士 真喜志元希, 介護老人保健施設愛と結の街

理学療法士 有蘭大紀：慈愛会ノーリフティングケア推進プロジェクト活動報告 ～いづろ今村病院～

33. 谷山病院 作業療法士 迎雄作, いづろ今村病院 理学療法士 西賢一郎, 土井敦, 今村総合病院 理学療法士 松元龍, 奄美病院 理学療法士 加納道貴, 徳之島病院 作業療法士 真喜志元希, 介護老人保健施設愛と結の街 理学療法士 有蘭大紀：ノーリフティングケア導入に向けた取り組み ～精神科病院における現状と課題～ ***ポスター発表奨励賞**
34. 奄美病院 理学療法士 加納道貴, いづろ今村病院 理学療法士 西賢一郎, 土井敦, 今村総合病院 理学療法士 松元龍, 谷山病院 作業療法士 迎雄作, 徳之島病院 作業療法士 真喜志元希, 介護老人保健施設愛と結の街 理学療法士 有蘭大紀：慈愛会ノーリフティングケア推進プロジェクト活動報告 ～奄美病院～
35. 徳之島病院 作業療法士 真喜志元希, いづろ今村病院 理学療法士 西賢一郎, 土井敦, 今村総合病院 理学療法士 松元龍, 谷山病院 作業療法士 迎雄作, 奄美病院 理学療法士 加納道貴, 介護老人保健施設愛と結の街 理学療法士 有蘭大紀：腰痛調査アンケートからみた徳之島病院の現状 ～慈愛会ノーリフティングケア推進プロジェクト～ ***ポスター発表優秀賞**
36. 介護老人保健施設愛と結の街 理学療法士 有蘭大紀, いづろ今村病院 理学療法士 西賢一郎, 土井敦, 今村総合病院 理学療法士 松元龍, 谷山病院 作業療法士 迎雄作, 奄美病院 理学療法士 加納道貴, 徳之島病院 作業療法士 真喜志元希：慈愛会ノーリフティングケア推進プロジェクト活動報告 ～現状と課題これからの展望～
37. いづろ今村病院 事務員 森太一, 中武知史：今すぐに出来るコスト削減（第2報） ***ポスター発表奨励賞**
38. いづろ今村病院 事務員 中武知史, 森太一：入院セット・オムツセット導入の効果と今後の課題
39. 谷山病院 看護師 杉田真人：テンプレートを使用した看護記録導入による記録時間の削減
40. 谷山病院 看護師 坂口純也, 伊地知綾美, 小林詩織, システムエンジニア 大山美幸：移動式電子カルテの導入とその効果
41. いづろ今村病院 事務員 内田充紀, 猿渡光, 中武知史, 山名舞子, 大迫将央, 谷口将一, 森太一, 今村総合病院 システムエンジニア 曾山悦郎：当施設における情報室の業務改善
42. 今村総合病院 診療放射線技師 川上真司, 橋口あゆみ, 西田崇友, 和田敏宏, 松元遥：造影CT 業務におけるタスクシェアへの取り組み
43. 今村総合病院 看護師 中村貴子, 尾方智恵子, 皆吉菜穂子, 松山郁子, 飯ヶ谷尚美：介護福祉士・ナースエイドとの協働体制の構築に向けて ***ポスター発表奨励賞**

【研究会・講演会】

救急・総合内科

今村総合病院

1. 西垂水和隆：主訴から診断へ～病歴聴取の達人～. 適々斎塾 総合診療・救急医療セミナー, 2025年9月27日, 大阪 (Web)
2. 白石大瑛：ショック症例の輸液適応. 救急カンファレンス, 2026年1月30日, 鹿児島
3. 西垂水和隆：医師の視点から、特定看護師がいる施設のメリットは？. 介護保険施設等を対象とした特定行為研修制度に関するシンポジウム, 2026年1月31日, 東京

膠原病・リウマチ内科

今村総合病院

1. 伊藤加菜絵：膠原病と共に歩む一仕事も暮らしも自分らしく～. 「膠原病」との暮らし～はたらくについて考えよう～, 2025年5月11日, 鹿児島
2. 伊藤加菜絵：当院におけるサリルマブ使用状況. 旭化成ファーマ 社内教育講演会, 2025年7月30日, 鹿児島
3. 伊藤加菜絵：乾癬性関節炎の診かた一多職種連携で切り拓く治療戦略～. Rheumatology UCB WEB Seminar, 2025年8月29日, 鹿児島 (Web)
4. 伊藤加菜絵：ANCA 関連血管炎について. キッセイ薬品工業株式会社 社内研修会, 2025年9月3日, 鹿児島
5. 伊藤加菜絵：当院における RA 診療. エーザイ株式会社 社内研修, 2025年9月18日, 鹿児島
6. 伊藤加菜絵：乾癬性関節炎の診かた一多職種連携で切り拓く治療戦略～. UCB PsA Seminar 沖縄, 2025年10月4日, 那覇 (Web)
7. 伊藤加菜絵：乾癬性関節炎の診かた一多職種連携で切り拓く治療戦略～. UCB PsA Cross Talk Seminar, 2025年10月29日, 鹿児島 (Web)
8. 伊藤加菜絵：膠原病と上手に付き合うために ～病気を知って、安心して過ごすためのヒント～. 令和7年度巡回相談, 2025年11月8日, 指宿
9. 伊藤加菜絵：乾癬性関節炎のトータルケア. Southern Kyushu Rheuma Women's Café, 2025年11月22日, 鹿児島
10. 伊藤加菜絵：日常診療における血管炎早期診断のコツと最新の治療. 鹿児島市内科医会学術講演会, 2026年1月29日, 鹿児島
11. 伊藤加菜絵：乾癬性関節炎のトータルケア. 七隈 PsA 合同カンファレンス, 2026年2月2日, 福岡
12. 伊藤加菜絵：長期予後を見据えた EGPA の治療戦略. Fasenra EGPA Web Seminar, 2026年2月4日, 鹿児島 (Web)
13. 伊藤加菜絵：当院におけるアバコパン使用経験. AAV Seminar, 2026年2月16日, 福岡 (Web)
14. 伊藤加菜絵：オゾラリズマブが RA 診療で“選ばれる瞬間”とは一当院での経験を踏まえて～. 大正製薬株式会社 社内研修会, 2026年2月18日, 鹿児島 (Web)
15. 伊藤加菜絵：関節リウマチの最新の薬物治療. 第32回臨床に薬だつ研修会, 2026年3月3日, 鹿児島 (Web)
16. 伊藤加菜絵：DT2にならないための RA 治療戦略. JAK 阻害剤を考える会 in 鹿児島, 2026年3月18日, 鹿児島

血液内科

今村総合病院

1. 小田原淳：再発・難治性 ALL の当院における治療戦略. BLINCYTO Web Symposium, 2025年4月21日, Web
2. 宮園卓宜：当院における 未治療多発性骨髄腫に対する IsaVRd 療法の使用経験. 九州・沖縄地区多発性骨髄腫講演会, 2025年7月11日, Web

3. 小田原淳：今村総合病院における臍帯血移植～適応から管理まで～. 造血細胞移植拠点オンラインセミナー, 2025年7月26日, Web
4. 宮園卓宜：当院における初発の慢性骨髄性白血病 (CML) に対するアシミニブの使用経験. Novartis CML Seminar in Kagoshima—CML 治療最前線— UP TO DATE 2025, 2025年9月26日, 鹿児島
5. Utsunomiya A : Current Status of ATL Clinical Practice and Treatment in Japan. 2025 The World HTLV Day Webinar, 2025年11月5日, Web
6. 宮園卓宜：「科学的エビデンス等に基づき医療環境に応じた適切な輸血療法実施についての研究：へき地・離島等での血液製剤の有効利用のための研究」「へき地・離島における血液製剤の緊急避難的 融通に対する考え方」作成について. 令和7年度医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業 第1回松本班会議, 2025年11月6日, Web
7. 宮園卓宜：免疫療法時代の FL 治療戦略を考える. Follicular Lymphoma Seminar, 2025年12月1日, Web
8. 宮園卓宜：リンパ節腫大、体液貯留がみられた一例. 鴨池 Lymphoma Conference, 2025年12月5日, Web
9. 宮園卓宜：安全で適正な輸血の推進に関して～中小医療施設における輸血機能評価 I & A 制度：症例で考える～. 第6回 2025年度中小医療施設での輸血医療向上のための WEB 研修会, 2025年12月13日, Web
10. 宇都宮興：日本における ATL の臨床実践と治療の現状. 令和7年度 HTLV-1 対策講習会, 2026年1月14日, 鹿児島
11. 宮園卓宜：「鹿児島県医療機関の緊急時災害時の輸血医療体制における現状調査、および医療機関間連携のための基盤整備」輸血関連臨床検査技師向け. 令和7年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業, 2026年1月23日, Web
12. 宮園卓宜：血液製剤使用適正化の推進について. 第64回鹿児島県血液対策推進協議会, 2026年2月3日, 鹿児島
13. 宮園卓宜：「鹿児島県医療機関の緊急時災害時の輸血医療体制における現状調査、および医療機関間連携のための基盤整備」救急医師向け. 令和7年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業, 2026年2月5日, Web
14. 宮園卓宜：適正輸血・緊急時災害時の血液製剤融通. 現地視察時講演会, 2026年2月9日, 屋久島
15. 宇都宮興：南九州に多い成人 T 細胞白血病 (ATL) について. 骨髓バンク支援「命をつなぐ」コンサート つなげる～命をつなぐ～つながる 医療講演会, 2026年2月11日, 鹿児島
16. 宮園卓宜：2025年度 鹿児島県合同輸血療法委員会 血液製剤の使用適正化等に関する アンケート調査. 第15回令和7年度鹿児島県合同輸血療法懇話会, 2026年2月21日, 鹿児島
17. 宮園卓宜：「科学的エビデンス等に基づき医療環境に応じた適切な輸血療法実施についての研究：へき地・離島等での血液製剤の有効利用のための研究」「へき地・離島における血液製剤の緊急避難的 融通に対する考え方」作成について. 令和7年度医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業 第2回松本班会議, 2026年3月15日, 東京

脳神経内科

今村総合病院

1. 有水琢朗：当院で経験した興味深い症例とてんかんについて. 絆を深める地域医療交流会, 2025年6月26日, 鹿児島
2. 有水琢朗：アテローム血栓性脳梗塞の一例. 2025年度第2回今村総合病院救急カンファレンス, 2025年9月30日, 鹿児島
3. 有水琢朗：脳卒中を正しく知り、正しく予防しよう. 市民公開講座 脳を守る2つのおはなし, 2025年11月22日, 鹿児島
4. 有水琢朗：脳卒中の1次及び2次予防まで考えてみる：JSH2025を参考に高血圧とその他のリスクまで. 高血圧 WEB セミナー in 鹿児島, 2026年3月25日, Web

小児科

今村総合病院

1. 溝田美智代：小児の成長と学校での成長曲線活用について－肥満とやせの対応も含めて、令和7年度学校栄養士協議会総会，2025年5月17日，鹿児島
2. 溝田美智代：シンポジウム ホルモン治療のもたらす有害事象 二次性徴抑制療法について，日本GI（性別不合）学会第27回研究大会・総会，2026年3月22日，鹿児島

リハビリテーション科

今村総合病院

1. 堂園浩一郎：脳卒中の病態と神経症状（後遺症状）～復職を見据えて～，令和7年度両立支援コーディネーター応用研修，2025年10月7日，鹿児島

脳神経外科・ガンマナイフセンター

今村総合病院

1. 八代一孝：進化するガンマナイフ治療－Elekta Esprit への期待－，Gamma Knife Elekta Esprit 導入記念講演会，2025年5月2日，鹿児島
2. 八代一孝：からだに優しく、しっかり治す－ガンマナイフが支える脳腫瘍治療－，市民公開講座 脳を守る2つのおはなし，2025年11月22日，鹿児島
3. 八代一孝：医療の進歩・ガンマナイフの進歩，大隅地区学術講演会，2026年2月19日，鹿屋

外科・消化器外科

今村総合病院

1. 田辺寛：今村総合病院の消化器外科について，絆を深める地域医療交流会，2026年2月20日，鹿児島

スポーツ整形外科

今村総合病院

1. 福島佳織：こどものスポーツ傷害の実態 ～発生機序・診療・予防～，第100回 鹿児島県小児科医会学術講演会，2025年5月17日，鹿児島（Web）
2. 前園恵慈：当院における ACL 再建の現状，Smith&Nephew Knee Sports Webinar Series2，2025年7月25日，東京（Web）
3. 前園恵慈：整形外科医師が診療放射線技師、C アーム操作に求めること，PHILIPS，2025年9月6日，福岡
4. 前園恵慈，西牟田亮：ランニング障害予防教室，医接連携プロジェクト，2025年10月18日，奄美
5. 前園恵慈，西牟田亮：前十字靭帯断裂 診断・治療・リハビリ～ぜひ知っておいてほしいこと～，医接連携プロジェクト，2025年10月19日，奄美
6. 海江田英泰：肩関節疾患の診断と治療，久光製薬講演会，2025年11月13日，鹿児島
7. 海江田英泰：野球選手に多い障害：野球肘と腰椎分離症，育成力アップセミナー（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格更新研修）薩摩おいどんリーグ実行委員会，2026年3月1日，鹿児島

皮膚科

今村総合病院

1. 米倉健太郎：今村総合病院における乾癬治療. SUN Shining Seminar in Kagoshima, 2025 年 5 月 12 日, 鹿児島
2. 米倉健太郎：Psoriatic disease の視点からみた院内連携と Bio 治療の現状～ WJPR データを含めて～. Abbvie Clear Psoriasis Seminar, 2025 年 10 月 16 日, 徳島
3. 米倉健太郎：皮膚リンパ腫治療はどう変わるか？～ガイドライン改訂と TomoTherapy の実際～. 皮膚悪性リンパ腫セミナー, 2025 年 10 月 30 日, 神戸
4. 米倉健太郎：ブイタマー® クリーム 1% 発売 1 周年記念講演会. ブイタマークリーム発売 1 周年記念講演会, 2025 年 11 月 5 日, 鹿児島
5. 米倉健太郎：PsD 診療における院内・院外連携. 七隈皮膚の炎症講演会, 2025 年 11 月 11 日, 福岡
6. 米倉健太郎：WEB ライブセミナー. 皮膚病変を有する indolent ATL の治療, 2025 年 11 月 26 日, 東京
7. 米倉健太郎：ATL の診断と最新の治療. 第 3 回山口県皮膚リンパ腫学術講演会, 2025 年 12 月 11 日, 宇部
8. 米倉健太郎：PsD 診療における院内・院外連携. UCB Psoriasis Seminar, 2025 年 12 月 17 日, 大分
9. 米倉健太郎：アトピー性皮膚炎と皮膚リンパ腫について. LEO Dermatology WEB Seminar, 2026 年 1 月 17 日, 富山
10. 米倉健太郎：乾癬における IL-17 阻害薬とルミセフ. ルミセフペン発売記念講演会, 2026 年 1 月 21 日, 鹿児島
11. 米倉健太郎：乾癬の鑑別診断. SUN Shining Seminar in Kagoshima, 2026 年 1 月 23 日, 鹿児島
12. 米倉健太郎：ATL の皮膚病変. ミノファージェン製薬 Web Live Seminar, 2026 年 1 月 26 日, 福岡
13. 米倉健太郎：Psoriatic disease としての乾癬治療と WJPR データから見た bio の継続率. AbbVie 乾癬 Expert Seminar, 2026 年 2 月 3 日, 鹿児島
14. 米倉健太郎：CTCL の診断と治療～皮膚リンパ腫ガイドライン 2025 update を含めて～. 関西皮膚リンパ腫勉強会, 2026 年 2 月 6 日, 枚方
15. 米倉健太郎：ATL の皮膚病変の治療. ミノファージェン製薬 Web ライブセミナー, 2026 年 3 月 11 日, 宜野湾

いづろ今村病院

1. 川上延代：糖尿病患者に多い皮膚疾患. 糖尿病地域連携セミナー, 2025 年 10 月 9 日, 鹿児島
2. 川上延代：糖尿病でよくみられる皮膚疾患. 第 35 回鹿児島市域糖尿病医療連携体制講習会, 2025 年 11 月 18 日, 鹿児島

眼科

今村総合病院

1. 土居範仁：ファリシマブの臨床使用経過. JOY 女医さつまの会, 2026 年 1 月 24 日, 鹿児島

歯科口腔外科

今村総合病院

1. 坂元亮一：口からはじめる健康づくりと介護予防. 絆を深める地域医療交流会, 2025 年 10 月 3 日, 鹿児島

緩和ケア内科

いづろ今村病院

1. 松下格司：緩和ケア内科における疼痛治療. 薬業連携交流会 in 鹿児島, 2026 年 2 月 6 日, 鹿児島

認知症疾患医療センター

谷山病院

1. 雷智子：前頭側頭型認知症について知る。鹿児島県令和7年度若年性認知症セミナー，2025年12月16日，鹿児島

かごしまオハナクリニック

1. 林恒存：認知症を理解する。鹿児島市認知症介護教室，2025年6月28日，鹿児島
2. 林恒存：シンポジウム「在宅医療を支える病診連携と人材育成」。第2回日本在宅医療連合学会九州ブロック大会，2025年11月9日，鹿児島
3. 林恒存：日本内科学会 JMECC/ICLS コース（インストラクター）。県立宮崎病院 JMECC（内科救急）/ICLS コース，2025年12月6日，宮崎
4. 横山大輔：変わっていく体 包括的性教育授業参観。鹿児島市立鴨池小学校，2025年12月9日，鹿児島
5. 林恒存：認知症を理解する。鹿児島市認知症介護教室，2025年12月11日，鹿児島
6. 林恒存：日本内科学会 JMECC/ICLS コース（インストラクター）。今村総合病院 JMECC（内科救急）/ICLS コース，2026年1月17日，鹿児島
7. 林恒存：救急科講義「高齢者」。鹿児島県消防学校 救急科講義，2026年2月9日，鹿児島
8. 横山大輔，生駒彩夏：がんってどんな病気 いのちの授業。鹿児島市立鴨池小学校，2026年2月19日，鹿児島
9. 横山大輔：ケースで学ぶ包括・総合的な判断能力～臨床推論のその先に～。特定看護師研修センター，2026年2月21日，鹿児島

以上、診療部門

看護部門

今村総合病院

1. 柳田貴子：医療安全（医療安全管理の実際）。鹿児島中央看護専門学校，2025年4月1日，鹿児島
2. 徳田勝哉：透析患者さんの生活目標とSDM。第9回慢性疾患を考える会，2025年4月24日，Web
3. 浜辺恵里香：社会福祉Ⅱ（講義）。鹿児島中央看護専門学校3年課程，2025年4月-9月，鹿児島
4. 徳田勝哉：日常業務と災害対策。第9回鹿児島CKDチーム医療研究会，2025年5月15日，鹿児島
5. 平川あゆみ：当院での災害対策への取り組み。第9回鹿児島CKDチーム医療研究会，2025年5月15日，鹿児島
6. 徳田勝哉：透析医療の災害対策（実技指導）。日本災害時透析医療協同支援チーム（JHAT）研修会，2025年6月1日，熊本
7. 浜辺恵里香：鹿児島県における医療・介護を取り巻く状況等について。外来における在宅療養支援能力向上のための研修，2025年6月28日，鹿児島
8. 徳田勝哉：VA看護とVA管理のRedesign。CKD-MBD Symposium in 鹿児島，2025年7月8日，鹿児島
9. 徳田勝哉：実践してみよう！透析患者の生活目標について。第38回奄美透析懇話会，2025年7月24日，奄美
10. 浜辺恵里香：入退院支援 多職種との連携と協働。令和7年鹿児島県看護協会教育研修，2025年8月19日，鹿児島
11. 徳田勝哉：VA看護とVAエコー（講義＋実技指導）。VAエコーハンズオンセミナー，2025年8月31日，佐賀
12. 池田清夏：成人看護援助Ⅰ造血器・アレルギー看護第1・2・4回。鹿児島医療福祉専門学校 看護科，2025年9月-10月，鹿児島
13. 上山りえ：成人看護援助Ⅰ造血器・アレルギー看護第3・5回。鹿児島医療福祉専門学校 看護科，2025年9月-10月，

鹿児島

14. 徳田勝哉：VA 看護と VA エコー（講義＋実技指導）。VA エコーハンズオンセミナー，2025 年 9 月 28 日，東京
15. 池田清夏：成人看護援助論Ⅲ（造血幹細胞移植）。赤塚学園看護学科，2025 年 10 月 1 日，鹿児島
16. 徳田勝哉：腎臓領域 看護。鳳凰高校看護科，2025 年 10 月 1 日，鹿児島
17. 徳田勝哉：初級・中級・上級者の穿刺の違い&エコーガイド下穿刺の基礎。VA エコーハンズオンセミナー，2025 年 10 月 5 日，宮城
18. 徳田勝哉：腎臓領域 看護。鳳凰高校看護科，2025 年 10 月 9 日，鹿児島
19. 吉森みゆき：地方病院における EPA 看護師候補者受入の現状と課題。第 5 回かごしま国際看護フォーラム(鹿児島)，2025 年 10 月 25 日，鹿児島
20. 柳田貴子：医療安全（医療安全管理の実際）。鹿児島中央看護専門学校，2025 年 11 月 -12 月，鹿児島
21. 徳田勝哉：穿刺に必要な DANTE と VA 看護（講義＋実技指導）。iMEP セミナー，2025 年 11 月 16 日，滋賀
22. 徳田勝哉：慢性腎臓病（CKD）予防と看護（看護編）。鹿児島県看護協会セミナー，2025 年 11 月 20 日，鹿児島
23. 徳田勝哉：生活目標に基づく Shared Decision Making の意義と臨床実践への展開。第 31 回日本腹膜透析医学会学術集会，2025 年 11 月 22-23 日，東京
24. 浜辺恵里香：Let's collaboration。令和 7 年度訪問看護供給体制総合支援事業，2025 年 11 月 27 日，奄美
25. 徳田勝哉：穿刺に必要な DANTE と VA 看護（講義＋実技指導）。VA 看護におけるエコー活用セミナー，2025 年 12 月 6 日，沖縄
26. 徳田勝哉：生活目標の成り立ちと実践。透析看護と生活目標セミナー，2025 年 12 月 13 日，岡山
27. 徳田勝哉：腎不全緩和ケア。日本臨床腎臓看護学会 緩和セミナー，2026 年 1 月 29 日，Web
28. 徳田勝哉：VA 領域における臨床の科学と QI の意義。バスキュラーアクセスを考える会 in 鹿児島，2026 年 2 月 3 日，鹿児島
29. 徳田勝哉：VA 看護管理者フォローアップ。第 5 回日本臨床腎臓病看護学会学術集会，2026 年 2 月 14-15 日，滋賀
30. 徳田勝哉：生活目標を多職種協同で取り組む。第 8 回腎代替療法研究会，2026 年 2 月 21 日，富山
31. 吉森みゆき：微生物と感染症。鹿児島中央看護専門学校，2026 年 2 月 25 日，鹿児島
32. 徳田勝哉：特別講演：看護における SDM・ACP の重要性 ～生活目標の活用～。七隈 CQI 看護セミナー，2026 年 2 月 26 日，福岡
33. 浜辺恵里香：Let's collaboration。令和 8 年度訪問看護供給体制総合支援事業，2026 年 2 月 26 日，鹿屋
34. 浜辺恵里香：急性期病院における地域連携のあり方 ～地域と共に地域を創造する～。アステム主催 鹿児島県地域連携サミット，2026 年 3 月 6 日，鹿児島
35. 徳田勝哉：「穿刺のコツ」ブラインド穿刺について（講義＋実技指導）。第 24 回日本インターベンションネフロロジー学会学術集会，2026 年 3 月 14 日，広島
36. 徳田勝哉：看護師の立場から見た Aplio air の使用経験・評価。VA Thursdy Night Webinar Season 2，2026 年 3 月 19 日，Web
37. 徳田勝哉：透析中の血圧と倦怠感と栄養。今村総合病院 腎友会 勉強会，2026 年 3 月 22 日，鹿児島

いづろ今村病院

1. 中窪尊子：Total pain（苦痛）への対処の実際。鹿児島純心大学，2025 年 6 月 10 日，川内
2. 中窪尊子：初めての看護管理～かけだし師長の心得～。鹿児島県看護協会，2025 年 7 月 9 日，鹿児島
3. 櫻井雅子：看護職員認知症対応力向上研修。鹿児島県看護協会，2025 年 8 月 20 日，鹿児島
4. 中窪尊子：患者の言動にどのように対応するか 困難感を感じる 2 事例について。がん看護研究会年次大会，2025 年 9 月 13 日，鹿児島
5. 櫻井雅子：認知症と看護。鹿児島県 令和 7 年度 新人看護職員卒後研修，2025 年 9 月 20 日，鹿児島

6. 尾堂ゆかり：糖尿病患者の療養を支えるフットケア。2025 年度糖尿病重症化予防（フットケア）研修会，2025 年 11 月 6 日，鹿児島

奄美病院

1. 村田めぐみ：精神看護学Ⅲ。奄美看護福祉専門学校，2025 年 12 月 -2026 年 3 月，奄美

愛と結の街

1. 川崎愛：生活支援技術 F(食事)。鹿児島医療福祉専門学校，2025 年 4 - 9 月，鹿児島
2. 川崎友義：チームマネジメント。鹿児島女子短期大学，2025 年 9 月 - 2026 年 1 月，鹿児島
3. 今西由香：老年期の健康障害と看護。鹿児島医療技術専門学校，2025 年 9 月 16・30 日，鹿児島
4. 木場田哲也：高齢者の暮らしを支える看護。鹿児島医療技術専門学校，2025 年 9 月 10・17 日，鹿児島

笹貫訪問看護ステーション愛の街

1. 中菌明子：認定看護管理者教育課程ファーストレベル。鹿児島県看護協会，2025 年 8 月 7 日，鹿児島
2. 中菌明子：看護倫理指導者養成研修会。日本精神科看護協会鹿児島県支部，2025 年 12 月 20 日，鹿児島
3. 宮内幸子，疇地眞子：令和 7 年度新人訪問看護師管理者向け研修会。鹿児島県看護協会，2026 年 1 月 21 日，鹿児島

リハビリテーション部門

今村総合病院 理学療法士(スポーツ整形)

1. 白尾泰宏：肩インピンジメント症候群に対する徒手療法と運動療法。鹿児島県理学療法士協会 運動器専門領域研修会，2025 年 9 月 7 日，鹿児島
2. 吉田研吾：(臨床で活かせる) 肩・肘関節を中心としたフィジカルチェック。鹿児島県理学療法士協会 スポーツ事業部，2025 年 10 月 5 日，鹿児島
3. 吉田研吾：機能面を中心とした投球障害肩に対するアプローチ。鹿児島県理学療法士協会 第 3 回大隅地区研修会，2025 年 11 月 17 日，WEB
4. 迫田彩夏：フレッシュセッション 私がこの領域に進んだ理由、そしてどう切り開いたか。第 11 回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法学会学術大会，2025 年 12 月 14 日，大阪
5. 白尾泰宏：変形性膝関節症・半月板損傷に対する徒手療法と運動療法。鹿児島県理学療法士協会 運動器専門領域研修会，2025 年 12 月 14 日，鹿児島

今村総合病院 理学療法士(一般総合)

1. 村山芳博：チーム医療について。鹿児島大学医学部保健学科 理学療法専攻・作業療法学専攻・看護学専攻，2025 年 6 月 17 日，鹿児島
2. 野田佳孝：介護講習会。校区社会福祉協議会，2025 年 6 月 24 日，鹿児島
3. 津曲麻美：介護講習会。校区社会福祉協議会，2025 年 8 月 21 日，鹿児島
4. 津曲麻美：介護講習会。校区社会福祉協議会，2025 年 9 月 19 日，鹿児島
5. 中島徳久：10 年先も元気に歩こう！ ～理学療法士と一緒にかんたん健康チェック～。かもいけ健康まつり，2025 年 10 月 18 日，鹿児島
6. 武清孝弘：造血器腫瘍におけるリハビリテーションの取り組み 移植後長期フォローアップ含めて。がんリハビリテーション Web セミナー，2025 年 11 月 5 日，福岡 (Web) "

7. 野崎聖矢：介護講習会。校区社会福祉協議会，2025年11月8日，鹿児島
8. 川崎和也：地域ケア会議に求められる専門職の役割（総論）。一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会，2025年11月16日，Web
9. 川崎和也：リハ専門職の役割 理学療法士の役割。一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会，2025年11月16日，Web
10. 瀬戸口綾子：介護講習会。校区社会福祉協議会，2025年11月19日，鹿児島
11. 村山芳博：CVA 評価について（OSCE 実施）。鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻，2025年12月8日，鹿児島

いづろ今村病院 理学療法士

1. 土井敦：在宅系施設における重度褥瘡へのアプローチ。第7回 日本在宅医療連合学会 シンポジウム シンポジスト，2025年6月14日，長崎
2. 土井敦：地域、在宅リハビリテーション 分科会。第24回九州ブロック介護老人保健施設大会，2025年7月11日，熊本
3. 土井敦：運動学Ⅳ。学校法人 原田学園 作業療法学科2年 後期授業，2025年10月～2026年3月，鹿児島
4. 西洋樹：糖尿病と心・腎疾患～理学療法士としての関わりについて～。鹿児島県理学療法士協会専門領域研修部循環器領域研修会，2025年10月12日，いちき串木野
5. 西洋樹：リハビリテーション専門職のための糖尿病の基礎知識。吉野・吉田地区リハ専門職研修会，2025年10月20日，鹿児島
6. 西洋樹：症例検討グループワーク 運動療法実施率向上のための工夫。鹿児島県医師会糖尿病重症化予防研修会，2025年11月5日，薩摩川内
7. 西洋樹：糖尿病と運動療法について。十島村役場糖尿病重症化予防キャンペーン，2025年11月8日，十島村中之島
8. 土井敦：訪問リハにおける理学療法。鹿児島 POS 連絡協議会 訪問リハ研究会 実務者研修，2025年11月15日，鹿児島（Web）
9. 土井敦：実践者研修会 現場で役立つ基礎的知識。公益財団法人介護労働安定センター 介護実務者研修，2025年12月9日，鹿児島
10. 西賢一郎：姿勢の呼吸への影響～肺炎、ポジショニングや排痰～。鹿児島県理学療法士協会専門領域呼吸研修会，2025年12月14日，鹿児島
11. 土井敦：令和7年度 介護職員チームリーダー養成研修 ノーリフティング基礎。鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター，2026年1月16日，霧島
12. 土井敦：令和7年度 介護職員チームリーダー養成研修 ノーリフティング応用。鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター，2026年1月27日，霧島
13. 土井敦：快適な住環境整備と介護。鹿児島県歯科学院専門学校 介護職員初任者研修，2026年2月20日，鹿児島

谷山病院 作業療法士

1. 田畑典子：精神科分野における調理活動。鹿児島医療技術専門学校特別講義，2026年2月20日，鹿児島

今村総合病院 言語聴覚士

1. 香川勇治：介護講習会（嚥下障害）。鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会，2025年6月6日，鹿児島
2. 小齊平千夏：介護講習会（嚥下障害）。鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会，2025年6月13日，鹿児島
3. 上村悠野：介護講習会（嚥下障害）。鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会，2025年6月21日，鹿児島
4. 若松藍：ことばっていつ話すの？～発達と不安のギャップを埋めるヒント～。垂水市主催 令和7年度第1回今村

総合病院講演会 / 垂水市子育て支援センター, 2025 年 7 月 8 日, 垂水

5. 福元麻衣: 介護講習会 (嚥下障害). 鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会, 2025 年 8 月 20 日, 鹿児島
6. 寺尾香織: 介護講習会 (認知症). 鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会, 2025 年 9 月 12 日, 鹿児島
7. 末川由佳: 介護講習会 (嚥下障害). 鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会, 2025 年 11 月 17 日, 鹿児島
8. 若松藍: 嚥下造影検査 (VF) で読み解く嚥下障害について～画像で支える「食べる力」～. 令和 7 年度鹿児島さくら RT 研修会, 2026 年 2 月 26 日, Web

薬剤部門

今村総合病院

1. 橋本直美: 血液内科病棟薬剤師の役割とチームによる治療成績について. 第一三共社員研修, 2025 年 9 月 25 日, 鹿児島 (Web)
2. 東牧里奈: 今村総合病院における周術期薬剤管理業務. テルモ株式会社社員研修, 2025 年 10 月 28 日, 鹿児島 (Web)
3. 志氣成: 統合失調症の薬物療法について. 第 277 回 CNS 倶楽部, 2025 年 11 月 4 日, 鹿児島 (Web)
4. 堀口大輔: がんのお話. 鹿児島県令和 7 年度外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業 (桜丘東小学校), 2025 年 11 月 11 日, 鹿児島
5. 橋本直美: がんのお話. 鹿児島県令和 7 年度外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業 (山下小学校), 2025 年 12 月 12 日, 鹿児島
6. 山崎良子, 志氣成: 慢性腎臓病 (CKD) と薬の正しい付き合い方. 今村総合病院第 6 回腎臓病教室, 2026 年 2 月 21 日, 鹿児島

谷山病院

1. 神門孝典: 医療安全について. 第 47 回鹿児島県病院薬剤師会新任薬剤師研修会, 2025 年 8 月 17 日, 鹿児島

奄美病院

1. 染川考佑: 当院における精神科薬物療法の現状と課題. 第 163 回 CNS 倶楽部 講演 2 (Meiji Seika ファルマ), 2025 年 4 月 9 日, 奄美 (Web)
2. 染川考佑: 当院におけるラツダの使用状況について. ラツダ 5 周年記念講演会 (住友ファーマ), 2025 年 10 月 31 日, 奄美 (Web)
3. 染川考佑: 当院における LAI 導入に関する取り組み. Otsuka DPA Web Seminar ～ LAI 製剤の有効活用を考える～, 2026 年 3 月 19 日, 奄美 (Web)

画像診断 / 放射線治療部門

今村総合病院

1. 川上真司: 救急画像 (STAT 画像). 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2025 年 4 月 9 日, 鹿児島
2. 牧野竜大: 肝胆臓. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2025 年 4 月 16 日, 鹿児島
3. 蓑田辰則: 上肢. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2025 年 4 月 23 日, 鹿児島
4. 恵智徳: 透視画像 1. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2025 年 4 月 30 日, 鹿児島
5. 吉見敦: 頭頸部 1. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2025 年 5 月 7 日, 鹿児島
6. 馬場隆行: 馬場ちゃんの部屋 膝蓋骨軸位・ローゼンバーク編. 第 3 回 九州島津ユーザー会 QUEST, 2025 年 5 月 10 日, 福岡

7. 川上眞司：胸部（マンモ含む）。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年5月14日，鹿児島
8. 上川翔美：放射線概論Ⅰ。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年5月20日，鹿児島
9. 牧野竜大：消化器。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年5月21日，鹿児島
10. 蓑田辰則：下肢。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年5月28日，鹿児島
11. 恵智徳：透視画像2。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年6月4日，鹿児島
12. 吉見敦：頭頸部2。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年6月11日，鹿児島
13. 川上眞司：循環器（心臓を含む）。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年6月18日，鹿児島
14. 恵智徳：医療コミュニケーション講座。令和7年度フレッシュャーズセミナー，2025年6月22日，鹿児島
15. 牧野竜大：泌尿器・婦人科。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年6月25日，鹿児島
16. 蓑田辰則：脊椎。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年7月2日，鹿児島
17. 吉見敦：頭頸部3。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年7月9日，鹿児島
18. 馬場隆行：島津製作所と歩む新一般撮影時代。第1回 SHIMADZU 一般撮影装置臨床セミナー，2025年8月28日，京都
19. 馬場隆行：馬場メソッドによる一般撮影ワークフローハンズオン。第1回 SHIMADZU 一般撮影装置臨床セミナー，2025年8月28日，京都
20. 馬場隆行：「手術精度を支える高精度Cアーム支援のためのポイント」2600Cアーム実績からの確かなサポートのコツを解説。第3回 Moments!，2025年9月6日，福岡
21. 蓑田辰則：文部科学省委託事業：霧箱実験・測定実験1 出前授業。熊本市立下益城城南中学校，2025年9月11日，熊本
22. 蓑田辰則：文部科学省委託事業：霧箱実験・測定実験2 出前授業。熊本市立下益城城南中学校，2025年9月12日，熊本
23. 蓑田辰則：文部科学省委託事業：霧箱実験・測定実験3 出前授業。熊本市立下益城城南中学校，2025年09月18日，熊本
24. 吉見敦：放射線診断学概論。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年10月1日，鹿児島
25. 牧野竜大：脊椎・脊髄の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年10月8日，鹿児島
26. 高山大史：下肢の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年10月15日，鹿児島
27. 小林晃也：胸部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年10月22日，鹿児島
28. 牧野竜大：消化管の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年10月29日，鹿児島
29. 蓑田辰則：頭部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年11月5日，鹿児島
30. 川上眞司：骨盤部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年11月12日，鹿児島
31. 高山大史：上肢の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年11月19日，鹿児島
32. 吉見敦：血管・リンパの画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年11月26日，鹿児島
33. 西田崇友：脳神経の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年12月3日，鹿児島
34. 川上眞司：腹部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年12月10日，鹿児島
35. 馬場隆行：馬場ちゃんの部屋 荷重にこそ真実がある ～ローゼンバーク撮影の魅力と組み立ての技術～。第4回九州島津ユーザー会 QUEST，2025年12月20日，福岡
36. 牧野竜大：頸部画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2026年1月14日，鹿児島
37. 馬場隆行：「見て・触って・すぐ撮れる！！ 肘X線撮影の本質と実践を学ぶセミナー」～故意にずらしてから合わせにかかる肘独特の補正法とは～。令和7年度 県北地区冬季研修会，2026年2月14日，鹿児島
38. 西田崇友：AI再構成法の運用実情。第31回鹿児島MRI研究会，2026年3月11日，鹿児島（Web）

いづろ今村病院

1. 脇田慎一：実技指導，告示研修会，2025年5月25日，鹿児島
2. 上釜健作：腎腫瘍の1例，第353回鹿児島超音波医学研修会，2025年5月27日，鹿児島（Web）
3. 上釜健作：脂肪性肝疾患とは，第28回鹿児島超音波研究会，2025年7月16日，鹿児島（Web）
4. 脇田慎一：実技指導，告示研修会，2025年8月17日，鹿児島
5. 上釜健作：超音波検査で描出できなかった総胆管結石の1例，第357回鹿児島超音波医学研修会，2025年9月30日，鹿児島（Web）
6. 津曲楓真：私が調べたことを聞いてください～第5回 憩室編～，第29回鹿児島超音波研究会，2025年10月15日，鹿児島（Web）
7. 脇田慎一：実技指導，告示研修会，2025年12月7日，鹿児島
8. 脇田慎一：画像解剖学～乳房・消化器～，鹿児島医療技術専門学校，2026年1月7日，鹿児島
9. 上釜健作：画像解剖学～腹部超音波検査～，鹿児島医療技術専門学校，2026年1月14日，鹿児島
10. 脇田慎一：当院における静脈路確保業務への取り組み～実際に始めるためのノウハウ～，第34回 鹿児島放射線技師会 北薩地域研修会，2026年3月4日，薩摩川内
11. 白石真樹：AI再構成法の運用実情（いづろ今村病院），第31回鹿児島MRI研究会，2026年3月11日，鹿児島（Web）

臨床検査部門

今村総合病院

1. 藤山裕輝：安全で適切な輸血業務を実施するための当院の取り組み～I & A 制度認証施設として検査技師の役割～，日臨技九州支部輸血細胞治療部門研修会／日本臨床衛生検査技師会／琉球大学医学部，2025年11月22日，宜野湾
2. 藤山裕輝：血液製剤の選択に苦悩した症例，第2回輸血細胞治療部門研修会／鹿児島県臨床検査技師会／今村総合病院，2026年1月10日，鹿児島
3. 川畑理月：不規則抗体産生によるDHTRが起きた症例，第2回輸血細胞治療部門研修会／鹿児島県臨床検査技師会／今村総合病院，2026年1月10日，鹿児島
4. 炭谷一行：認定一般検査技師を目指して～資格習得を目指す方につたえたいこと～，第1回臨床一般部門研修会／鹿児島県臨床検査技師会／医療センター，2026年1月24日，鹿児島

輸血管理部

今村総合病院

1. 宮園卓宜：当院における未治療多発性骨髄腫に対するIsaVRd療法の使用経験，九州・沖縄地区多発性骨髄腫講演会，2025年7月11日，Web
2. 宮園卓宜：「科学的エビデンス等に基づき医療環境に応じた適切な輸血療法実施についての研究：へき地・離島等での血液製剤の有効利用のための研究」「へき地・離島における血液製剤の緊急避難的 融通に対する考え方」作成について，令和7年度医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業 第1回松本班会議，2025年11月6日，Web
3. 藤山裕輝：安全で適切な輸血業務を実施するための当院の取り組み～I & A 制度認証施設として検査技師の役割～，日臨技九州支部輸血細胞治療部門研修会，2025年11月25日，沖縄
4. 宮園卓宜：免疫療法時代のFL治療戦略を考える，Follicular Lymphoma Seminar，2025年12月1日，Web
5. 宮園卓宜：リンパ節腫大、体液貯留がみられた一例，鴨池 Lymphoma Conference，2025年12月5日，Web
6. 宮園卓宜：安全で適正な輸血の推進に関して～中小医療施設における輸血機能評価I & A 制度：症例で考える～，

法人業績一覧 研究会・講演会

- 第6回 2025年度中小医療施設での輸血医療向上のためのWEB研修会, 2025年12月13日, Web
7. 藤山裕輝: 血液製剤の選択に苦労した症例. 鹿児島県臨床検査技師会 第2回輸血細胞治療部門研修会, 2026年1月10日, 鹿児島
8. 川畑理月: 不規則抗体産生によるDHTRが起きた症例. 鹿児島県臨床検査技師会 第2回輸血細胞治療部門研修会, 2026年1月10日, 鹿児島
9. 宮園卓宜: 「鹿児島県医療機関の緊急時災害時の輸血医療体制における現状調査、および医療機関間連携のための基盤整備」輸血関連臨床検査技師向け. 令和7年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業, 2026年1月23日, Web
10. 宮園卓宜: 血液製剤使用適正化の推進について. 第64回鹿児島県血液対策推進協議会, 2026年2月3日, 鹿児島
11. 宮園卓宜: 「鹿児島県医療機関の緊急時災害時の輸血医療体制における現状調査、および医療機関間連携のための基盤整備」救急医師向け. 令和7年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業, 2026年2月5日, Web
12. 宮園卓宜: 適正輸血・緊急時災害時の血液製剤融通. 現地視察時講演会, 2026年2月9日, 屋久島
13. 宮園卓宜: 2025年度 鹿児島県合同輸血療法委員会 血液製剤の使用適正化等に関する アンケート調査. 第15回令和7年度鹿児島県合同輸血療法懇話会, 2026年2月21日, 鹿児島
14. 宮園卓宜: 「科学的エビデンス等に基づき医療環境に応じた適切な輸血療法実施についての研究: へき地・離島等での血液製剤の有効利用のための研究」「へき地・離島における血液製剤の緊急避難的融通に対する考え方」作成について. 令和7年度医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業 第2回松本班会議, 2026年3月15日, 東京

管理栄養部門

今村総合病院

1. 牛野涼夏: 健康と食生活 ～今日からできる食事の工夫～. 鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会, 2026年2月4日, 鹿児島

いづろ今村病院

1. 中蘭智美: あなたのことを教えて～それがきっかけになります～. 第29回鹿児島糖尿病スタッフセミナー, 2025年12月1・8・15日, 鹿児島

慈愛会クリニック

1. 加藤実穂: 看護栄養学 (講義). 鹿児島中央看護専門学校, 2025年12月1・8・15日, 2026年1月5・19・26日, 2月2日, 鹿児島

ソーシャルワーカー部門

今村総合病院

1. 原田実和: 地域医療の充実を目指して. 絆を深める地域医療交流会, 2025年12月8日, 鹿児島

奄美病院

1. 西牟田智子: 基幹研修Ⅱ 精神保健福祉士の専門性. 鹿児島県精神保健福祉士協会, 2025年11月23日, 鹿児島
2. 西牟田智子: 依存症とは. 名瀬保健所 依存症家族支援教室, 2025年11月26日, 大島郡瀬戸内町
3. 吉村あゆみ, 元俊智: 地域移行・地域定着のさらなる一歩に向けて. 徳之島地区地域自立支援協議会 地域移行・地域定着部会関係者研修会, 2025年12月12日, 大島郡徳之島町
4. 西牟田智子: 研修SVについて. 鹿児島県精神保健福祉士協会, 2026年1月18日, 鹿児島

臨床工学部門

今村総合病院

1. 松田歩美：当院透析センターにおける災害に備える取り組みについて。鹿児島 CKD チーム医療研究会，2025 年 5 月 15 日，鹿児島
2. 川井田季睦：血液透析の原理。日々の業務に + α ゼロから学ぶ透析入門セミナー，2026 年 1 月 11 日，鹿児島

事務部門

法人事業本部 経営企画室

1. 野添幸輔：学生生活とキャリア形成。熊本大学法学部法学科 1 年 基礎演習 I，2025 年 6 月 3 日，熊本
2. 野添幸輔：「雇用関係法」講師。熊本大学法学部法学科，2025 年 11 月 28 日，熊本

今村総合病院 総務課

1. 佐々木大輔：メディカル秘書学Ⅰ 医療関係法規と医療保険制度。鹿児島純心女子短期大学，2025 年 4 月 -5 月，鹿児島
2. 佐々木大輔：メディカル秘書学Ⅱ 療養担当規則と保険診療の仕組み。鹿児島純心女子短期大学，2025 年 5 月 -7 月，鹿児島
3. 佐々木大輔：メディカル秘書学Ⅲ 医科診療報酬点数。鹿児島純心女子短期大学，2025 年 7 月 1 日，鹿児島
4. 前田雄介：診療情報管理士 医療管理各論（病院管理、医療安全・医療の質管理）。鹿児島キャリアデザイン専門学校，2025 年 4 月 -7 月，鹿児島
5. 前田雄介：診療情報管理士 医療管理総論。鹿児島キャリアデザイン専門学校，2025 年 9 月 -2026 年 2 月，鹿児島

今村総合病院 医師事務補助課

1. 東雅美：鹿児島市立東谷山小学校「総合的な学習の時間」，2026 年 2 月 14 日，鹿児島

臨床研究センター

今村総合病院

1. 宇都宮與，徳永雅仁，伊藤能清：ATL における新規薬剤の有効性。日本医療研究開発機構研究費（革新的がん医療実用化研究事業）「ATL 新規治療標的の同定と、個別化医療への展開」（研究開発代表者 下田和哉）令和 7 年度 下田班 第 1 回班会議，2025 年 6 月 5 日，東京
2. Utsunomiya A：Current Status of ATL Clinical Practice and Treatment in Japan. 2025 The World HTLV Day Webinar，2025 年 11 月 5 日，Web
3. 宇都宮與：日本における ATL の臨床実践と治療の現状。令和 7 年度 HTLV-1 対策講習会，2026 年 1 月 14 日，鹿児島

鹿児島中央看護専門学校

1. 櫻美尚美，中村栄子，納瀬綾：身近な大切な人を助けるために～熱中症の対応と救急蘇生の方法について～。伊田食品給食従事者衛生研修会，2025 年 8 月 6 日，始良
2. 櫻美尚美，中村栄子，納瀬綾：社会人に学ぶ。鹿児島市立武岡中学校，2026 年 1 月 21 日，鹿児島
3. 櫻美尚美，中村栄子，納瀬綾：職業に関する指導。鹿児島市立郡山中学校，2026 年 1 月 22 日，鹿児島
4. 櫻美尚美，中村栄子，納瀬綾：職業講話。曾於市立財部中学校，2026 年 3 月 12 日，曾於

【受賞】

血液内科

今村総合病院

1. 野中大樹：「壊疽性膿皮症を契機に診断された MGCS に対し DVd 療法が奏功した 1 症例」初期研修医奨励賞. 第 350 回日本内科学会九州地方会, 2025 年 8 月 23 日
2. 小田原淳：「壊疽性膿皮症を契機に診断された MGCS に対し DVd 療法が奏功した 1 症例」指導医賞. 第 350 回日本内科学会九州地方会, 2025 年 8 月 23 日
3. 小田原淳：「臍帯血移植後に HTLV-1 関連リンパ増殖性疾患を発症した 2 症例」2025 年宇都宮賞. 第 11 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025 年 11 月 9 日
4. 山口貴弘：「減弱化学療法後にイノツズマブおよびブリナツモマブを投与し深い寛解を得た高齢 Ph 陰性 B-ALL の 2 例」初期研修医奨励賞. 第 351 回日本内科学会九州地方会, 2025 年 11 月 30 日
5. 小田原淳：「減弱化学療法後にイノツズマブおよびブリナツモマブを投与し深い寛解を得た高齢 Ph 陰性 B-ALL の 2 例」指導医賞. 第 351 回日本内科学会九州地方会, 2025 年 11 月 30 日

看護部門

今村総合病院

1. 吉森みゆき：鹿児島県医師会看護業務功労者表彰. 鹿児島県医師会, 2025 年 6 月

奄美病院

1. 富丸千奈美：鹿児島県看護協会会長表彰. 鹿児島県看護協会, 2025 年 5 月

リハビリテーション部門

今村総合病院 理学療法士(一般総合)

1. 武清孝弘：HCT Contribution Award. 第 48 回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026 年 2 月 28 日

画像診断 / 放射線治療部門

今村総合病院

1. 福田萌乃：「下肢長尺撮影における大腿骨頭の直下に足関節を位置させるための検討」優秀演題. 第 41 回日本診療放射線技師学術大会, 2025 年 10 月
2. 馬場隆行：「頸椎開口位撮影における環軸椎関節描出不良の要因分析と ATLAS-View による改善策の検討」学術奨励賞. 第 20 回九州放射線医療技術学術大会, 2026 年 3 月
3. 福田萌乃：「下肢長尺撮影における大腿骨頭の直下に足関節を位置させるためのクロスラインレーザーを用いた撮影法の検討」フレッシュアズ賞. 第 20 回九州放射線医療技術学術大会, 2026 年 3 月

【マスメディア】

今村総合病院

< Web 記事 >

1. 常盤光弘：専門性の高い診療と救急医療で地域を支える。ホスピタルズ・ファイル，2025 年 12 月 25 日
<https://hospitalsfile.doctorsfile.jp/h/1046119/cm>

< ラジオ放送 >

1. 常盤光弘：奄美市だよりラジオ版。奄美群島みんなのニュース あまみエフエム，2026 年 1 月 16 日

谷山病院 認知症疾患医療センター

1. 福田恭哉：認知症のイメージを変える！「新しい認知症観」。KTS 鹿児島テレビ 河内あづきの鹿児島あっちこっち，2025 年 9 月 6 日
<https://www.kts-tv.co.jp/program/atikoti/single.php?id=25>
2. 雷智子：若年性認知症 連携深め支援を 鹿児島市でセミナー。南日本新聞，2025 年 12 月 30 日

徳之島病院

1. 徳之島病院（取材対応 福島太志）：離島でオンライン診療 DMM と連携、昨年導入，南日本新聞，2025 年 10 月 21 日

小児科

今村総合病院

1. 溝田美智代：こどもの体重。鹿児島県垂水市「広報たるみず」，2026 年 3 月号

産科婦人科

今村総合病院

1. 貴島佳子：どのような症状の時に産婦人科を受診したらいいの？。鴨池校区広報誌 LL かもいけ 133 号，2025 年 4 月号
2. 貴島佳子：産後・育児期のメンタルヘルスケア～ママや周囲の人ができる事～。鹿児島県垂水市「広報たるみず」，2025 年 7 月号

皮膚科

今村総合病院

1. 米倉健太郎：知っておきたい皮膚がんの話。鴨池校区広報誌 LL かもいけ 143 号，2026 年 2 月号

眼科

今村総合病院

1. 坂本泰二：網膜センター開設。鴨池校区広報誌 LL かもいけ 138 号，2025 年 9 月号

健康管理センター

いづろ今村病院

1. 濱田陸三：病歴をたどる 先人たちのカルテ。南日本新聞，2026年1月9日～月1回連載

看護部門

今村総合病院

1. 野間こづえ：島内住民ケア急ぐ トカラ群発地震 悪石島へ看護師派遣 県、鹿児島市2病院から。南日本新聞，2025年7月8日
2. 徳田勝哉：特集：生活目標 腎臓病医療のこれからと福腎協の役割。福岡県腎臓病患者連絡協議会 会報誌「ふくじんきょう」No.321，2025年10月24日
3. 徳田勝哉：腎臓病に悩むあなたへ「生活目標」。西日本新聞，2026年3月30日

愛と結の街

1. 森愛，中馬健一：認知症 スタバで語ろう 店提案、慈愛会と初開催。南日本新聞，2025年5月18日

栄養管理部門

今村総合病院

1. 七枝美香：こどもの水分補給。鴨池校区広報誌 LL かもいけ 138号。2025年9月
2. 下村莉美：朝ごはんの効果について。鹿児島県垂水市「広報たるみず」。2025年11月

ソーシャルワーカー部門

谷山病院 認知症疾患医療センター

1. 別府千尋：認知症 スタバで語ろう 店提案、慈愛会と初開催。南日本新聞，2025年5月18日

奄美病院

1. 貴島世梨香：認知症啓発。あまみエフエム タワフレンド，2025年9月13日
2. 貴島世梨香：認知症啓発。MBCラジオ たんぽぽ倶楽部，2025年9月18日
3. 森越志保，元俊智：こころのがじゅまるプロジェクトの取り組みについて。南海日日新聞，2025年10月10日
4. 森越志保，元俊智：こころのがじゅまるプロジェクトの取り組みについて。奄美新聞，2025年10月22日
5. 元俊智，吉村あゆみ：「ピアといっしょ」紹介。奄美新聞，2026年3月22日
6. 元俊智，吉村あゆみ：「ピアといっしょ」紹介。南海日日新聞，2026年3月23日

鹿児島中央看護専門学校

1. 今村英仁：母国ベトナムに施設を 夢追い看護学ぶ 介護福祉士ヒエンさん「心と病気ケア」。南日本新聞，2025年5月7日

【公的研究】

臨床研究センター

今村総合病院

＜日本医療研究開発機構（AMED）研究費＞

1. 宇都宮 興：『HTLV-1 水平感染の動向と検査法・検査体制の整備』 研究分担者（研究代表者：長崎大学 三浦清徳）
2. 宇都宮 興：『ATL 新規治療標的の同定と、個別化医療への展開』 研究分担者（研究代表者：宮崎大学 下田和哉）
3. 宮園 卓宜：『アグレッシブ成人 T 細胞白血病リンパ腫を対象とした全国一元化レジストリ・バイオレポジトリ研究』 研究分担者（研究代表者：国立がん研究センター中央病院 福田隆浩）

＜血液製剤使用適正化方策調査研究事業（厚生労働省）＞

1. 宮園 卓宜：『鹿児島県医療機関の緊急時災害時の輸血医療体制における現状調査、および医療機関間連携のための基盤整備』 鹿児島県合同輸血療法委員会代表者（研究代表者：今村総合病院 宮園卓宜）

＜厚生労働行政推進調査事業費（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業）＞

1. 宮園 卓宜：『科学的エビデンス等に基づき医療環境に応じた適切な輸血療法実施についての研究』 研究協力者（研究分担者 東京医科大学八王子医療センター田中朝志先生の委託による）（研究代表者：奈良県立医科大学 松本雅則）

＜厚生労働科学研究補助金＞

1. 徳永 雅仁：『「HTLV-1 総合対策」推進におけるキャリア対策の基盤整備と適正な研究開発の推進に資する包括的評価と提言のための研究』 研究分担者（研究代表者：聖マリアンナ医科大学大学院 渡邊俊樹）

医師育成への取り組み

初期研修プログラム「錦江湾プログラム」

公益財団法人慈愛会は人材育成の重要な柱の一つとして、初期臨床研修医の育成に力を注いできました。初期研修の制度ができた初年度の2004年度から今村病院（現：いづろ今村病院）を基幹型病院とする「じあいプログラム」をスタートさせました。その後、2010年度からは、「じあいプログラム」に併設する形で「錦江湾プログラム」をスタートさせました。

「錦江湾プログラム」は今村総合病院が基幹型病院を務め、いづろ今村病院、谷山病院、奄美病院、鹿児島大学病院を含む22の協力病院群からなる初期研修プログラムです。発足初年度は規定により2名の定員枠でしたが、次年度には5名の定員枠が認められ、2012年度には定員枠が7名に増えました。「じあいプログラム」は10年目の2013年度をもって終了させ、2014年度より定員枠を10名に増やす形で「錦江湾プログラム」に一本化し、現在に至ります。この間、両プログラム合わせて180名の研修医を育ててきました。（現在在籍中の研修医を含む）

「錦江湾プログラム」は医学生から高い評価を受け、多くの応募を頂いています。その理由として、各診療科における高水準の医療に加え、充実した指導体制と、研修医を育てようというスタッフの熱意が、学生にしっかり伝わっていることがあげられます。

私たちは、全国から志ある人材が集う日本有数の教育病院を目指し、今後も全力で研修医教育に取り組んでまいります。

【初期研修医数の推移】

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	総数
錦江湾プログラム	2名	5名	7名	5名	8名	7名	6名	10名	9名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	12名	131名

【基本方針】

基本目標として将来の専門性にかかわらず医学・医療の社会ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるようにプライマリ・ケアの対応能力を習得することを基本方針とする。

【研修プログラム】

錦江湾プログラムは下記の病院群と機能を分担して実施する。

	内 科	外 科	救 急	麻 酔 科	小 児 科	産婦人科	精 神 科	地域医療	保 健	形成外科
必 修 研 修	24週 ※一般外来 4週を含む	8週	12週	8週	4週	4週	4週	4週		
選 択 科 目	36週									
今村総合病院	○	●	●	●	○	○	○			
鹿児島大学	○	○	○	○	○	○	○			
いづろ今村病院	○									
いまきいれ総合病院			○		○					○
浦添総合病院			○							
聖マリア病院			○							
飯塚病院	○									
鹿児島医療センター	○ (循環器内科)									
中央病院 ※	○ (循環器内科)									
鹿児島こども病院					○					
霧島市医師会医療センター					○					
愛育病院 ※						○				
鹿屋医療センター ※						○				
谷山病院							○			
奄美病院 ※							○			
介護老人保健施設愛と結の街									○	
かごしまオハナクリニック ※								○		
高麗町クリニック ※								○		
五反田内科クリニック ※								○		
倶知安厚生病院 ※								○		
小林市立病院 ※								○		
南さつま市立坊津病院 ※								○		
伊集院産婦人科 (2026年度連携追加予定)						○				

・ 研修期間全体の1年以上は基幹型病院で研修を行うことが義務付けられています。

※ 協力施設での研修は2年間で最大12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りではない。

● は錦江湾プログラムの必修研修。

慈愛会専門研修プログラム

慈愛会では、専門医を育成するため、専門研修プログラムを開設しています。

●慈愛会内科専門研修プログラム

2018年度にスタートした慈愛会内科専門研修プログラムは、急性期病院である今村総合病院を基幹施設として、鹿児島県内、福岡県内、東京都内、および北海道内にある連携施設で内科専門研修を行っており、11名の専攻医が在籍しています。

総合内科専門医は単に各専門科を全て経験すればよいということではなく、多くの診療科にまたがる症例や、逆にどの診療科にも属しにくいような症例、症状を解決していく能力が必要となります。

当プログラムでは、総合内科の specialist を育成するため、最大の特徴として基幹病院である今村総合病院の救急・総合内科で研修を行うとともに、より専門性の高い研修を受けることができるよう他の院内診療科や連携施設と連携しています。

●慈愛会総合診療専門研修プログラム

2018年度に慈愛会総合診療専門研修プログラムがスタートし、これまでに2名が修了しました。

当プログラムでは院内の各診療科はもとより連携施設とも連携し、総合診療医として、予防医療、プライマリ・ケア（急性期対応）、総合内科知識・技能・亜急性期・慢性期、そして終末期のいずれの段階の医療にも対応できる能力の習得、または病院総合医、地域の開業医、在宅医療、老健施設での慢性期医療など、将来どのような環境でも活躍できるようなオールラウンドプレイヤー養成を基本としています。

●膠原病・リウマチ内科プログラム

2023年度に今村総合病院 膠原病・リウマチ内科専門研修カリキュラムがスタートし、現在3名の専攻医が内科専門プログラムと並行して研修しています。鹿児島県内では膠原病の専門研修施設が少ない現状ですが、当院では総合病院である強みを生かして、他科と連携しながら、複数臓器にまたがる膠原病疾患を多く経験することが可能です。主に病棟主治医として精査・治療開始、合併症管理を担当しますが、症例によっては外来フォローまで上級医と相談しながら担当することができます。整形外科ローテーションでは鹿児島赤十字病院と連携しており、また希望があれば東京医科歯科大学、多摩総合医療センターなど県外で高いレベルの教育を受けることもできるようになっています。生物学的製剤やJAK阻害薬の登場で膠原病診療は日進月歩の進化を遂げており、それに対応できる専門医を育成することが目標です。

●皮膚科プログラム

2025年度から今村総合病院 皮膚科専門研修プログラムが承認されました。現在専攻医を募集しております。基幹施設である当院の実地臨床を重視した研修と、鹿児島大学病院での高度医療・研究に直結した研修を両立させ、臨床力・研究力・教育力を兼ね備えた皮膚科専門医の育成を目指します。鹿児島県内では皮膚科の入院施設は少ないため、一般皮膚科疾患の入院・外来診療を幅広く経験できるほか、乾癬・アトピー性皮膚炎、水疱症や膠原病なども、県内の拠点施設として診療にあたっており、これらの疾患を上級医の指導のもと主治医として担当し、実力を身につけます。また、皮膚リンパ腫・成人T細胞白血病リンパ腫（ATL）は専門施設として、多くの患者さんの診療を行うほか、治験・臨床研究にも参加、主導しており、最先端の臨床研究に触れることもできます。Nd:YAG/アレキサンドライトレーザーによる、主に皮膚疾患合併患者を対象とした美容診療も経験できます。

Common disease から希少疾患、外科的治療・全身療法・生物学的製剤まで網羅した研修を通して、幅広い診断・臨床力を身につけることを目標にしています。

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

看護部門

看護実践能力の高い人材育成とキャリア支援

中長期計画	2025年度 事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)																																																																																																																															
	(1)医療DX人材を育成し、看護の質向上に向けた看護データの作成・活用を推進する	1) 新卒者の獲得 <table><tr><th>採用数</th><th>第1回</th><th>第2回</th><th>第3回</th><th>第4回</th><th>第5回</th><th>臨時</th><th>計</th></tr><tr><td>2025年度</td><td>6</td><td>4</td><td>32</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td><td>49</td></tr><tr><td>2024年度</td><td>2</td><td>2</td><td>35</td><td>7</td><td>2</td><td>0</td><td>48</td></tr><tr><td>2023年度</td><td>0</td><td>30</td><td>6</td><td>1</td><td>-</td><td>2</td><td>39</td></tr></table> <table><tr><th>4月採用数</th><th>2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th><th>2026年</th></tr><tr><td>介護福祉士</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>ナースエイド</td><td>2</td><td>2</td><td></td><td>1</td><td>2</td></tr></table><table><tr><th></th><th>2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr><tr><td>病院見学者数</td><td>4</td><td>24</td><td>27</td><td>64</td></tr></table>学校訪問件数45校(鹿児島県内12、県外33) 2) 既卒採用者数 <table><tr><th></th><th colspan="2">中途採用</th></tr><tr><th></th><th>常勤看護師</th><th>パート含む</th></tr><tr><td>2025年度</td><td>52</td><td>66</td></tr><tr><td>2024年度</td><td>43</td><td>55</td></tr><tr><td>2023年度</td><td>21</td><td>27</td></tr></table> 3) 離職率 <table><tr><th></th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr><tr><td>退職者数</td><td>99</td><td>82</td><td>106</td></tr><tr><td>採用者</td><td>93</td><td>72</td><td>100</td></tr><tr><td>離職率</td><td>13.5</td><td>11.4</td><td>14.5</td></tr></table> 新人離職率 14.6% ハローワーク・労働局主催 説明会参加 <table><tr><td>8/3</td><td>鹿児島看護就労ガイダンス</td><td>鹿児島県庁2階講堂</td></tr><tr><td>8/5</td><td>ハローワーク鹿児島企業説明会</td><td>ハローワークかごしま</td></tr><tr><td>9/27</td><td>ワークサポートみなみ医療機関説明会</td><td>オプシアミズミ</td></tr><tr><td>11/13</td><td>ハローワーク鹿児島企業説明会</td><td>ハローワークかごしま</td></tr><tr><td>11/15</td><td>ミドル世代の就職応援フェア</td><td>センテラス</td></tr><tr><td>12/14</td><td>みらいワークかごしま</td><td>カクイックス交流センター</td></tr><tr><td>1/12</td><td>4市合同企業面接会</td><td>カクイックス交流センター</td></tr><tr><td>1/18</td><td>ミドル世代の就職応援フェア</td><td>カクイックス交流センター</td></tr><tr><td>2/26</td><td>ハローワーク鹿児島企業説明会</td><td>ハローワークかごしま</td></tr><tr><td>2/26</td><td>ワークサポートみなみ(雲と虹の街)</td><td>オプシアミズミ</td></tr><tr><td>3/5</td><td>かごしま就職・転職応援フェア</td><td>オンライン</td></tr><tr><td>3/24</td><td>生涯現役セミナー</td><td>ハローワークかごしま</td></tr></table>	採用数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	臨時	計	2025年度	6	4	32	1	2	4	49	2024年度	2	2	35	7	2	0	48	2023年度	0	30	6	1	-	2	39	4月採用数	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	介護福祉士	2	2	1	2	2	ナースエイド	2	2		1	2		2022年	2023年	2024年	2025年	病院見学者数	4	24	27	64		中途採用			常勤看護師	パート含む	2025年度	52	66	2024年度	43	55	2023年度	21	27		2023年	2024年	2025年	退職者数	99	82	106	採用者	93	72	100	離職率	13.5	11.4	14.5	8/3	鹿児島看護就労ガイダンス	鹿児島県庁2階講堂	8/5	ハローワーク鹿児島企業説明会	ハローワークかごしま	9/27	ワークサポートみなみ医療機関説明会	オプシアミズミ	11/13	ハローワーク鹿児島企業説明会	ハローワークかごしま	11/15	ミドル世代の就職応援フェア	センテラス	12/14	みらいワークかごしま	カクイックス交流センター	1/12	4市合同企業面接会	カクイックス交流センター	1/18	ミドル世代の就職応援フェア	カクイックス交流センター	2/26	ハローワーク鹿児島企業説明会	ハローワークかごしま	2/26	ワークサポートみなみ(雲と虹の街)	オプシアミズミ	3/5	かごしま就職・転職応援フェア	オンライン	3/24	生涯現役セミナー	ハローワークかごしま	【新卒看護師・補助者】 昨年度より年5回の採用試験を実施し、第1回の採用試験受験者で成績優秀者に対する奨学金制度が、鹿児島中央看護専門学校以外の学生にとって魅力となっている。鹿児島県看護師の新卒就職者数が減少している中、例年通りの入職数を確保することができた。学生の就職活動が前倒しとなっており学校訪問の時期は検討が必要。 【中途採用】 ハローワークとの連携を強化し労働局主催の就職説明会に12回参加。多様な対象に対する採用活動を実施した。看護師やナースエイド以外の職種も含め慈愛会をアピール。常勤看護師の中途採用数が増加し、パートを含めると66名を採用できた。 3年間の比較で退職者数・採用数ともに増加した。 離職率は2025年度は上昇し、新人離職率も大幅に増加した。ハローワーク・労働局主催 説明会参加。企画内容に合わせた職員とともに説明会に参加することができたため毎回参加者も多く、病院見学や採用につながった。ハローワークからもお声を頂き、参加の機会が前年度よりも多く実施することができた。より強固なつながりを今後もつくり、業者に頼らない採用を強化していきたい。	鹿児島県内の学生には奨学金希望者が一定数いるため、入学時に確実なアプローチができるよう、学校訪問や就職説明会、各種ガイダンスを通じて継続的な情報提供を行う。また、近年は九州全体を対象とした募集活動にも注力しており、その結果として病院見学者が増加している。今後は「説明会 → 病院見学 → 採用」という一連のプロセスを確立できるよう、採用直結型のアプローチをさらに強化する。鹿児島中央看護専門学校での説明会における奨学金希望者数は年毎にばらつきがある。開催時期を再検討し、より多くの学生が慈愛会を志望するよう、魅力をアピールしていく。 2025年度はハローワークとの連携を強化できた。次年度は連携を継続しながら、イベント参加数増加・慈愛会のアピール強化に注力する。特に鹿児島県外（関東・関西方面）のハローワークとのつながりを1つでもつくり、イベントへの参加を目標とする。Uターン・Iターン者に着目したイベント参加の機会をつくり、ターゲットの拡大についても検討する。 2025年度は退職者数が増加し、離職率も増加した。退職理由は他施設への転職、健康上の理由、その他となっており、真の理由の分析を進める必要がある。特に新人の離職率は過去最高であり新人のニーズの把握や離職の誘因について検討が必要であり策を講じる必要がある。
	採用数		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	臨時	計																																																																																																																										
	2025年度		6	4	32	1	2	4	49																																																																																																																										
	2024年度		2	2	35	7	2	0	48																																																																																																																										
	2023年度		0	30	6	1	-	2	39																																																																																																																										
	4月採用数		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年																																																																																																																												
介護福祉士	2	2	1	2	2																																																																																																																														
ナースエイド	2	2		1	2																																																																																																																														
	2022年	2023年	2024年	2025年																																																																																																																															
病院見学者数	4	24	27	64																																																																																																																															
	中途採用																																																																																																																																		
	常勤看護師	パート含む																																																																																																																																	
2025年度	52	66																																																																																																																																	
2024年度	43	55																																																																																																																																	
2023年度	21	27																																																																																																																																	
	2023年	2024年	2025年																																																																																																																																
退職者数	99	82	106																																																																																																																																
採用者	93	72	100																																																																																																																																
離職率	13.5	11.4	14.5																																																																																																																																
8/3	鹿児島看護就労ガイダンス	鹿児島県庁2階講堂																																																																																																																																	
8/5	ハローワーク鹿児島企業説明会	ハローワークかごしま																																																																																																																																	
9/27	ワークサポートみなみ医療機関説明会	オプシアミズミ																																																																																																																																	
11/13	ハローワーク鹿児島企業説明会	ハローワークかごしま																																																																																																																																	
11/15	ミドル世代の就職応援フェア	センテラス																																																																																																																																	
12/14	みらいワークかごしま	カクイックス交流センター																																																																																																																																	
1/12	4市合同企業面接会	カクイックス交流センター																																																																																																																																	
1/18	ミドル世代の就職応援フェア	カクイックス交流センター																																																																																																																																	
2/26	ハローワーク鹿児島企業説明会	ハローワークかごしま																																																																																																																																	
2/26	ワークサポートみなみ(雲と虹の街)	オプシアミズミ																																																																																																																																	
3/5	かごしま就職・転職応援フェア	オンライン																																																																																																																																	
3/24	生涯現役セミナー	ハローワークかごしま																																																																																																																																	
(4)病床再編成、新メニューに対応した看護体制整備	(6)看護職員能力開発プログラムの改訂・積極的活用によるキャリア支援	(6)看護職員能力開発プログラムの改訂・積極的活用によるキャリア支援、プログラムの評価・ブラッシュアップ																																																																																																																																	
(5)心に届く慈愛の看護の伝承、対話時間の増加																																																																																																																																			
(6)看護職員能力開発プログラムの改訂・積極的活用によるキャリア支援、申請率・認定率の増加																																																																																																																																			

中長期計画	2025年度 事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)																																									
看護実践能力の高い人材育成とキャリア支援		1) 能力開発プログラム改訂 (2025・3月改訂) ・レベル段階をⅠ～Ⅴから 新人～Ⅳへと変更 ・運用における研究に関する内容の見直し ・看護協会『看護実践能力習熟段階』に準じて変更 ・キャリア開発ラダーに看護管理能力 (再掲) の欄を新設	1) 能力開発プログラム改訂 (2025・3月改訂) 人事評価制度の改定に伴い、すべての内容を見直し改訂することができた。 主な改訂内容は以下の通り ・人事評価制度が役割等級制度となるため、各等級に求められる役割とラダーレベルの整合性をわかりやすく表示 ・能力開発プログラムの段階を、(旧) レベルⅠ～Ⅴ→(新) 新人～レベルⅣへ変更。日本看護協会の能力開発ラダーとレベル名を統一とすることで外部の研修等と同じ名称で管理することが可能となった。 ・研究に関する内容について、レベルⅢ・Ⅳに研究発表・学会参加に加え、部署の看護研究推進・研究結果の共有・活動推進を追加 ・評価の様式を現在の様式に修正 ・臨床実践能力の中で、看護実践能力習熟段階の実践例を作成し提示 2) キャリア開発ラダー申請・認定状況 新人事制度導入に向けて2025年度は申請認定者数が多かった。レベルⅤ取得が特に多く、意図的に取得に向けた活動ができた。今後も計画的なラダー取得支援が必要。新しいラダー内容の周知は2026年度の課題となる。	2025年度に改訂を行い、『第7版』の印刷・配布を完了した。今後は新人事評価制度の開始に伴い、看護師が「慈愛会看護職員能力開発プログラム」を活用してキャリアアップに取り組めるよう、制度の目的や改訂内容の周知を徹底し、積極的な活用を促す。また、レベル表示の改訂により現場で一部混乱が生じている状況を鑑み、新レベルへの移行期間中であり、細やかな注意喚起を行いながら円滑な運用を図る。																																									
	(7)次世代看護管理者の育成 マネジメントラダー新設による人事・交流異動の導入 看護管理者のマネジメント能力育成 サードレベル研修修了者支援 昇任者支援	・マネジメントラダー改定検討：看護部長ミーティングにて検討 12月24日 1月14日 2月13日 3月25日 ・役割任期制度導入に関する話し合い (臨時看護部長ミーティングを実施) 11月26日 12月24日 1月14日 1月28日 2月13日 3月11日 3月25日	看護部長ミーティング 看護管理者協議会・看護部長研修等の場を活用してマネジメントラダーの改訂を行った。役職者任期制度導入もあり、今村総合病院の管理者の他施設異動ができた。今後は法人全体における異動制度の構築を検討するとともに、管理者としてのキャリア形成や視野拡大の重要性を共有し円滑な異動を可能とする組織風土の醸成に努める。	2026年度は役職者任期制度の開始や新ラダーの導入のため、申請手続きが滞ることのないよう、早期に周知を図り活用の推進を開始する。また、プレイングマネジャーとしての役割を再定義し、特定看護師の資格取得や管理者へのキャリアパスなど、「管理」を学びながら看護師としての実践も並行できる体制を整えるよう、必要な支援や研修制度を検討する。マネジメントラダーにも組み込まれている「異動」については、視野拡大の好機 (チャンス) と捉えられるよう動機付けを行い、体験談の共有等を通じて組織間異動への心理的ハードルを下げ、組織全体の活性化に繋げることが必要。あわせて、慈愛会人事制度の目的や組織が求める人材像について共通認識を持てるよう、研修の場を活用して組織全体のモチベーション向上を強化する。																																									
	(8)訪問看護新卒者プログラムを活用した新卒者育成と、プログラムの評価・ブラッシュアップ	愛の街新卒看護師：看護師キャリア開発ラダーⅡ 訪問看護キャリアラダーⅠ取得																																											
	(9)慈愛会看護部介護福祉士教育・介護力向上	・介護福祉士・ナースエイド合同研修 目的：患者・利用者の尊厳を守り、人権を尊重した慈愛の心を届けるケアを実践できる人材の育成 内容：eラーニング 事例検討 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th rowspan="2">実施回数</th><th colspan="2">参加数</th><th rowspan="2">計</th></tr> <tr> <th>介護福祉士</th><th>ナースエイド</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今村総合病院</td><td>3</td><td>21</td><td>47</td><td>68</td></tr> <tr> <td>いづろ今村病院</td><td>4</td><td>31</td><td>8</td><td>39</td></tr> <tr> <td>谷山病院</td><td>4</td><td>14</td><td>5</td><td>19</td></tr> <tr> <td>奄美病院</td><td>4</td><td>31</td><td>8</td><td>39</td></tr> <tr> <td>徳之島病院</td><td>2</td><td>3</td><td>15</td><td>18</td></tr> <tr> <td>愛と結の街</td><td>3</td><td>62</td><td>7</td><td>69</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>20</td><td>162</td><td>90</td><td>252</td></tr> </tbody> </table>		実施回数	参加数		計	介護福祉士	ナースエイド	今村総合病院	3	21	47	68	いづろ今村病院	4	31	8	39	谷山病院	4	14	5	19	奄美病院	4	31	8	39	徳之島病院	2	3	15	18	愛と結の街	3	62	7	69	合計	20	162	90	252	慈愛会全体で昨年度の研修内容の評価を引き継ぎ、eラーニングの受講と事例検討の2段階構成での研修を全体同一内容として実施した。事例検討は各現場の実践例を基に、看護部長を中心に開催。ナースエイド及び介護福祉士が合同で計252名受講した。倫理的視点を再確認しながら心に届く慈愛の介護を実践できるように事例を検討することができた。
	実施回数	参加数			計																																								
		介護福祉士	ナースエイド																																										
今村総合病院	3	21	47	68																																									
いづろ今村病院	4	31	8	39																																									
谷山病院	4	14	5	19																																									
奄美病院	4	31	8	39																																									
徳之島病院	2	3	15	18																																									
愛と結の街	3	62	7	69																																									
合計	20	162	90	252																																									

中長期計画	2025年度 事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)																																																																																											
看護実践能力の高い人材育成とキャリア支援	(10)特定看護師・認定看護師・訪問看護師等の計画的育成と活動支援	卒前卒後の継続的看護人材教育体制構築の検討 教育開発部・鹿児島中央看護専門学校合同 <table><tr><td></td><td>研修名</td><td>研修期間</td><td>参加数</td></tr><tr><td>今村総合病院</td><td>感染管理</td><td>10/9-10</td><td>4</td></tr><tr><td></td><td>フィジカルアセスメント</td><td>9/25-26</td><td>14</td></tr><tr><td>いづろ今村病院</td><td>糖尿病看護</td><td>1/28-30</td><td>8</td></tr><tr><td>谷山病院</td><td>精神</td><td>7/22-24am</td><td>3</td></tr><tr><td>奄美病院</td><td>離島を含む精神医療</td><td>6/11pm-13am</td><td>1</td></tr><tr><td>徳之島病院</td><td>離島を含む精神医療</td><td>6/11pm-13am</td><td>3</td></tr><tr><td>愛と結の街</td><td>在宅・老健</td><td>11/10-12</td><td>3</td></tr><tr><td>在宅支援部</td><td>訪問看護</td><td></td><td></td></tr><tr><td>看護学校</td><td>看護基礎教育</td><td>6/17-19</td><td>10</td></tr></table>		研修名	研修期間	参加数	今村総合病院	感染管理	10/9-10	4		フィジカルアセスメント	9/25-26	14	いづろ今村病院	糖尿病看護	1/28-30	8	谷山病院	精神	7/22-24am	3	奄美病院	離島を含む精神医療	6/11pm-13am	1	徳之島病院	離島を含む精神医療	6/11pm-13am	3	愛と結の街	在宅・老健	11/10-12	3	在宅支援部	訪問看護			看護学校	看護基礎教育	6/17-19	10	ダブルスクールから、卒後も放送大学継続学士取得のための切れ目ない支援システムについて鹿児島中央看護専門学校および教育開発室と検討。看護学校入学前から学士取得までの道のりを明確に示し、在学中交流会等を通じて、共に学ぶ環境を整える。卒後は修了状況を慈愛会看護部へ引き継ぎ、プロフィールシステムを活用して、一人ひとりに寄り添った学習支援の仕組みを構築する。 次年度は全体像を共有し、看護部長ミーティングや教育委員会で支援方法や具体策を検討する。 研修内容によって参加者数に差がみられた。各部署で専門性の高い内容での研修開催であるため、年度はじめには各病院で研修参加計画を立て計画的な育成をしたいが、全体的に参加者が減少している。特に1人参加の部署はグループワーク等の学習が効果的でないため複数人の参加がほしいところである。	鹿児島中央看護専門学校のダブルスクールから卒業後の放送大学での継続学習、そして学士取得に至るまで、切れ目ない支援体制を構築する。2026年度は、全体像に基づき具体的な施策の検討に入る。特定看護師資格の取得などを、慈愛会キャリアアップ支援体制を構築し、組織的なシステム化を検討する。 2026年度より、新たな試みとして「J-seatyナース研修」のうち6コースを公開講座とし、他院や地域の看護師を対象に参加者を募集する。早期にポスターを作成するなど、年間を通じた効果的な広報活動を展開する。本講座の外部開放により、慈愛会職員にとっても良い刺激となる研修環境を整え、研修全体の活性化を図る。また、地域の病院・施設関係者との交流や情報共有の場を創設し、医療者間のネットワーク構築を目指す。地域社会への貢献という役割を果たすべく、実施後の評価を継続的にを行い、研修の質をさらに高めていく。																																																			
			研修名	研修期間	参加数																																																																																										
	今村総合病院		感染管理	10/9-10	4																																																																																										
			フィジカルアセスメント	9/25-26	14																																																																																										
	いづろ今村病院		糖尿病看護	1/28-30	8																																																																																										
谷山病院	精神	7/22-24am	3																																																																																												
奄美病院	離島を含む精神医療	6/11pm-13am	1																																																																																												
徳之島病院	離島を含む精神医療	6/11pm-13am	3																																																																																												
愛と結の街	在宅・老健	11/10-12	3																																																																																												
在宅支援部	訪問看護																																																																																														
看護学校	看護基礎教育	6/17-19	10																																																																																												
(12) J-seatyナース研修・介護人材の交流研修充実と地域貢献																																																																																															
(13)積極的看護研究活動と質の向上																																																																																															
(14)看護の専門性を発揮する人材の配置（慈愛会在宅支援センター（仮）等）																																																																																															
(15)e-ラーニングの活用による研修の効率化																																																																																															
急性期、回復期、在宅	(1)一般病棟・地域包括ケア病棟・緩和ケア病棟 精神科病棟 経営安定病床 運営強化	病床利用率推移 (%) <table><tr><td></td><td>総合</td><td>いづろ</td><td>谷山</td><td>奄美</td><td>徳之島</td><td>愛結</td></tr><tr><td>4月</td><td>83.1</td><td>82.3</td><td>89.7</td><td>79.8</td><td>73.6</td><td>86.4</td></tr><tr><td>5月</td><td>79.6</td><td>76.4</td><td>89.7</td><td>79.8</td><td>72.8</td><td>89.4</td></tr><tr><td>6月</td><td>79.7</td><td>85.3</td><td>89.0</td><td>78.5</td><td>76.0</td><td>85.6</td></tr><tr><td>7月</td><td>83.9</td><td>84.2</td><td>88.0</td><td>80.7</td><td>79.6</td><td>87.9</td></tr><tr><td>8月</td><td>82.2</td><td>80.1</td><td>89.4</td><td>82.3</td><td>76.5</td><td>84.2</td></tr><tr><td>9月</td><td>80.8</td><td>83.0</td><td>91.1</td><td>86.5</td><td>78.0</td><td>88.2</td></tr><tr><td>10月</td><td>83.4</td><td>81.6</td><td>91.7</td><td>82.1</td><td>76.6</td><td>85.9</td></tr><tr><td>11月</td><td>77.8</td><td>78.2</td><td>89.2</td><td>78.8</td><td>72.4</td><td>90.7</td></tr><tr><td>12月</td><td>76.5</td><td>73.2</td><td>90.9</td><td>79.1</td><td>72.7</td><td>88.9</td></tr><tr><td>1月</td><td>83.1</td><td>76.3</td><td>91.4</td><td>78.2</td><td>72.6</td><td>89.6</td></tr><tr><td>2月</td><td>82.8</td><td>82.2</td><td>90.9</td><td>75.0</td><td>74.9</td><td>91.6</td></tr><tr><td>3月</td><td>81.4</td><td>78.6</td><td>88.0</td><td>74.3</td><td>73.3</td><td>92.0</td></tr></table>		総合	いづろ	谷山	奄美	徳之島	愛結	4月	83.1	82.3	89.7	79.8	73.6	86.4	5月	79.6	76.4	89.7	79.8	72.8	89.4	6月	79.7	85.3	89.0	78.5	76.0	85.6	7月	83.9	84.2	88.0	80.7	79.6	87.9	8月	82.2	80.1	89.4	82.3	76.5	84.2	9月	80.8	83.0	91.1	86.5	78.0	88.2	10月	83.4	81.6	91.7	82.1	76.6	85.9	11月	77.8	78.2	89.2	78.8	72.4	90.7	12月	76.5	73.2	90.9	79.1	72.7	88.9	1月	83.1	76.3	91.4	78.2	72.6	89.6	2月	82.8	82.2	90.9	75.0	74.9	91.6	3月	81.4	78.6	88.0	74.3	73.3	92.0	病院や施設で設定された目標に基づいて、ベッドコントロールや退院支援を実施する体制づくりが推進された。新入院患者数は増加傾向であったが、利用率は伸びず在院日数と新入院患者数増加のバランスが問われている。回転が良くなることでの煩雑さ等を調整し、タイムリーな状況の可視化をシステム構築することが今後求められる。状況を数値化し、管理の視点を持ち調整する力をつけることが看護部長の課題となる。目標達成に向けてベッドコントロールできる力をつけていく。	2026年度は、看護部長による病棟・外来の部署管理能力を強化することが求められる。自部署の運用状況に基づき、管理者の視点を持って調整・実践する力を養うことが不可欠となる。タイムリーなデータ把握を通じて病院全体の状況と自部署の現状を的確に紐付け何が必要かを主体的に考え行動できるよう、マネジメント思考を深めなければならない。各部署に期待される役割を正しく理解した上で、現場スタッフへの動機付けや組織化を行い、実践・評価・再計画というPDCAサイクルを確実に回せるよう、看護部の支援体制を強化する。
		総合	いづろ	谷山	奄美	徳之島	愛結																																																																																								
4月	83.1	82.3	89.7	79.8	73.6	86.4																																																																																									
5月	79.6	76.4	89.7	79.8	72.8	89.4																																																																																									
6月	79.7	85.3	89.0	78.5	76.0	85.6																																																																																									
7月	83.9	84.2	88.0	80.7	79.6	87.9																																																																																									
8月	82.2	80.1	89.4	82.3	76.5	84.2																																																																																									
9月	80.8	83.0	91.1	86.5	78.0	88.2																																																																																									
10月	83.4	81.6	91.7	82.1	76.6	85.9																																																																																									
11月	77.8	78.2	89.2	78.8	72.4	90.7																																																																																									
12月	76.5	73.2	90.9	79.1	72.7	88.9																																																																																									
1月	83.1	76.3	91.4	78.2	72.6	89.6																																																																																									
2月	82.8	82.2	90.9	75.0	74.9	91.6																																																																																									
3月	81.4	78.6	88.0	74.3	73.3	92.0																																																																																									
(2)3訪問看護ステーションの利用率向上 サテライト設置検討（奄美病院・徳之島病院）、サテライト活用による利用者増加（笹貫訪問看護ステーション愛の街） ※年間目標訪問件数：愛の街12,000件、イルカ9,780件、わたりどり2,760件	・訪問看護ステーション会議月1回開催 訪問件数目標達成のための方策の共有等 月別訪問件数 (件) <table><tr><td></td><td>愛の街</td><td>イルカ</td><td>わたりどり</td></tr><tr><td></td><td>サテライト</td><td></td><td></td></tr><tr><td>4月</td><td>861</td><td>47</td><td>824</td></tr><tr><td>5月</td><td>857</td><td>53</td><td>859</td></tr><tr><td>6月</td><td>929</td><td>36</td><td>789</td></tr><tr><td>7月</td><td>925</td><td>41</td><td>843</td></tr><tr><td>8月</td><td>888</td><td>51</td><td>761</td></tr><tr><td>9月</td><td>872</td><td>41</td><td>758</td></tr><tr><td>10月</td><td>917</td><td>32</td><td>834</td></tr><tr><td>11月</td><td>913</td><td>48</td><td>793</td></tr><tr><td>12月</td><td>872</td><td>32</td><td>794</td></tr><tr><td>1月</td><td>970</td><td>46</td><td>743</td></tr><tr><td>2月</td><td>915</td><td>37</td><td>722</td></tr><tr><td>3月</td><td>1,047</td><td>40</td><td>770</td></tr></table>		愛の街	イルカ	わたりどり		サテライト			4月	861	47	824	5月	857	53	859	6月	929	36	789	7月	925	41	843	8月	888	51	761	9月	872	41	758	10月	917	32	834	11月	913	48	793	12月	872	32	794	1月	970	46	743	2月	915	37	722	3月	1,047	40	770	月1回ではあるが3つの訪問看護ステーションをZoomでつなぎ利用状況の確認や工夫点や困りごと、経営改善、業務改善等を共有することで互いの工夫を学び改善策を検討することができた。目標達成できる月もあったが、未達の月もあり、実績に波があった。利用者が入院する訪問件数が減少するため、未然の対応が重要になる。また2名同行割合を増やすための工夫等についても共有し、安全安心な訪問に繋がる検討もできた。																																					
	愛の街	イルカ	わたりどり																																																																																												
	サテライト																																																																																														
4月	861	47	824																																																																																												
5月	857	53	859																																																																																												
6月	929	36	789																																																																																												
7月	925	41	843																																																																																												
8月	888	51	761																																																																																												
9月	872	41	758																																																																																												
10月	917	32	834																																																																																												
11月	913	48	793																																																																																												
12月	872	32	794																																																																																												
1月	970	46	743																																																																																												
2月	915	37	722																																																																																												
3月	1,047	40	770																																																																																												

中長期計画	2025年度 事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
急性期、回復期、在宅	3)適切なタイムリーなベッドコントロール体制 4)患者・家族満足度向上	2025年度よりベッドコントロールに副部長が就任（今村総合病院） 入退院情報のタイムリーな可視化	2025年度よりベッドコントロールに副部長が就任（今村総合病院）したことで利用率アップも見られた。また1日3回多施設でベッドコントロール状況を確認し合いタイムリーでスムーズな転院につながっている。	2025年度は、ベッドコントロール担当に管理者を配置したことで、円滑な病床運用が可能となった。また、Zoomを活用した病院・施設間の転院・移動調整もタイムリーに実施できる体制が整った。 2026年度は、各病棟棟師長が管理者的視点を持って病床管理に主体的に参画する体制をさらに強化し、病床利用率の向上および新入院患者数の増加を目指す。
医療と介護、介護サービス体制整備による連携強化、協力	1)クリティカルパス活用による適切な医療の展開と在宅への移行 2)切れ目ない看護継続支援在宅療養生活の充実 連携パス ACP導入に向けた検討	・慈愛会内外との連携強化（情報連携強化）、連携推進 慈愛会連携推進会議 4/17、6/19、8/21、10/16、12/18、2/19 節英会参加開始 ・慈愛会PFMの構築 今村総合病院といづろ今村病院とのズーム会議 1日3回実施開始	慈愛会連携推進会議では慈愛会内連携事例の検討を行った。 連携における困りごとについて全体で意見交換し改善策を検討できた。 慈愛会内の連携がスムーズになるようシステムの改善や、情報交換のあり方等検討することができた。	慈愛会連携推進会議において法人内の連携事例を精査し、実務上の課題や困りごとを共有・改善していく取り組みを継続する。事例検討の積み重ねにより、より強固な連携体制の構築を目指す。
看護職の働きかた改革（働く環境の整備、子育て・介護支援、ICT活用、人的支援、働きかた改善etc）	1)職場満足度調査および5カ年調査評価及び具体的改善 2)新人事制度による目標管理（チャレンジプラン）支援と成功体験の増加 3)地域活動支援、要請への対応と広報 特定看護師・認定看護師不在地域への介入 4)慈愛会縁結び応援プロジェクトの活動再開による職員交流の場拡大 5)職場風土調査5カ年評価と職場風土改善への取り組み、離職率減少 タスクシフト・タスクシェアによる成果の見える化 6)医療DXを推進し、看護データ整備、データ活用による業務負担軽減と生産性向上、看護管理業務の改善 7)キャリアサポートバンク活用によるキャリア支援の開始	・役職者任期制度の理解促進 看護部長ミーティングでの検討 副看護部長研修（講義とグループディスカッション） 副看護部長研修（講義とディスカッション） 12月6日 新入職員対象 交流会企画 新入職員（特定技能生等含む） ファシリテーター合同食事会 36名参加	2025年度は役職者任期制度導入に向け、看護部長ミーティング及び管理者研修（看護部長研修・副看護部長研修・副看護師長研修等）において、制度の目的理解を中心に講義とワークを行い、制度理解を深め、管理者としてどう現場に伝え、どう活用するかを時間をかけて検討した。 今年度より特定技能生の受け入れがあったことから、新入職員と特定技能生を対象に職員交流の場を設けた。約9カ月が経過した多職種の新人や特定技能生と一緒にレクリエーションや会話を通して仲間づくりを行うことができた。互いの職場での状況を話したり専門性について話したりと交流ができ仲間づくりに役立てられたのではないかと。現場においても、その新たな絆が良い関係性につながることを期待したい。	2026年度は役職者任期制度の導入初年度にあたる。本制度の目的について、職員への理解を促進する場を設けることが不可欠。 2026年度の管理者研修等の企画において制度理解を促す内容を盛り込み、周知を徹底する。 マネジメントラダーの改定に伴い、改定内容の理解を促す機会を創出する マネジメントラダーの申請・認定を推進し、キャリアアップに挑戦できる環境を整備するとともに、管理視点の強化を図る研修の企画・実施に取り組む 2026年度は、参加希望者数および開催数の増加を目標とする。 これまでの開催における参加者の満足度は高く、特に新入職員にとっては同期との交流や仲間づくりの場として有効であった。前年度はシニア層を対象とした企画を実施したが、2026年度はより幅広い職員間での交流を促進する場を創出する。

中長期計画	2025年度 事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
用、整備、人的支援、働きかた改革、働きかた改善、ICIT活	(8)定期ストレスチェックと早期メンタルヘルス介入 (9)業務改革による超過勤務縮減（無駄をなくす）、有給休暇取得促進 (10)子育て支援・介護支援、プラチナナース支援の充実	1月8日 ストレスチェック集団分析結果報告会 2月10日 (株) ロブとの打ち合わせ ストレスチェック結果の確認と今後の方向性の検討 看護部長とのワークショップ開催予定 子育て支援だより 7月発行 看護師の定年後に向けたキャリアプランに関するアンケート調査 (9月)	2025年度ストレスチェックの結果をもとに看護部全体の分析・傾向を共有し組織改革に向けた取り組みを次年度実施予定となった。	2026年度は2025年度ストレスチェックの結果を基に、慈愛会看護部への介入研修を受けて、風土改善に向けた取り組みが開始される。結果を活用し、看護管理に反映させる取り組みによって、職場環境のストレスを軽減できる組織づくりにチャレンジする。
感染症・災害への対応力強化、BCP業務、継続計画BCP業務、定常と非常態を整備	(1)感染症・災害への対応力強化（支援体制・BCP・定期シミュレーション）	トカラ列島悪石島地震 看護師派遣 今村総合病院 7/7-7/13 看護師派遣 谷山病院 7/21-7/27	定期的な災害訓練が各施設で実施されるとともに災害派遣も行われ貢献できた。	感染症・災害発生リスクは継続しており、2026年度も常に訓練を繰り返し、研修にも災害対策・感染対策を継続的に入れ込んで実施する。
多職種連携チームによるマネジメント、安全で質の高いサービス提供	(1)慈愛会連携推進委員会の活性化 (2)看護学校と臨床との協働推進	4/17、6/19、8/21、10/16、12/18、2/19 事例検討 医療と介護の連携についての検討等実施 ・臨地実習指導者会議 75名参加 4/19 今村総合病院31名、いづろ今村病院11名、谷山病院12名、愛と結の街5名、笹貫訪問看護ステーション愛の街1名、鹿児島中央看護専門学校12名、法人事業本部3名 ・臨地実習指導者・教員合同研修 88名参加 10/4 いづろ今村病院12名、今村総合病院29名、谷山病院12名、愛と結の街3名、笹貫訪問看護ステーション愛の街3名、徳之島病院1名、奄美病院12名、鹿児島中央看護専門学校11名、法人事業本部5名	慈愛会の施設間の連携事例について検討し、良い部分や改善点を共有することでより良い連携につなげることを目指して開催した。検討のあり方を見直し、参加者全員が今後に活かせる内容となるよう改善していく。検討事例が集まる会議になるよう工夫が必要。 年2回、4月に臨床実習指導者会議・研修、10月に臨床実習のあり方について鹿児島中央看護専門学校教員と慈愛会の臨床実習指導者間でグループワークを行い、事例検討等を行っている。 年度末には、ダブルスクールから継続して卒後も放送大学で学士取得を目指す職員への切れ目ない支援システムについて、検討が開始された。	2025年度は、事例検討の実施により会議の活性化を図ることができた。 2026年度は、慈愛会在宅支援センターの設置検討等が予定されている。推進委員会の場を活用しながら、慈愛会連携システムの構築に向けた意見収集及び情報共有を強化し、同システムの構築に積極的に参画する。 学生指導力の強化については、年2回開催する学校との合同会議や研修を通じ、事例検討、科目ごとの目的理解の促進、および課題の共有を行うことで、指導体制の改善に取り組む。 また、鹿児島中央看護専門学校のダブルスクール学生の就職後を見据え、学生の就学情報を現場と共有し慈愛会全体で進捗状況の把握や学習環境の調整といった支援を開始し、2026年度中にこれらの支援システムを構築する。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

2025年度は、前年度の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の「トリプル改定」を受け、その影響が本格的に反映された初年度であり、医療DXの推進、役割等級制度の開始、役職任期制度の導入、ならびにキャリア開発ラダー・マネジメントラダーの改定など、組織に新たな変化を生み出すことが求められる年となった。これらの取り組みを推進するためには、目指すべき姿（あるべき姿）を共有・具体化し、導入に向けた具体策の策定といった戦略的な看護管理を実践し、組織運営における看護部の責務を果たすことが重要であった。

●看護職員確保関連

看護部支援室は、看護職員の人材確保と人材育成の役割を担っている。人材確保の視点では、2023年度頃より鹿児島市内公的病院の人員不足や看護学校の閉校などが影

響し、採用環境は年々厳しさを増している。鹿児島県における看護師の離職率は全国でも極めて高い水準で推移しており、特に中堅層の流出が顕著である。本県の特徴として、既卒看護師の離職率が約2割に達し、大分県に次ぐ全国ワースト2位という深刻な状況にある。2023年度の鹿児島県の正規雇用看護師離職率は平均13.0%、新卒看護師は9.1%であった。その背景には、給与水準の課題、業務負担の増大、残業の常態化などが主因として挙げられる。

2025年度も、厳しい採用情勢が続く中で新卒看護師の確保に向け、積極的な学校訪問や広報活動、採用試験の実施に取り組んだ。また、2024年度から開始した、同法人内「鹿児島中央看護専門学校」以外の学生を対象とした奨学金制度の拡大にも引き続き取り組み、12名の奨学生の契約締結となった。

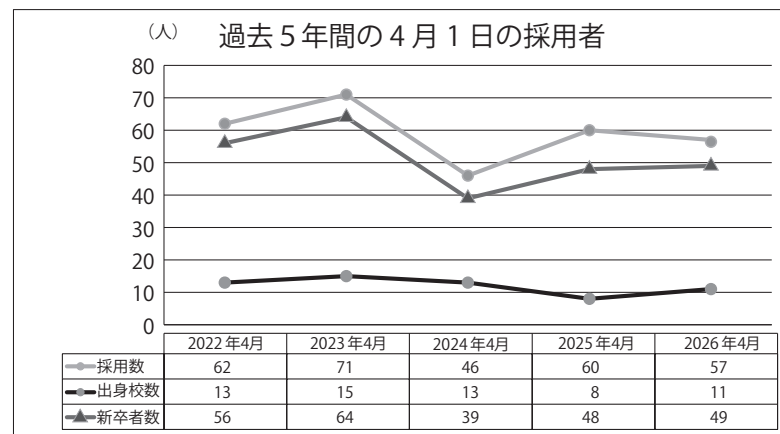
病院見学については、Webサイトを活用した募集に加え、施設毎のオンライン説明会の開催やInstagramで

の情報発信など、各施設と連携した新たな企画を展開した。既卒者の採用においては、ハローワークとの連携を強化し、関連イベントへ年間12回参加した。さらに、人材確保の多角化グローバル化の一環として、看護補助者における特定技能外国人の採用も開始し2026年度には約30名以上となる予定である。これは当法人のケア体制を支える重要な柱の一つとなる。入国時のオリエンテーションや、日常生活への定着支援にとどまらず、慈愛会の一員として長く活躍できるよう組織全体での、受容・育成アプローチをより深化させていく必要がある。

これらの施策の結果、2026年4月新卒看護師50名を採用（うち1名辞退し49名入職）し、中途採用者数も前年

度より増加した。一方で、2025年度は離職率が14.4%へと増加しており、特に新卒看護師の離職率が大幅に上昇したことから、看護師の定着に向けた取り組みの強化が今後の課題である。退職理由は他施設就職、健康上、その他の順で、経験年数は5年～10年未満、次いで3年～5年未満の順で、次世代を担うべき中堅層の流出が目立つ。退職の真因を掘り下げ、迅速かつ実効性のある対策を講じることが、喫緊の課題である。以上のことから、看護師確保においては、採用者の獲得と定着の両面からのアプローチが求められており看護職員が誇りをもって働き続けられる組織づくりの実現を最重要検討事項として推進する。

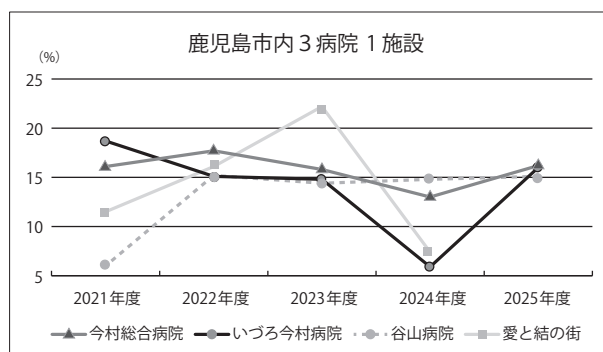
看護師採用状況



病院別看護師採用数

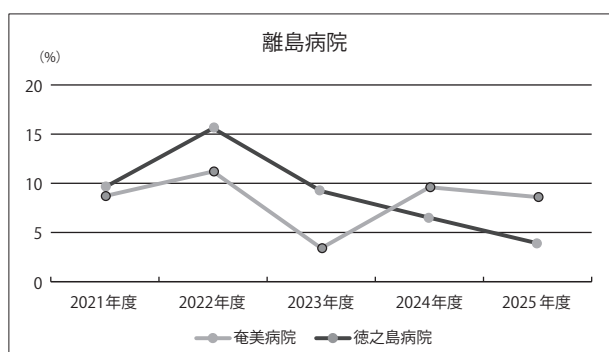
	2022年4月	2023年4月	2024年4月	2025年4月	2026年4月
今村総合病院	43	45	24	31	38
いづろ今村病院	7	13	8	14	11
谷山病院	7	10	5	11	7
奄美病院	2	2	6	2	1
徳之島病院	3	0	1	2	0
愛と結の街	0	0	1	0	0
訪問看護愛の街	0	1	1	0	0
	62	71	46	60	57

離職率状況



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
今村総合病院	16.1(61)	17.7(64)	15.8(57)	13.0(45)	16.2(60)
いづろ今村病院	18.7(19)	15.1(14)	14.8(14)	5.9(6)	16.0(17)
谷山病院	6.0(9)	15.2(22)	14.4(19)	14.8(19)	15.1(19)
愛と結の街	11.5(3)	16.1(2)	22.2(3)	7.4(1)	

() 退職者実数



() 退職者実数

合同研修会

2025年度 管理者・職員・臨地実習指導者研修会一覧

		開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価（レポート・評価表）	研修プログラム	開催場所	参加者数
管理者研修	1	看護部長研修会 2025年 10月24日 (金)	全看護部長	人材育成能力・人的資源活用能力向上	1) 看護師を取り巻く状況（医療政策・地域医療構想等）を理解し、職場選択・職務継続の決定要因等を知り、現状に即した人材確保、離職防止対策を打ち出すことができる。 2) トップマネジャーとして新人人事制度改定、役割等級制度を理解し、マネジメントラダー改訂に取り組み、法人人事制度と整合性のあるマネジメントラダーを構築する。 3) マネジメントラダー改訂を機会に若い世代が看護管理者をめざせる仕組みをつくる。	【事前レポート】 ①マネジメントラダー評価（看護部長職レベル） ②トップマネジャーとしてマネジメントラダー活用推進による看護管理者育成の現状と課題をレポートする。 研修当日報告1人5分の準備をする。	・マネジメントラダー活用推進による看護管理者育成の現状と課題について発表 ・発表後ディスカッション ・新人人事制度改定・役職者任期制度の目的・ねらいを理解・共有し、人材育成・キャリア開発の視点を持ちながらマネジメントラダー改訂を実施する。	かごしま オハナビル 3階 中会議室	いづろ：1名 総合：1名 谷山：1名 奄美：1名 徳之島：1名 愛結：1名 学校：1名 合計：7名
	2	副看護部長研修会 2025年 11月28日 (金)	慈愛会に勤務する副看護部長 8名	次世代のトップマネジャーを担う副看護部長として総合的なマネジメント力を高める	1) 自施設の看護サービス向上・人材育成への自己課題を明確にし、行動できる。 2) 次世代の看護管理者育成について理解を深め方向性を明確にし、今後の戦略を企画立案することができる。 3) 自施設の人材育成に積極的に関与できる。	【事前課題】 ①「次世代看護管理者育成についての現状と課題」についてレポートする ②マネジメントラダー 副看護部長職評価 ③次世代看護管理者育成についての検討に必要な情報を収集し、当日に発表できるよう準備を行う 【事後レポート】 ①研修で企画立案した内容の実践・評価から看護管理者としての学び、今後の自己の看護管理にどのように生かしたいか	【情報提供】 日本看護協会認定看護管理者教育課程について 【プレゼンテーション】 テーマ：次世代看護管理者育成について検討するための情報交換（背景・地域・自組織の状況） プレゼンテーション 1人5分 【グループワーク】 次世代看護管理者育成 現状分析と課題 【情報提供】 役職任期制度について 【グループワーク】 次世代看護管理者育成 将来を見据えた戦略	かごしま オハナビル 3階 大会議室	いづろ：1名 総合：3名 谷山：2名 奄美：2名 合計：8名
	3	新任看護部長研修会 2025年 7月17日 (木)	令和6年7月以降、看護師長に昇任した者	看護師長の役割を理解し、中間管理者としての資質の向上を図る	1) 「看護管理とは」を理解することができる。 2) 看護管理に必要な知識を修得し、実践に活かすことができる。 3) 看護師長の役割と自覚が芽生え、目標管理を実践できる。 4) 看護師長としての在りたい姿を描き、担当部署の看護管理実践で具現化する。	【事前課題】 テーマ「看護師長としての自己課題」以下2つの視点をレポートする ・担当部署に求められている役割・果たすべきことを記載する。 ・担当部署での役割達成に向けた看護者としての自己課題を、事実をもとに具体的に記載する。 テーマ「看護管理者としての自己課題」 課題解決のヒントとなる文献検索をし、5分程度でテーマに関する新たな知見を伝達する準備をする。テーマは医療・看護に関連しない管理に関する内容でも可。 【事後課題】 テーマ「新任看護師長としての看護管理実践」 研修で学んだ内容を踏まえて看護師長として在りたい姿を描き、目標達成に向けて看護管理を実施・評価する。	【ワーク①】 ありたい看護師長像を具現化する1 ～今の想いを共有しよう～ ＜先輩看護管理者の語り＞ 【講義：看護管理とは】 「看護管理」とは 看護師長に求められる役割 【ワーク②】 自己課題解決に向けた様々な知見についての共有（プレゼンテーション） 管理に関する知識を学び視野拡大につなげる 【ワーク③】 ありたい看護師長像を具現化する2 ・今看護管理者に求められていることは何か ・そして明日からどのような行動につなげるか 発表（30分） 【シャドー研修について（研修後実施）】 新任看護師長シャドー研修 目的：先輩看護師長の看護管理判断のプロセスを学ぶ	かごしま オハナビル 3階 大会議室	総合：3名 谷山：2名 奄美：1名 徳之島：1名 計：7名
	4	副看護部長研修会 2026年 1月31日 (土)	公益財団法人慈愛会に所属する副看護師長（新任副看護師長除く）	副看護部長の役割を理解し、中間看護管理者としての資質向上を図る	1) 実践モデルとしての副看護部長の役割を認識できる。 2) 部署の問題を分析し、看護サービスの向上への取り組みができる。 3) 問題解決のヒントを得て役割行動につなげることができる。 4) マネジメントラダーレベルⅠの自己の課題に取り組むことができる。 5) 看護管理者として視野を拡大し、新たな発想でチャレンジすることができる。	【事前レポート】 ①2025年度の目標達成に向けた取り組み内容の中から1項目について、「看護管理実践計画書」の1.テーマ選定理由～7.12月時点の実施・評価 までを記載。（別紙参照） ②管理者に求められる資質評価・マネジメントラダーⅠ評価 【研修後レポート】 ①テーマ「研修を通しての学び」 ②「看護管理実践報告」（8～10.まとめ）を記載。	【発表】「目標達成への取り組み」4例 いづろ今村病院：退院時準備の効率化 ～入退院一体化の確認票使用～ 谷山病院：入院動画作成、導入による入院時業務の効率化 愛と結の街：業務改善 ～スタッフが働きやすい環境の改善～ 奄美病院：感染対策への意識向上と習慣化を目指して 【自己ワーク】 看護師・看護管理者としての今までの道のりで大切にできたこと 自身の在りたい姿 ～看護管理者としての夢をかかなえる ～自己実現における私の思考過程～ 【講義】変革へのチャレンジ ～役職者任期制度について～ 【グループワーク】 テーマ：変革へのチャレンジ ～看護部の未来を創造する～ 慈愛会看護部教育制度・アドベンチャー制度・副業制度・ブレイクマネージャーの活躍等、新たなチャレンジ テーマ：「いきいきとした看護管理者を目指して」 研修を通しての学び、感想、今後に向けた思い（自己ワーク内容）を共有する	慈愛会ビル 第4教室 第5教室	いづろ：7名 総合：22名 谷山：15名 奄美：8名 徳之島：1名 愛結：1名 在宅：1名 合計：55名

		開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価（レポート・評価表）	研修プログラム	開催場所	参加者数
管理者研修	5	2025年 8月8日 (金)	新任副看護師長研修会 2024年7月以降に副看護師長に昇任した者	副看護師長の役割を認識し、中間看護管理者としての資質の向上を図る。	1) 副看護師長の役割を認識できる。 2) 副看護師長としての資質を自己評価し、自己の課題が明確になる。 3) 看護師長の補佐としての自覚が芽生え、自部署の目標達成の意義が理解できる。	【事前課題】 ①レポート テーマ「副看護師長となり管理者として現場で取り組んでいること、もしくは取り組もうと考えている課題の中で、困っていることを具体的に記載する」 ②マネジメントラダーレベルI 評価表（自己評価のみ） 【事後課題】 ①レポート テーマ「自身の課題達成に向けた今後の取り組み」 ②マネジメントラダーレベルI 評価表（自己評価のみ 2026年3月の欄に記入） 自身の課題達成に向けた取り組みの結果と自己分析を記入	【グループワーク①】 「事前レポートと初期キャリア支援研修の学びを通して副看護師長として思うこと」 ○先輩看護管理者の語り 各1名5分程度 ○グループワーク 【講義】 ・看護管理とは ・看護管理者に求められる資質（マネジメントラダーの理解） 【グループワーク②】 「自身の課題（事前レポート）達成に向けた今後の取り組み」 15:35～16:40 グループワーク 16:40～16:50 グループ発表 16:50～17:00 意見交換	かごしま オハナビル 3階 大会議室	いづろ：3名 総合：4名 奄美：1名 徳之島：1名 合計：9名
職員研修	6	2025年 10月18日 (土) 11月8日 (土)	慈愛会看護部3年目研修会 卒後3年目看護師59名 総合40名 いづろ10名 谷山8名 奄美1名	看護理論を活用して危機的状態にある患者の看護実践ができる看護師の育成	1) 危機的状態の患者・家族の心理や受容過程を理解する 2) 危機のプロセスに応じた看護介入方法を学ぶ 3) 学んだことを今後の看護実践で活かすことができる	【事前課題】 ①振り返りシート ②振り返りシート閲覧：研修前日までにグループ内の振り返りシートを閲覧する。 【事後課題】 ①実践レポート：研修で学んだことを実践し、感じたことをまとめる	【講義】「危機的状態の患者家族の看護」～心に届く看護ケアを行うために必要な知識～ Ⅰ. 日常的他者理解から専門的な対象理解 Ⅱ. 対象の「見る自己」を的確に推測する専門的知識の獲得 Ⅲ. 危機的状態の患者に不可欠なケア 【グループワーク1】 対象者の全人的理解 「振り返りシート」を活用 講義での学びを活かしたリフレクション (1) 4つの側面から患者情報を整理してみえてきたこと (2) 各自の場面の意味を考える 【グループワーク2】 大切にしたい看護を語り合う 患者・家族の心に届くケアについて考える ①司会、書記、発表者を決める ②ワークシートを用い、自分の中の大切にしたい看護を発表する ③全員でこれから大切にしたい看護について語りあう。 ④ホワイトボードにまとめる ⑤明日からの看護実践に向けて ※ファシリテーターは看護師キャリア開発ラダーレベルV申請者 (心に届く慈愛の看護について推進役として役割を果たす) 【発表】学んだことを実践につなげるためにグループ毎に発表 3分以内	かごしま オハナビル 3階 大会議室	【1回目】 総合：20名 いづろ：5名 谷山：4名 計 29名 聴講のみ 総合：2名 【2回目】 総合：19名 いづろ：5名 谷山：4名 奄美：1名 計 29名 聴講のみ 総合：4名 合計 64名
臨地実習	7	2025年 10月4日 (土)	慈愛会の実習指導者 教育担当副看護部長 副看護師長 看護師長 副看護部長 看護部長 鹿兒島中央看護専門学校専任教員	基礎教育において質の高い実習指導者・教員の育成 基礎教育において質の高い実習指導者・教員の育成	1) 臨地実習における学生に、効果的指導方法を見出すことが出来る。 2) 臨地実習において、学生が、自ら考え、気づき、学ぶようなかわり方を考えることができる。 3) 指導者と教員が互いに学びあい、学生指導に対する関係性の重要性を理解できる。	実習指導に関して各施設での実習目標を達成するための効果的指導方法・成功事例（場面）・困難事例を持ち寄る。	研究報告：基礎看護学実習での指導者の関わりによる看護学生の学びの変化 ～WEBアンケート活用による迅速な実習環境の調整～ 実習場面（体験）を学生にとって価値ある「経験」にする関わりとは ～指導場面を振り返り、関わりを再考する～ 【発表】 (1) 谷山病院 テーマ：自分の思いを表現できない患者と学生の関わり (2) 愛と結の街 テーマ：少ない看護師でどのように学生とかわるかわるか (3) いづろ今村病院 テーマ：戸惑いから主体性へ～ひたむきさを患者の支えに変える (4) 奄美病院 テーマ：不安が強い学生対応への振り返り (5) 笹貫訪問看護ステーション愛の街 テーマ：学生に気づかされたこと 【グループディスカッション 質疑応答】 【グループワーク】 (6) 事例提供 今村総合病院 基礎実習での1場面 ～わからなかった学生の思い～ その後の経過の報告	慈愛会ビル	いづろ：12名 総合：29名 谷山：12名 愛結：3名 在宅：3名 鹿中看：11名 本部：5名 リモート 奄美：12名 徳之島：1名 合計：88名

技能・能力向上に向けた取り組み

●次世代看護管理者の育成

2025年度は、看護職員の専門性向上と組織の活性化を目指し、看護職員能力開発プログラムとマネジメントリーダーを大幅に見直した。能力開発プログラムはレベル表示を変更した。現場の混乱を防ぐため、細やかな注意喚起と丁寧な周知活動を行いながら円滑な移行を図る。また、新人事制度の導入や役職任期制度導入にむけて、制度の本質的な理解を促進するため、検討や研修を重ねたが、現時点では職員一人ひとりの周知・徹底が十分とは言えない状況であるため、制度のねらいをあらためて言語化し、研修等を通して浸透を図ることはもとより、現場の管理者やリーダーが繰り返し説明できる体制を整えることが必須である。役職6年を1つの目安として、そ

の後は看護スタッフとして現場でマネジメント視点を保持しながら高度な専門性を磨く道、特定看護師にチャレンジする道、教育等の役割を担う等個々の適性と意欲に応じた多様な選択肢を提示できる仕組みも検討する。管理を学びながら看護実践を並行できる体制を確立し、ブレインゲーマネジャー、次世代を担うリーダーを育成する。

専門性の向上としては特定看護師の資格取得や、学士・修士・博士への進学支援を検討する。鹿児島中央看護専門学校で、ダブルスクールで学んだ方が慈愛会への入職後も継続的な支援を受けて学位を取得できる体制についても検討を開始した。具体的支援内容を2026年度確立する。

また、慈愛会看護の知見の可視化とナレッジ共有、慈愛会看護の歴史の継承を目的に慈愛会看護学会を設立し、法人全体の看護職の専門性を高めるように取り組む。

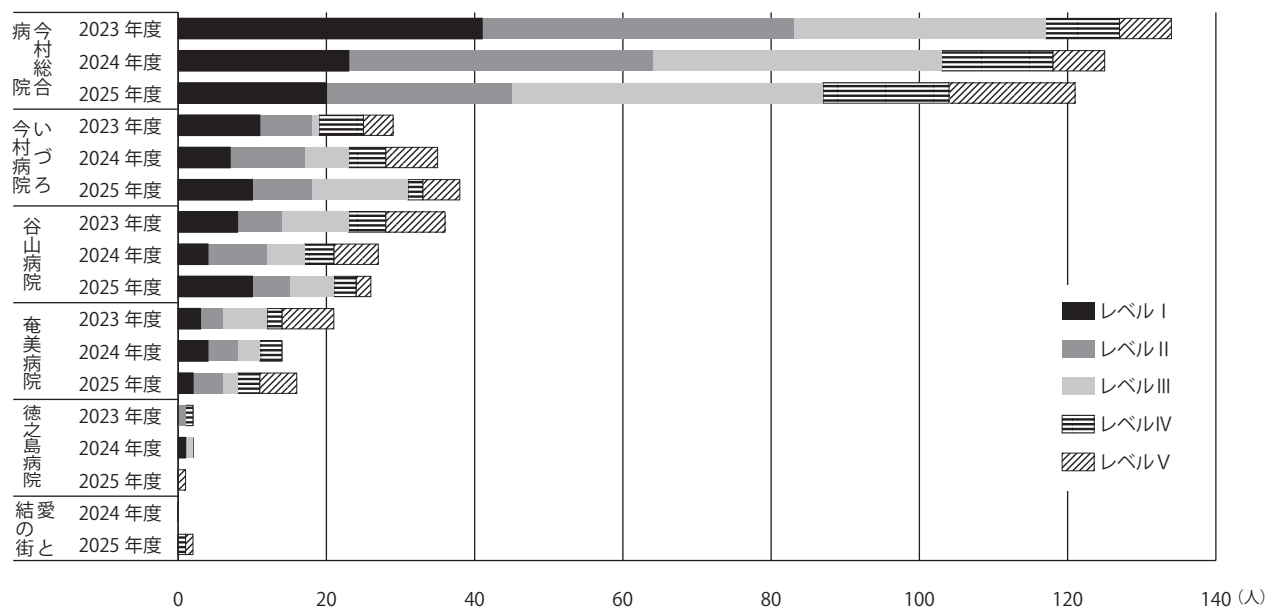
2025 年度 看護師キャリア開発リーダー認定状況

		1. 認定申請率 ※対象者に対する		2. 全体の認定率 ※対象者に対する		3. 今年度の認定合格率 ※申請者に対する		4. 認定合格者 (数)	5. 今年度の対象者 (数) ※看護管理者除外 全体の対象者 (数) ※看護管理者除外	6. これまでに1回も 申請がない(人数) これまでに1回も 認定されていない (人数)
		対象者の中で 申請者数	申請率	対象者の中で 認定者数	認定率	申請者のうち 認定合格者数	合格率			
今村総合病院	今年度の 新たな認定者・更新者	169	72.5%	121	51.9%	121	71.6%	121	233	1
	全体の認定者	290	99.7%	291	100.0%	237	81.4%	291	291	0
いづろ今村病院	今年度の 新たな認定者・更新者	53	89.8%	38	64.4%	38	71.7%	38	59	0
	全体の認定者	70	100.0%	70	100.0%	55	78.6%	70	70	0
谷山病院	今年度の 新たな認定者・更新者	52	226.1%	26	113.0%	26	50.0%	26	23	0
	全体の認定者	28	100.0%	28	100.0%	2	7.1%	28	28	0
奄美病院	今年度の 新たな認定者・更新者	17	73.9%	16	69.6%	16	94.1%	16	23	1
	全体の認定者	27	96.4%	27	96.4%	26	96.3%	27	28	1
徳之島病院	今年度の 新たな認定者・更新者	1	6.7%	1	6.7%	1	100.0%	1	15	1
	全体の認定者	19	95.0%	19	95.0%	19	100.0%	19	20	1
全体	今年度の 新たな認定者・更新者	292	82.7%	202	57.2%	202	69.2%	202	353	3
	全体の認定者	434	99.8%	435	99.3%	339	77.9%	435	437	2

(注) 1. 認定申請率 …………… 対象者とは、副看護師長以上の看護管理者を除く看護師（助産師）
2. 全体の認定率 …………… 常勤（嘱託）の副師長以上の管理職を除く看護師（助産師）に対する認定率（レベル取得した者の率）
3. 今年度の認定合格率 …………… 今年度に申請し今年度の年度末に合格した合格率
4. 認定合格者 …………… 過去の認定者も含めて全体でレベルⅠ～Ⅳ
5. 対象者 …………… 年度末（3月31日）時点の対象者総数とする

キャリア開発ラダー認定者数 一覧

		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
今村総合病院	2023 年度	41	42	34	10	7
	2024 年度	23	41	39	15	7
	2025 年度	20	25	42	17	17
いづろ今村病院	2023 年度	11	7	1	6	4
	2024 年度	7	10	6	5	7
	2025 年度	10	8	13	2	5
谷山病院	2023 年度	8	6	9	5	8
	2024 年度	4	8	5	4	6
	2025 年度	10	5	6	3	2
奄美病院	2023 年度	3	3	6	2	7
	2024 年度	4	4	3	3	0
	2025 年度	2	4	2	3	5
徳之島病院	2023 年度	0	1	0	1	0
	2024 年度	1	0	1	0	0
	2025 年度	0	0	0	0	1
愛と結の街	2024 年度	0	0	0	0	0
	2025 年度	0	0	0	1	1



管理者任用候補者選考結果及び昇任状況

病院	年度	看護師			准看護師			介護福祉士			ナースエイド			昇任者数	次年度の昇任者数	再受験者数
		受験者	合格者	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)			
いづろ 今村病院	2023年度	6	6	100.0%				1	1	100.0%				2		
	2024年度	5	5	100.0%												
	2025年度	4	4	100.0%				3	2	66.7%						
今村 総合病院	2023年度	4	4	100.0%							1	1	100.0%		3	
	2024年度	5	5	100.0%										1		
	2025年度	9	9	100.0%							1	1	100.0%			
谷山病院	2023年度	4	4	100.0%										1		
	2024年度	1	1	100.0%						—						
	2025年度	1	1	100.0%												
奄美病院	2023年度	2	2	100.0%				2	1	50.0%				1		0
	2024年度	2	2	100.0%				2	2	100.0%				1		1
	2025年度	1	1	100.0%				2	1	50.0%	1	1	100.0%			
徳之島病院	2023年度							1	1	100.0%						1
	2024年度															
	2025年度	1	1	100.0%	2	2	100.0%				2	1	50.0%			
愛と結の街	2023年度	1	1	100.0%												
	2024年度	3	3	100.0%				3	3	100.0%						
	2025年度															

看護師資格取得状況一覧（2025年度）

			いづろ	総合	谷山	奄美	徳之島	愛と結の街	在宅支援部	鹿中看3年課程	本部	法人計
認定看護師	救急看護	資格者		1								1
		受講中										0
	皮膚・排泄ケア	資格者		2								2
		受講中										0
	クリティカルケア	資格者		2								2
		受講中										0
	集中ケア	資格者		2								2
		受講中										0
	緩和ケア	資格者	2	1								3
		受講中										0
	がん性疼痛看護	資格者										0
		受講中										0
	がん放射線療法看護	資格者		1								1
		受講中										0
	がん薬物療法看護	資格者		1								1
		受講中										0
	感染管理	資格者	2	4	1	1						8
		受講中										0
	糖尿病看護	資格者	1									1
		受講中										0
	脳卒中リハビリテーション看護	資格者		1								1
		受講中										0
	認知症看護	資格者	1	1								2
		受講中										0
	在宅ケア	資格者			1							1
		受講中										0
	透析看護	資格者		1								1
		受講中										0
	精神科	資格者		1	3	1						5
		受講中										0
診療看護師	資格者											0
	受講中			1								1

			いづろ	総合	谷山	奄美	徳之島	老健	在宅 支援部	鹿中看 3年課程	本部	法人計
認定看護管理者	ファーストレベル	資格者	15	11	30	21	4	5	4	4		94
		受講中										0
	セカンドレベル	資格者	7	14	9	6	3	1	1	2		43
		受講中										0
	サードレベル	資格者	1	1	2				1	1		6
		受講中										0
	認定看護管理者	資格者	1	1	2				1	1	3	9
		受講中										0
特定行為研修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	資格者	2	14	1				1			18
		受講中										0
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	資格者		8								8
		受講中										0
	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	資格者		2								2
		受講中										0
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	資格者		3	1							4
		受講中										0
	循環動態に係る薬剤投与関連	資格者		2								2
		受講中										0
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	資格者	1	1	1							3
		受講中										0
	創傷管理関連	資格者	1	5	1							7
		受講中										0
	栄養に係るカテーテル管理（抹消留置型 中心静脈注射用カテーテル管理）関連	資格者		4								4
		受講中										0
	動脈血液ガス分析関連	資格者		12								12
		受講中										0
	感染に係る薬剤投与関連	資格者	1	3								4
		受講中										0
	ろう孔管理関連	資格者	1	2	1				1			5
		受講中										0
	在宅コース	資格者		1								1
		受講中										0
	在宅・慢性期領域パッケージ	資格者				1	1	1				3
		受講中										0
	救急領域パッケージ	資格者		4								4
		受講中										0
	混合病棟コース	資格者		1								1
		受講中										0
	透析管理関連	資格者		1								1
		受講中										0
	皮膚損傷に係る薬剤投与関連	資格者										0
		受講中		1								1
	術中麻酔管理関連パッケージ	資格者		1								1
		受講中										0
	創部ドレーン関連	資格者		1								1
		受講中										0
長期	教員養成課程修了	資格者	1	5	2	1				14	2	25
		受講中										0
	教務主任養成課程修了	資格者								2		2
		受講中										0
その他の資格・研修	医療安全管理養成過程終了者		31	29	21	10	2	2	1			96
	臨床指導者講習修了者（看護）		10	24	27	6		7	3	6	1	84
	臨床指導者講習修了者（介護）							21				21
	災害支援ナース		8	16	14	1			1	1		41
	糖尿病療養指導士		8	3						1		12

		いづろ	総合	谷山	奄美	徳之島	老健	在宅 支援部	鹿中看 3年課程	本部	法人計
その他の 資格・研 修	呼吸療法士	3	7								10
	消化器内視鏡技師	4	4								8
	透析技術認定士		5								5
	日本救急学会認定 インストラクター ICLS コース	1	11	1							13
	アメリカ心臓病学会 インストラクター BLS コース	1	8								9
	栄養サポートチーム 専門療法士		1								1
	介護支援専門員	3	1	1			12		4		21
	訪問看護師養成 講習会修了者	1		1	5			7	2		16

●J-seatyナース研修の検討

各施設の特色を生かした専門性の高い看護実践を体系化した「J-seatyナース研修」を継続的に実施している。2025年度は9コースを開催し、法人全体から46名の看護師が参加した。参加者は、意欲的に知識・技術の習得に取り組んでおり、各コースともに研修の満足度が高い。研修での学びを自施設に還元することで、組織全体の看護の質向上にもつながっている。いづろ今村病院では「糖尿病看護」のコースを2025年度に新設し専門領域の拡充を図った。一方で、コースによって受講者数にばらつきが生じ、一部が少数開催にとどまるなど、運営上の効率性と波及効果の最大化が課題となった。2026年度

は、全9コースのうち6コースを慈愛会外の看護師も受講可能な公開講座として開催することを決定した。本取り組みは、慈愛会内の研修受講者を維持・増加しながらも、地域貢献や院外看護師との交流の場の創設、外部との連携強化を目的としている。外部とのネットワーク構築や連携強化を推進することで、研修の場に多様な視点を取り込み、内容もより充実したものへと進化させていく。初年度は広報に力を入れ参加者を増やす取り組みを行い、将来的には地域に開かれた教育プラットフォームとして地域全体の看護の向上に寄与できる研修へと発展させたい。

2025年度 J-seatyナース研修一覧

	研修名	開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価 (レポート・評価表)	研修プログラム	開催場所	参加者数
1	感染管理	2025年 10月9日 (木)～ 10月10日 (金) 2日間	1) 各施設から1～2名(可能な人数) 2) 研修企画施設は自施設からの自主参加や他職種も受講可能 3) 全プログラムを受講可能な者(自主参加者は希望する内容だけでも受講可) 4) 臨床経験 看護師経験3年以上 5) 所属部署長の推薦がある者	自施設の特性を考慮した感染対策について考え、自己の知識・技術の向上を図り、自施設での活動に活かすことができる。	1) 感染管理の重要性を再認識し、感染管理について理解を深めることができる。 2) 自施設の特性を考慮し、感染対策を実践、指導することができる。	【事前レポート】 「感染管理研修で学びたいこと・自施設や自部署の課題」 【事後レポート】 「感染管理研修での学びと自施設での具体的活用」	【10月9日(木)】 【講義・実技】 ・感染予防策の基本・標準予防策(手指衛生など) ・個人防護具の着脱と指導方法の検討 ・感染経路別予防策 ・微生物(インフルエンザウイルス・ノロウイルス・新型コロナウイルス等) ・感染症:新興感染症・輸入感染症 ・離島・精神科看護における感染対策 ・日頃からの備えについて(災害発生時を中心に) 【グループワーク】災害発生時の対応 【講義】 ・洗浄・消毒・滅菌・ファシリティ・マネジメント 【10月10日(金)】 【講義】 ・感染管理とマネジメント・看護師の役割 ・診療報酬・介護報酬・感染症/抗菌薬適正使用支援 ・職業感染防止策・ワクチン接種の必要性について 【職業感染防止の実践】 ・針刺し防止策・粘膜曝露防止策・安全な環境を調整する方法の検討 【講義】 ・手指衛生サーベイランス・医療関連感染サーベイランス 【グループワーク】 ・感染性胃腸炎/インフルエンザ/COVID-19 【発表・振り返り】 学びの共有	今村総合病院	総合:1名 谷山:2名 愛結:1名 合計4名

	研修名	開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価 (レポート・評価表)	研修プログラム	開催場所	参加者数
2	フィジカル アセスメント	2025年 9月25日 (木)～ 9月26日 (金) 2日間	1) 各施設から1～2名(可能な人数) 2) 研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 3) 全プログラムを受講可能なもの(自主参加者は希望する内容だけでも受講可) 4) 臨床経験 看護師経験3年以上 5) 急性期看護を学びたいという希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性の高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	1) 患者の安全を守り重症化を未然に防ぐために、急変の前の小さな予兆に気づく能力を養うことの重要性を理解できる。 2) 急変の前の小さな予兆に気づくためのフィジカルアセスメントの知識・技術を習得できる。 3) 急変などの緊急事態の際に備えて、物品や環境、心構えなどの日頃から準備の必要性を理解でき、備えることができる。 4) 急変などの緊急事態の際に、適切に必要な行動を理解でき、実践できる。	【事前レポート】 「研修で学びたいこと・自己または自施設の課題」 【事後レポート】 「研修での学びと自施設での具体的活用」	【9月25日(木)】 講義「フィジカルアセスメント呼吸」 講義「フィジカルアセスメント脳神経」 講義「フィジカルアセスメント循環」 講義・GW「急変を未然に防ぐためのフィジカルアセスメント概要」 【9月26日(金)】 講義・実技 急変時の対応、BLS、気道確保、AED、チームダイナミクス 講義・GW「誤嚥性肺炎の予防ケアを考える」 講義「敗血症を見つけてケアして」 講義「災害時の対応を考える」 【10月25日(金)】 講義・GW「自部署での災害対応を考える」 講義・実技・急変時の対応、BLS、気道確保、AED、チームダイナミクス	今村総合病院	いづろ:2名 総合:6名 谷山:3名 奄美:1名 愛結:1名 学校:1名 合計:14名
3	糖尿病看護	2026年 1月28日 (水)～ 1月30日 (金) 3日間	1) 各施設から1～2名(可能な人数) 2) 研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 3) 全プログラムを受講可能なもの(自主参加者は希望する内容だけでも受講可) 4) 臨床経験 看護師経験3年以上 5) 糖尿病看護を学びたいという希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性の高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	1) 糖尿病の基本的治療(食事療法、運動療法、薬物療法)とその支援について理解できる 2) 急性合併症(低血糖、DKA、HHS)とその対処、予防のための支援について理解できる 3) 検査及び治療に必要な技術(SMBG、リブレ、インスリン、フットケア)について理解・習得できる 4) 糖尿病患者の心理と行動に配慮した支援について理解を深めることができる 5) 認知症のある高齢糖尿病患者の支援について理解を深めることができる	【事前レポート】 「糖尿病看護研修で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「糖尿病看護研修での学びと自施設での具体的活用」	【1月28日(水)】 糖尿病チーム医療における看護師の役割/知っておきたい疾患についての理解/食事療法のポイント/合併症をもつ患者の支援/フットケア 【1月29日(木)】 糖尿病治療薬・糖尿病治療に関連した内服薬・注射製剤/低血糖の対処と予防支援/シックデイ時の対応と予防支援/身体の状態をみるための検査/血糖測定器具・各種注射製剤の取り扱い(実技) 【1月30日(金)】 糖尿病患者の心理と行動/運動療法のポイント/現場体験/ストレスと臨床心理士の役割/認知症がある糖尿病患者の看護/学びの共有	いづろ 今村病院	いづろ:2名 総合:2名 谷山:2名 愛結:1名 在宅:1名 合計:8名
4	精神	2025年 7月22日 (火)～ 7月24日 (木) 2.5日間	1) 各病院から1～3名(ご相談に応じます) 2) 研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 3) 臨床経験 看護師経験3年以上 (ご相談に応じます) 4) 精神科看護を学びたいという希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性の高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	1) 最新の精神医療における疾患・薬物療法・看護について理解できる。 2) 精神科医療における法律を理解できる 3) 患者とのコミュニケーション、関わり方について理解できる。 4) 最新の精神医療における多職種協働・チーム医療について理解できる。 5) 精神科における安全な環境について理解できる	【事前レポート】 「精神科看護研修で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「精神科看護研修での学び及び学びを自施設での具体的活用」	【7月22日(火)】 【見学】 ・病院/施設見学 【講義】 ・これからの精神科医療と精神保健福祉法・統合失調症(バーチャル体験) ・薬物療法と看護/精神科看護師による患者面接と意思決定支援 【病棟ラウンド】 ・精神科における安全な環境とは 【リフレクション】 【7月23日(木)】 【急性病棟見学】 行動制限ミーティングの実際 【体験・ロールプレイ】 ・患者受け持ち面接シミュレーション ・急性期病棟看護師シャドー/カンファレンス参加 【グループワーク】 ・退院支援の実際について 【見学】 デイケア/ステップ/グループホーム 【リフレクション】	谷山病院	総合:1名 徳之島:1名 学校:1名 合計:3名
5	離島を含む 精神医療	2025年 6月11日 (水) 13時～ 6月13日 (金) 12時	1) 各病院から1～2名 2) 研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 3) 臨床経験 看護師経験3年以上 4) 離島の精神科医療に関心があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性の高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる	1) 奄美大島の特性と地域における精神科病院の役割、機能が理解できる。 2) 急性期治療病棟における看護の役割について理解できる。 3) 長期入院患者への退院促進に向けた多職種連携について理解できる。 4) 地域生活を支援する社会資源活用について理解できる。 5) 精神科訪問看護の役割と活動の実践が理解できる。 6) 地域包括ケアシステムにおける看護の継続と連携について理解できる。	【事前レポート】 「精神科看護研修で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「精神科看護研修で学んだこと・自施設での具体的活用」	【6月11日(水)】 ・オリエンテーション/自己目標発表/病院見学/デイケア見学/急性期治療病棟見学 【6月12日(木)】 ・奄美市内のB型事業所の見学(他施設間の連携の実際を学ぶ)/訪問看護の実践(シャドウイング)/意見交換会 【6月13日(金)】 ・療養、慢性期病棟見学/あらいぐま見学/認知症治療病棟見学/閉校式	奄美病院	総合:1名 合計:1名
6	離島を含む 精神医療	2025年 6月11日 (水) 13時～ 6月13日 (金) 12時	1) 受け入れ人数は合計2名以内 2) 研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 3) 臨床経験 看護師経験3年以上 4) 精神科看護を学びたいという希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性の高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる	1) 徳之島の特性と地域における精神科病院の役割、機能が理解できる。 2) 精神医療における治療薬とその管理について理解できる。 3) 精神医療における治療と看護について理解できる。 4) 精神科リハビリテーション、栄養について理解できる。 5) 精神科訪問看護の役割と活動の実践が理解できる。 6) 長期入院患者への退院促進に向けた多職種連携について理解できる。	【事前レポート】 「精神科看護研修で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「精神科看護研修での学び及び学びを自施設での具体的活用」	【6月11日(水)】 ・徳之島病院の役割について ・離島での薬剤管理・精神保健福祉士の役割・精神科リハビリテーション・治療と栄養・訪問看護研修(訪問看護情報収集) 【6月12日(木)】 ・訪問看護 島内シャドー研修・リフレクション 【6月13日(金)】 ・病棟シャドー・デイケア体験 ・グループワーク、発表 意見交換・学びの共有	徳之島病院	総合:1名 谷山:1名 愛結:1名 合計:3名

	研修名	開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価 (レポート・評価表)	研修プログラム	開催場所	参加者数
7	老健・在宅	2024年 11月10日 (月)～ 11月12日 (水) 3日間	1) 各病院から1～2名(可能な人数) 2) 研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 3) 臨床経験 看護師経験3年以上 4) 在宅・地域連携を学びたいという希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療介護の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる	1) 介護保険制度について理解できる。 2) 地域包括ケアシステムにおける在宅支援部(訪問看護ステーション愛の街)・老健・居宅の役割と機能、在宅支援の取組について理解できる。 3) 高齢者及び認知症の理解とケア・家族支援について理解できる。 4) 愛と結の街での多職種協働連携について理解できる。 5) 地域の社会資源と地域連携について理解できる。	【事前レポート】 「在宅看護・老健研修で学びたいこと・自己の課題」 ※認知症ケアで困っていること困難事例などありましたら併せて記載してください。 【事後レポート】 「在宅看護・老健研修での学び及び学びを自施設での具体的活用」	【11月10日(月)】 愛と結の街の概要/居宅介護支援センターの実践/老健におけるリハビリテーション/施設見学/自立支援に向けたケア/認知症ケア/DVD視聴 【11月11日(火)】 認知症の理解とその家族/グループワーク/訪問看護とは/精神看護 【11月12日(水)】 訪問看護の実践/学びの共有	愛と結の街	総合：2名 徳之島：1名 合計：3名
8	看護基礎教育	2024年 6月17日 (火)～ 6月19日 (木) 3日間	1) 現場で教育に携わっている管理者(副部長、教育担当部長、病棟部長、副部長等) 2) 看護基礎教育について興味を持ち、所属長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療、教育の場で学び、自己の知識・技術・態度などの専門能力を向上させ、自施設においての人材育成に活用できる	1) 看護基礎教育の変遷を知り、目指す看護師像に向かって行われている教育活動の実態を知り、現任教育に活かすことができる。 2) 現代の看護学生の背景、成人学習者としての支援方法の実態を知ること、新人教育の在り方を考えることができる。 3) 看護基礎教育における新たな教育方法や活用方法を理解し、現場での教育支援に活かすことができる。 4) 研修を通して、臨床と学校での看護師の育成の在り方を共に考えることができる	【事前レポート】 「看護基礎教育研修(教員研修)で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「看護基礎教育研修(教員研修)の学び、及び学びの自施設での具体的活用」	【6月17日(火)】 開講式/研修目標の発表、共有/学校案内/ICT教育の現状/看護教育の変化、本校教育が目指しているものについて説明と意見交換/フィジカルアセスメントIのねらいや講義方法の理解/実技:フィジカルアセスメントIの実技演習参加/1年生SHR(学生へのあいさつ)/1日のまとめ 【6月18日(水)】 朝礼参加/2年生SHR(学生へ挨拶)/実習関連会議への参加/実習、教育に関して意見交換/学生との交流(2年生)/1日の振り返り、リフレクション/終礼参加 【6月19日(木)】 朝礼参加/2年生SHR見学/看護技術確認/合同看護技術演習/基礎看護技術の卒業時到達についての説明と意見交換/教育研修の振り返り、リフレクション、まとめ/1年生SHR(1年生へのメッセージ)/研修まとめ/閉講式	鹿児島 中央看護 専門学校 3年課程 看護科	いづろ：2名 総合：6名 奄美：2名 合計：10名

業 績 一 覧

【論文（論文・著書・雑文）】

今村総合病院

＜雑文＞

1. 徳田勝哉：提言Ⅱ．医療安全の方策．透析医療における医療安全のための提言，日本透析医会，pp13-18，2025
2. 徳田勝哉：正常な AVF と AVG の例、狭窄・閉塞症例．透析ケア 2025 年冬季増刊 透析穿刺&シャントエコーをきわめる！，メディカ出版，pp138-143，2025
3. 徳田勝哉：Ⅰ．腎臓リハビリテーション総論 4. リハビリテーション継続のための社会資源．腎臓リハビリテーション診療ガイドライン改訂第2版，日本腎臓リハビリテーション学会，南江堂，pp12-17，2026
4. 吉森みゆき：今村総合病院における特定行為研修の受講推進・修了者の活動推進とキャリア支援の取り組み．日本看護協会機関誌「看護」1月号，日本看護協会，pp25-27，2026

【学会発表】

今村総合病院

＜国内＞

1. 平川あゆみ：当院における災害への取り組み ～災害訓練の定期的な開催に向けて～．日本医療マネジメント学会第4回鹿児島県支部学術集会，2025 年 5 月 17 日，鹿児島
2. 徳田勝哉：Cannula Guide Needle．日本医工学治療学会第41回学術大会，2025 年 6 月 6-8 日，熊本
3. 徳田勝哉：VA エコーハンズオンセミナー（講義＋実技指導）．日本医工学治療学会第41回学術大会，2025 年 6 月 6-8 日，熊本
4. 徳田勝哉：VA 看護と VA 管理の Redesign．第70回日本透析医学会学術集会・総会，2025 年 6 月 27-29 日，大阪
5. 徳田勝哉：VA 看護の概論・実践・評価 ～名もなき看護のネーミングと創造～．第70回日本透析医学会学術集会・総会，2025 年 6 月 27-29 日，大阪
6. 徳田勝哉：穿刺痛とバスキュラーアクセス看護：可視化による Active Life の実現．第70回日本透析医学会学術集会・総会，2025 年 6 月 27-29 日，大阪
7. 徳田勝哉：医療安全管理体制と医療安全の方策．第70回日本透析医学会学術集会・総会，2025 年 6 月 27-29 日，大阪（Web）
8. 徳田勝哉：腎不全患者の人生を豊かにする生活目標（Life Targets）の実践とその意義．第70回日本透析医学会学術集会・総会，2025 年 6 月 27-29 日，大阪（Web）
9. 新美美夕：当院 ICU における経口挿管患者の口腔内環境についての実態調査 ～歯科口腔外科介入群と非介入群を比較した患者特性の違い～．第21回日本クリティカルケア看護学会学術集会，2025 年 7 月 5-6 日，東京
10. 油木貴子：基礎看護学実習での指導者の関わりによる看護学生の学びの変化 ～WEB アンケート活用による迅速な実習環境の整備～．第56回日本看護学会学術集会，2025 年 9 月 12-14 日，名古屋
11. 徳田勝哉：VA 穿刺の理論的アプローチ ～DANTE～．第29回日本透析アクセス医学会学術集会・総会，2025 年 9 月 13-14 日，東京
12. 徳田勝哉：急性血液浄化療法に対する看護師の役割 ～初期察知と再発予防を見据えた包括的ケア～．第36回日本急性血液浄化学会学術集会，2025 年 9 月 20-21 日，東京
13. 平川あゆみ：院内迅速対応システム稼働中のコードブルー急増要因の解析．第27回日本救急看護学会学術集会，2025 年 11 月 6-7 日，札幌
14. 垣添有佳：ATL 治験のために作成した業務支援ツールの活用実態とその有用性についての後方視的検討．第11回

日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025 年 11 月 7-9 日, 鹿児島

15. 藤原めぐみ:看護管理者シャドー研修企画 ～キャリアビジョンの重要性～, 日本医療マネジメント学会第 22 回九州・山口連合大会, 2025 年 11 月 28-29 日, 別府
16. 吉森みゆき:特定行為研修修了者の現状と展望－看護管理者が行う育成支援とシステム構築, 日本医療マネジメント学会第 22 回九州・山口連合大会, 2025 年 11 月 28-29 日, 別府
17. 荒田由衣, 川野彩華, 吉本真未, 深川友里, 徳田加奈子, 江内谷由佳, 伊藤能清, 中野伸亮:造血幹細胞移植における食事摂取量と在院日数の関連性, 第 48 回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2026 年 2 月 27 日-3 月 1 日, 東京

いづろ今村病院

< 国内 >

1. 榎本真智子:当健康管理センター婦人科検診の有効性の検討, 第 27 回九州沖縄健診施設研究会大会・第 10 回九州健診経営研究会・日本人間ドック予防医療学会 地域交流セミナー in 鹿児島, 2026 年 2 月 14-15 日, 鹿児島

谷山病院

< 国内 >

1. 田中聖将, 福盛衣真, 三好久美子, 福島愛:精神科病院における新型コロナウイルス感染症患者受け入れから得た学びの経験, 第 50 回日本精神科看護学術集会, 2025 年 6 月 6-7 日, 姫路

奄美病院

< 国内 >

1. 平田恵美:安心・安全な薬業務への取り組み ～1 人双方向型チェックを導入して～, 第 32 回日本精神科看護専門学術集会, 2025 年 11 月 1-2 日, 福島
2. 山田かおり:認知症患者の車イス安全ベルト解除に向けた取り組み～多職種協働によるスタッフの意識変化, 第 32 回日本精神科看護専門学術集会, 2025 年 11 月 1-2 日, 福島

愛と結の街

< 国内 >

1. 川元真由美:A 氏が教えてくれた「転んだっていいんじゃない。」という考え方 ～本人の思いを尊重することとはパーソンセンタードケア～, 第 24 回九州ブロック介護老人保健施設大会, 2025 年 7 月 10-11 日, 熊本
2. 畠中政樹:やっぱり家が一番だよ ～住み慣れた自宅での生活を支える支援～, 第 36 回全国介護老人保健施設大会, 2025 年 11 月 27-28 日, 山口
3. 上赤栄造:星探しサーキットで生まれる「意欲と笑顔」～楽しみながら心と体の活性化を促す自主トレーニング～, 第 30 回鹿児島県介護老人保健施設大会, 2026 年 2 月 17-18 日, 鹿児島

笹貫訪問看護ステーション愛の街

< 国内 >

1. 中藺明子:シンポジウム ～自由に発想しよう、未来の精神科看護（シンポジスト）, 第 50 回日本精神科看護学術集会 in 兵庫, 2025 年 6 月 7 日, 姫路

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 柳田貴子：医療安全（医療安全管理の実践）。鹿児島中央看護専門学校，2025年4月1日，鹿児島
2. 徳田勝哉：透析患者さんの生活目標とSDM。第9回慢性疾患を考える会，2025年4月24日，Web
3. 浜辺恵里香：社会福祉Ⅱ（講義）。鹿児島中央看護専門学校3年課程，2025年4月-9月，鹿児島
4. 徳田勝哉：日常業務と災害対策。第9回鹿児島CKDチーム医療研究会，2025年5月15日，鹿児島
5. 平川あゆみ：当院での災害対策への取り組み。第9回鹿児島CKDチーム医療研究会，2025年5月15日，鹿児島
6. 徳田勝哉：透析医療の災害対策（実技指導）。日本災害時透析医療協同支援チーム（JHAT）研修会，2025年6月1日，熊本
7. 浜辺恵里香：鹿児島県における医療・介護を取り巻く状況等について。外来における在宅療養支援能力向上のための研修，2025年6月28日，鹿児島
8. 徳田勝哉：VA看護とVA管理のRedesign。CKD-MBD Symposium in 鹿児島，2025年7月8日，鹿児島
9. 徳田勝哉：実践してみよう！透析患者の生活目標について。第38回奄美透析懇話会，2025年7月24日，奄美
10. 浜辺恵里香：入退院支援 多職種との連携と協働。令和7年鹿児島県看護協会教育研修，2025年8月19日，鹿児島
11. 徳田勝哉：VA看護とVAエコー（講義+実技指導）。VAエコーハンズオンセミナー，2025年8月31日，佐賀
12. 池田清夏：成人看護援助Ⅰ 造血器・アレルギー看護第1・2・4回。鹿児島医療福祉専門学校看護科，2025年9月-10月，鹿児島
13. 上山りえ：成人看護援助Ⅰ 造血器・アレルギー看護第3・5回。鹿児島医療福祉専門学校 看護科，2025年9月-10月，鹿児島
14. 徳田勝哉：VA看護とVAエコー（講義+実技指導）。VAエコーハンズオンセミナー，2025年9月28日，東京
15. 池田清夏：成人看護援助論Ⅲ（造血幹細胞移植）。赤塚学園看護学科，2025年10月1日，鹿児島
16. 徳田勝哉：腎臓領域 看護。鳳凰高校看護科，2025年10月1日，鹿児島
17. 徳田勝哉：初級・中級・上級者の穿刺の違い&エコーガイド下穿刺の基礎。VAエコーハンズオンセミナー，2025年10月5日，宮城
18. 徳田勝哉：腎臓領域 看護。鳳凰高校看護科，2025年10月9日，鹿児島
19. 吉森みゆき：地方病院におけるEPA看護師候補者受入の現状と課題。第5回かごしま国際看護フォーラム（鹿児島），2025年10月25日，鹿児島
20. 柳田貴子：医療安全（医療安全管理の実践）。鹿児島中央看護専門学校，2025年11月-12月，鹿児島
21. 徳田勝哉：穿刺に必要なDANTEとVA看護（講義+実技指導）。iMEPセミナー，2025年11月16日，滋賀
22. 徳田勝哉：慢性腎臓病（CKD）予防と看護（看護編）。鹿児島県看護協会セミナー，2025年11月20日，鹿児島
23. 徳田勝哉：生活目標に基づくShared Decision Makingの意義と臨床実践への展開。第31回日本腹膜透析医学会学術集会，2025年11月22-23日，東京
24. 浜辺恵里香：Let's collaboration。令和7年度訪問看護供給体制総合支援事業，2025年11月27日，奄美
25. 徳田勝哉：穿刺に必要なDANTEとVA看護（講義+実技指導）。VA看護におけるエコー活用セミナー，2025年12月6日，沖縄
26. 徳田勝哉：生活目標の成り立ちと実践。透析看護と生活目標セミナー，2025年12月13日，岡山
27. 徳田勝哉：腎不全緩和ケア。日本臨床腎臓看護学会 緩和セミナー，2026年1月29日，Web
28. 徳田勝哉：VA領域における臨床の科学とQIの意義。バスキュラーアクセスを考える会 in 鹿児島，2026年2月3日，鹿児島
29. 徳田勝哉：VA看護管理者フォローアップ。第5回日本臨床腎臓病看護学会学術集会，2026年2月14-15日，滋賀
30. 徳田勝哉：生活目標を多職種協同で取り組む。第8回腎代替療法研究会，2026年2月21日，富山

31. 吉森みゆき：微生物と感染症。鹿児島中央看護専門学校，2026年2月25日，鹿児島
32. 徳田勝哉：特別講演：看護におけるSDM・ACPの重要性 ～生活目標の活用～。七隈CQI看護セミナー，2026年2月26日，福岡
33. 浜辺恵里香：Let's collaboration。令和8年度訪問看護供給体制総合支援事業，2026年2月26日，鹿屋
34. 浜辺恵里香：急性期病院における地域連携のあり方 ～地域と共に地域を創造する～。アステム主催 鹿児島県地域連携サミット，2026年3月6日，鹿児島
35. 徳田勝哉：「穿刺のコツ」ブラインド穿刺について（講義＋実技指導）。第24回日本インターベンションネフロロジー学会学術集会，2026年3月14日，広島
36. 徳田勝哉：看護師の立場から見たAplio airの使用経験・評価。VA Thursdy Night Webinar Season2，2026年3月19日，Web
37. 徳田勝哉：透析中の血圧と倦怠感と栄養。今村総合病院 腎友会 勉強会，2026年3月22日，鹿児島

いづろ今村病院

1. 中窪尊子：Total pain（苦痛）への対処の実際。鹿児島純心大学，2025年6月10日，川内
2. 中窪尊子：初めての看護管理 ～かけだし師長の心得～。鹿児島県看護協会，2025年7月9日，鹿児島
3. 櫻井雅子：看護職員認知症対応力向上研修。鹿児島県看護協会，2025年8月20日，鹿児島
4. 中窪尊子：患者の言動にどのように対応するか 困難感を感じる2事例について。がん看護研究会年次大会，2025年9月13日，鹿児島
5. 櫻井雅子：認知症と看護。鹿児島県 令和7年度 新人看護職員卒後研修，2025年9月20日，鹿児島
6. 尾堂ゆかり：糖尿病患者の療養を支えるフットケア。2025年度糖尿病重症化予防（フットケア）研修会，2025年11月6日，鹿児島

奄美病院

1. 村田めぐみ：精神看護学Ⅲ。奄美看護福祉専門学校，2025年12月－2026年3月，奄美

愛と結の街

1. 川崎愛：生活支援技術F（食事）。鹿児島医療福祉専門学校，2025年4－9月，鹿児島
2. 川崎友義：チームマネジメント。鹿児島女子短期大学，2025年9月－2026年1月，鹿児島
3. 今西由香：老年期の健康障害と看護。鹿児島医療技術専門学校，2025年9月16・30日，鹿児島
4. 木場田哲也：高齢者の暮らしを支える看護。鹿児島医療技術専門学校，2025年9月10・17日，鹿児島

笹貫訪問看護ステーション愛の街

1. 中蘭明子：認定看護管理者教育課程ファーストレベル。鹿児島県看護協会，2025年8月7日，鹿児島
2. 中蘭明子：看護倫理指導者養成研修会。日本精神科看護協会鹿児島県支部，2025年12月20日，鹿児島
3. 宮内幸子，疇地真子：令和7年度新人訪問看護師管理者向け研修会。鹿児島県看護協会，2026年1月21日，鹿児島

【受賞】

今村総合病院

1. 吉森みゆき：鹿児島県医師会看護業務功労者表彰，鹿児島県医師会，2025 年 6 月

奄美病院

1. 富丸千奈美：鹿児島県看護協会会長表彰，鹿児島県看護協会，2025 年 5 月

【マスメディア】

今村総合病院

1. 野間こづえ：島内住民ケア急ぐ トカラ群発地震 悪石島へ看護師派遣 県、鹿児島市 2 病院から，南日本新聞，2025 年 7 月 8 日
2. 徳田勝哉：特集：生活目標 腎臓病医療のこれからと福腎協の役割，福岡県腎臓病患者連絡協議会 会報誌「ふくじんきょう」№ 321，2025 年 10 月 24 日
3. 徳田勝哉：腎臓病に悩むあなたへ「生活目標」，西日本新聞，2026 年 3 月 30 日

愛と結の街

1. 森愛，中馬健一：認知症 スタバで語ろう 店提案、慈愛会と初開催，南日本新聞，2025 年 5 月 18 日

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

リハビリテーション部門

略称 今村総合（今村総合病院）・いづろ今村（いづろ今村病院）・谷山（谷山病院）・奄美（奄美病院）・徳之島（徳之島病院）・愛結（介護老人保健施設愛と結の街）
高麗町（高麗町クリニック）・PT（理学療法士）・OT（作業療法士）・ST（言語聴覚士）

中長期計画	2025年度事業計画(Stage3)	実施 2025.4月～2026.3月(DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
質の高い専門的リハの提供	(1)疾患別の専門的リハの提供 *チーム医療の工夫・リハカンファレンス・退院時指導・訪問の工夫・他も含む ・今村総合スポーツ：腱板・人工肩関節・膝前十字靱帯手術など術後リハと外来リハにおける高い治療技術提供。 ・今村総合スポーツ：毎週火曜日・金曜日多職種でのカンファレンス実施 ・今村総合PT：専門病棟の疾患（脳卒中・呼吸器・循環器・消化器・腎・血液内科・産科・精神科・他）別チームによる豊富な知識を基にした安全で高い治療技術の提供と主治医との情報共有。 ・いづろ今村（血液内科）：主治医を交えた多職種カンファレンスの継続実施、不定期開催の勉強会への参加 ・いづろ今村（血液内科）・今村総合PT：今村総合病院血液内科チームセラピストとの勉強会開催（年1回）の継続 ・いづろ今村（DPC）：看護師・リハ協働での転倒ハイリスク者病棟ラウンドの実施 ・いづろ今村（全診療科）：入院診療計画書の共同作成継続、転棟情報の把握及びシームレスな支援提供 ・いづろ今村（地ケア病棟）：補完代替リハビリの効果検証と整備の継続 ・いづろ今村（地ケア病棟）：病棟ラウンドによる転倒回避対策の実践 ・谷山OT：精神科作業療法プログラムの再考 ・奄美：認知症病棟における身体面及び認知面の内容充実 ・徳之島：統合失調症患者への心理教育の継続、退院準備プログラムの再開	医師を含めた多職種連携を行い、個別性の高い理学療法を提供した。 休日以外、毎週実施した。 週1回の多職種カンファ、症例カンファを継続実施 月1～2回の勉強会への参加 3月に開催予定であったが開催できず。部署内研修を年3回行った。 ほぼ毎日リーダー看護師と相談し対応できた。 入院診療計画書のリハ部分を作成し、その入院・転棟情報を用いて早期介入する体制を整備した。 疾患別リハ・補完代替リハの定義・対象者が曖昧であったため運用体制の整備を行った。 転倒ハイリスク患者につきラウンドを6か月間実施し転倒予防策を立案した。 谷山OT：調理基礎プログラムを定期プログラムとして再開 認知症リハ対象者への実施回数の増加を図った。 心理教育については継続的な実施を意識し、退院支援や生活支援の流れの中で退院準備プログラムの再開に向けた検討・調整を行った。	ACL再断裂3%台、腱板術後再断裂17%台と全国平均を下回った。 医師の翌週分の全患者の術前プレゼンが開始された。 担当者休みの際のフォロースタッフの育成も行い、代理介入可能な体制まで構築した。 転院先決め、退院支援のあり方検討に役立った。知識の補完を果たせた。 慈愛会学会学術集会での声かけ、3月に伝達事項で連絡したが、返信なし。 転倒転落2024年度33件→2025年度19件と減少 入院当日よりリハ開始できる事例が増加した。 疾患別リハを要する患者についてスタッフが適切に判断できるようになった。 ラウンド実施期間は転倒発生率4.22%→3.51%へと減少した。 3か月を1クールとし、2クール目を開始。 2名体制の期間は件数が約1.5倍となっていたが1名育休後は件数は元の数値となっている。 継続の必要性は高いものの、対象者選定や運用方法、他職種との調整など、再開にあたっての課題もみられた。	更に再断裂率を低下させるための分析が必要である。 今後も継続が必要である。 属人化しないようにスタッフの育成を行い質の向上を図り、フォローできるスタッフ数を増やす。 次年度も継続実施を計画 次年度開催する際は早期の連絡と日程調整、電話での連絡などをする必要がある。 次年度も継続実施 次年度も継続実施 次年度も継続実施 次年度は病棟との協働体制を整備する。 生活に即したプログラムを増やす。 育休職員復帰後、体調に配慮しながら徐々に件数増加を図る。 対象者や実施頻度、内容を明確にし、実施しやすい形に整理したうえで安定運用を目指す。
	(2)病期別（急性期・回復期・生活期：介護分野）の専門的リハの提供 *チーム医療の工夫・リハカンファレンス・退院時指導・訪問の工夫・他も含む ・今村総合PT：急性期と回復期の双方を経験できる新人教育システムの構築 ・今村総合：オハナクリニック 訪問リハ業務のシステム構築と利用者確保に向けた取り組み ・高麗町：往診と同時にリハビリ会議の開催。医療DX推進委員と共に作業効率化を図る。 ・愛と結の街：多職種協働、自主訓練等の充実による生活リハ、セルフマネジメントへの定着化 ・愛と結の街：在宅限界延伸のための総合的支援の充実（福祉用具・家族指導等） ・谷山OT：退院前訪問指導の実施 ・谷山OT：精神科作業療法評価の再考 ・谷山デイ：機能分化（ワークトレーニングプログラムの定着と在宅部門との連携体制の充実） ・奄美：年齢に対応した急性期・慢性期のプログラムの再構築 ・奄美：長期入院患者への退院に向けた個別アプローチの充実 ・徳之島：外来作業療法開始にむけた準備・実施 ・徳之島：身体的アプローチとデータ収集の継続 ・徳之島：退院前訪問指導の実施（6件/年）	今村総合：訪問リハシステム構築 今村総合：訪問リハ、オハナクリニックと連携してBCPマニュアルを作成 高麗町：往診と同時にリハビリ会議を開催。スマートフォンを利用してマイコンパナーの登録を行った。 愛と結の街：生活リハ定着化のために療養棟集団活動（体操・脳トレ・嚥下体操）の動画の提案と実行（Youtubeリスト作成・更新）。 愛と結の街：入所：在宅支援充実のための家族指導を年間8件実施。通所：担当者会議で福祉用具、自助具の紹介を随時実施。 谷山OT：精神科退院前訪問指導への同行が年間20件 谷山OT：作業療法評価の再考は手付かず。 谷山デイ：WTP第2クール終了。 慢性期に対してはプログラム再検討実施したが急性期に関しては不十分であった。 必要に応じて1対1のアプローチを随時実施した。 開始に向けた準備(広報・パンフレット作成・院内外への周知)と体制整備に取り組んだ。 活動の効果を可視化する視点を持って取り組み、評価や実施内容の記録・データの蓄積を進めた。 退院支援委員会や病棟カンファレンス、運営会議等で周知と情報共有を図った。	担当者休みの際のフォロースタッフの育成も行い、代理介入可能な体制まで構築した。 BCPのマニュアルは完成した。 高麗町：往診のエリアをまとめることができないこともあり非効率になることもあった。 愛と結の街：療養棟で動画を使った集団活動が定着、実施できるようになった。 愛と結の街：入所の家族指導では介助指導など理学療法士だけではなく、食事に関する言語聴覚士への依頼が2件あった。 前年度比+13件と大幅増で目標8件は達成。しかし個人差あり全職員1件以上の目標達成はできず。 標準化された評価を使用しておらず、評価自体も遅れがちである。 就労事業への移行など一定の成果あり。別プログラム準備のため一旦の終了指示。 慢性期患者の参加件数が増加傾向にあるが急性期は横ばい傾向にある。 新規グループホームやアパートへの入居予定者が円滑に入居することができた。 開始に至ったが対象者とのマッチングや連携施設の事情などもあり利用実績にはつながらず終了とした。 2年間のデータ収集結果を振り返りを実施。評価指標の統一や分析方法の整理に課題が残った。 取組の中で必要性を再確認できた一方で、件数確保には関連部署内での周知や調整面の影響が大きく、計画的な実施が課題となった。	属人化しないようにスタッフの育成を行い質の向上を図り、フォローできるスタッフ数を増やす。 机上訓練を今後行い、より実用的なものへと仕上げていく。 高麗町：新規利用者の往診は早々に行い、エリアごとに分けていくことが必要になる。 愛と結の街：集団活動の更なる拡充と利用者個別の生活リハ、セルフマネジメントの検討。 愛と結の街：在宅復帰にあたって本人・家族等の不安を解消するために積極的に家族指導を提案する。 作業療法士からも実施提案ができるようにする。 新しい電子カルテ移行準備を通して作業療法評価も検討していく。 発達障害専門プログラム開始準備。 担当者の年度を通した配置の強化を図る。 長期入院患者以外にも対象を拡大していく。 集客は見込めないため、外来と連携し必要時のみ受け入れ実施とする。 評価項目や集計方法をより明確にし、実践の効果を説明しやすい形に整える。 対象者の早期把握や関連部署へ向いて情報共有を進め、訪問指導をより受けやすい環境づくりを行う。

中長期計画	2025年度事業計画(Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月(DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
超急性期から在宅までシームレスな連携	①慈愛会内リハ部での連携の取り組み ●急性期(回復期)病院から生活期施設(病院)へ向けて ・いづろ今村(医療):施設内での医療保険領域→介護保険領域の密な情報共有、シームレスな支援提供の継続 ・奄美:オーダーリングシステムを活用した法人内施設との情報共有の構築 ●生活期施設(病院)から急性期(回復期)病院へ向けて ・いづろ今村(介護):ケアマネジャー、医療機関への密な情報共有、シームレスな支援提供の継続 ・高麗町:電子カルテを利用した情報交換。医療福祉相談室との連携による退院時共同指導加算取得。 ・愛と結の街:退所後のアウトリーチ機能の充実(入所から訪問までの担当継続・入所前後訪問・家屋調査の拡充) ・愛と結の街:病院の退院前カンファレンスへの参加、退院時共同指導加算取得の継続 ・愛と結の街:リハサマリーを含めた医療機関への密な状況共有、連携体制の充実 ・愛と結の街:老健(入所・訪問・通所)パンフレットの作成・配布・改定 ・奄美:病院在宅連携委員会を活用した情報共有	入院時の状況の口頭、紙面での情報共有、対象者への対面紹介の実施 病院内部署及びデイナイトケアとの円滑な情報共有を実施し業務効率化に繋がった。 ケアマネジャーを中心に、随時、電話、メール、対面等で密な情報交換を継続 訪問リハは法人内施設間連携会議を開始し、慈愛会内訪問リハ施設5事業所参加 高麗町:電子カルテを利用した情報交換実施。SNSを利用してケアマネジャーとの連絡を密に行うことができた。 愛と結の街:入所:年間を通して入所・退所前後訪問13件、退所前家屋調査:21件実施。 愛と結の街:通所:退院前カンファレンスに参加し、退院時共同指導加算算定1件。 愛と結の街:入所:年間を通して129件のリハサマリーを医療機関、ケアマネジャーに送付した。通所:1件医療機関に送付した。 愛と結の街:入所:老健入所のパンフレットを検討、作成に取り組んだ。 長期入院患者の情報共有を図り退院に繋がっている。	退院前からの情報把握、関係性構築果たせた。 必要時に活用することで導入時や退院時に十分な情報共有が可能になった。 ケアマネジャーを中心に他事業所との信頼関係構築を果たせた。 介護報酬関連、新規利用者の法人内紹介などに役だった 高麗町:さらにSNSを利用してケアマネジャーとの連絡を密に行っていく。今村総合病院退院後はかごしまオハナクリニックを利用するため退院時共同指導は実施できず。 愛と結の街:積極的に訪問し、在宅生活に必要な福祉用具、住宅改修、介助方法の提案を行うことができた。 愛と結の街:通所:退院時共同指導加算を算定し、連携及び質の高いリハビリテーションの提供ができた。 愛と結の街:入所:迅速なサマリー送付を行い、連携を図ることができた。 愛と結の街:入所:老健入所のパンフレットが完成した。 地域移行加算目標退院人数を達成できた。	次年度も継続実施を計画。 入力期間を設定し入力漏れがないように徹底する。 次年度継続していく。 法人内施設間連携会議を通りハに関しても開始を検討。 高麗町:利用者の受け入れ体制の強化を図り、ケアマネジャーとの連携強化に努める。 愛と結の街:訪問を継続し、質の高い提案ができるよう多職種で検討し、部署内で研鑽を積む。 愛と結の街:ケアマネジャーに退院時共同指導加算取得できる体制について周知し、算定に努める。 愛と結の街:今後も速やかにサマリーを送付する。先方が欲しい情報についてヒアリングを行い、サマリーの充実を図る。 愛と結の街:老健入所のパンフレットの活用、配布、関連施設等に置く。通所、訪問のパンフレットの見直し、改訂を行う。 退院後の患者情報共有の強化を図る
	②慈愛会内施設でのスタッフローテーション ・今村総合PT:いづろ今村新人スタッフの今村総合病院リハ見学業務を計画 ・今村総合:新人スタッフの愛と結の街職場体験を計画 ・今村総合ST:今村総合/愛と結の街/いづろ今村のスタッフ異動 ・いづろ今村(PT):新入職者受け入れ、教育体制の構築 ・愛と結の街:訪問看護ステーションとの訪問リハビリ連携検討	今村総合:新人スタッフの愛と結の街職場体験を実施 今村総合ST:今村総合/愛と結の街/いづろ今村のスタッフ異動 勤務形態にあわせた教育体制、支援を実施した。 愛と結の街:訪問看護ステーションの他に谷山病院、谷山病院精神科デイケアとの連携が行われ、相互に見学訪問して情報交換を行った。	PT・OT・ST3年目スタッフが生活期リハを学ぶための教育の一環として愛と結の街を見学。 2026年度の異動なし。 パート勤務という制約の中ではあるが、順調に成長を感じることができた。ラダーも実施中。 愛と結の街:情報交換を行ったことで互いの状況を理解することができ、相互の集客のアイデアを得ることができた。	トラブルなく修了、スタッフの理解度も深まった、引き続き来年度も計画していく。 2026/4/2より、今村総合病院STスタッフが愛と結の街に異動し、介護分野の知識を得る予定。 次年度も継続的に支援実施。 愛と結の街:今後も定期的に情報交換を行い、相互の集客に努める。相互の研修を通して専門職としてのスキルを高める
	③地域あるいは慈愛会以外の病院・施設との連携の取り組み ・今村総合:県委託事業(お達者クラブ講話)・垂水事業(小児言語相談会・講演会)継続 ・今村総合:社協や行政との連携を通じて社会福祉の推進を目的とした地域住民への講演活動 ・今村総合ST:嚥下に関するST派遣業務継続・合同嚥下勉強会開催継続(連携強化)・就労支援施設との連携 ・愛と結の街:小原町高齢者クラブふれあい会食での講話・健康教室 ・愛と結の街:介護マルシェの開催(地域住民へのリハビリの啓蒙、相談対応) ・いづろ今村(PT):周辺施設病院と合同研修会の開催継続	今村総合ST:県委託事業(お達者クラブ講話)・垂水事業(小児言語相談会・講演会)継続 年11回ST派遣業務実施。看護師への嚥下指導実施。年5回合同嚥下勉強会実施。 愛と結の街:講話等提供できる体制ができていたが、町内会からの依頼がなかった。 愛と結の街:あいゆいマルシェ(旧介護マルシェ)を開催し、飲み込み相談(ST)、パワーリハビリ体験(PT)として相談対応、啓蒙を行うことができた。 今村総合:社協・行政連携による地域講演活動7件実施 周辺施設が企画した研修会に参加するにとどまり、当院独自の企画運営は未実施。	子どもの健康に関する講演会実施。「ことばっていつ話すの?～発達と不安のギャップを埋めるヒント～」 年6回12名への言語相談を実施し昨年より増加。 ST介護講習会は6件実施。(嚥下5件、認知1件) 看護師への嚥下指導実施。嚥下リハ学会認定士に看護師3名合格。近隣病院の参加数が増え新たな連携獲得。 愛と結の街:提供できる体制にあったが周知、ニーズの把握が不足していた可能性がある。 愛と結の街:ニーズに応じて専門性を発揮することができた。 鹿児島市内の各地域にて介護講習会を開催 研修会参加により、情報共有、ネットワーク構築はもちろん、知識、技術の習得にも繋がった。	言葉発達の関心が高く、言語相談増加に繋がった。 言語相談増加し、年6回実施予定で18名まで枠を拡大。 地域への講演会にて嚥下障害や認知低下の関心が高い。今後も地域へ発信していく。 嚥下リハ学会認定士に合格。看護師による摂食嚥下療法算定しているため、今年度でST派遣は終了。 合同勉強会から2年経過し、一旦勉強会は終了。今後はどのような形で連携するか模索中。 愛と結の街:提供できる内容の周知、ニーズの把握、機会を獲得する。 愛と結の街:アンケート結果を元にニーズに応じた企画を検討する。 次年度も依頼に応じて講師を務める。 次年度は自施設での企画運営も力を入れた。

中長期計画	2025年度事業計画(Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月(DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
超急性性期から在宅までシームレスな連携	・いづろ今村(PT): 地域コミュニティでの健康体操、フレイルサルコペニア予防教室継続 ・いづろ今村 (ST): 紹介元医療機関へのPEG造設前VF所見の情報提供 ・高麗町: 木四会(在宅療養支援診療所の定例会議)へ参加し、他事業所の他職種、セラピストとの交流を図る ・谷山: 小原町高齢者クラブふれあい会食での講話 ・奄美: 認知症カフェへの積極的な参加 ・徳之島: 地元保育園での集団運動指導継続	薩摩川内市の介護予防通所事業所にて計4件、十島村にて2件の指導実施。 いづろ今村 (ST): 紹介元医療機関へのPEG造設前VF所見の情報提供を30件全例実施した。 高麗町: 木四会への参加により他事業所と交流できた。 谷山: 健康講話実施。 認知症カフェへの参加なし 対象児への関わりや現場に応じたプログラム提供を行った。継続実施を意識しながら地域とのつながりを保った。	薩摩川内市の事業所のサービス内容向上を確認した。当院のPRも併せて行った。 全例実施することができ、内2件はVFのデータをMSW経由で郵送した。 高麗町: 木四会の参加にて他事業所の交流が行えた。 年2回依頼のうち1回を作業療法士で担当。マンパワー不足で参加困難であった。 地域との関係維持や専門職としての役割発揮につながった。一方で、通常業務との兼ね合いの中で時間確保や継続体制の検討が必要であった。	次年度は運営体制が変更となるため内容未定。 今後も継続していく 高麗町: 本年度より院長が荒田支部会会長になったため、多職種交流の機会が増える予想される。連携強化を図り、利用者増加に繋げる。 作業療法士による実施を継続。担当する作業療法士の早期の日程調整を構築する。 開始5年が経過し、保育園でも実施体制が整ってきたことから定期での訪問指導は今年度までとなった。
財務の視点での目標達成と患者獲得への取り組み	(1)急性期(回復期)病院の目標(基本、一般18単位/day/1名、精神科17件/day/1名)と目標達成のための工夫 ・今村総合スポーツ: 肩・肘検診(県下全高校野球部員対象)や離島を含めた障害予防教室の開催 ・今村総合スポーツ: 腱板断裂・膝前十字韌帯断裂患者の各種術前・術後評価の業務改善 ・今村総合PT: 管理者による患者割り振りとスケジュール管理の取り組み 取り組み前後の稼働状況の達成度を評価 ・いづろ今村(医療): 算定内・外業務の数値化及び業務負担公平化への活用 ・いづろ今村 (PT、DPCチーム): 担当者不在時のフォロー体制拡大(目標: 月平均10単位) ・谷山OT: 毎月の実績報告会実施と内容充実 ・奄美: 定期的なプログラム内容の分析と改善を実施 ・徳之島: プログラムごとの生産性の検討と改善 (2)生活期(訪問・介護施設)での目標と目標達成のための工夫 ・いづろ今村 (PT): スタッフ数に合わせた訪問リハ利用者拡充のための広報強化 ・愛と結の街: 算定内外業務の可視化継続と生産性の向上のための施設全体でのプロジェクト継続 ・愛と結の街: 顧客獲得のための入所系通所系サービスの情報共有体制の充実 ・愛と結の街: 加算とりこぼしチェックと返戻分析及び再発防止策の発信 ・愛と結の街: モバイルベースでの業務の効率化、ケア+の導入後の活用 (DX活用) ・高麗町: 利用者を増やすための営業強化。単価の向上(加算の取得) ・奄美: デイナイトケアにおける送迎の需要状況に応じた範囲拡大の検討 (3)患者獲得への取り組み(ホームページでの実績報告・他) ・いづろ今村 (OT): 地域連携プロジェクト推進委員活動(訪問活動・連携のつどい開催など)の継続 ・愛と結の街: ホームページ・SNSでの情報発信継続、居宅支援事業所への営業活動 ・谷山: ホームページを活用した情報発信 ・奄美: ホームページを活用した活動内容の発信 ・徳之島: 病院機能評価受審に向けた準備	肩肘検診・離島を含めた障害予防教室全て開催した。 RPAを使用したカルテ・ビッグデータへの代行入力を行った。 今村総合PT: 管理者による患者割り振り・スケジュール管理を実行。 個人ごとに業務量を申告、可視化で情報共有。 年度初めはフォローできていたが、スタッフ減や患者数の減少でフォロー難しい時期もあった。 谷山OT: 目標件数145件/日に対し143.1件。(上半期137.6件、下半期148.7件) 年2回の分析と改善予定であったが1回のみの実施。 月報や会議資料等を通して実績把握を行い、件数や参加状況、運営方法を振り返りながら、効率的な運営のあり方を検討した。プログラムの再編を年2回実施。 人員体制0.5→1.0とし、前年度比181%を達成。 愛と結の街: 算定内外業務の可視化継続して行い、効率的な業務の推進を行うことができた。生産性向上プロジェクトに関しては補助金交付が内定し、次年度からICT、DXにより業務効率化が期待される。 愛と結の街: 入所と通所間で適時に情報共有を行い、通所見学や体験の機会を設けて利用に繋がった。 愛と結の街: 加算取りこぼしは施設内SNSにてスタッフへ定期的に周知し、算定ルールに沿った運用を実施した。返戻はなかったが、行政から確認があった都度、内容確認し事務所と連携して対応した。 愛と結の街: ケア+の活用に至らなかった。 高麗町: 鹿児島市の事業所にアンケートを実施。利用者増加に繋がった。 デイケアの送迎範囲の拡大及びナイトケアの送迎を導入した。 いづろ今村 (ST): 地域連携プロジェクト推進委員活動(訪問活動・連携のつどい開催など)に参加した 愛と結の街: ホームページ、SNS (instagram)でリハビリ、通所リハビリの取り組みを発信した。地域包括支援センター5カ所へ営業活動を行った。 谷山: リハ科は年1回の更新のみ。デイケアプログラムを毎月更新した。各種記録、書類、業務内容の整理を進め、必要事項の確認や準備を行った。	投球教室は1回の開催であったが、肩肘検診が大規模である為妥当である。データ入力漏れなどの発生を認めた。 管理者がスケジュール管理を行うことで、昨年度と比較し12単位/名/月の生産性向上に繋がった。 業務負担のパラツキは明確も、公平な割り振りには繋がらず 月平均7.5と未達成 スタッフ数の増減、患者数の減少などの際にフォロー難しい場合もあり 下半期はプログラムを増。月末だけでなく中間報告も行い生産性を意識できた。 高齢患者の病棟のみ参加者が作業療法室の参加に繋がった 実績を見える化しながら検討、改善することができた。一方で、単純な件数だけでは評価しきれない部分もあり、質とのバランスをどう見るかが課題となった。 収益も81%増となったが、すでに枠が埋まっており、更なる増員が必要 愛と結の街: 部署のミーティングを通して業務の改善に取り組むことができた。生産性向上プロジェクトでは会議や研修参加を通してICT、DX化の情報収集をすることができた。 愛と結の街: 見学や体験から通所につながった件数やプロセスを確認した(3件)。 愛と結の街: 定期的に算定状況を確認し、取りこぼしの有無や原因を把握した。行政からの確認内容は発生傾向を振り返り、原因を把握し対策を整備した。 愛と結の街: 入力に使えるモバイル台数の不足や業務形態(利用者一人当たり個別リハビリ20分)の関係から業務途中での入力が困難だった。 高麗町: 利用者増加のため利用枠の減少が生じる。 登録者や通所件数の増加に繋がった 訪問活動(3病院)時の提案をきっかけに、PEG造設患者入院の際リハリサマリーが添付されるようになってきた。 愛と結の街: インターネット上と訪問の形態で情報発信、営業活動を行った。 情報発信の機会を活かせていない。更新内容が不十分であった。 受審中止となったが、進めていた準備確認を一通り終えた。	開催回数等、スタッフの負担を考慮する必要がある。 データ入力時の煩雑さがあり、改善が必要である。 スケジュールを円滑にこなすための習熟度に個人差が見られるため今後も教育を継続する。 データ入力の負担増で算定外業務の数値化は中止 サブ担当制度を今後導入するか検討。 中間報告の継続。 若年～中年層のプログラムを再検討する。 件数・参加率・内容の質など複数の視点で評価し、継続可能なプログラム運営につなげる。 次年度も地域、利用者のニーズに対応できるよう、増員を計画。 愛と結の街: ICT、DXを有効活用し、業務の効率化を図っていく。 愛と結の街: 連携方法や見学体験方法を見直し、利用促進に繋がる体制を強化する。 愛と結の街: 原因に応じて運用を見直し、再発防止策を講じる。確認については他部署と連携し、原因に応じた業務手順を見直し、再発防止に繋げていく 愛と結の街: ICT、DXにより記録業務の刷新・効率化を図る。 高麗町: 利用者枠拡大のため勤務形態、人員増加など今後の対応を検討する。 ニーズを再調査し効率の良い送迎体制を構築する。 今後も顔の見える関係の中で様々な情報共有していく。 愛と結の街: 同形態での発信、営業活動を継続し、内容の改善、訪問先の拡大に努める。 月1回以上の更新を目指す。 実績や行事等を掲載し内容の充実を図る。 受審再開時に対応できるよう、可能な範囲で質の向上を図る。

中長期計画	2025年度事業計画(Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月(DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
教育体制の充実	(1)クリニカルラダーで医療倫理から管理者教育まで行い、スタッフのキャリアアップへ繋げる ・愛と結の街：全スタッフ対象にクリニカルラダー教育の充実と必要時の内容更新 ・今村総合スポーツPT：毎週月曜日ラダー研修会実施 ・いづろ今村 (PT)：新人教育、ラダー認定支援 ・いづろ今村 (OT)：若手スタッフへのラダー認定支援の継続 ・今村総合（一般総合リハビリセンター）：年間ラダー研修スケジュールに沿った教育 ・高麗町：ラダー認定の支援 ・谷山：ラダー認定システムの構築 ・谷山：実習指導やプリセプターシップを通した人材育成 ・谷山OT：定期面談の実施 ・奄美：ラダー内容の検討とフォロー体制の構築 ・徳之島：ラダー内容の更新と定期面談の確実な実施	愛と結の街：2名がラダーレベルVに認定された。2名は2025年度審査は受けなかったが認定に向けて取り組み中である。 計画に沿って支援を実施 計画に沿って支援を実施 今村総合（総合リハ）：年間研修スケジュールに沿ったラダー研修を実施 高麗町：ラダー認定の支援の実施。個人相談実施。 谷山：ラダー内容を更新し実施できた。 谷山OT：定期的のみならず臨時の実習も受け入れ、プリセプターシップも導入。 計画に沿った課題の実施促進とフォローを適時実施した。 日常業務へ落とし込みやすいよう、読み替えや事例などの共有を図ったが、対象者がいるレベルのみに留まった。	愛と結の街：ラダー認定に向けて動機づけし、取り組むことができた。 ラダー認定達成。 ラダー認定達成。 計画通りに実行できた。 高麗町：進捗状況は個人の意欲によるところが大きい。 1年での認定を目指した対象者は全員認定。 プリセプティがプリセプター以外に相談することがあり、うまく機能しないことがあった。 対象者2名中1名が退職、1名が課題未達成で習得不可であった。 面談のほか、すきま時間の1on1などで課題や成長状況を把握しやすくなった。一方で、ラダー内容の具体性や日常業務との結びつきにはさらに改善の余地があった。	愛と結の街：認定を希望するスタッフ全員がレベルVに認定されるよう動機づけ、支援を行う。役職者はマネジメントラダーに取り組む。 2026年度も継続で計画。 2026年度も継続で計画。 来年度に向けて内容の見直し、他職種との共同研修会の開催を検討。 高麗町：個人が希望する分野を支援していく。 改善必要箇所に対応し、更新して実施。 全員へのシステム説明、プリセプターへの教育が必要。 フォロー体制の再検討を図り習得に繋げる。 実際の業務・役割への結びつきを強め、面談内容が行動につながる形へ整理する。
	(2)PT・OT・ST協会の教育プログラムでの治療知識・技術の習得と専門資格取得 ・いづろ今村 (PT)：スタッフの登録理学療法士、並びに認定理学療法士、その他進学、資格取得支援 ・いづろ今村 (OT)：(生活行為向上マネジメント：Management Tool for Daily Life Performance) MTDLPに基づく患者支援技能の臨床への応用 ・いづろ今村 (OT)：ACPプロジェクトメンバーとしての積極的な院内活動、研修参加 ・いづろ今村 (ST)：認定言語聴覚士（嚥下）の資格取得 ・奄美：登録・認定作業療法士の取得及び臨床実習指導者研修への参加 ・高麗町：認定理学療法士取得の支援 ・愛と結の街：各資格取得支援（他団体、老健協会等） ・谷山：登録作業療法士制度開始に向けての準備 ・徳之島：臨床実習指導者実践研修、登録・認定作業療法士、進学・資格取得挑戦 ・徳之島：嚥下評価技術の取得推進 ・今村総合：がんのリハビリテーション研修参加	継続的かつ包括的に支援を実施した。 MTDLP概念を基にした支援を実践。 月1回の会議に参加しメンバー間で情報共有。健康・介護まつりでブース運営。 いづろ今村 (ST)：認定言語聴覚士（摂食嚥下障害領域）の資格を取得した。 認定作業療法士は動向なし、臨床実習指導者研修は1名受講した。 高麗町：理学療法士協会、訪問リハビリ協会の事業に参加。発表あり。 愛と結の街：安全衛生委員会所属のスタッフが安全衛生管理者の資格試験受験を目標に掲げた。 谷山OT：新人3名は新しい制度での教育を実施。 必要な知識・技術の習得に向けて情報収集や学習機会の検討を行い、部署内での必要性共有を進めた。 今村総合：がんのリハビリテーション研修受講（PT2、OT1、ST1） 第14回 慈愛会リハ合同活動発表会開催	認定理学療法士、新規取得、更新、博士課程修了等実績多数。 負担の大きさからMTDLPの書類は導入せず。 組織内の啓蒙活動としてはプロジェクトの目標達成。 当院のSTに対応が求められる摂食嚥下領域で、自己研鑽を積み、フィードバックの導入や病棟による摂食機能療法算定など、業務改善が行えた。 条件達成者が臨床実習指導者研修を受講した。 高麗町：訪問リハビリ協会での発表にて、問題点を共有することができた。 愛と結の街：諸事情にて受験に至らなかった。 教育担当者は新しい制度の情報収集や研修参加でラダーに反映できた。 必要性についての認識は高められたが、個人でのeラーニング等の自己学習のみとなり実際の習得機会確保には課題が残った。 予定通りに研修受講。 演題取り下げ3題とトラブルあったが、口演4題、ポスター5題の発表会を開催できた 8名の理学療法士が口演・ポスターにて発表を行った。 全国学会・県学会で演題発表、論文投稿を行い、PT全員の発表を達成した。 BIG DATAへの集約ができた。 BIG DATAへの集約ができた。 いづろ今村を始め、慈愛会各施設から慈愛会学会で発表 合計7演題 論文投稿1題。	次年度も各個人の目標にあわせて支援継続。 概念としては有用なため書類は無しで臨床への活用を継続する。 ACP推進チームとして他職種とともに活動を継続。 5年に1回の全国規模学会での発表が義務化されており、来年度発表する（演題登録済）。 条件達成者の臨床実習指導者研修受講を促していく。 高麗町：今後も訪問リハビリ協会への参加、活動を増やしていく。 愛と結の街：加算や施設基準、スキルアップに必要な資格取得を希望する職員の支援を行う。必要に応じて資格の情報提供を行う。 作業療法士協会生涯教育制度における基礎研修未修了者を把握し修了を支援。 研修についての情報収集のほか、事務長などを通して近隣の施設からのSTによる研修実施の可能性を探っていく。 呼吸器内科の診療体制強化(肺がん患者増加の見込み)を踏まえ、来年度も研修受講を検討していく。 今年度の反省を生かして来年度より良い会を開催としていく。 継続して発表者の支援を行う
	(3)論文投稿・学会発表・その他の推進,Big Dataの活用 ・今村総合スポーツPT：全スタッフ、1年1回院内整形外科活動報告会発表、院外での学会発表 ・今村総合スポーツPT：膝前十字靭帯断裂術後のスポーツ復帰・再断裂率等の調査データ収集継続 ・今村総合スポーツPT：腱板断裂術後、人工肩関節における各種データ収集の継続 ・いづろ今村 (PT)：慈愛会学会におけるのノーリフト活動発表	今村総合PT：慈愛会学会、リハ合同活動発表会、神経理学療法学会、日本造血・免疫細胞療法学会、日本HTLV-1学会学術集会以て発表を行った。 院内内外の演題発表を行った。 定期評価を実施した。 定期評価を実施した。 年間通して活動を継続、各施設から発表を行った。	8名の理学療法士が口演・ポスターにて発表を行った。 全国学会・県学会で演題発表、論文投稿を行い、PT全員の発表を達成した。 BIG DATAへの集約ができた。 BIG DATAへの集約ができた。 いづろ今村を始め、慈愛会各施設から慈愛会学会で発表 合計7演題 論文投稿1題。	継続して発表者の支援を行う 今後も多数の学会への発表・論文投稿を行う。 定期評価の見直し・簡素化が必要である。 定期評価の見直し・簡素化が必要である。 次年度も活動継続。 効果判定をもとに、事業内容を修正していく。

中長期計画	2025年度事業計画(Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
教育体制の充実	・いづろ今村（地ケア）：糖尿病教育入院後の運動継続に関する調査・報告の継続 ・高麗町：院内、院外での論文発表を予定 ・愛と結の街：全国・九州・県老健大会への演題発表 ・愛と結の街：LIFEのFBデータの分析活用及びFAIのデータ蓄積 ・谷山OT：ハードルの低い事例報告機会の設定 ・谷山：リハスタッフ勉強会の継続と各種発表支援 ・奄美：身体リハのデータ収集と分析継続 ※法人全体でDX人材の育成を推進する。	短期教育入院患者の半年後アウトカム調査を継続した。 高麗町：慈愛会学術発表会、訪問リハビリ協会での発表実施。 愛と結の街：施設内で演題発表することがあったが各老健大会で発表する機会を得なかった。 愛と結の街：LIFEのFBデータを生成AIで分析し、結果を職員に周知した。 谷山OT：ミーティング時に簡単な症例報告あり。 谷山：毎月リハ勉強会を実施。 身体リハのデータ収集を随時実施した。	運動療法指導の効果判定を現在実施中。 高麗町：当院の広報ができた。 愛と結の街：部署として研究発表に取り組んだが各老健大会発表に選考されなかった。 愛と結の街：LIFEのFBデータから事業所の大まかな概要が理解できた。事業所の実情に合っているか精査するまでに至らなかった。 自主性に任せる結果となり個人差があった。 勉強会の内容を皆で検討し、小グループでの実施を取り入れた。 継続したデータ収集を図り検証を実施	高麗町：論文の投稿等活動の経験を得た。今後も継続していく。 愛と結の街：研究を続け、質の高い内容になるよう取り組む。 愛と結の街：LIFEのFBデータの活用に関する学習継続とデータの精査を行う。 作業療法評価を含めた報告ができるようになる。 受け身ではない、主体的な勉強会参加ができるよう支援。 実施内容の再検討を実施し更なる効果向上を図る
働き方改革	(1)スタッフの超過勤務削減への取り組み ・今村総合スポーツPT：遅出勤務によるシフト制継続 ・今村総合：データマネジメント室と連携し定型業務の自動化を進める ・今村総合：DXの推進 ・いづろ今村（全体）：委員会活動（ニュース・議事録等の作成、ラウンドなど）の就業時間内実施の推進 ・いづろ今村（全体）：業務フロー作成、業務内容の見直し ・高麗町：時間内に業務を終了するよう作業効率を図る。 ・愛と結の街：リハミーティングにより業務見直しを毎月実施 ・愛と結の街：業務分析を通して、早出遅出等シフト体制の見直し継続 ・愛と結の街：超過勤務時間の分析継続、対策検討 ・奄美：他部門とのタスクシェア・シフトの調整 ・徳之島：業務フロー図を作成し、定型業務の改善を図る。	年間を通して遅出勤務取得を認めた。 今村総合：RPAを用いた予約削除忘れ防止システム運用開始 今村総合：DXの推進、Slackを用いたスタッフ間の連絡と情報共有システムの計画 今村総合：リハ部に院内スマートフォンを導入、活用に向けて運用方法を随時アップデート 今村総合：リハ指示新患一覧の自動作成開始(データマネジメント室と連携) 勤務時間内の実施推進とあわせて、終了困難な場合の時間外申請の推進した 年間を通し継続的に実施 高麗町：ペーパーレスを進めることで作業効率が図れた。 愛と結の街：毎月1～2回リハミーティングを行い、都度業務見直しを行った。 愛と結の街：感染対応や個人事情に応じて時差出勤等柔軟なシフト運用を一部実施した。 愛と結の街：超過勤務時間の分析を継続し、勤務時間内に臨床実践以外の時間の確保ができるよう調整した。 デイケア送迎及び退院前訪問指導の開始。 報告書や委員会関連書類などを、Excel/VBAを活用して定型業務の整理・標準化に取り組み、業務の流れを見直した。	遅出勤勤者が限られていた。 データマネジメント室やDX室と連携し、業務の質改善と効率化を図った。 また院内スマートフォンを導入し、業務負担軽減や効率化を図るため運用方法を検討していく。 Slackをリハ室の情報共有ツールとして導入したことで、掲示物の削減、連絡手段の効率化を図ることができた。 基本的に委員会活動は勤務時間内に実施し、委員会主催の研修等は時間外を申請した。 年度内に34のフロー図作成。 高麗町：作業効率が図れた部分とそれ以外の部分があり十分ではない。 愛と結の街：運営指導を契機に加算に関する書類の整備を行うことができた。 愛と結の街：柔軟な対応は可能であったが、早出遅出の体制整備までは至っていない。 愛と結の街：年度末につれて超過勤務の時間数が減少した。 愛と結の街：各職員の事情に応じた柔軟な勤務体制の支援ができた。 スタッフの働きやすさ、業務効率の向上を図れた 面談の中で目標の共有、課題の共有等を行い、職員の状況把握、ストレス軽減に繋がった 愛と結の街：各職員の事情に応じた柔軟な勤務体制の支援ができた。 愛と結の街：各職員の事情に合った勤務体制の継続と対応しやすい雰囲気づくりを行う。	取得率の向上が必要である。 導入してどのくらいの効率化が図れたか具体的な数値の算出を検討する。 今後も運用方法の見直し、有用なツールの導入を行う。 次年度も継続。 院内の活動状況に応じて、新規フロー図作成、完成フロー図の見直しを計画。 高麗町：作業効率が悪い部分を検討し、問題を解消し、残業を減らしていく。 愛と結の街：引き続き会議を通して業務改善を行っていく。 愛と結の街：運用ルールを整理、シフト体制の具体化と運用を進める。 愛と結の街：臨床実践業務以外の時間を相互に把握、協力しながら勤務時間内で業務が終了するよう調整する。 今後も他部門と協働して実施していく。 優先度の高い業務からフロー図を完成させ、運用ルールや引き継ぎしやすい形で整備する。
	(2)ワークライフバランス推進（男性育休取得・他）と、推進のための工夫 ・いづろ今村（全体）：早出勤務、時間休取得などフレキシブルな働き方実践での就労支援 ・いづろ今村（全体）：役職者による目標管理含む半年面談の実施 ・愛と結の街：子育て・介護・その他の事情での休暇・時短勤務に関するスタッフ間の協力システムの構築・継続 (3)スタッフの労働安全への取り組み ・今村総合（今村総合リハビリセンター）：ノーリフトケア推進メンバーを中心に今村総合リハビリセンター内で教育、浸透を図る ・いづろ今村（PT）：他職種への腰痛予防、介助技術指導 病棟へのリフト等福祉用具導入支援 ・いづろ今村（PT）：他職種への研修動画の更新、各職種の定期研修への有効活用 ・愛と結の街：腰痛対策としての始業前のストレッチ継続と福祉用具の積極的活用及び研修会の実施	個人の状況や業務に応じた勤務形態、勤務時間の対応を支援した。 個人面談を1次2次と2回実施。中間面談と最終面談年2回実施。 愛と結の街：育児中の職員2名が時短勤務（入所）、家庭の事情に合わせて出勤時間を調整している（通所）。 今村総合リハ：新入職員へ向けた研修・実技指導 4件実施。 規定研修の中で奨励し支援できたが、実際の導入や院内ノーリフト委員会発足には至らず。 腰痛予防の介助方法、ポジショニング等について適宜研修し、動画チャンネルも作成・運用した。 愛と結の街：始業前のストレッチ（ラジオ体操）の継続とラウンド、朝礼での啓蒙を行った。入浴スタッフの介護負担軽減のために各療養棟に福祉用具（フレックスボード）を導入した。職員の腰痛予防のために利用者用トイレのトイレトペーパーホルダーの位置を変更した。施設内研究発表会でノーリフトケアに関する演題発表を行い、啓蒙を図った。	スタッフの働きやすさ、業務効率の向上を図れた 面談の中で目標の共有、課題の共有等を行い、職員の状況把握、ストレス軽減に繋がった 愛と結の街：各職員の事情に応じた柔軟な勤務体制の支援ができた。 ノーリフトを推進するメンバーにて新人研修を実施したが、スタッフ全体への浸透はまだ不十分である 定期研修として、看護介護士向けの研修会は継続し、復習用動画も作成した 動画チャンネルは復習も可能となり、一定の質の向上は図れたが、習熟度には課題が残る 愛と結の街：担当職員がチャレンジランとして取り組み内容を設定し、他部署と連携して取り組んだ。	次年度も継続していく。 次年度も継続していく。 愛と結の街：引き続き各職員の事情に応じた勤務体制の継続と対応しやすい雰囲気づくりを行う。 ノーリフトが浸透するように、各病棟のリンクメンバーを選出し教育する。 次年度も継続推進していく。 次年度もブラッシュアップし、継続していく。 愛と結の街：計画通りに目標達成に向けて取り組みを継続することができた。

中長期計画	2025年度事業計画(Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
働き方改革	・愛と結の街：ノーリフト推進メンバーとしてのグループ内での活動継続 ・高麗町：安全運転の意識向上。定期的な委員会、研修会の開催 ・奄美：ノーリフト推進委員を中心とした研修等の実施 ・徳之島：ノーリフトケアプロジェクトチームの立ち上げ、活動の実施 ※法人全体でDXを推進する	愛と結の街：法人のノーリフト推進メンバーで定期的にオンライン会議を行った。 高麗町：定期的な委員会、研修会の開催により安全性の向上に取り組む。各病棟で勉強会を開催した。 腰痛の実態調査実施と情報共有、研修を実施した。労働衛生委員会へ加わり、院内への周知や導入の土台づくりを行った。	愛と結の街：会議で共有、得られた内容を自事業所の取り組みに結び付けることができた。 高麗町：定期的な委員会、研修会の開催により安全性の向上に取り組む。意識付けはできているが器具や道具が不足している。 現場の業務状況やマンパワーの影響もあり、浸透させるための仕掛けと時間が必要である。	愛と結の街：ノーリフト推進メンバーとしてのグループ内での活動を継続して行う。 より実践的な勉強会の開催の実施。 計画的な研修実施と実践事例の共有や対象場面の明確化を進め、現場で「使える取り組み」として定着を図る。
人材確保	(1)ホームページの充実 ・いづろ今村：リハ関連のHP情報の適宜更新 ・谷山：治療プログラムの紹介、勉強会や研修参加についても情報発信 ・愛と結の街：リハビリ関連（生活期および通所・訪問リハ）の発信・更新 ・奄美：定期的な内容の更新 ・徳之島：ホームページにて行事以外の情報も発信 (2)SNS・地域コミュニティー誌への投稿・他 ・今村総合：リハ部の情報をInstagramにて随時発信 ・いづろ今村（PT）：臨床実習指導受け入れ校（3校以上、3名以上） ・いづろ今村（ST）：臨床実習指導受け入れ（2校以上、2名以上） ・愛と結の街：臨床実習指導受け入（2校、2名以上） ・谷山：県内全ての養成校実習受入、実習を通しての養成校との連携強化、就職希望者獲得 ・奄美：地域・評価・臨床実習の受け入れ継続 ・徳之島：臨床実習指導を可能な限り受け入れ	いづろ今村：リハ関連のHP情報を今年度全面刷新することができた。 谷山：OTはプログラムの様子を1回掲載したのみ。 愛と結の街：入所、通所のリハビリ内容についてSNS（Instagram）で発信、更新を行った。 随時採用情報に掲載を行った。 ホームページやInstagram等で行事以外にも活動紹介、掲載内容の検討を行った。見せ方や伝わりやすさにも配慮しながら情報発信を行った。 今村総合：Instagram 投稿46件。 いづろ今村(PT)：臨床実習指導3校4名を受け入れた。インスタ1件発信した。 いづろ今村(ST)：臨床実習指導受け入れ（2校2名）を受け入れた。 愛と結の街：ST1校2名、PT1校2名の実習を受け入れた。 谷山：実習は予定外まで受け入れ。就職ガイダンスは参加せず。 年度途中での退職予定者がおり、受け入れ無し。 福岡医健4名、原田学園3名受け入れ。（いずれも長期実習）	当院に来る実習生(STS)や、就職見学(ST)に確認したところ、HPを参考にすると回答があった。 成長できる施設としての印象が薄い。掲載内容のアイデアは出すことができる。 愛と結の街：「いいね」の反応があり、関心を持たれたと考える。 中途採用者で1名入職した。 院内外への可視化への一歩となった。 一方で、年度の終盤での取り組みとなり定期性やテーマ設定、発信内容の蓄積・整理には改善の余地があった。 インスタの認知度は広がってきた。新卒者・経験者が必要とする情報を提供していく。 養成校との連携強化が図れた。インスタへの反応もますます。 養成校より直接打診あり、再来年度実習受け入れに必須となる臨床実習指導者講習会を受講した。 愛と結の街：予定通りの受け入れを行うことができた。 予定外の退職があり、必要人員を確保できなかった。 実習指導者4名体制であったため受け入れに向けた姿勢や体制は維持できたが、業務量や人員状況の影響を受けやすく、安定した受け入れには調整が必要であった。	今後も新しい取り組みや機器導入があった際に更新していく。 リクルートを意識した情報発信を目指す。 愛と結の街：今後もリハビリに関することを発信、更新していく。 ホームページ以外の広報手段を検討する。 発信テーマを整理し、年間を通した計画を作成し、継続性のある情報発信につなげる。 今村総合病院での臨床場面が分かるような記事の投稿頻度を増やす。 対応可能な範囲で継続していく。 ST1人職場となったが、県外の学校からの実習相談の連絡も2件あり、可能な範囲で対応していく。 愛と結の街：養成校の要請に応じた実習受け入れを行う。受け入れが円滑にできるよう実習指導者研修受講の支援を職員に行う。 予定がなくてもリクルートを意識した情報発信や活動は必要。 依頼がある場合積極的に受け入れる。 受け入れ可能な条件や指導内容を整理し、無理のない範囲で継続できる仕組みづくりを進める。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

2026年3月現在、慈愛会リハビリ部には理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）・リハビリ助手が合計約177人所属している。

身障系リハビリの領域では、急性期、回復期リハビリテーション病棟を中心とした今村総合病院、一般急性期病院のいづろ今村病院、介護保険事業所の老健愛と結の街グループ、地域医療の高麗町クリニック・オハナクリニックがある。精神科リハビリ領域では、谷山病院・奄美病院・徳之島病院があり、それぞれの施設で、PT・OT・STが臨床・教育・研究に携わっている

各施設間の情報共有については下記の通り実施した。

1. 慈愛会身障系リハ施設責任者会議

参加施設：今村総合病院、いづろ今村病院、介護老人保健施設愛と結の街、高麗町クリニック

参加者：統括室長、各リハビリテーション部門責任者
頻度：年4回（WEB）

内容：2025年度事業計画の進捗確認と情報共有

2. 慈愛会精神科リハ施設責任者会議

参加施設：谷山病院、奄美病院、徳之島病院

参加者：統括室長、各リハビリテーション部門責任者
頻度：年4回（WEB）

内容：2025年度事業計画の進捗確認と情報共有

合同研修会

「第14回慈愛会リハビリテーション合同活動発表会」

2025年11月22日（土） 14：30-17：30

会場：鹿児島 ホテル自治会館 4階 401号室

参加施設：今村総合病院、いづろ今村病院、介護老人保健施設愛と結の街、高麗町クリニック、谷山病院

参加人数：92名

<第1部>

ポスター発表

- ①統合失調症を伴う低栄養患者に対し、活動量調整と漸増的リハ介入で機能改善を得た症例

- ②右延髄外側梗塞によりWallenberg症候群及びLateropulsionを呈した症例

- ③認知症があっても「できる」「良くなる」を実現したい～当院精神科病棟における作業療法介入の一例～

- ④MTDLPを活用し目標の設定・介入を行ったことでリハビリに対し主体性が見られるようになった一症例

- ⑤統合失調症を有する重度嚥下障害患者に対し「安全な経口摂取」と「精神活動の安定」を目指して介入した症例

<第2部>

1. 理事長挨拶
2. 統括室長挨拶
3. 口述発表

第1セッション

- ①認知症高齢者へのリハビリテーション介入における「声かけ」について

- ②がん患者終末期における咳反射の特徴～緩和ケア病棟と一般病棟の咳テスト結果の比較を通して～

第2セッション

- ③EGPAにより下肢末梢神経障害となり多職種連携と環境調整にて自宅退院に繋がった一症例

- 小腸捻転に対し腸管切除せず解除術施行後の食事再開に難渋した1例

4. 総括

「第14回 慈愛会精神科リハビリテーション合同活動発表会」

2025年10月25日（土） 15：00-17：00

メイン会場：谷山病院（第1・2会議室）

サテライト会場：奄美病院・徳之島病院

参加施設：谷山病院、就労支援センターステップ、笹貫訪問看護ステーション愛の街、奄美病院、徳之島病院、今村総合病院、いづろ今村病院、高麗町クリニック、愛と結の街

参加人数：メイン会場37名、サブ会場14名

テーマ：病床機能や年齢に応じたアプローチ

精神科にも対応した地域包括ケアシステムを見据えて

1. 理事長挨拶
2. 活動発表

セッション

- ①利用者の特性に合わせた作業マニュアルの作成～精神科作業療法での経験を活かして～

- ②引きこもり支援における作業療法の介入事例報告

外来作業療法を目指して

- ③奄美の地域包括ケアシステムにおけるデイケアの役割
- ④機能分化の視点からデイケアでの活動をデザインする
主体的に参加できる活動を目指して作業療法士ができること

- ⑤精神科病床のない離島における地域包括ケア
わたりどりで作業療法士が考える多職種連携

シンポジウム

病床機能に応じたアプローチ

精神科にも対応した地域包括ケアシステムを見据えて

- ①スライドによる各病院の取り組み紹介
谷山病院・奄美病院・徳之島病院
- ②フロアディスカッション

技能・能力向上に向けた取り組み

1. 2025年度キャリア開発ラダー認定状況 (人)

ラダーレベル	I	II	III	IV	V
今村総合病院	11	18	14	10	41
いづろ今村病院	1	1	2	1	6
愛と結の街	0	0	0	2	8
高麗町クリニック	0	0	0	2	0
谷山病院	3	1	2	2	18
奄美病院	0	0	1	1	7
徳之島病院	0	0	0	1	3

2. 愛と結の街グループ職場体験

急性期、回復期へ配属されているセラピストが介護保険分野のリハビリテーションを経験することを目的として、愛と結の街を訪問し体験学習を実施した。

10月20日：3名

10月27日：4名 合計7名

3. 主な資格取得状況 (2025年度内取得)

<今村総合病院>

- ・臨床実習指導者講習会受講 PT 2名
- ・がんのリハビリテーション研修修了
PT 2名、OT 1名、ST 1名
- ・失語症者向け意思疎通支援者養成講習会修了
OT 1名、ST 1名

<いづろ今村病院>

- ・臨床実習指導者講習会受講 PT 1名、ST 1名
- ・認知症ケア指導管理士（初級）取得 PT 1名
- ・日本言語聴覚士協会 認定言語聴覚士（摂食・嚥下障害領域）取得 1名

<高麗町クリニック>

- ・介護支援専門員取得 PT 1名

<谷山病院>

- ・介護予防推進リーダー OT 1名
- ・地域ケア会議推進リーダー OT 1名
- ・両立支援コーディネーター OT 2名
- ・QCサークル指導士 OT 1名
- ・甲種防火管理者 OT 1名
- ・就労選択支援員 OT 1名

<奄美病院>

- ・臨床実習指導者講習会受講 OT 1名

<徳之島病院>

- ・SST初級研修修了 OT 1名
- ・包括的暴力防止プログラム（CVPPP）トレーナー養成研修修了 OT 1名

各種指標

所属セラピスト数（常勤換算数：人）

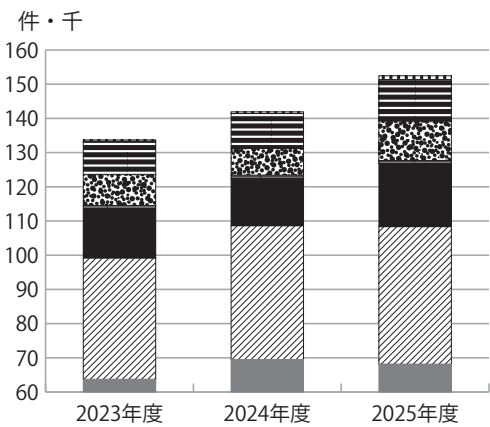
	PT	OT	ST	助手	合計
今村総合病院	62	17	22	5	106
いづろ今村病院	9.5	2	1	0	12.5
愛と結の街	6	4	2	0	12
高麗町クリニック	2	0	0	0	2
谷山病院	0	26		0	26
奄美病院	2	9	0	0	11
徳之島病院	0	7	0	1	8
合 計	81.5	65	25	6	177.5

今村総合病院

在籍スタッフ数
(2026年3月31日時点)

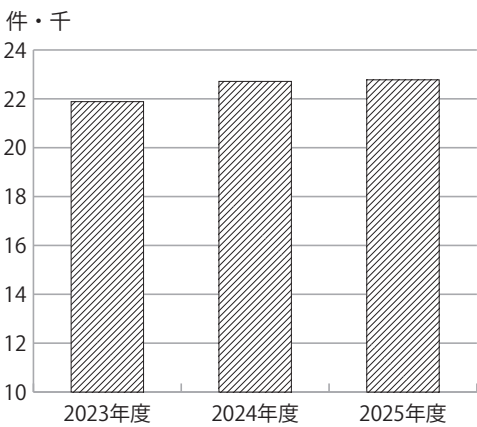
職種	人数
PT	62
OT	17
ST	22

リハビリテーション部 件数



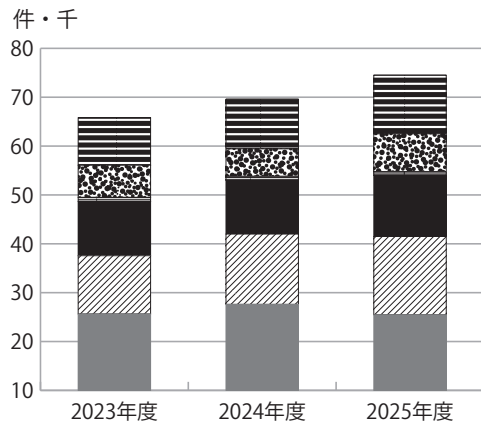
	2023年度	2024年度	2025年度
■脳血管	63,685	69,456	68,095
▨運動器	35,439	39,135	40,230
■呼吸	14,441	13,907	18,549
▨心大血管	833	852	718
▨廃用	9,144	7,846	11,427
▨がん	9,743	10,236	12,335
▨摂食	416	475	1,104
件数合計	133,701	141,907	152,458

スポーツ整形PT 件数



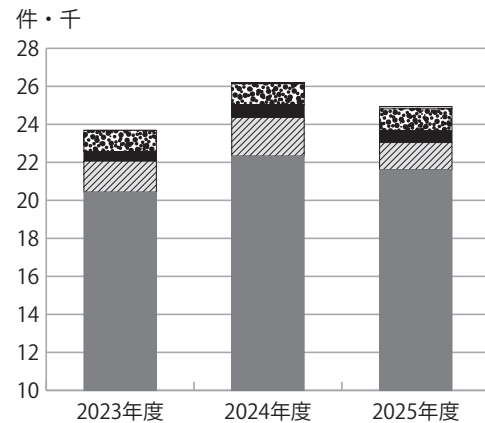
	2023年度	2024年度	2025年度
■脳血管	0	0	0
▨運動器	21,885	22,714	22,778
■呼吸	0	0	0
▨心大血管	0	0	0
▨廃用	0	0	0
▨がん	0	0	0
▨摂食	0	0	0
件数合計	21,885	22,714	22,778

一般総合PT 件数



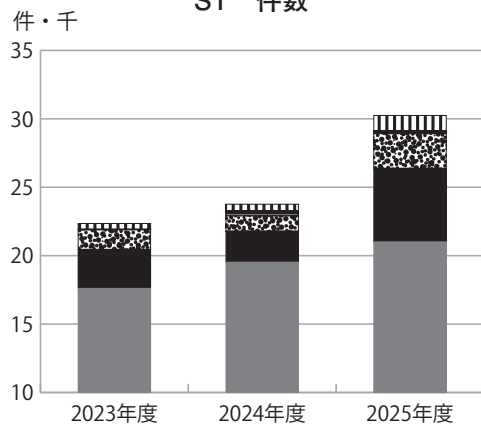
	2023年度	2024年度	2025年度
脳血管	25,642	27,605	25,477
運動器	11,922	14,390	16,019
呼吸	11,106	10,962	12,562
心大血管	833	852	718
廃用	6,576	5,623	7,731
がん	9,701	10,143	11,984
摂食	0	0	0
件数合計	65,780	69,575	74,491

OT 件数



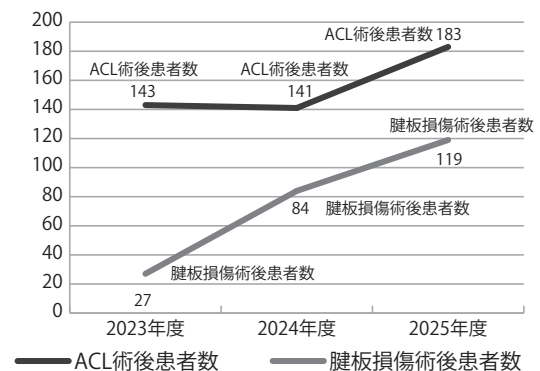
	2023年度	2024年度	2025年度
脳血管	20,432	22,328	21,609
運動器	1,632	2,031	1,433
呼吸	490	681	616
心大血管	0	0	0
廃用	1,129	1,096	1,158
がん	0	56	124
摂食	0	0	0
件数合計	23,683	26,192	24,940

ST 件数

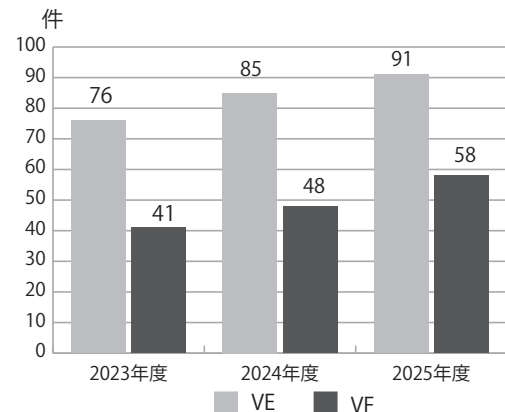


	2023年度	2024年度	2025年度
脳血管	17,611	19,523	21,009
運動器	0	0	0
呼吸	2,845	2,264	5,371
心大血管	0	0	0
廃用	1,439	1,127	2,538
がん	42	37	227
摂食	416	475	1,104
件数合計	22,353	23,426	30,249

ACL・腱板損傷術後のリハ件数



嚥下内視鏡検査(VE)、嚥下造影検査(VF)実施件数

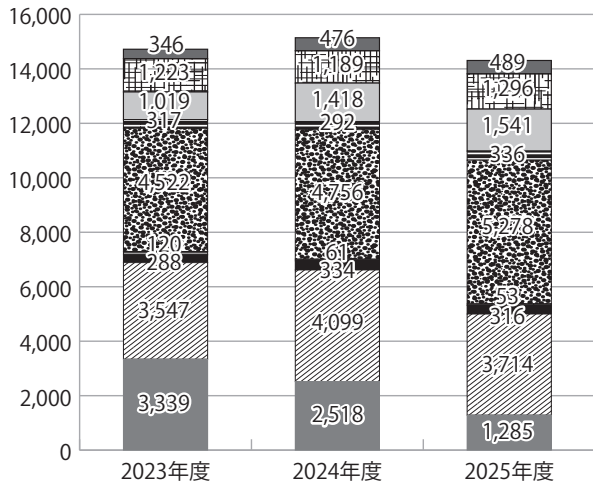


いづろ今村病院

在籍スタッフ数
(2026年3月31日時点)

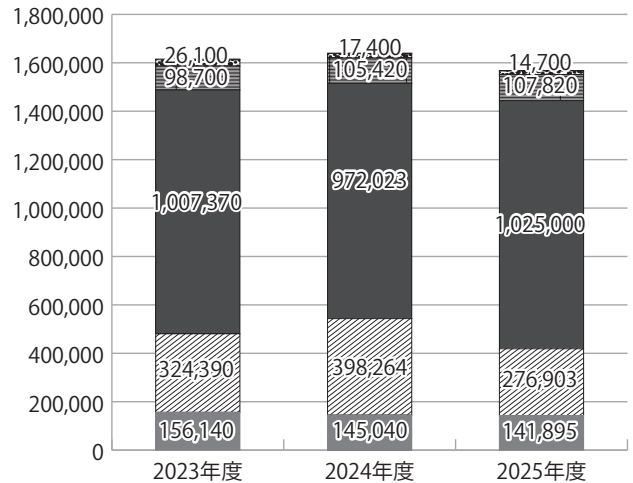
職種	人数
PT	9.5
OT	2
ST	1

入院リハ算定外業務 (件数)



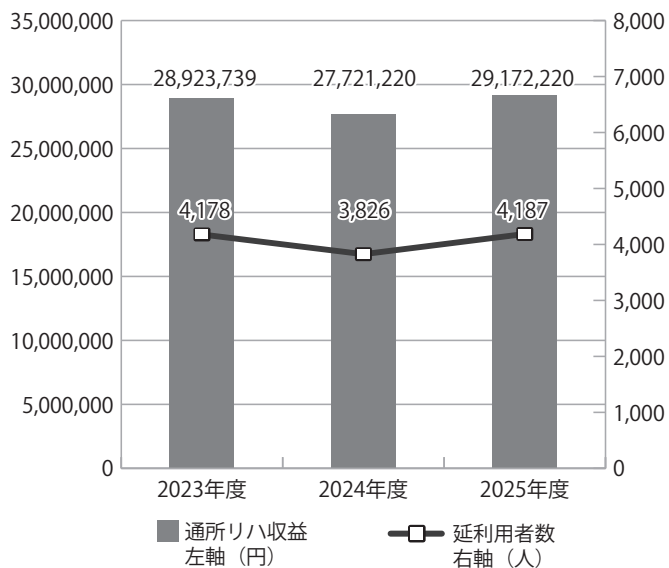
■ リハサマリー作成件数 ■ 包括病棟入院時ADL評価件数
 ■ 運動指導対応件数 ■ 集団体操実施件数 ■ POC介入件数
 ■ 体組成計測定 ■ 摂食機能療法 (算定外)
 ■ 緩和) 個別リハ ■ 包括) 個別リハ

入院リハ算定内業務 (点数)



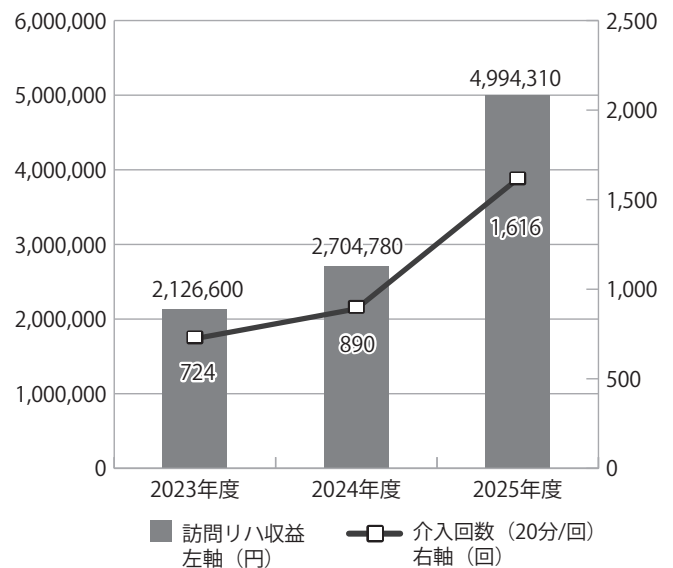
■ 退院時リハ指導料 ■ リハ総合計画料
 ■ がん患者リハ料 ■ 疾患別リハ料 ■ 摂食機能療法

通所リハ業績



■ 通所リハ収益 左軸 (円)
 —□— 延利用者数 右軸 (人)

訪問リハ業績



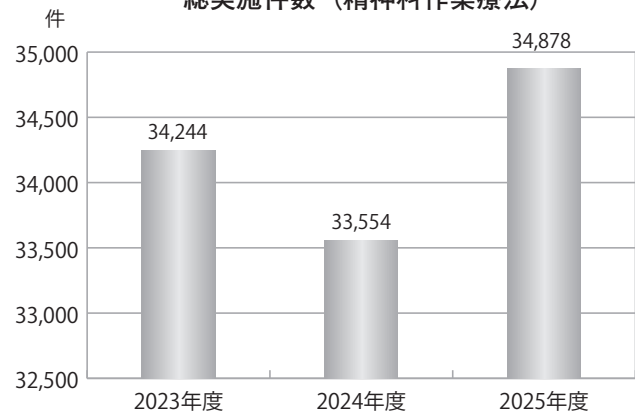
■ 訪問リハ収益 左軸 (円)
 —□— 介入回数 (20分/回) 右軸 (回)

谷山病院

在籍スタッフ数
(2026年3月31日時点)

職種	人数
PT	0
OT	26
ST	0

総実施件数（精神科作業療法）

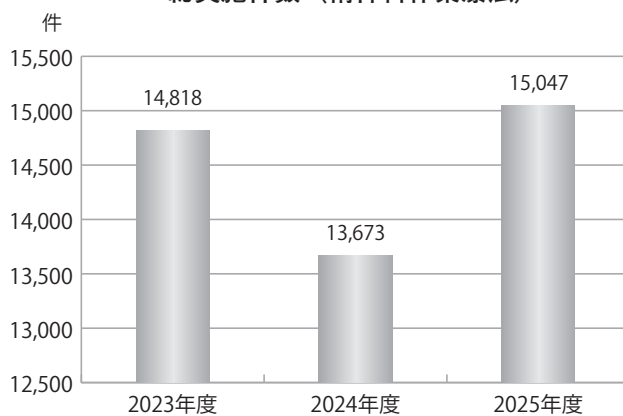


奄美病院

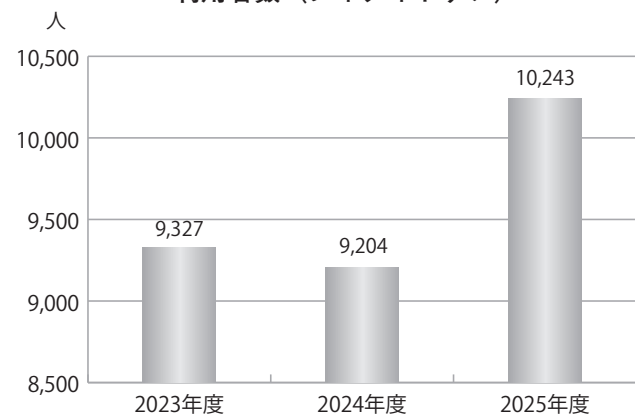
在籍スタッフ数
(2026年3月31日時点)

職種	人数
PT	2
OT	9
ST	0

総実施件数（精神科作業療法）



利用者数（デイナイトケア）

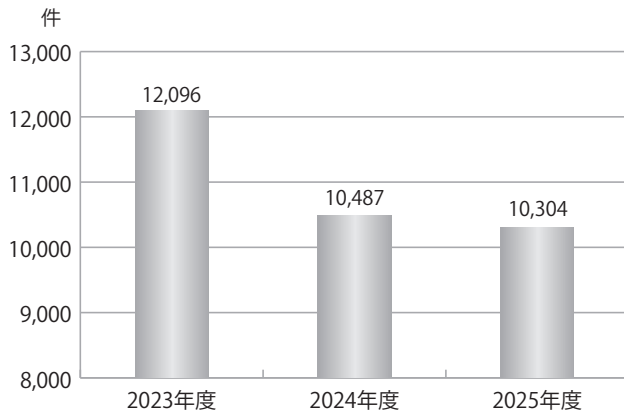


徳之島病院

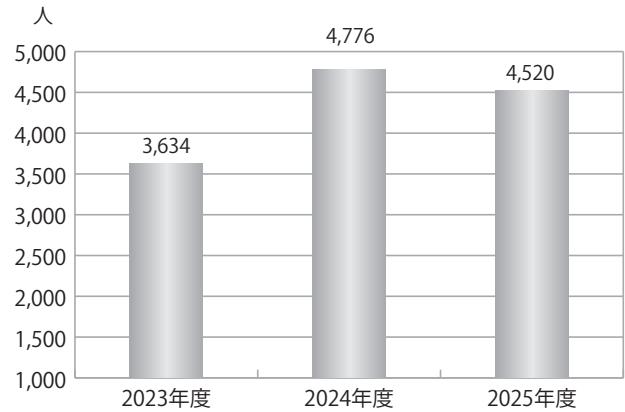
在籍スタッフ数
(2026年3月31日時点)

職種	人数
PT	0
OT	7
ST	0

総実施件数（精神科作業療法）



利用者数（デイケア）

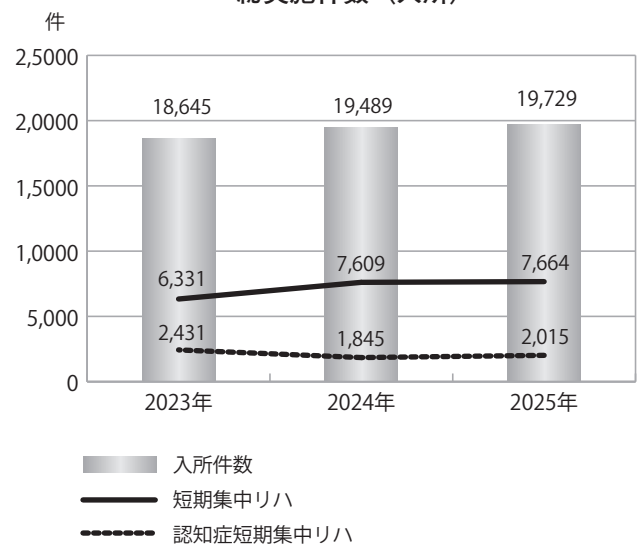


介護老人保健施設 愛と結の街

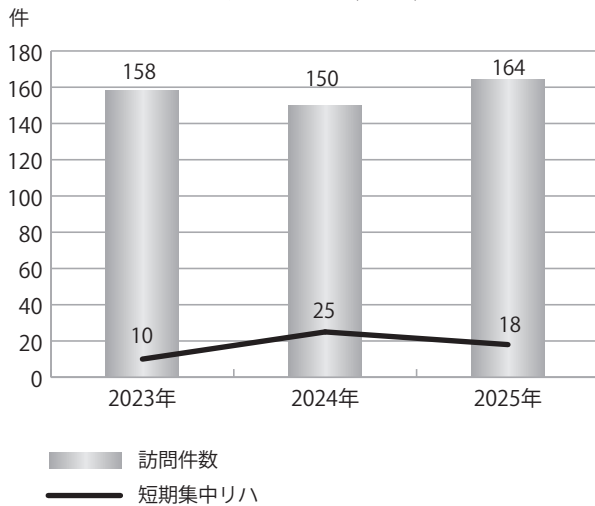
在籍スタッフ数
(2026年3月31日時点)

職種	人数
PT	6
OT	4
ST	2

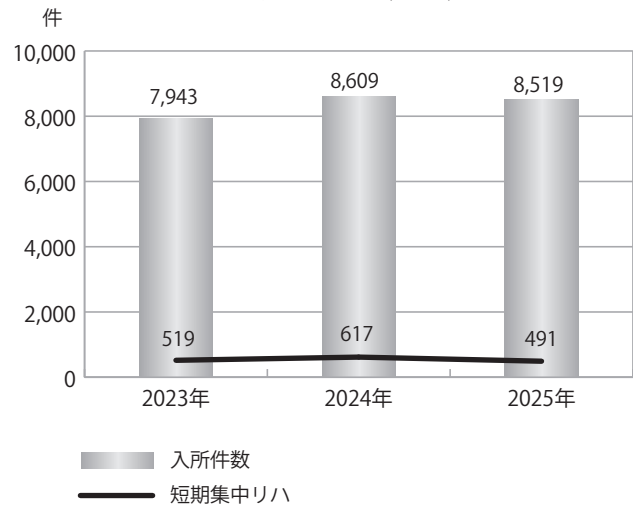
総実施件数（入所）



総実施件数（訪問）



総実施件数（通所）

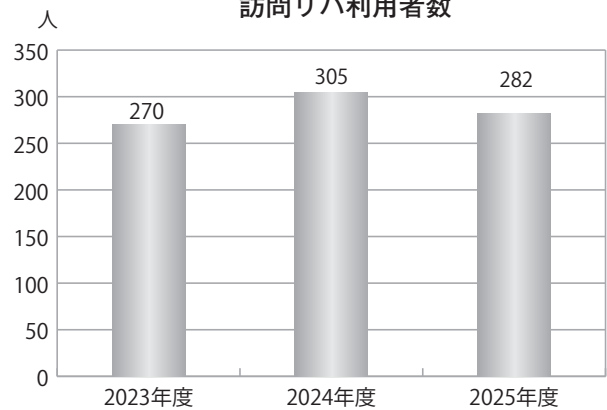


高麗町クリニック

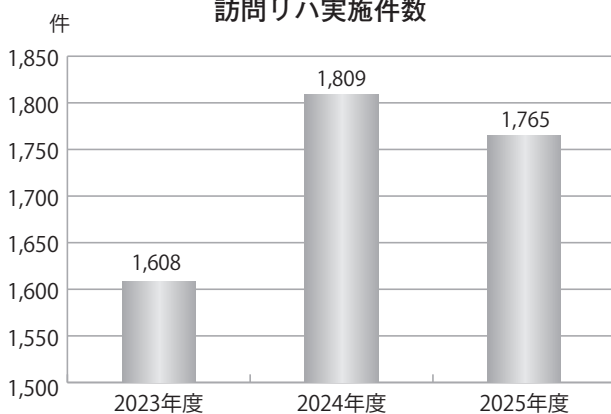
在籍スタッフ数
(2026年3月31日時点)

職種	人数
PT	2
OT	0
ST	0

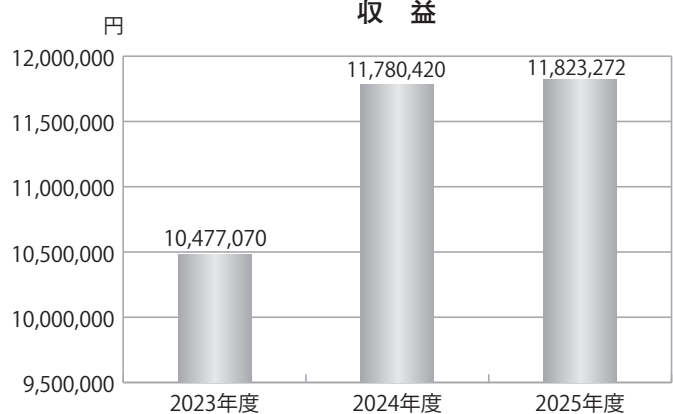
訪問リハ利用者数



訪問リハ実施件数

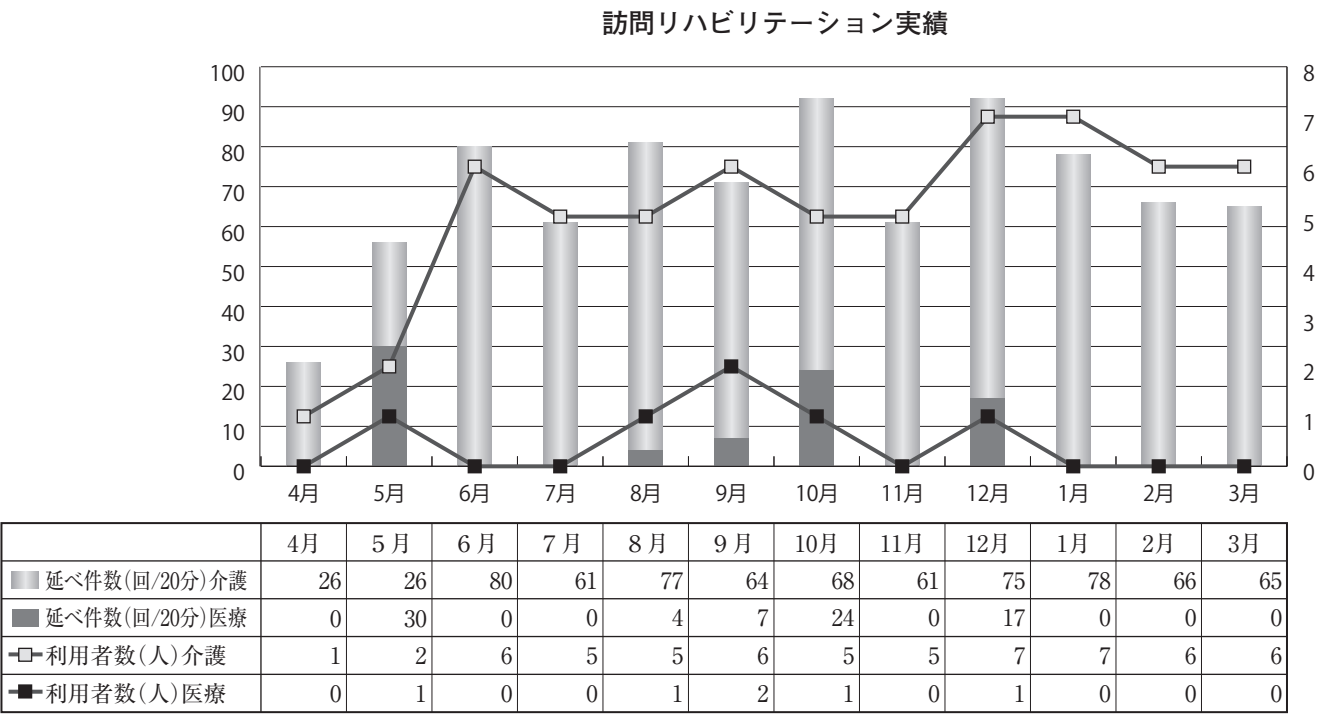
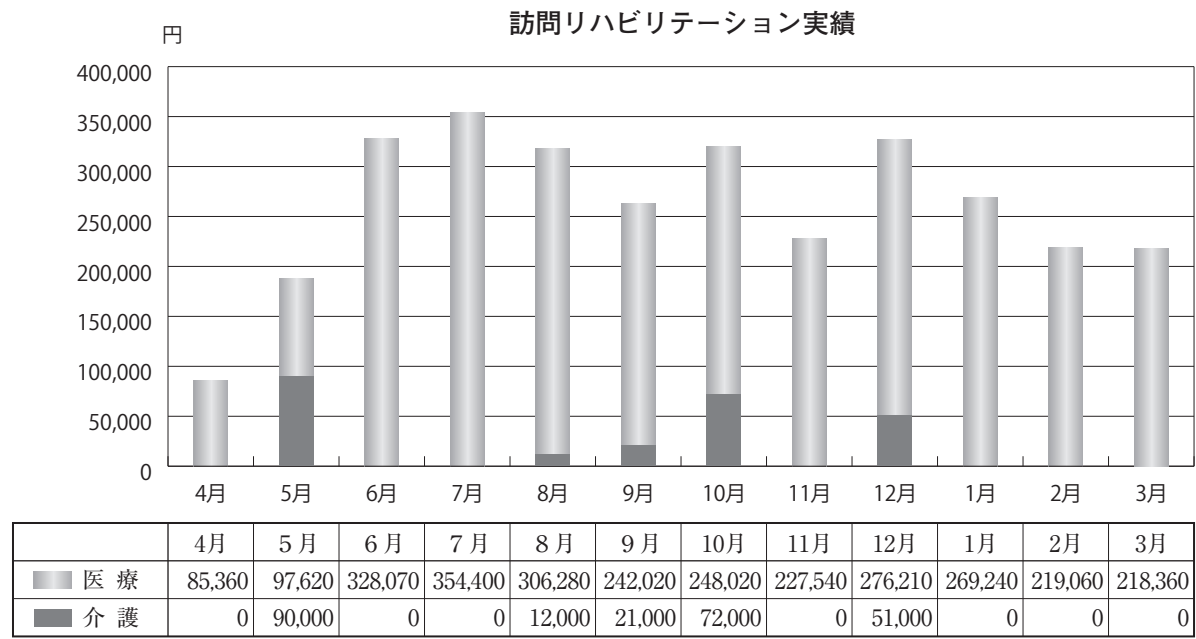


収益



かごしまオハナクリニック

※新規掲載（2025年度分の月次実績報告）



業 績 一 覧

【論文（論文・著書・雑文）】

今村総合病院 理学療法士（一般総合）

<欧文>

1. Takekiyo T, Ito Y, Miyazono T, Tokunaga T, Nakano N, Odawara J, Fujino S, Dozono K, Nara S, Shimoyama S, Okamura T, Utsunomiya A : Post-transplant changes in physical function and quality of life in patients undergoing two allogeneic hematopoietic stem cell transplants. Int J Hematol 122 (5) : 700-708, 2025, doi : 10.1007/ s 12185-025-04030-z.

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形）

<和文>

1. 吉田研吾, 海江田英泰, 福島佳織:鏡視下腱板修復術後における再断裂と危険因子の保有数について. 肩関節 49 (1): 138-141, 2025, doi:https://doi.org/10.11296/katakansetsu.49.138

【学会発表】

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形）

<国内>

1. 吉田研吾, 白尾泰宏, 前園恵慈, 福島佳織:KOH デバイスを用いた BTB 再建術と従来の BTB 再建術におけるスポーツ復帰状況の比較. 第3回日本スポーツ整形外科学会, 2025年9月12-13日, 東京
2. 多田克史, 白尾泰宏, 海江田英泰, 前園恵慈, 福島佳織:上腕骨遠位端骨折術後拘縮にたいする肘関節観血的授動術後の可動域制限に対し、拡散型圧力波が有効であった一例. 第7回日本体外衝撃波医学会学術集会, 2025年9月28日, 東京
3. 吉田研吾, 海江田英泰, 福島佳織:高校生投手における投球障害肩群と健常群の身体機能の比較. 第52回日本肩関節学会学術集会, 2025年10月10-11日, 福岡
4. 吉田研吾, 轟原与織, 岡弥津希, 鮫島智志, 山口隆文, 白尾泰宏, 大渡昭彦, 海江田英泰, 福島佳織:高校生投手における投球障害肘群と健常群の身体機能面の比較. 第13回日本運動器理学療法学会学術大会, 2025年11月22-23日, 大阪
5. 迫田彩夏, 轟原与織, 多田克史, 白尾泰宏, 川田将之, 木山良二, 福島佳織:膝前十字靱帯再建術後症例における片脚スクワット時の膝関節外反角度に関連する因子の検討. 第12回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2025年11月29-30日, 札幌
6. 迫田彩夏, 白尾泰宏:女子中学生・高校生の月経随伴症状とスポーツパフォーマンスとの関連性について. 第11回日本ウイメンズヘルス・メンズヘルス理学療法学会学術大会, 2025年12月13-14日, 大阪
7. 山口隆文, 吉田研吾, 白尾泰宏, 海江田英泰:肩肘検診時の肘異常所見の有無とその後の肘痛の発生率・投球パフォーマンス状況について. 第39回鹿児島県理学療法学会, 2026年2月15日, いちき串木野

今村総合病院 理学療法士（一般総合）

<国内>

1. 宮島康輔, 桑野大介, 宮ヶ原卓, 堂園浩一郎:右橋梗塞により運動麻痺と病巣とは対側への Body Lateropulsion を呈した症例に対する理学療法とその経過. 第23回日本神経理学療法学会学術大会, 2025年10月31日-11月1日, 金沢

2. 武清孝弘, 伊藤能清, 堂園浩一郎, 宮園卓宜, 徳永雅仁, 中野伸亮, 藤野聡司, 小田原淳, 下山秀一郎, 宇都宮與: ATL 患者における同種造血幹細胞移植前後の QOL 変化. 第 11 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2025 年 11 月 7-9 日, 鹿児島
3. 下山秀一郎, 伊藤能清, 堂園浩一郎, 武清孝弘, 宮園卓宜, 徳永雅仁, 中野伸亮, 藤野聡司, 小田原淳, 奈良聡一郎, 吉田一成, 堂園充代, 宇都宮與: 自家末梢血幹細胞移植における身体機能・筋肉量・QOL 変化. 第 48 回日本造血・免疫細胞療学会 総会, 2026 年 2 月 27 日-3 月 1 日, 東京
4. 武清孝弘, 伊藤能清, 堂園浩一郎, 下山秀一郎, 宮園卓宜, 徳永雅仁, 中野伸亮, 藤野聡司, 小田原淳, 奈良聡一郎, 吉田一成, 堂園充代, 宇都宮與: 移植時病勢と一般状態が同種造血幹細胞移植前後の身体機能変化に及ぼす影響. 第 48 回日本造血・免疫細胞療学会 総会, 2026 年 2 月 27 日-3 月 1 日, 東京

いづろ今村病院 理学療法士

<国内>

1. 西洋樹, 牧迫飛雄馬, 白土大成, 赤井田将真, 木内悠人, 三宅悠斗, 田平健人, 川田将之, 木山良二, 竹中俊宏, 窪菌琢郎, 大石充: 地域在住中高齢者におけるメタボリックシンドロームが体組成および身体機能の 3 年間の変化に及ぼす影響. 第 12 回日本サルコペニアフレイル学会, 2025 年 11 月 1 日, 熊本

今村総合病院 作業療法士

<国内>

1. 日高まり子, 新福友果子: 回復期における脳卒中患者に手指機能訓練支援ロボット AMADEO を自主訓練に活用し ADL 時の麻痺側手参加が増えた 1 例. 九州作業療学会 2025 in 宮崎, 2025 年 6 月 21-22 日, 宮崎
2. 泉由佳, 蓮井春彦, 黒島麻衣, 村田耕一: 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対して、AMPS による作業分析が、家事動作獲得につながった事例. 第 59 回日本作業療学会, 2025 年 11 月 7-9 日, 香川

谷山病院 作業療法士

<国内>

1. 鯨坂憲弘: MTDLP を活用した就労継続支援 B 型事業所における就労支援 ～関連部署と連携し包括的支援ができた事例～. 第 34 回鹿児島県作業療学会, 2025 年 10 月 12 日, 伊佐

今村総合病院 言語聴覚士

<国内>

1. 生田鈴奈: 脳卒中集中治療室 (SCU) 専従看護師による食事形態選定における MMASA の有効性. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 2025 年 9 月 19-20 日, 横浜

【研究会・講演会】

今村総合病院 理学療法士 (スポーツ整形)

1. 白尾泰宏: 肩インピンジメント症候群に対する徒手療法と運動療法. 鹿児島県理学療法士協会 運動器専門領域研修会, 2025 年 9 月 7 日, 鹿児島
2. 吉田研吾: (臨床で活かせる) 肩・肘関節を中心としたフィジカルチェック. 鹿児島県理学療法士協会 スポーツ事業部, 2025 年 10 月 5 日, 鹿児島
3. 吉田研吾: 機能面を中心とした投球障害肩に対するアプローチ. 鹿児島県理学療法士協会 第 3 回大隅地区研修会, 2025 年 11 月 17 日, Web

4. 迫田彩夏：フレッシュセッション 私がこの領域に進んだ理由、そしてどう切り開いたか。第11回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法学術大会，2025年12月14日，大阪
5. 白尾泰宏：変形性膝関節症・半月板損傷に対する徒手療法と運動療法。鹿児島県理学療法士協会 運動器専門領域研修会，2025年12月14日，鹿児島

今村総合病院 理学療法士（一般総合）

1. 村山芳博：チーム医療について。鹿児島大学医学部保健学科 理学療法専攻・作業療法学専攻・看護学専攻，2025年6月17日，鹿児島
2. 野田佳孝：介護講習会。校区社会福祉協議会，2025年6月24日，鹿児島
3. 津曲麻美：介護講習会。校区社会福祉協議会，2025年8月21日，鹿児島
4. 津曲麻美：介護講習会。校区社会福祉協議会，2025年9月19日，鹿児島
5. 中島徳久：10年先も元気に歩こう！～理学療法士と一緒にかんたん健康チェック～。かもいけ健康まつり，2025年10月18日，鹿児島
6. 武清孝弘：造血器腫瘍におけるリハビリテーションの取り組み 移植後長期フォローアップ含めて。がんリハビリテーションWebセミナー，2025年11月5日，福岡（Web）
7. 野崎聖矢：介護講習会。校区社会福祉協議会，2025年11月8日，鹿児島
8. 川崎和也：地域ケア会議に求められる専門職の役割（総論）。一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会，2025年11月16日，Web
9. 川崎和也：リハ専門職の役割 理学療法士の役割。一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会，2025年11月16日，Web
10. 瀬戸口綾子：介護講習会。校区社会福祉協議会，2025年11月19日，鹿児島
11. 村山芳博：CVA評価について（OSCE実施）。鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻，2025年12月8日，鹿児島

いづろ今村病院 理学療法士

1. 土井敦：在宅系施設における重度褥瘡へのアプローチ。第7回 日本在宅医療連合学会 シンポジウム シンポジスト，2025年6月14日，長崎
2. 土井敦：地域、在宅リハビリテーション 分科会。第24回九州ブロック介護老人保健施設大会，2025年7月11日，熊本
3. 土井敦：運動学Ⅳ。学校法人 原田学園 作業療法学科2年 後期授業，2025年10月～2026年3月，鹿児島
4. 西洋樹：糖尿病と心・腎疾患～理学療法士としての関わりについて～。鹿児島県理学療法士協会専門領域研修部循環器領域研修会，2025年10月12日，いちき串木野
5. 西洋樹：リハビリテーション専門職のための糖尿病の基礎知識。吉野・吉田地区リハ専門職研修会，2025年10月20日，鹿児島
6. 西洋樹：症例検討グループワーク 運動療法実施率向上のための工夫。鹿児島県医師会糖尿病重症化予防研修会，2025年11月5日，薩摩川内
7. 西洋樹：糖尿病と運動療法について。十島村役場糖尿病重症化予防キャンペーン，2025年11月8日，十島村中之島
8. 土井敦：訪問リハにおける理学療法。鹿児島 POS 連絡協議会 訪問リハ研究会 実務者研修，2025年11月15日，鹿児島（Web）
9. 土井敦：実践者研修会 現場で役立つ基礎的知識。公益財団法人介護労働安定センター 介護実務者研修，2025年12月9日，鹿児島

10. 西賢一郎：姿勢の呼吸への影響～肺炎、ポジショニングや排痰～. 鹿児島県理学療法士協会専門領域呼吸研修会, 2025年12月14日, 鹿児島
11. 土井敦：令和7年度介護職員チームリーダー養成研修 ノーリフティング基礎. 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター, 2026年1月16日, 霧島
12. 土井敦：令和7年度介護職員チームリーダー養成研修 ノーリフティング応用. 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター, 2026年1月27日, 霧島
13. 土井敦：快適な住環境整備と介護. 鹿児島県歯科学院専門学校 介護職員初任者研修, 2026年2月20日, 鹿児島

谷山病院 作業療法士

1. 田畑典子：精神科分野における調理活動. 鹿児島医療技術専門学校特別講義, 2026年2月20日, 鹿児島

今村総合病院 言語聴覚士

1. 香川勇治：介護講習会（嚥下障害）. 鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会, 2025年6月6日, 鹿児島
2. 小齊平千夏：介護講習会（嚥下障害）. 鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会, 2025年6月13日, 鹿児島
3. 上村悠野：介護講習会（嚥下障害）. 鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会, 2025年6月21日, 鹿児島
4. 若松藍：ことばっていつ話すの？～発達と不安のギャップを埋めるヒント～. 垂水市主催 令和7年度第1回今村総合病院講演会 / 垂水市子育て支援センター, 2025年7月8日, 垂水
5. 福元麻衣：介護講習会（嚥下障害）. 鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会, 2025年8月20日, 鹿児島
6. 寺尾香織：介護講習会（認知症）. 鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会, 2025年9月12日, 鹿児島
7. 末川由佳：介護講習会（嚥下障害）. 鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会, 2025年11月17日, 鹿児島
8. 若松藍：嚥下造影検査（VF）で読み解く嚥下障害について～画像で支える「食べる力」～. 令和7年度鹿児島さくらRT研修会, 2026年2月26日, Web

【受賞】

今村総合病院 理学療法士（一般総合）

1. 武清孝弘：HCT Contribution Award. 第48回日本造血・免疫細胞療法学会 総会, 2026年2月28日

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

薬 剂 部 門

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画(Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
人材育成・教育体制の構築	(1)全体の薬剤師数 ①新卒薬剤師採用数 2024年度実績：3名 2025年度計画：4名 ②薬剤師採用試験実施回数 2024年度実績：1回 2025年度計画：2回 ③薬学実務実習生受け入れ数 2024年度実績：9名 2025年度計画：11名 (いづろ今村病院4名、今村総合病院6名) ④薬学生の病院見学受け入れ数 2024年度実績：13名 2025年度計画：10名 (いづろ今村病院10名、今村総合病院10名) (2)認定薬剤師の養成 ・各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成計画(新規目標)、指導薬剤師育成 ・病院薬学認定薬剤師《日病薬》(新規目標)：いづろ今村病院1名、今村総合病院2名、谷山病院2名 ・精神科薬物療法認定薬剤師《日病薬》：谷山病院1名 (3)症例検討会の実施 ・年間40回：今村総合病院年間12回：いづろ今村病院・谷山病院・奄美病院年間6回：徳之島病院 (4)薬剤部合同研修会 ・年1回開催：いづろ今村病院《2演題》今村総合病院《3演題》谷山病院《2演題》徳之島病院《1演題》 (5)学会発表・論文化 ・学会10回	(1)全体の薬剤師数 1. 2025/5/12第1回入職試験・面接実施 福岡大学1名、安田女子大学1名 2名受験・合格 2026年度2名確保 2. 薬剤師採用試験の実施回数：5/12・8/4：2回実施 3. 薬学実務実習生の受け入れ人数：7名 4. 薬学生の病院見学の受け入れ人数：12名 (2)認定薬剤師の養成 ・各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成計画(新規目標)、指導薬剤師育成 日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師いづろ今村1名、今村総合2名、谷山2名合格 感染制御認定薬剤師今村総合1名合格 (3)症例検討会の実施 ・年間40回：今村総合病院年間48回：いづろ今村病院5回・谷山病院14回・奄美病院年間6回：徳之島病院3回 (4)薬剤部合同研修会 ・2025年11月22日 今村総合病院4階会議室 今村総合病院3題、いづろ今村病院2題、谷山病院2題、徳之島病院1題 (5)学会発表・論文化 ・学会9回：第84回九州山口薬学大会、2025年9月14-15日、佐賀4演題他	(1)全体の薬剤師数 1. 第1回入職試験・面接2025/5/12実施 福岡大学1名、安田女子大学1名 2名受験・合格 2026年度2名確保 第2回 2025/8/4実施 第一薬科大学1名、崇城大学1名 2名受験・合格 新卒採用2026年度新卒者4名採用 目標達成 2. 薬剤師採用試験の実施回数：5/12・8/4：2回実施 目標達成 3. 薬学実務実習生の受け入れ人数：7名 目標未達 4. 薬学生の病院見学の受け入れ人数：12名 目標達成 (2)認定薬剤師の養成 ・各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成計画(新規目標)、指導薬剤師育成 目標達成 日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師いづろ今村1名、今村総合2名、谷山2名合格 目標達成 感染制御認定薬剤師今村総合1名合格 目標達成 (3)症例検討会の実施 ・年間40回：今村総合病院年間48回：いづろ今村病院5回・谷山病院12回・奄美病院年間6回：徳之島病院3回 一部達成 (4)薬剤部合同研修会 ・2025年11月22日 今村総合病院4階会議室にて開催 目標達成 今村総合病院3題、いづろ今村病院2題、谷山病院2題、徳之島病院1題 (5)学会発表・論文化 ・学会9回：第84回九州山口薬学大会、2025年9月14-15日、佐賀4演題他 目標未達	(1)全体の薬剤師数 1. 薬剤部：薬剤師50名 助手15名体制(継続) 2. 薬剤師採用試験の実施回数時期を早める(継続) 3. 薬学実務実習生の受け入れ：実務実習指導者育成による実習(継続) 4. 薬学生の病院見学の受け入れ人数：12名(継続) (2)認定薬剤師の養成 ・各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成計画(新規目標)、指導薬剤師育成(継続) 日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師の育成(継続) 感染制御認定薬剤師の育成 いづろ今村1名(新規) 精神科薬物療法認定薬剤師：NST専門療法士：外来がん治療認定薬剤師《JASPO》の育成 今村総合各1名(新規)
	(1)薬業連携交流会の開催 ・第11回薬業連携交流会：今村総合病院(当番世話人)。第12回薬業交流会：いづろ今村病院(当番世話人) (2)退院時薬剤情報連携加算件数増加 ・年間78件：いづろ今村病院《6件》今村総合病院《70件》奄美病院《2件》 (3)連携充実加算件数増加：今村総合病院《250件》 (4)入退院支援センターでの業務：今村総合病院で継続して薬剤師1名配置準備 (5)在宅医療への取組(在宅患者訪問薬剤管理指導) ・慈愛会内での連携確認・多店舗調剤薬局グループの地域密着による慈愛会患者さまフォロー継続	(1)薬業連携交流会の開催 ・第11回薬業連携交流会：今村総合病院(当番世話人)。第12回薬業交流会：いづろ今村病院(当番世話人)：天候不良のため中止 (2)退院時薬剤情報連携加算件数増加 ・年間58件：いづろ今村病院《2件》今村総合病院《32件》奄美病院《0件》 (3)連携充実加算件数増加：今村総合病院《340件》 (4)入退院支援センターでの業務：今村総合病院で継続して薬剤師1名配置準備 (5)在宅医療への取組(在宅患者訪問薬剤管理指導) ・慈愛会内での連携確認・多店舗調剤薬局グループの地域密着による慈愛会患者さまフォロー継続	(1)薬業連携交流会の開催 ・第11回薬業連携交流会：今村総合病院(当番世話人)参加者89名。第12回薬業交流会：いづろ今村病院(当番世話人)：天候不良のため中止 1回のみ開催 目標未達 (2)退院時薬剤情報連携加算件数増加 ・年間58件：いづろ今村病院《6件》今村総合病院《32件》奄美病院《0件》 目標未達 (3)連携充実加算件数増加：今村総合病院《340件》 目標達成 (4)入退院支援センターでの業務：人員不足のため目標未達 (5)在宅医療への取組(在宅患者訪問薬剤管理指導) ・慈愛会内での連携確認・多店舗調剤薬局グループの地域密着による慈愛会患者さまフォロー継続、ソーシャルワーカーとミーティングを行い来年度も継続：目標未達	(1)薬業連携交流会の開催 ・年2回 継続開催 第12回薬業連携交流会：今村総合病院(当番世話人)呼吸器内科・ガナナナフ検討中 第13回薬業連携交流会：谷山病院(当番世話人) (2)退院時薬剤情報連携加算件数増加 廃止に伴い中止 (3)連携充実加算件数増加：今村総合病院《350件》(継続) (4)入退院支援センターでの業務：今村総合病院で薬剤師1名配置準備(継続) (5)在宅医療への取組(在宅患者訪問薬剤管理指導) ・慈愛会内での連携確認・多店舗調剤薬局グループの地域密着による慈愛会患者さまフォロー継続

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画(Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
薬剤業務の効率化・生産性向上	(1)医薬品の安定供給体制の確保 ・医薬品採用品の統一化(慈愛会統一電子カルテへの対応及び医薬品ロスの縮小を図る): 目標品目10品目	(1)医薬品の安定供給体制の確保 ・医薬品採用品の統一化(慈愛会統一電子カルテへの対応及び医薬品ロスの縮小を図る): 目標品目10品目	(1)医薬品の安定供給体制の確保 ・医薬品採用品の統一化(慈愛会統一電子カルテへの対応及び医薬品ロスの縮小を図る): 目標品目10品目 目標達成	(1)医薬品の安定供給体制の確保 ・医薬品採用品の統一化(慈愛会統一電子カルテへの対応及び医薬品ロスの縮小を図る): 目標品目10品目 目標達成
	(2)調剤業務の効率化 ・薬剤師と薬剤助手の調剤業務の棚卸を行い、調剤業務の分担を行う。手順書統一運用開始	(2)調剤業務の効率化 ・薬剤師と薬剤助手の調剤業務の棚卸を行い、調剤業務の分担を行う。手順書統一運用開始	(2)調剤業務の効率化 ・薬剤師と薬剤助手の調剤業務の棚卸を行い、調剤業務の分担を行う。手順書統一運用開始 未達	(2)調剤業務の効率化 ・薬剤師と薬剤助手の調剤業務の棚卸を行い、調剤業務の分担を行う。電子カルテ入れ替えに伴い継続
	(3)病棟薬剤業務の標準化 ・科別による病棟薬剤業務の特色を鑑みて、入院から退院の薬剤の流れの標準化を行う。	(3)病棟薬剤業務の標準化 ・科別による病棟薬剤業務の特色を鑑みて、入院から退院の薬剤の流れの標準化を行った。	(3)病棟薬剤業務の標準化 達成 ・科別による病棟薬剤業務の特色を鑑みて、入院から退院の薬剤の流れの標準化を行う: 目標達成	(3)病棟薬剤業務の標準化 継続中 ・科別による病棟薬剤業務の特色を鑑みて、入院から退院の薬剤の流れの標準化を行う(継続)
	(4)薬剤管理指導件数増加 (5)退院時服薬指導件数増加	(4)薬剤管理指導件数増加 (5)退院時服薬指導件数増加	(4)薬剤管理指導件数増加 (5)退院時服薬指導件数増加 今村総合: 目標達成 他病院: 未達	(4)薬剤管理指導件数増加 (5)退院時服薬指導件数増加 継続
	薬剤管理指導目標件数(算定)/年 いづろ今村病院 2,800(2,000) 今村総合病院 17,500(12,000) 谷山病院 2,000(1,500) 奄美病院 90 徳之島病院 600(540)	薬剤管理指導件数(算定)/年:実績 いづろ今村病院 2,351(1,812) 今村総合病院 9,758(12,815) 谷山病院 399(219) 奄美病院 20 徳之島病院 475(475)		薬剤管理指導目標件数(算定)/年 いづろ今村病院 2,800(2,000) 今村総合病院 19,500(13,000) 谷山病院 2,000(1,500) 奄美病院 80 徳之島病院 600(540)
	退院時服薬指導目標件数(算定)/年 いづろ今村病院 1,140(600) 今村総合病院 5,700(5,500) 谷山病院 100(30) 奄美病院 35 徳之島病院 25(20)	退院時服薬指導件数(算定)/年:実績 いづろ今村病院 1,092(478) 今村総合病院 6,243(6,243) 谷山病院 57(19) 奄美病院 2 徳之島病院 17(15)		退院時服薬指導目標件数(算定)/年 いづろ今村病院 1,140(600) 今村総合病院 6,000(5,500) 谷山病院 100(30) 奄美病院 30 徳之島病院 25(20)
	(6)向精神薬調整連携加算件数増加: ・年間46件。谷山病院《14件》奄美病院《2件》徳之島病院《30件》	(6)向精神薬調整連携加算件数増加: ・年間18件。谷山病院《2件》奄美病院《0件》徳之島病院《10件》	(6)向精神薬調整連携加算件数増加: ・年間18件。谷山病院《2件》奄美病院《0件》徳之島病院《10件》 目標未達	(6)向精神薬調整連携加算件数増加: ・年間44件。谷山病院《12件》奄美病院《2件》徳之島病院《30件》 増加継続
	(7)薬剤総合評価調整加算件数増加: ・年間29件: いづろ今村病院《5件》奄美病院《2件》	(7)薬剤総合評価調整加算件数増加: ・年間4件: いづろ今村病院《1件》総合病院《3件》奄美病院《0件》	(7)薬剤総合評価調整加算件数増加: ・年間4件: いづろ今村病院《1件》総合病院《3件》奄美病院《0件》 目標未達	(7)薬剤総合評価調整加算件数増加: ・年間44件: いづろ今村病院《5件》総合病院《60件》奄美病院《2件》 継続
	(8)その他 ①薬局長Web会議での情報共有化⇒毎月: 第3水曜日【人事交流】【IT化・機械化・DX】【診療報酬】【地域貢献】の共有化。 効率化・生産性向上のため取組項目 《いづろ今村病院》薬剤部の移動、外来再編成、電子カルテ更新による医療DXの推進により、業務改善、効率化を行っていく。 《今村総合病院》働き方改革に伴い、薬剤助手へのタスクシフトを拡大する。 ・電子カルテ入れ替えに伴い、 ①注射部門システムを導入し業務効率化を図る。 ②抗がん薬調製自動監査システムを導入し、監査のIT化を図る。 《谷山病院》発注管理システム入れ替えに対応し、適正在庫や購入金額分析等コスト削減を目指す。 《奄美病院》常勤職員の確保。業務の見直し・効率化を図り、薬剤管理指導件数を増やす。 《徳之島病院》発注管理システム入替に伴う業務見直し、出力データ変更に伴う各種システムの修正対応。	(8)その他 ①薬局長WEB会議での情報共有化⇒毎月: 第3水曜日【人事交流】【IT化・機械化・DX】【診療報酬】【地域貢献】の共有化。 《いづろ今村》来年度より薬剤師が1名増となり、以前と同じ薬剤師数を確保できる見込みである。新人を迎えるにあたり、業務手順書の見直し、抗がん薬調製(閉鎖式接続器具)の見直しに着手した。 《今村総合》薬剤管理指導算定前年度比110%、病棟薬剤業務加算前年度比103%。人員は変わらず売り上げは増であった。 《谷山》患者アンケート調査では待ち時間は軽減したがまだ長いという評価あり、MDM処方履歴照会システムを活用し、安全かつ短時間に調剤できるよう努めていく。薬剤師人数減の影響で薬剤管理指導は大幅に減少したが外来での点数が増加したため一人当たりの技術料は昨年より増加できた。 《奄美》調剤・監査業務の効率化は進んでいるものの人員不足に加え、処方代行入力等の業務も増えたため、薬剤管理指導の時間を確保することはできなかった。来年度に向けて業務の見直しや役割分担を再検討していく必要がある。向精神薬多剤減算に関しては、薬剤調整について提案することで、多剤併用が減少し、昨年度に比べ減算額が4割減少した。医薬品費の抑制や後発品使用促進に関しても昨年度の実績を上回ることができた。	(8)その他 ①薬局長Web「会議での情報共有化⇒毎月: 第3水曜日【人事交流】【IT化・機械化・DX】【診療報酬】【地域貢献】の共有化: 目標達成 《いづろ今村》来年度より薬剤師が1名増となり、以前と同じ薬剤師数を確保できる見込みである。新人を迎えるにあたり、業務手順書の見直し、抗がん薬調製(閉鎖式接続器具)の見直しに着手した: 目標達成 《今村総合》薬剤管理指導算定前年度比110%、病棟薬剤業務加算前年度比103%。人員は変わらず売り上げは増であった: 目標達成 《谷山》患者アンケート調査では待ち時間は軽減したがまだ長いという評価あり、MDM処方履歴照会システムを活用し、安全かつ短時間に調剤できるよう努めていく。薬剤師人数減の影響で薬剤管理指導は大幅に減少したが外来での点数が増加したため一人当たりの技術料は昨年より増加できた: 目標達成 《奄美》調剤・監査業務の効率化は進んでいるものの人員不足に加え、処方代行入力等の業務も増えたため、薬剤管理指導の時間を確保することはできなかった。来年度に向けて業務の見直しや役割分担を再検討していく必要がある。向精神薬多剤減算に関しては、薬剤調整について提案することで、多剤併用が減少し、昨年度に比べ減算額が4割減少した。医薬品費の抑制や後発品使用促進に関しても昨年度の実績を上回ることができた: 目標達成	(8)その他 ①薬局長Web会議での情報共有化⇒毎月: 第3水曜日【人事交流】【IT化・機械化・DX】【診療報酬】【地域貢献】の共有化(継続) 《いづろ今村》電子カルテ更新を契機として医療DXを推進し、業務プロセスの見直しおよび標準化を行うことで、業務効率の向上と医療安全の強化を図る(継続) 《今村総合》 ①2026年度診療報酬改定における病棟薬剤業務加算1を新規取得し継続する(新規) ②注射調剤・製剤業務のDX化(2027年度にかけて2カ年計画)。 《谷山》電子カルテ入れ替えに伴う業務改善や効率化を行っていく。早期診療体制充実加算などを通して薬剤師の職能を発揮し、患者への質の高い医療の提供に努める(新規) 《奄美》人員不足における問題点を解消するために、調剤監査業務における業務分担や業務フローの見直しを図る。また、薬剤師と薬剤助手のタスクシェアを推進させるために、調剤システムの見直しやマニュアル等の作成を行い、人員不足においても薬剤業務が円滑に進むような体制を整える(継続)

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画(Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
薬剤業務の効率化・生産性向上	《徳之島》入院患者の臨時処方切れの対策として、病棟控えに臨時処方の終了日が大きく印字されるようにした。 ・向精神薬多剤減算(前年度平均金額ベースの15%減確保を目指す) 2024年度後発品割合(品目数)目標: いづろ今村病院 85% (340) 今村総合病院 88-90% (490) 谷山病院 90.9% (300) 奄美病院 90% (280) 徳之島病院 85% 2025年度後発品割合(品目数)目標: いづろ今村病院 90% (350) 今村総合病院 90%以上 (500) 谷山病院 90% (340) 奄美病院 85% (240) 徳之島病院 85% 2025年度向精神薬多剤投与減算改善目標: 谷山病院 85% 奄美病院 85% 徳之島病院 85%	《徳之島》入院患者の臨時処方切れの対策として、病棟控えに臨時処方の終了日が大きく印字されるようにした。 ・向精神薬多剤減算(前年度平均金額ベースの15%減確保を目指す) 2025年度後発品割合(品目数)実績: いづろ今村病院 94.7% (372) 今村総合病院 92.0% (407) 谷山病院 92.8% (326) 奄美病院 85% (249) 徳之島病院 84% 2025年度向精神薬多剤投与減算改善目標: 谷山病院 127% 奄美病院 80% 徳之島病院 108%	《徳之島》入院患者の臨時処方切れの対策として、病棟控えに臨時処方の終了日が大きく印字されるようにした: 目標達成 ・向精神薬多剤減算(前年度平均金額ベースの15%減確保を目指す) 2025年度後発品割合(品目数)実績: いづろ今村病院 94.7% (372) 今村総合病院 92.0% (407) 谷山病院 92.8% (326) 奄美病院 85% (249) 徳之島病院 84% 2025年度向精神薬多剤投与減算改善目標: 谷山病院 127% 奄美病院 80% 徳之島病院 108%	《徳之島》薬剤助手業務のローテーションによる効率化・生産性向上(継続) 1、業務継続性の強化 2、引継ぎを通じた業務の標準化 3、マニュアルの継続的な最適化 4、スタッフのスキルアップと組織力向上 ・向精神薬多剤減算(R前年度平均金額ベースの15%減確保を目指す) 2026年度後発品割合(品目数)実績: いづろ今村病院 90% (350) 今村総合病院 90%以上 (500) 谷山病院 90% (340) 奄美病院 85% (240) 徳之島病院 85% 2026年度向精神薬多剤投与減算改善目標: 谷山病院 85% 奄美病院 85% 徳之島病院 90%
	人材育成関連項目 《いづろ今村病院》 ・薬剤部スタッフのデジタルリテラシー向上に取り組む。 ・「医療情報のプロフェッショナル」である医療情報技師の育成を行いデータの利活用を行う。 ・病院薬学認定薬剤師の新規取得・症例検討会の実施。 《今村総合病院》 ・2025年4月にラダー認定制度の改訂を行う。研修については役職者の薬剤師が講師を務め、5病院横断的に実施する。 《谷山病院》 ・ラダーに沿った教育と病院薬学認定薬剤師の取得支援によるジェネラリストの育成 《奄美病院》 ・研修認定薬剤師、精神薬学会認定薬剤師の取得・症例検討会の定期的な開催。 ・薬剤部合同研修会や学会への参加、発表 《徳之島病院》 ・DXで導入されるシステム・技術について、薬局内で説明会を実施し、ITに関する苦手意識を少しでも軽減できるようにする。 ・薬剤師が使用するシステムであっても、薬剤助手にもシステムの利用方法を習得してもらい、ITが苦手な薬剤師を補助できる環境を整える。	《いづろ今村》全自動錠剤分包機の導入当初は不具合などもあり、操作に手間取ることがあった。操作に慣れたこと、機械も馴染んできたところもあり、現在は順調に使用できるようになってきた。 《今村総合》電子カルテ導入が遅れているが、部門システムの整備はかなり進んでいる。注射部門の導入→化学療法調製の自動監査、注射調剤のバーコード監査システム導入など、来年度に向けた土台作りができています。 《谷山》発注管理システムが新しくなり1年が経過した。棚卸等は以前よりスムーズに行えるようになり時間も短縮できている。不動産在庫の返品期限や経過措置品目等も管理できるようになったため次年度も引き続き廃棄薬品を減らすよう管理していく。 《奄美》システムエラーが起きた時のための手順を見直し検討しておくことで、度々起こったシステムエラーに対応して調剤することができた。代行処方入力や病棟との情報共有についてはシステム化を進めていく必要があり今後の課題として考えていく必要がある。発注システムや薬剤補充に関してはシステムの内容を部署内で共有し、効率化を進めることができた。人材育成に関しては、定期的な勉強会の開催を行うことはできたが、症例検討会が少なかった。	《いづろ今村》全自動錠剤分包機の導入当初は不具合などもあり、操作に手間取ることがあった。操作に慣れたこと、機械も馴染んできたところもあり、現在は順調に使用できるようになってきた: 達成 《今村総合》電子カルテ導入が遅れているが、部門システムの整備はかなり進んでいる。注射部門の導入→化学療法調製の自動監査、注射調剤のバーコード監査システム導入など、来年度に向けた土台作りができています。達成 《谷山》発注管理システムが新しくなり1年が経過した。棚卸等は以前よりスムーズに行えるようになり時間も短縮できている。不動産在庫の返品期限や経過措置品目等も管理できるようになったため次年度も引き続き廃棄薬品を減らすよう管理していく: 一部達成 《奄美》システムエラーが起きた時のための手順を見直し検討しておくことで、度々起こったシステムエラーに対応して調剤することができた。代行処方入力や病棟との情報共有についてはシステム化を進めていく必要があり今後の課題として考えていく必要がある。発注システムや薬剤補充に関してはシステムの内容を部署内で共有し、効率化を進めることができた。人材育成に関しては、定期的な勉強会の開催を行うことはできたが、症例検討会が少なかった: 一部達成	人材育成関連項目(計画)継続 《いづろ今村》感染制御認定薬剤師および病院薬学認定薬剤師の育成、資格維持に向けた支援を行う。 《今村総合》チーム制の充実化(チーム内での学会発表や認定取得など) 《谷山》ラダーにそった人材育成と合格を目指し、部内でフォローする。症例検討会の12回/年実施や院内勉強会開催を通じて各自のレベルアップにつなげる。慈愛会学術集会等で発表を行う。 《奄美》まずは部署内、院内での症例検討会や勉強会を充実させることにより、院外発表に繋げていく。また、院外の研修会等にも積極的に参加できる時間を作り、単位等を取得することにより、資格取得に繋げていく体制を整える。 《徳之島》 ・薬剤師研修センター認定薬剤師の継続(2名) ・医療情報技師の継続(1名) ・情報処理安全確保支援士の継続(1名)
	DX関連項目 《いづろ今村病院》 ・電子カルテシステムの更新による、医療DX推進により業務効率化を図る(注射部門システム、抗がん薬調製監査システムの導入)。 ・データの利活用時、EXCELのマクロ機能などを使用して、業務効率化を図る。 ・「調剤済麻薬廃棄届」(麻薬廃棄時に作成し県業務課へ提出)を電子申請へ変更する。	《徳之島》請求書の照合業務の薬剤助手への引継ぎについてフォローを実施し、引き継ぎを完了した。来年度は薬剤助手から他の薬剤助手への引き継ぎを実施し、誰でも業務が実施できる体制を整える予定	《徳之島》請求書の照合業務の薬剤助手への引継ぎについてフォローを実施し、引き継ぎを完了した。来年度は薬剤助手から他の薬剤助手への引継ぎを実施し、誰でも業務が実施できる体制を整える予定: 一部達成	DX関連項目(計画) 継続 《いづろ今村》電子カルテ更新に向け、円滑な移行および稼働後の業務効率向上を見据えた準備を行う。 《今村総合》注射調剤・製剤業務のDX化(部門システムの導入・抗がん剤混注自動監査システムの導入) 《谷山》MDM監査処方履歴照会システムを活用した調剤の効率化。発注管理システムShepherdによるコスト管理。電子カルテ入れ替えによる業務改善等を目指す。

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画(Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
薬剤業務の効率化・生産性向上	<今村総合病院> ・電子カルテ入れ替えに伴い、①注射部門システムを導入し業務効率化を図る。②抗がん薬調製自動監査システムを導入し、監査のIT化を図る。 <谷山病院> ・早期診療体制充実加算取得、錠剤全自動監査システム、発注システム更新による医療の質向上と効率化 <奄美病院> ・院内医薬品集を紙媒体から電子媒体(各部署からアクセス可能)へ。オーダーリングシステムの薬剤検索機能も活用できるようマスタを整備。 ・向精神薬多剤減算について、オーダーリングシステムの機能(警告機能)を活用し処方段階で医師へ情報提供、注意喚起。 ・禁忌薬剤(併用禁忌、糖尿病患者禁忌etc)について、オーダーリングシステムの機能を活用しオーダーできないようにしたが、疑義照会(電話)するほどでは無いが医師へ伝えておきたい内容について、オーダーリングシステムの付箋機能を活用。 <徳之島病院> ・DXで導入されるシステムを活用し、業務負担の軽減を図る。			《奄美》電子カルテ導入に向けて、現システムで薬剤業務上で便利な点と困っている点を抽出していき、電子カルテ導入後どのように改善していくか検討していく。また、調剤システムに不具合が起きた時の対応策についても見直しを行い、システムエラーが起きた場合でも業務不全に陥らないような体制を整える。 《徳之島》・電子カルテ導入に伴う業務フローの改善 ・2027年度以降の補助金で申請できそうな機器の選定

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 薬局長会議の開催 (適宜第3水曜日にWEB会議を開催)

《主な協議・確認事項》

- ・人事配置について
- ・業務計画及び進捗状況の確認について
- ・レセプト集計、実績資料について
- ・新規後発医薬品の安定供給について
- ・各病院の薬剤師充実について
- ・電子カルテの対応・準備について
- ・薬剤部合同研修会について
- ・医療DXについて

2. 薬薬連携交流会の開催

第11回 慈愛会薬薬連携交流会

- ・2026年2月6日 (金) 19:00～
- ・鹿児島県医師会館
- ・開催担当：いづろ今村病院
- ・参加者：現地49名、Zoom40名

【Opening remarks】

慈愛会 今村英仁理事長

【基調講演】

座長：松本調剤薬局 管理薬剤師 南英樹先生

『在宅緩和ケアにおける調剤薬局としての取り組み』

演者：ゆうゆう薬局荒田店在宅専門室 室長 諸岡慎也先生

『未来の薬局 ～ Beyond Pharmacy ～』

演者：白男川薬局グループ南エリアサブマネージャー スター調剤薬局上福元店 鎌田貴志 先生

【特別講演】

座長：いづろ今村病院 薬局長 松山淳史

『緩和ケア内科における疼痛治療』

演者：いづろ今村病院 緩和ケア内科 松下格司主任部長

合同研修会

「第15回 薬剤部合同研修会」

- ・2025年11月22日 (土) 15:00～
- ・今村総合病院4階大会議室
- ・総合司会：東屋敷史織
- ・開会挨拶：慈愛会薬剤部長 吉永浩之
- ・挨拶 慈愛会 今村英仁理事長 (録画)
- ・第1部

座長：徳之島病院 薬局長 東横徹

講演：「薬剤自動払い出し装置導入による働き方改革と安全性向上への検討」

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

松本拓也先生

・第2部

1. 研修発表会（各演題、発表8分、質疑応答4分）

座長：今村総合病院 野元優基

①精神科における悪性症候群を経験して

谷山病院 永井未仁

②回復期リハビリテーション病棟における病棟薬剤業務

今村総合病院 西川月

③フィネレノン錠の使用実績と有効性についての検討

いづろ今村病院 東條知子

④精神科認定薬剤師によるBPSD発症患者へ対する

薬学的介入効果

今村総合病院 志氣成

座長：今村総合病院 堀口大輔

⑤奄美病院研修報告

今村総合病院 尾崎実可子

⑥在宅緩和ケアにおける調剤薬局としての取り組み

ゆうゆう薬局在宅専門室 室長 諸岡慎也先生

<教育講演 Zoom参加>

⑦冷所保存医薬品における温度管理パッケージ導入の有用性

いづろ今村病院 松山淳史

⑧早期診療体制充実加算への取り組みについて

谷山病院 青崎春菜

⑨徳之島病院における生成AIの利用ルール策定の取り組み

徳之島病院 東愼徹

2. 総括

・閉会挨拶 奄美病院 染川考佑

・懇親会 ホテルウエルビュー鹿児島

・ジェネラリスト薬剤師として日病薬病院薬学認定薬剤師の単位取得を推進

2. 薬学生実務実習受け入れ：7名

・今村総合病院：4名（福岡大1名、長崎国際大2名、国際医療福祉大1名）

・いづろ今村病院：3名（福岡大1名、崇城大2名）

3. 薬学部見学生受け入れ：12名（福岡大3名、熊本大2名、崇城大2名、第一薬科大2名、広島大1名、近畿大1名、国際医療福祉大1名）

4. 資格取得状況（新規）

・日本病院薬剤師会薬学認定薬剤師（今村総合病院2名、いづろ今村病院1名、谷山病院2名）

・周術期認定薬剤師（今村総合病院：2名）

5. 症例検討会・勉強会

・各病院において、症例に基づく人材育成、情報共有・勉強会による医薬品情報収集

いづろ今村病院：症例検討 5症例・勉強会 8回

今村総合病院：症例検討 48症例・勉強会47回

谷山病院：症例検討 14症例・勉強会 12回（医局合同）

奄美病院：症例検討 6症例・勉強会 3回

徳之島病院：症例検討 3症例・勉強会0回

6. 地域・企業にて研修会・セミナー

今村総合病院：6回

谷山病院：1回

奄美病院：3回

7. 研修施設認定

・日本臨床腫瘍薬学会：がん診療病院連携研修病院（今村総合病院）

・日本病院薬剤師会：がん薬物療法認定薬剤師研修施設（今村総合病院）

・日本医療薬学会：がん専門薬剤師研修施設（今村総合病院）

技能・能力向上に向けた取り組み

1. 人材育成、指導等の取り組み

・各病院において、薬剤部クリニカルラダーに基づく人材育成

ラダー認定：12名

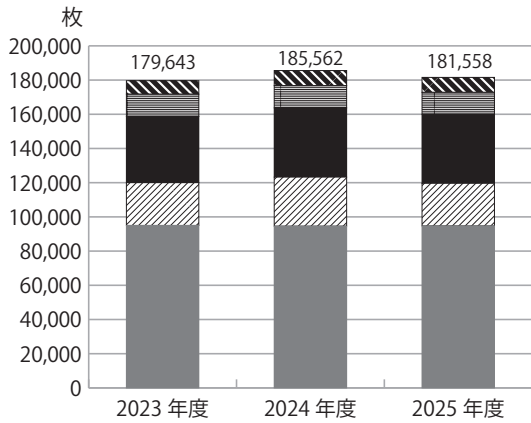
【レベルⅤ・Ⅳ：6名 レベルⅣ・Ⅲ：8名 レベルⅢ・Ⅱ：4名 レベルⅡ・Ⅰ：3名】

2025年度末在籍有資格者

今村総合病院	がん専門薬剤師	1	いづろ今村病院	がん薬物療法認定薬剤師	1
	外来がん治療認定薬剤師	2		日本糖尿病療養指導士	4
	感染制御認定薬剤師	2		公認スポーツファーマシスト	1
	NST専門薬剤師	4		NST専門療法士	1
	インфекションコントロール ドクター（ICD）	1		日病薬病院薬学認定薬剤師	5
	公認スポーツファーマシスト	2		認定実務実習指導薬剤師	3
	実務実習指導薬剤師	2		日薬研修センター研修認定薬剤師	3
	日病薬病院薬学認定薬剤師	21	谷山病院	精神科薬物療法認定薬剤師	1
	精神科薬物療法認定薬剤師	2		糖尿病薬物療法履修薬剤師	1
	日薬研修センター研修認定薬剤師	2		日本糖尿病療養指導士	2
	医療薬学専門薬剤師	1		日病薬病院薬学認定薬剤師	4
	周術期管理チーム認定薬剤師	2		実務実習指導薬剤師	2
	日薬研修センター認定薬剤師	1		日薬研修センター認定薬剤師	1
奄美病院	精神科薬物療法認定薬剤師	1	徳之島 病院	日薬研修センター認定薬剤師	2
	日病薬病院薬学認定薬剤師	1		医療情報技師	1

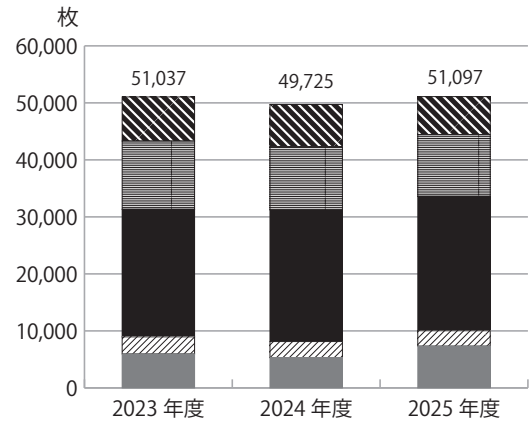
各種指標

入院（内服・外用）処方箋枚数



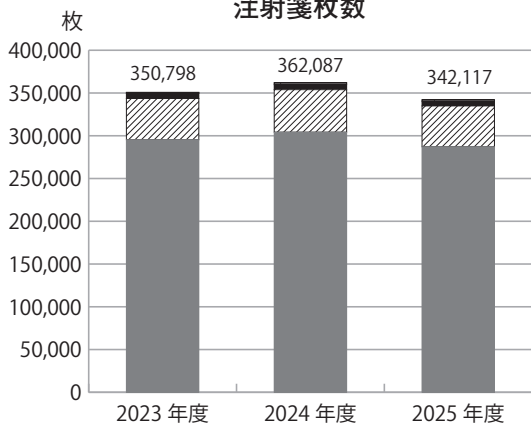
	2023年度	2024年度	2025年度
■ 今村総合病院	94,990	94,583	94,722
▨ いづろ今村病院	25,020	28,679	24,896
■ 谷山病院	38,752	40,475	40,380
■ 奄美病院	12,968	13,046	12,813
▨ 徳之島病院	7,913	8,779	8,747
慈愛会合計	179,643	185,562	181,558

外来（内服・外用）処方箋枚数



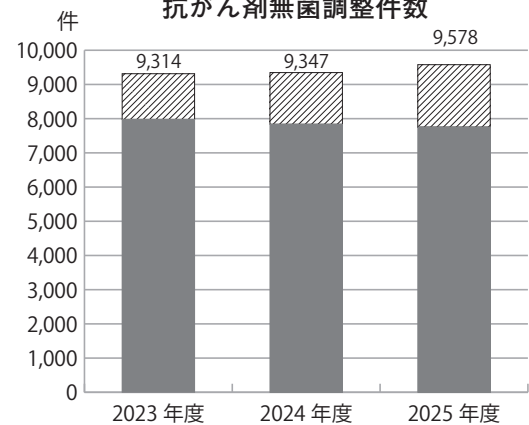
	2023年度	2024年度	2025年度
■ 今村総合病院	5,957	5,292	7,330
▨ いづろ今村病院	2,998	2,837	2,695
■ 谷山病院	22,367	23,082	23,588
■ 奄美病院	11,983	11,127	10,821
▨ 徳之島病院	7,732	7,387	6,663
慈愛会合計	51,037	49,725	51,097

注射箋枚数



	2023年度	2024年度	2025年度
■ 今村総合病院	295,351	304,192	287,130
▨ いづろ今村病院	48,212	49,717	47,775
■ 谷山病院	5,875	5,896	5,032
■ 奄美病院	1,116	1,802	1,712
▨ 徳之島病院	244	480	468
慈愛会合計	350,798	362,087	342,117

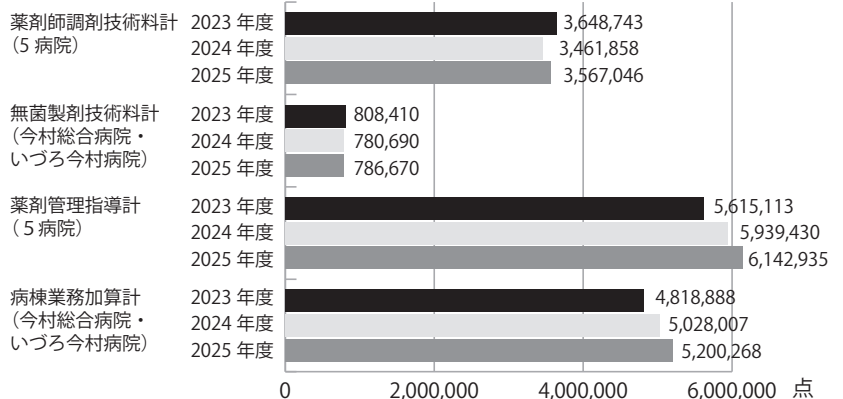
抗がん剤無菌調整件数



	2023年度	2024年度	2025年度
■ 今村総合病院	7,979	7,836	7,754
▨ いづろ今村病院	1,335	1,511	1,824
慈愛会合計	9,314	9,347	9,578

診療報酬項目別点数

	2023年度	2024年度	2025年度
薬剤師調剤技術料計 (5病院)	3,648,743	3,461,858	3,567,046
無菌製剤技術料計 (今村総合病院・いづろ今村病院)	808,410	780,690	786,670
薬剤管理指導計 (5病院)	5,615,113	5,939,430	6,142,935
病棟業務加算計 (今村総合病院・いづろ今村病院)	4,818,888	5,028,007	5,200,268



業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

<国内>

1. 志氣成, 横山里穂, 厚地絵理, 前田冬海, 橋本直美, 鬼丸俊司: 精神科認定薬剤師による BPSD 発症患者へ対する薬学的介入効果. 第 84 回九州山口薬学大会, 2025 年 9 月 14-15 日, 佐賀 (Web)
2. 野元優基, 國師奈緒美, 木場綾乃, 鬼丸俊司: ICT 担当薬剤師による周術期クリニカルパスの見直しと抗菌薬適正使用への介入効果. 第 84 回九州山口薬学大会, 2025 年 9 月 14-15 日, 佐賀 (Web)
3. 橋本直美, 堀口大輔, 高田大貴, 森田咲季, 鬼丸俊司: 当院におけるゾルベツキシマブ投与症例に対する薬剤師の介入. 第 35 回日本医療薬学会年会, 2025 年 11 月 22-24 日, 神戸 (Web)
4. 鬼丸俊司, 七枝美香, 山崎良子, 國師奈緒美, 森田咲季, 東牧里奈, 下永春紫, 末川由佳, 浜崎彩, 徳永雅仁, 上之園芳一: ICU 早期栄養管理加算における多職種協働と薬剤師の関わり. 第 20 回鹿児島 NST 研究会, 2026 年 2 月 21 日, 鹿児島 (Web)
5. 橋本直美, 堀口大輔, 高田大貴, 鬼丸俊司: BiTE 抗体による CRS 管理に対する薬剤師の取り組み-多職種連携によるクリニカルパス運用の有用性-. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2026 (第 15 回), 2026 年 3 月 7-8 日, 福岡 (Web)

<国内><共同発表>

1. 田中万祐子, 池田優生, 小田原淳, 伊藤能清, 鬼丸俊司, 坂崎友香, 近藤悠希, 三輪徹, 竹田大樹, 折田頼尚, 竹尾透, 山田侑世, 池田龍二, 入江徹美, 宇都宮興, 石塚洋一: レテルモビル注射剤に含有されている添加剤 2-hydroxypropyl- β -cyclodextrin の聴覚毒性に関する検討. 第 78 回日本薬理学会西南部会, 2025 年 11 月 8 日, 宮崎 (Web)

いづろ今村病院

<国内>

1. 松山淳史, 田原七海, 遠矢素子, 古澤夕紀子, 東屋敷史織, 東條知子, 内山ゆかり, 神門孝典, 吉永浩之: 冷所保存医薬品における温度管理システム導入の有用性. 第 84 回九州山口薬学大会, 2025 年 9 月 14-15 日, 佐賀

谷山病院

<国内>

1. 青崎春菜, 新村味穂子, 長曾我部翔, 永井未仁, 新留亜希子, 四本晶子, 神門孝典: 早期診療体制充実加算に対する薬剤師の取り組み. 第 9 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2026 年 1 月 25 日, 鹿児島

奄美病院

<国内>

1. 染川考佑, 中得聡, 佐多卓也, 四本晶子, 新留亜希子, 永井未仁, 長曾我部翔, 青崎春奈, 新村味穂子, 神門孝典, 吉永浩之: LAI (持続性抗精神病注射薬剤) 導入に関する取り組み. 第 84 回九州山口薬学大会, 2025 年 9 月 14-15 日, 佐賀

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 橋本直美：血液内科病棟薬剤師の役割とチームによる治療成績について．第一三共社員研修，2025年9月25日，鹿児島（Web）
2. 東牧里奈：今村総合病院における周術期薬剤管理業務．テルモ株式会社社員研修，2025年10月28日，鹿児島（Web）
3. 志氣成：統合失調症の薬物療法について．第277回CNS倶楽部，2025年11月4日，鹿児島（Web）
4. 堀口大輔：がんのお話．鹿児島県令和7年度外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業（桜丘東小学校），2025年11月11日，鹿児島
5. 橋本直美：がんのお話．鹿児島県令和7年度外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業（山下小学校），2025年12月12日，鹿児島
6. 山崎良子，志氣成：慢性腎臓病（CKD）と薬の正しい付き合い方．今村総合病院第6回腎臓病教室，2026年2月21日，鹿児島

谷山病院

1. 神門孝典：医療安全について．第47回鹿児島県病院薬剤師会新任薬剤師研修会，2025年8月17日，鹿児島

奄美病院

1. 染川考佑：当院における精神科薬物療法の現状と課題．第163回CNS倶楽部 講演2（Meiji Seika ファルマ），2025年4月9日，奄美（Web）
2. 染川考佑：当院におけるラツータの使用状況について．ラツータ5周年記念講演会（住友ファーマ），2025年10月31日，奄美（Web）
3. 染川考佑：当院におけるLAI導入に関する取り組み．Otsuka DPA Web Seminar ～LAI製剤の有効活用を考える～，2026年3月19日，奄美（Web）

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

画像診断／放射線治療部門

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～ 2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
放射線治療部門・安定稼働の継続	(1)安定稼働 - 照射件数4,000件/年を目標 - 外照射件数の共有（トモセラピー、ガンマナイフ） - 小線源治療件数の共有 - 各品質管理の徹底 (2)専門性の向上 - 学会、研究会発表、研修、認定取得 - ガンマナイフの外部アピール	トモセラピー 223症例を実施（前年度比110.4%）照射件数3,348件（前年度比116.2%） 密封小線源治療 件数27件（前年度比90.0%）使用線源1,897本（前年度比102.6%） ガンマナイフ 算定286症例照射件数1,395件 体外照射件数合計4,743件（前年度比158.4%） ガンマナイフローテーター育成：1名 放射線治療品質管理室活動としての品質管理、医学物理士指導の下QA施行 放射線治療品質管理士取得：1名 2025年度鹿児島県診療放射線技師会春季学術大会発表：1名（ガンマナイフ） 特定放射性同位元素防護管理者定期講習受講：1名 九州山口トモセラピーユーザーズフォーラム座長：1名	体外照射件数が4,743件達成率118.6%と目標を上回ることができた。 トモセラピー 症例数、照射件数ともに前年度を上回ることができた。 密封小線源治療 件数は前年度を下回ったが、使用線源は増加した。 ガンマナイフ 専従3名以外にローテーターを1名育成、スルーブットを向上することができた。 原子力規制庁立入検査（防護規定、予防規定の計2回）へ対応することができた 事故無く安定稼働することができた スタッフ1名放射線治療品質管理士を取得することができた ガンマナイフの発表を行うことができた、また必須講習会を1名受講することができた トモセラピーのQAを毎月行うことで、質を担保することができた。	引き続きQA、点検等を徹底し、安定稼働と質の高い放射線治療の提供を行っていく。 照射件数症例数を維持していくためにも、安定稼働に努め、ローテーター育成を継続的に行っていく。 ガンマナイフ・小線源治療・トモセラピーの治療法、認定施設をアピールしていき、施設連携等の強化を推進し更なる地域医療への貢献を目指す。 積極的な各学会、研究会等への発表・参加による技術・知識レベルの向上 診療報酬改定への柔軟な対応 内療法への準備
	(1)機器の安定稼働 - モダリティ件数の共有（昨年度件数を維持・増加）点検状況の共有 - 一般撮影系 ・CT ・MRI ・透視 ・Angio ・R I ・腹部超音波 ・乳腺撮影 モダリティ点検状況 (2)地域連携強化 ①他医療機関からの検査紹介増加 目標600件/年 C@RNAコネクットの登録施設数の共有 ②技師による施設訪問の継続 目標15施設/年	【今村総合病院】 46,794件（前年度比104.3%） 【いづろ今村病院】 12,713件（前年度比109.0%） 【全体】 59,507件（前年度比105.3%） 【今村総合病院】 17,317件（前年度比105.4%） 【いづろ今村病院】 2,960件（前年度比93.6%） 【全体】 20,277件（前年度比103.5%） 【今村総合病院】 7,463件（前年度比104.8%） 【いづろ今村病院】 868件（前年度比88.9%） 【全体】 8,331件（前年度比102.9%） 【いづろ今村病院】 1,147件（前年度比89.3%） 【今村総合病院】 275件（前年度比80.2%） 【今村総合病院】 260件（前年度比107.9%） 【いづろ今村病院】 8,127件（前年度比103.1%） 【いづろ今村病院】 2,513件（前年度比105.9%） 【今村総合病院】 13種28台のモダリティ計画通りに定期点検施行 【いづろ今村病院】 8種13台のモダリティを計画通りに定期点検施行 他施設からの検査紹介 614件（前年度比99.5%） うちカルナコネク使用の紹介 406件/年（前年度比114.0%） 登録施設 22件 訪問施設 7施設	【今村総合病院】 Angio件数が前年度を下回ったが、他のモダリティは前年度を上回ることができた。 CTと核医学検査においては5%以上増加であった。 MRIへAIを搭載することで、検査時間短縮、高画質化を図ることができた。 緊急等へ柔軟に対応できた。 【いづろ今村病院】 検診に関わる検査（胸部XP、マンモグラフィ、腹部超音波）は増加となった。 CT、MRIに関しては減少となった。ただし院外からの紹介検査は前年度より増加した。 技師の乳腺エコーへの対応取り組みを行うことができた。 【全体】 計画的に保守点検やバージョンアップをすることができ、比較的安定稼働をすることができた。 両院の相互サポート体制にて、大きなトラブルが発生することなく、運営することができた。 計画的に点検を行うことで、予測できる故障等の発生を減少させることができた。 大きなダウンタイムの生じるトラブルも無かった。 医療監視へも対応 検査件数は前年度とほぼ同等であった。 カルナコネク使用は前年度より14%増加した。 いづろにおいて外部からのMRI撮像受入（スマート脳ドック）を開始、外部婦人科の骨密度治療を開始 施設訪問件数が前年度を下回り、登録施設が増えなかった。 いづろ健康・介護まつり、かもいけ健康まつりにて骨密度測定を行った。 鹿児島市健康まつりへスタッフ3名、県原子力災害訓練へスタッフ1名	【今村総合病院】 引き続き医療安全に留意し、効率化・改善を行い件数増加を目指す。 また透視下気管支内視鏡検査の増加、内容療法開始へ対応していくために、情報共有、教育育成を行っていく。 【いづろ今村病院】 CT・MRIに関しては、院内医師への検査オーダーの呼びかけ、MRIにおいて新たな分野の撮影への取り組み、訪問等を通じての院外施設からの更なる紹介数増加を目指す。 検診の検査に関しても精度向上に努める。 【全体】 機器の管理を徹底し、パフォーマンスを維持し件数増加を目指す。 引き続き被ばく低減を行い、最良の画像情報の提供を心掛ける。 放射線機器管理士を中心に、計画的な保守点検の継続、精度管理 始業点検、終業点検の記録方法の検討 管理状況の一元化への取り組み 引き続き放射線科医と協力しクリニック等への訪問を多く行い、カルナコネク導入施設増加させ、検査紹介増加・満足度向上へ繋げる。 積極的な情報発信

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
人材育成	(1) 技師連携強化 ・ 部署内、全体の研修、一体化会議の開催 ・ モダリティ、組織横断的なジェネラリスト育成 (2) スペシャリストの育成 ・ 認定・資格取得、リーダー教育〔慈愛会、日本診療放射線技師会(JART)〕 ・ 学会・研究会発表、研修受講 (3) 多職種連携 ・ タスクシフト、タスクシェアの推進と実施 (4) 医療DX関連 ・ 法人全体でDXおよびDX人材の育成を推進する	5/24第19回慈愛会画像診断部合同研修会 (43名：熊本放射線外科2名発表) 症例検討の実施一体化会議/月の開催 いづろ今村病院技師による、今村総合病院、谷山病院への助勤継続 今村総合病院技師による、いづろ今村病院欠員時の助勤 取得・更新 X線CT認定技師更新1名、肺がんCT検診認定技師更新1名、取得1名 放射線機器管理士更新1名、臨床実習指導教員更新2名 学会・研究会発表 慈愛会学会：3題 県外：5題 県内：8題 慈愛会合同研修会：4題 受賞：優秀演題賞、学術奨励賞、フレッシュアワード 講師 県外：6 県内：28 研修・講習会 「MRI安全運用に関する研修会」「MRI造影剤に関する研修会」：2名 多職種合同ラダーレベル研修：3名、フレッシュアワードセミナー：1名 放射線被ばく相談員講習会：1名、多職種合同キャリア開発推進委員研修：3名 初期キャリア支援研修：3名、ミドルマネジメント研修：4名 管理者任用候補者研修：3名、リーダー研修会：7名 ルテチウムビビボドテトラキセタン (Lu-177) 注射液を用いた核医学治療の安全取扱講習会：1名、鹿児島さくらRT研修会：10名 実習生、技師研修の受入教育 ワクチン筋注の実技講習会修了者：いづろ4名 総合6名 静脈路確保、ネラトン挿入、アイソトープ注入の継続 STAT画像報告のトライアル開始 MRIへのAI導入 鹿児島AI研究会への参加	毎月の一体化会議にて情報を共有/支援対応の継続 相互サポート体制の強化、横断的な支援体制 前年度と同様に慈愛会画像診断部合同研修会へ外部（県外）施設参加による他施設との交流を行うことができた（熊本放射線外科） キャリア開発ラダーレベル取得 レベルⅠ：1名、レベルⅡ：2名、レベルⅢ：1名、レベルⅣ：4名、レベルⅤ：0名 マネジメントラダーの作成、認定資格の取得、更新することができ、県内外での学会研究会で発表することができた。 鹿児島医療技術専門学校の臨床実習生延べ15名受け入れ（いづろ今村5名、今村総合10名） 白石病院検査技師研修受入（いづろ）、まきお内科整形外科技師研修受入（いづろ） 川内市医師会市民病院技師研修受入（いづろ、総合） 相互サポートを行いながら、各資格取得・更新をはじめ、各学会研究会にて発表受賞することができた。 また研修会、講習会へ参加することができた。 ワクチン筋注実技講習会を10名修了することができた。 静脈路確保（いづろ）、アイソトープ注入（総合）を継続することができた。 多職種連携会議等を通じ、業務の見直し改善を行い、対応することができた。 全国病院経営管理学会診療放射線業務専門部会報告会にて全国的な放射線部門におけるAI/DXの現状を知ることができた。	引き続き情報共有を密に行い、施設間の技師レベルでの連携強化を行う。 各施設に合った認定資格、施設の取得、学会、研究会への発表、講習会・研修会の受講を積極的に行っていく。 組織横断的な人材育成 日本診療放射線技師会ラダーの啓発推進、キャリア開発ラダー、マネジメントラダーのブラッシュアップ 他院技師の研修受入、学生実習の受入、講義等を引き続き行い、慈愛会の魅力を発信し選ばれる施設を目指す。 多職種における協議を通じ、タスクシフト/シェアへの更なる貢献 ワクチン筋注実技講習受講の啓発 いづろ CT・MRI造影時の静脈路確保の継続と全てのスタッフが対応できるよう教育を行う 総合 引き続き造影、アイソトープ注入に対応できるスタッフの育成教育を行う STAT画像報告へ対応できる技師の教育、勉強会の開催 AI研究会への積極的な参加、他院DX等の情報収集

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1：画像診断部一体化会議

毎月第3火曜日、いづろ今村病院・今村総合病院の役職者により開催

- ・施設間の報告による情報共有
- ・慈愛会画像診断部合同研修会における企画運営
- ・モダリティごとの技術・情報共有、業務支援、定期点検、始業・終業点検、更新
- ・人材交流、育成、人員配置、実習生受入、技師研修受け入れ
- ・感染症標準予防策、感染経路別予防策、撮影対応法、撮影後清掃、廃棄物取扱
- ・法改正への対応

2：施設間の業務支援

- ・いづろ今村病院技師による午後からの今村総合病院への助勤
- ・谷山病院技師への業務支援
- ・計画停電、休日当番医の緊急時対応、相互支援
- ・機器トラブル時の相互サポート
- ・病欠、産休育休時の業務サポート

合同研修会

「第19回慈愛会画像診断部合同研修会」

・2025年5月24日（土）14:00-16:10

・今村総合病院A棟4階 大会議室

・司会・進行 いづろ今村病院 上釜健作、前田麗安

1. 理事長挨拶

慈愛会 今村英仁理事長

2. 特別講演

「Gamma Knife Espritによる治療 -Tomotherapyと比較しながら-」

今村総合病院 ガンマナイフセンター

センター長 八代一孝

3. 講演

「ガンマナイフについて（防護を中心に）」

今村総合病院 山元清史

4. 一般演題

(1)当院での放射線治療の流れ

熊本放射線外科 日高成生

(2)前立腺癌の放射線治療（外照射）について

熊本放射線外科 前田達也

(3)ガンマナイフ治療業務

今村総合病院 蓑田辰則

(4)造影CT業務におけるタスクシェアへの取り組み

今村総合病院 川上眞司

(5)胆管過誤腫の1例から学ぶ超音波検査の有用性

いづろ今村病院 津曲楓真

(6)診療放射線技師による乳腺超音波検査の実施に向けた取り組み

いづろ今村病院 林里紗

5. 新入職員紹介

今村総合病院：堀之内隆夫、山元清史、和田敏宏、
池田快、千代森あかり

6. 写真撮影

技能・能力向上に向けた取り組み

取得認定資格一覧	今村総合 病院	いづろ 今村病院
第1種放射線取扱主任者	2	
第1種作業環境測定士	1	
第2種作業環境測定士	1	
放射線治療専門放射線技師	2	
放射線治療品質管理士	2	
超音波検査士		2
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	1	3
胃がん検診専門技師	1	3
肺がんCT検診認定技師	1	1
大腸CT検査技師		1
X線CT認定技師	3	1
放射線管理士	6	2
放射線機器管理士	8	2
医療画像情報精度管理士	2	1
臨床実習指導教員	4	2
放射線被ばく相談員	2	
Ai認定診療放射線技師	1	
画像等手術支援認定診療放射線技師	1	
アドバンスド診療放射線技師	3	3
シニア診療放射線技師	2	1
エックス線作業主任者	3	
ガンマ線透過写真撮影作業主任者	3	
	今村総合 病院	いづろ 今村病院
厚生労働省 告示研修修了者	24	10
ワクチン筋注 実技	6	4

○施設認定

医療被ばく低減施設	今村総合病院
臨床実習指導施設	今村総合病院
JASTRO認定施設	今村総合病院
マンモグラフィ検診 施設・画像	いづろ今村病院
画像診断管理認証施設	今村総合病院 いづろ今村病院

○2025年度実績 認定資格

放射線治療品質管理士	取得	高山
肺がんCT検診認定技師	取得	和田
超音波検査士	取得	上舞
X線CT認定技師・肺がんCT 検診認定技師	更新	二間瀬
放射線機器管理士	更新	上舞
臨床実習指導教員	更新	脇田、二間瀬

○2025年度実績 施設認定

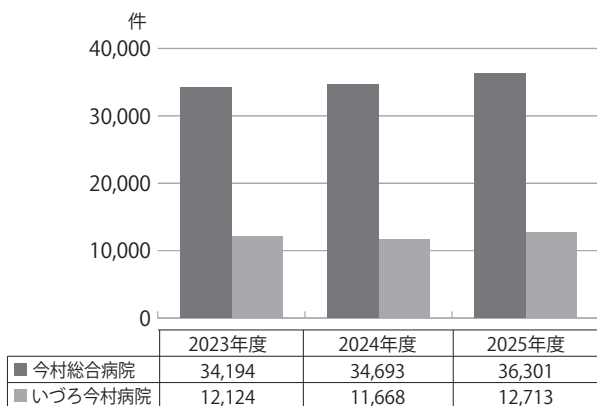
医療被ばく低減施設	今村総合病院
臨床実習指導施設	今村総合病院
JASTRO認定施設	今村総合病院
マンモグラフィ検診 施設・画像	いづろ今村病院
画像診断管理認証施設	今村総合病院 いづろ今村病院

○2025年度実績 講習会・研修会

甲状腺簡易測定研修	脇田
2025年度「MRI安全運用に関する研修会」 「MRI造影剤に関する研修会」	中窪、上釜
ルテチウムビビボトドテトラキセタン (Lu-177)注射液を用いた核医学治療の安全 取扱講習会	前田
ワクチン筋注	恵、脇田、 上釜、牧野、 山元、小林、 川上、津曲、 福田、 前田（麗）
2025年度放射線治療品質管理機構主催 第35回品質管理講習会	市来、高山
2025年度強度変調放射線治療照射計画補 助作業研修会	市来
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 2025年度九州2・関西地区合同講習会（座 学講習）	市来
放射線被ばく相談員講習会	上川
診療放射線技師臨床実習指導者講習会	川上
放射線取扱主任者定期講習	上川
特定放射性同位元素防護管理者定期講習	山元

各種指標

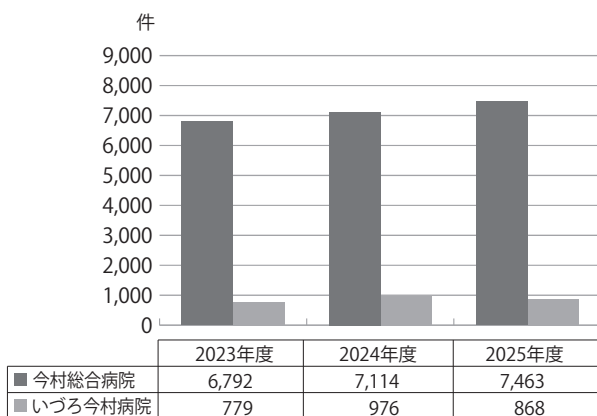
一般撮影検査



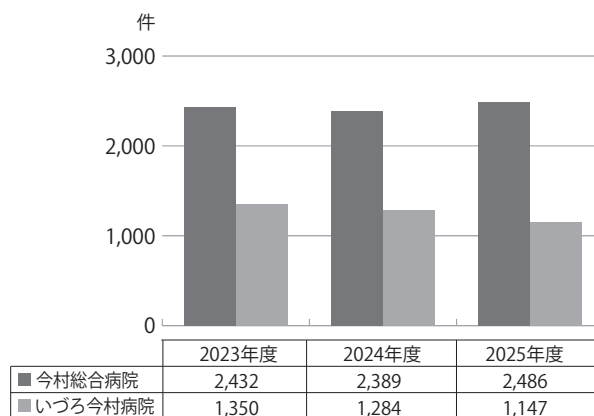
CT検査



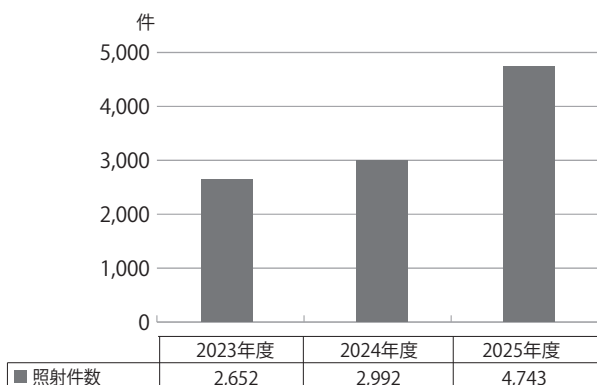
MRI検査



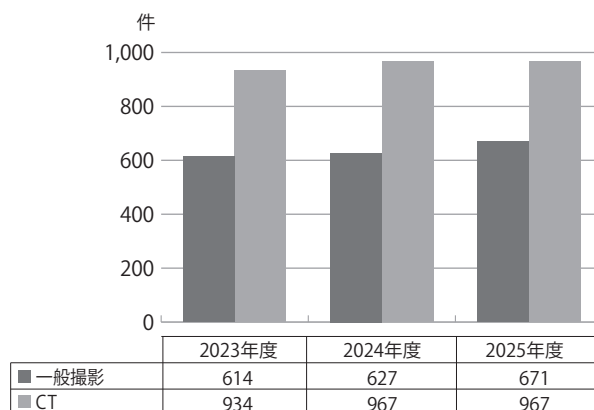
透視検査



放射線治療



谷山病院検査数



業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

<国内>

1. 馬場隆行：一般撮影装置とイメージングトランスフォーメーションとトモシンセシス臨床有用性. 第84回日本医学放射線学会総会, 2025年4月10-13日, 横浜
2. 養田辰則：ガンマナイフ治療を支える技師の力. 鹿児島県診療放射線技師会春季学術大会, 2025年06月8日, 鹿児島
3. 馬場隆行, 中馬修平, 福田萌乃, 下茂大輝, 小林晃也：教養としての頸椎開口位アトラスビュー：ATLAS-Viewを再構築する. 第41回日本診療放射線技師学術大会, 2025年9月12-14日, 福井
4. 福田萌乃, 中馬修平, 馬場隆行：下肢長尺撮影における大腿骨頭の直下に足関節を位置させるための検討. 第41回日本診療放射線技師学術大会, 2025年9月12-14日, 福井
5. 馬場隆行, 福田萌乃, 小林晃也：頸椎開口位撮影における環軸椎関節描出不良の要因分析とATLAS-Viewによる改善策の検討. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島
6. 馬場隆行, 福田萌乃, 小林晃也：パワーアシスト搭載・ワイヤレス化の進んだ最新一般撮影装置のワークフロー向上と身体負荷軽減効果. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島
7. 福田萌乃, 中馬修平, 馬場隆行：下肢長尺撮影における大腿骨頭の直下に足関節を位置させるためのクロスラインレーザーを用いた撮影法の検討. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島
8. 小林晃也, 馬場隆行：足趾斜位撮影における従来撮影法に対し、補助具を用いた撮影法の比較. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島
9. 川上眞司：造影CT業務におけるタスクシェアへの取り組み. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島

<国内><共同発表>

1. 能勢記代, 馬場隆行, 福田萌乃：横倉法を元にしたX線入射方向の違いがアーチ高率に及ぼす影響. 第41回日本診療放射線技師学術大会, 2025年4月13日, 福井
2. 時任潤弥, 西田崇友, 吉見敦, 恵智徳：セルロースナノファイバーを用いたDWI評価用ファントムの開発. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島

いづろ今村病院

<国内>

1. 脇田慎一：当院における静脈路確保業務への取り組み. 第104回鹿児島県放射線技師会定時総会・春季学術大会, 2025年6月8日, 鹿児島
2. 上釜健作, 津曲楓真, 下田知佳, 徳永遥佳, 上舞優介, 二間瀬竜太, 脇田慎一：診断に苦慮した自己免疫性膵炎の1症例. 第20回九州放射線医療技術学術大会, 2025年11月1-2日, 鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 川上眞司：救急画像（STAT画像）. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2025年4月9日, 鹿児島
2. 牧野竜大：肝胆膵. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2025年4月16日, 鹿児島

3. 蓑田辰則：上肢。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年4月23日，鹿児島
4. 恵智徳：透視画像1。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年4月30日，鹿児島
5. 吉見敦：頭頸部1。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年5月7日，鹿児島
6. 馬場隆行：馬場ちゃんの部屋 膝蓋骨軸位・ローゼンバーク編。第3回 九州島津ユーザー会 QUEST，2025年5月10日，福岡
7. 川上眞司：胸部（マンモ含む）。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年5月14日，鹿児島
8. 上川翔美：放射線概論Ⅰ。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年5月20日，鹿児島
9. 牧野竜大：消化器。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年5月21日，鹿児島
10. 蓑田辰則：下肢。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年5月28日，鹿児島
11. 恵智徳：透視画像2。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年6月4日，鹿児島
12. 吉見敦：頭頸部2。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年6月11日，鹿児島
13. 川上眞司：循環器（心臓を含む）。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年6月18日，鹿児島
14. 恵智徳：医療コミュニケーション講座。令和7年度フレッシュャーズセミナー，2025年6月22日，鹿児島
15. 牧野竜大：泌尿器・婦人科。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年6月25日，鹿児島
16. 蓑田辰則：脊椎。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年7月2日，鹿児島
17. 吉見敦：頭頸部3。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年7月9日，鹿児島
18. 馬場隆行：島津製作所と歩む新一般撮影時代。第1回 SHIMADZU 一般撮影装置臨床セミナー，2025年8月28日，京都
19. 馬場隆行：馬場メソッドによる一般撮影ワークフローハンズオン。第1回 SHIMADZU 一般撮影装置臨床セミナー，2025年8月28日，京都
20. 馬場隆行：「手術精度を支える高精度Cアーム支援のためのポイント」2600Cアーム実績からの確かなサポートのコツを解説。第3回 Moments!，2025年9月6日，福岡
21. 蓑田辰則：文部科学省委託事業：霧箱実験・測定実験1 出前授業。熊本市立下益城城南中学校，2025年9月11日，熊本
22. 蓑田辰則：文部科学省委託事業：霧箱実験・測定実験2 出前授業。熊本市立下益城城南中学校，2025年9月12日，熊本
23. 蓑田辰則：文部科学省委託事業：霧箱実験・測定実験3 出前授業。熊本市立下益城城南中学校，2025年09月18日，熊本
24. 吉見敦：放射線診断学概論。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年10月1日，鹿児島
25. 牧野竜大：脊椎・脊髄の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年10月8日，鹿児島
26. 高山大史：下肢の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年10月15日，鹿児島
27. 小林晃也：胸部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年10月22日，鹿児島
28. 牧野竜大：消化管の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年10月29日，鹿児島
29. 蓑田辰則：頭部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年11月5日，鹿児島
30. 川上眞司：骨盤部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年11月12日，鹿児島
31. 高山大史：上肢の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年11月19日，鹿児島
32. 吉見敦：血管・リンパの画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年11月26日，鹿児島
33. 西田崇友：脳神経の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年12月3日，鹿児島
34. 川上眞司：腹部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年12月10日，鹿児島
35. 馬場隆行：馬場ちゃんの部屋 荷重にこそ真実がある ～ローゼンバーク撮影の魅力と組み立ての技術～。第4回 九州島津ユーザー会 QUEST，2025年12月20日，福岡
36. 牧野竜大：頸部画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2026年1月14日，鹿児島

37. 馬場隆行：「見て・触って・すぐ撮れる！！ 肘 X 線撮影の本質と実践を学ぶセミナー」～故意にずらしてから
合わしにかかる肘独特の補正法とは～. 令和 7 年度 県北地区冬季研修会, 2026 年 2 月 14 日, 鹿児島
38. 西田崇友：AI 再構成法の運用実情. 第 31 回鹿児島 MRI 研究会, 2026 年 3 月 11 日, 鹿児島 (Web)

いづろ今村病院

1. 脇田慎一：実技指導. 告示研修会, 2025 年 5 月 25 日, 鹿児島
2. 上釜健作：腎腫瘍の 1 例. 第 353 回鹿児島超音波医学研修会, 2025 年 5 月 27 日, 鹿児島 (Web)
3. 上釜健作：脂肪性肝疾患とは. 第 28 回鹿児島超音波研究会, 2025 年 7 月 16 日, 鹿児島 (Web)
4. 脇田慎一：実技指導. 告示研修会, 2025 年 8 月 17 日, 鹿児島
5. 上釜健作：超音波検査で描出できなかった総胆管結石の 1 例. 第 357 回鹿児島超音波医学研修会, 2025 年 9 月 30 日,
鹿児島 (Web)
6. 津曲楓真：私が調べたことを聞いてください～第 5 回 憩室編～. 第 29 回鹿児島超音波研究会, 2025 年 10 月 15 日,
鹿児島 (Web)
7. 脇田慎一：実技指導. 告示研修会, 2025 年 12 月 7 日, 鹿児島
8. 脇田慎一：画像解剖学～乳房・消化器～. 鹿児島医療技術専門学校, 2026 年 1 月 7 日, 鹿児島
9. 上釜健作：画像解剖学～腹部超音波検査～. 鹿児島医療技術専門学校, 2026 年 1 月 14 日, 鹿児島
10. 脇田慎一：当院における静脈路確保業務への取り組み～実際に始めるためのノウハウ～. 第 34 回 鹿児島放射線技
師会 北薩地域研修会, 2026 年 3 月 4 日, 薩摩川内
11. 白石真樹：AI 再構成法の運用実情 (いづろ今村病院). 第 31 回鹿児島 MRI 研究会, 2026 年 3 月 11 日, 鹿児島 (Web)

【受賞】

今村総合病院

1. 福田萌乃：「下肢長尺撮影における大腿骨頭の直下に足関節を位置させるための検討」優秀演題. 第 41 回日本診療
放射線技師学術大会, 2025 年 10 月
2. 馬場隆行：「頸椎開口位撮影における環軸椎関節描出不良の要因分析と ATLAS-View による改善策の検討」学術奨
励賞. 第 20 回九州放射線医療技術学術大会, 2026 年 3 月
3. 福田萌乃：「下肢長尺撮影における大腿骨頭の直下に足関節を位置させるためのクロスラインレーザーを用いた撮影
法の検討」フレッシュアズ賞. 第 20 回九州放射線医療技術学術大会, 2026 年 3 月

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

臨床検査部門

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
臨床検査業務を改善し、より質の高い検査結果を提供する	(1)検査内容 (検体検査・輸血検査・生理検査・病理検査) の把握 ・数値目標 前年 (2024年1～12月実績) 比1.01 生化学検査 176,417件 (今村総合130,467件・いづろ今村45,774件) 心電図検査 17,884件 (今村総合6,287件・いづろ今村11,420件) 心血管超音波検査 8,068件 (今村総合6,054件・いづろ今村1,935件) 血液型検査 3,025件 (今村総合2,627件・いづろ今村368件) 交差適合試験検査 3,828件 (今村総合3,046件・いづろ今村744件) 組織診検査 3,493件 (今村総合 3,458件) 細胞診検査 2,686件 (今村総合2,659件) (2)医療DXを活用し、検査の質や効率を向上させる ・生理検査データ管理システムの導入で、医療DXを推進する ・DXを活用した、患者様とスタッフにも安心・安全な検査関連環境の改善 ・新規検査項目の導入と検討 ・適切な検査結果提供のための計画的な機器更新と管理	(1)検査内容 (検体検査・輸血検査・生理検査・病理検査) の把握 ・検査実績 (2025年4月～2026年3月) 生化学検査 184,413件 (今村総合 133,400件・いづろ今村46,804件・谷山4,209件) 心電図検査 20,057件 (今村総合5,961件・いづろ今村12,423件・谷山1,673件) 心血管超音波検査 8,242件 (今村総合6,237件・いづろ今村2,005件) 血液型検査 3,171件 (今村総合2,766件・いづろ今村405件) 交差適合試験検査3,841件 (今村総合2,940件・いづろ今村901件) 組織診検査 3,437件 細胞診検査 2,654件 (2)医療DXを活用し、検査の質や効率を向上させる ・ER使用の心電計故障のための更新時にWi-Fi通信で検査結果をサーバー転送するシステムを導入し、看護師の業務効率化を図った。電子カルテ更新時に合わせて、生理検査システム変更を検討。 ・パニック値の検査項目数を絞り異常値を再検討して、変更を行った。 ○新規検査項目 ・感染症対策として髄膜炎マルチスクリーニング5/12運用開始 ・今村総合病院耳鼻科の常勤に伴いフルPSG検査を再開 (4月) ・簡易PSG検査の測定機器2台運用の開始 (4月) ・今村総合病院脳ドック開始に伴い、ドック頸動脈エコー検査を開始 ・尿検査の演算項目 (FENA・FEUA) の自動出力 ・リンパ腫治療のCAR-T細胞療法開始に向けて施設基準の監査を受けた。 ・呼吸器マルチスクリーニング検査 (PCR) 導入検討 ・病理細胞診を4月より外注検査へ、3月より院内検査実施へ ・自動免疫染色装置2台の更新 (病理)	(1)検査内容 2025年度目標達成率 (前年度比1.01) 104.5% (目標達成) 112.2% (目標達成) 102.2% (目標達成) 104.8% (目標達成) 100.4% 98.4% 98.8% ・看護師のスク্যানによる心電図データレポート登録作業がなくなり業務改善に繋がった。 ・パニック値の連絡件数が減り、業務改善に繋がった ・髄膜炎マルチスクリーニング件数 88件 ・フルPSG検査件数 50件 ・簡易PSG検査件数 114件 (前年度63件)	・概ね目標達成。今後も診療が増え、検査項目や検査件数の増加が見込まれるので、対応できる体制を整えていく。 ・電子カルテ更新時に、生理検査システムの新規導入 (DX) で業務改善を進めていく。 ・適切な運用のために定期的な項目と異常値の検討が必要 ・今村総合病院における、いづろ今村病院からの受託検査の検討 ・診療科要望に対して呼吸器マルチスクリーニング検査新規導入を検討する。 ・育休による担当者減に対して細胞診が一時的な外注となっていた。
正確で迅速、安全な検査結果提供の維持	(1)外部・内部精度管理の実施 ・外部精度管理 (日臨技・日本医師会・各種メーカーサーベイランス等) の受検 ・内部精度管理の維持と徹底 ・検体検査・生理検査の試薬・消耗品データ管理の導入と維持 (2)医療安全・接遇教育の実施で質の高い検査提供の維持 ・今村総合病院の365日24時間体制に対応できる人員の確保と計画的な教育 ・インシデント等の事例発生時の報告・改善策検討と、部署内外への周知の徹底	・病院機能評価の中間報告 外部サーベイランスの実施 日本臨床衛生検査技師会精度管理参加 (今村総合病院・いづろ今村病院) 日本医師会精度管理参加 (今村総合病院・いづろ今村病院) 鹿児島県医師会精度管理調査 (今村総合病院) 内部サーベイランスの実施 (毎日) ・入職後3～4カ月で休日日勤、当直業務が一人でできるように計画的に教育・育成を実施した、また業務中のトラブルに対しバックアップ体制を整えて業務を開始した。 ・インシデント発生時の速やかな報告と、部署内周知を行った。 ・健診センターでコードブルー対応の訓練実施	臨床検査機能を適切に発揮している A評価 病理診断機能を適切に発揮している A評価 輸血・血液管理機能を適切に発揮している S評価 ・今村総合病院 日臨技評価 A+B 99.6 日本医師会評価項目修正点 98.7 鹿児島県医師会 (2SD) 37/37 メーカーサーベイランス 11社 結果良好 ・いづろ今村病院 日臨技評価 A+B 99.4% 鹿児島県医師会 (2SD) 33/33 メーカーサーベイランス 3社 結果良好 ・昼礼・部署ミーティング・E-Risknで、周知・再発防止に取り組んだ。	・概ね良好 ・精度管理徹底のため継続受検をする ・概ね良好

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
検査結果迅速、安全な維持	(3)コスト・効率化を意識した業務改善 - 検査データの収集・分析にDXを活用し効率を向上させる - 検査関連機器（採血管準備装置など）まで意識した業務改善	- 今村総合病院で病院機能評価に向けた検査体制の適正化と効率化の見直しを行った。 - コストを意識した採血管の変更（用度） - 外来の採血管準備装置の待ち時間案内（スマートフォン対応）を実施 - 細菌検査外注先の変更（2026年4月完全移行）に伴う依頼・報告システムの再構築を行った。	- 活用度が低い - 他部署・多職種・法人内病院と連携して対処	- 周知度が上がらず活用されていない。今後患者導線での活用も検討する。 - 報告システムトラブルが多く、外注先にさらなるシステム改善をしてもらう必要がある。
関連病院内外の連携強化	(1)連携病院間での強化 - 臨床検査一体化会議の隔月開催 - 病院間での人的交流や業務協力の検討と実施 (2)病院内外への検査部としてのアピール - 慈愛会臨床検査部のパンフレットの完成と活用 - ホームページの更新 - 新入職員採用ホームページの更新 - タスクシフト・シェアの具体的な検討と取り組み	- 一体化会議6回開催 - 谷山病院の人員減に対し今村総合病院より1名異動 - いづろ今村病院の感染加算Ⅰの相互加算の実施（ICTコア） - おはら祭の慈愛会グループ全体の実行委員として今村総合病院臨床検査部が参加 - 鹿児島中央看護専門学校解剖臓器見学の受け入れ（病理） - 連携病院（清風会クリニック）へ血液検査担当技師の派遣の検討 - パンフレットの作成と校正を実施 - 採血管準備システムの更新に伴い、外来採血業務を教育し担当者育成して計画的に多職種協働で採血ブースを増やし、待ち時間短縮に繋げる。 - いづろ健康・介護まつりで塩分摂取量検査を実施	- 院内感染対策コアでの今村総合・いづろ今村での連携（月1）検討 - 新人を中心に4名以上を教育	1階採血室稼働の検討
人材育成を行い、検査技術のスキルアップを行う	(1)知識と、検査技術の習得 - 新入職員の計画的な研修と育成(日・当直勤務) - タスクシフト・シェアで多職種協働を意識した医療技術の教育と習得 - DXに対応できる人材育成と研修の実施 (2)専門性の高い、各種認定資格の取得と維持 - 各種上位認定資格の受験の推奨と環境づくり - 資格取得者の資格維持と更新のための知識向上にむけた環境整備 (3)ラダーに沿った指導・教育を行う - キャリア開発ラダーに沿った教育の計画と実践 - ラダーⅣ以上取得者への管理者任用候補者選考試験受験の推奨	- 新入職員研修実施8名（今村総合検査4名・病理2名、いづろ今村2名） - タスクシフトシェア研修 いづろ今村 谷山1名受講 - 慈愛会学会学術集会演題発表2題 - 各専門資格の研修会への参加 - 慈愛会合同研修会を開催 - ラダー申請は、今村総合16名・いづろ今村7名・谷山2名	評価を実施中	今村総合全員修了(30/30) いづろ今村(5/11) 谷山(2/3) 全技師の受講修了でタスクシフトを進める。
働きやすい環境づくり	(1)必要な休暇取得ができる職場環境の維持 - 安全に検査業務を遂行できる適正な人員の確保 - 産休・育休取得者による人員減でも、休暇取得に対応できる業務体制づくり (2)身体的にも精神的にも健全に業務できる環境を整える - 部署内外のコミュニケーションの活性化 - 担当業務拡大により、合理的で柔軟な検査体制づくり - 部署内業務ローテーションなどで担当業務量の平準化	2026年度臨床検査技師募集6名（今村総合検査4名・病理2名） 2025年度新入職員研修実施8名（今村総合検査4名・病理2名、いづろ今村2名） - 病院間異動（今村総合から谷山へ）1名 - 年間退職者 今村総合3名 - 育休取得者（今村総合検査年間4名・病理1名、いづろ今村1名） - 昼礼や部署内ミーティングの開催 - 部署内ローテーションで業務改善を進める。 7月環境測定を行いすべて管理区分Ⅰの測定結果（病理部・検査部） 8月病理部カビ発生あり	天井の塗り替え・防カビ材塗布・空調システムの清掃を行った。	- 入職者8名だったが、退職者3名・異動1名で、新たなタスクシェアの採血教育をできる余裕がなかった。 - 大きな事故なく安全で適正な業務が遂行できた。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

【人事交流】

- ・法人内異動の実施。2025年4月に谷山病院臨床検査技師1名の退職による人員減に対し、今村総合病院から臨床検査技師1名が異動して谷山病院検査室3名体制を維持した。
- ・連携病院への臨床検査技師派遣の検討。2026年4月より清風会クリニック（都城）への血液業務担技師の派遣要望にたいして、3～4回/月の派遣を予定している。

【情報共有】

- ・2026年4月より細菌検査の外注委託先完全移行に伴い細菌検査オーダーから集配、結果閲覧までのシステム構築を行う。
- ・慈愛会臨床検査部一体化会議を奇数月に6回開催。今村総合病院（臨床検査部・病理部）・いづろ今村病院・谷山病院の法人内合同でパンフレット作成を行った。
- ・2027年4月の電子カルテ更新時に向けた部門システムの再構築の検討として、検体検査・輸血検査・生理検査・超音波検査・（外注）細菌検査の各部門システムを、それぞれ法人内で統一し、検査データの共有をおこない病院間の時系列比較ができる体制をめざす。

合同研修会

「第13回慈愛会 臨床検査部合同研修会」

- ・2025年11月29日（土） 14：00～16：00
- ・今村総合病院A棟4階大会議室

【内容】

1. 開会の挨拶

慈愛会 今村英仁理事長

2. 一般演題 4題

演題 1

「セルブロック法が有用であった体腔液細胞診症例について」

今村総合病院 病理部 長崎佳菜子

演題 2

「当院の静脈血栓塞栓症候群診断の現状 下肢静脈エコーとD-dimer測定について」

いづろ今村病院 湯浅百合

演題 3

「血糖値と尿糖定性の関係性」

今村総合病院 臨床検査部 大塚光太郎

演題 4

「血液培養について」

谷山病院 川崎岳史

演題 5

「不規則性抗体産生によるDHTRが起きた症例」

今村総合病院 臨床検査部 川畑理月

3. 特別講演

「全自動遺伝子解析システムFilm Array の試薬パネル紹介 ～呼吸器パネル・血液培養パネル・脳炎髄膜炎パネル～」

講師 ビオメリュー・ジャパン株式会社 AMSアンバサダー・認定微生物検査技師 本部雄介先生

4. 総括・閉会のあいさつ

今村総合病院 臨床検査部 安田修部長

技能・能力向上に向けた取り組み

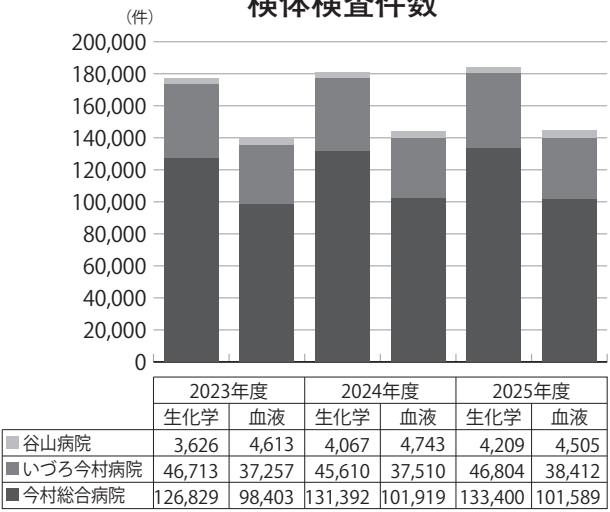
- ・今年度ラダー申請25名（今村総合病院 16名、いづろ今村病院 7名、谷山病院 2名）
- ・新入職員7名入職（今村総合病院臨床検査部4名、病理部1名、いづろ今村病院2名）
今村総合病院臨床検査部の4名は約4カ月の休日日勤・当直業務の研修後に日当直検体検査・輸血検査業務を開始、その後は各々担当業務の検査技術の習得のためクリニカルラダーに沿って教育を継続している。
- ・スキルアップをバックアップし、資格取得を目指せる環境づくり
- ・各種研修会への参加（スキルアップや各種取得資格の更新などのため）

各種認定資格取得状況

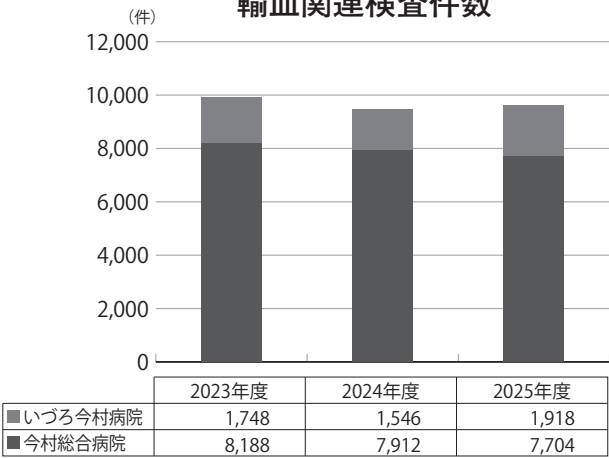
資格名等	総数	2025年度 新たな取得者
超音波検査士	5(7領域)	
細胞検査士	3	
認定輸血検査技師	2	
JSCN専門技術師	1	
JHRS認定心電図専門士	1	
認定血液検査技師	1	比良泰士
細胞治療認定管理士	2	
2級臨床検査士	1	
2級甲類臨床病理技術士	1	
認定一般検査技師	1	
認知症認定検査技師	1	
臨地実習指導者研修修了	2	
病院感染制御スタッフ	1	
心電図検定	1(3級)	小澤広美(2級)
乙4類危険物取扱者	1	
聴測定技術講習会	1	
化学物質管理者	1	
保護具着用管理責任者	1	

各種指標

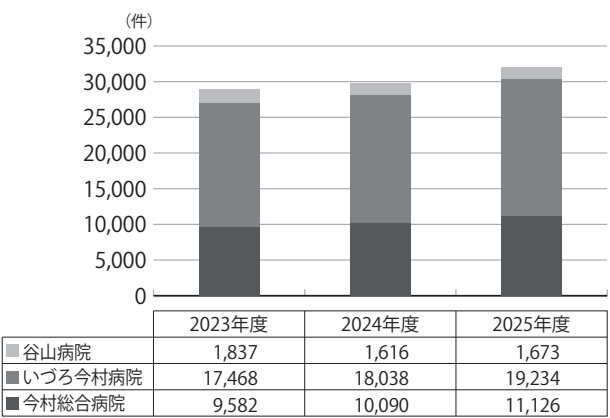
検体検査件数



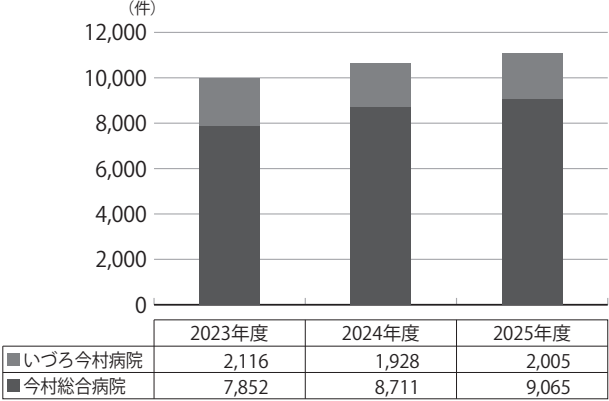
輸血関連検査件数



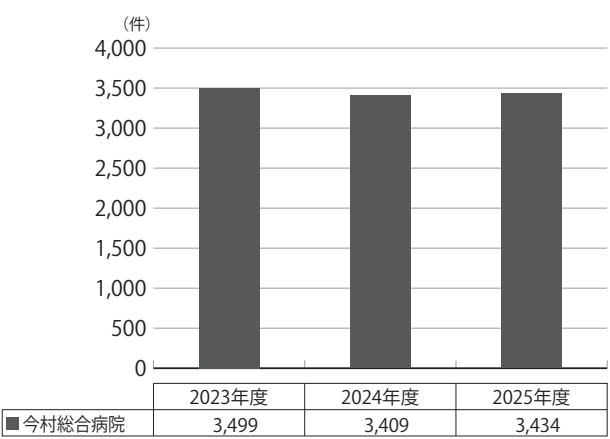
生理機能検査件数



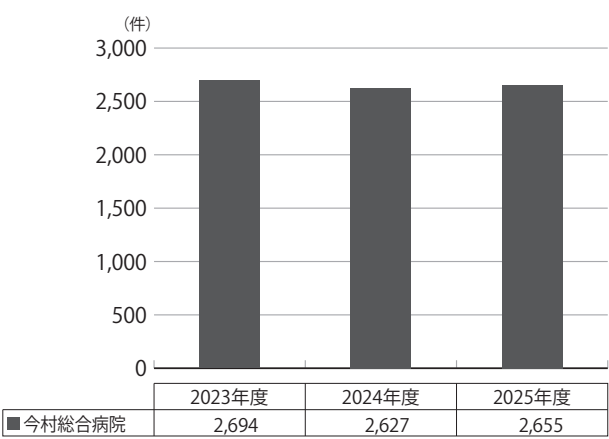
超音波検査件数



病理検査件数(組織診)



病理検査件数(細胞診)



業 績 一 覧

【論文（論文・著書・雑文）】

今村総合病院

<欧文><共著>

1. Okita K, Mizokami T, Yasuda O, Ikeda Y : Acute kaempferol ingestion lowers oxygen uptake during submaximal exercise and improves high-intensity exercise capacity in well-trained male athletes. *Physiol Rep* 13(9) : e70369, 2025 (May), doi : 10.14814/phy2.70369

【学会発表】

今村総合病院

<国内>

1. 比良泰士, 久保恵子, 日高まゆみ, 藤山裕輝, 西野璃子, 小田原淳: 骨髄異形成症候群に対して臍帯血移植後、ドナー由来の白血病を発症した1例. 第26回日本検査血液学会学術集会, 2025年7月26-27日, 京都
2. 比良泰士, 小田原淳, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 藤野聡司, 中野伸亮, 米倉健太郎, 日高まゆみ, 藤山裕輝, 西野璃子, 宇都宮與, 伊藤能清: HAS-flow と TRBC 1 / 2 抗体を組み合わせた新しい HTLV-I 感染細胞解析技術の開発. 第11回日本 HTLV-I 学会学術集会, 2025年11月7-9日, 鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 藤山裕輝: 安全で適切な輸血業務を実施するための当院の取り組み～I & A 制度認証施設として検査技師の役割～. 日臨技九州支部輸血細胞治療部門研修会／日本臨床衛生検査技師会／琉球大学医学部, 2025年11月22日, 宜野湾
2. 藤山裕輝: 血液製剤の選択に苦勞した症例. 第2回輸血細胞治療部門研修会／鹿児島県臨床検査技師会／今村総合病院, 2026年1月10日, 鹿児島
3. 川畑理月: 不規則抗体産生による DHTR が起きた症例. 第2回輸血細胞治療部門研修会／鹿児島県臨床検査技師会／今村総合病院, 2026年1月10日, 鹿児島
4. 炭谷一行: 認定一般検査技師を目指して ～資格習得を目指す方につたえたいこと～. 第1回臨床一般部門研修会／鹿児島県臨床検査技師会／医療センター, 2026年1月24日, 鹿児島

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

栄養管理部門

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
栄養ケアマネジメントの機能強化と人材育成	①急性期から在宅まで一貫した栄養マネジメント機能の強化 ①管理栄養士の病棟配置に向けた取り組み (急性期病院) ・病棟業務およびNSTの充実に向け、人材育成・地域に向けた取り組みを構築する。 ②精神科における栄養マネジメントの取り組み ・低栄養対策の継続。NST導入、人材育成と体制の整備 ③介護における栄養マネジメントの機能強化 ・新しい介護報酬に伴う運用の見直し。NST委員会と担当医との連携強化 ②地域一体型NSTに向けた取り組み ①在宅・地域への栄養マネジメント (医療：急性期) ・他職種および多方面との協議、運用検討。栄養に関する人材育成 ②在宅・地域への栄養マネジメント (医療：精神科) ・体制などの検討および構築 ③在宅・地域への栄養マネジメント (介護) ・ふれあい会食にて栄養講話の継続、訪問給食の継続 ③人材育成 ①各職種ラダー作成と運用 ・管理栄養士ラダー見直しと運用。調理師ラダー作成に向けて取り組む。 ②連絡会議、合同研修会の開催 ・栄養部および調理師ワーキンググループの継続、合同研修会の継続、職種による研修会も継続 ③実習 (研修) の機会などの提供 ・栄養士実習生の受け入れ、職場体験などへの協力 ④その他 ①地域貢献・院内外活動の充実 ・地域イベント、院内外行事への参加協力 ②その他 ・各種講師派遣、関連団体への参加協力 ③法人全体でDXおよびDX人材の育成を推進する ・定期的な面談によるスキル把握及びモチベーションの維持	①病棟担当制にて、ラウンド・カンファレンス参加など継続 ・GLIM基準を導入 ②入院時のスクリーニング、栄養管理計画書・食事時間病棟訪問継続 ・GLIM基準導入に向けた取り組み、低栄養対策の継続 ③入所時のスクリーニング、昼食時の食事観察継続実施 ・多職種との連携の強化 ①急性期 いづろ健康・介護まつり 2025年11月22日 (いづろ今村病院) かもいけ健康まつり 2025年10月18日 (今村総合病院) 介護講習会 2026年2月4日 (今村総合病院) ②精神科 こころのマルシェ 2025年8月7日 (谷山病院) 小原町町内会講話 2026年1月15日 (谷山病院) ③介護 あいゆいマルシェ 2025年10月26日 (愛と結の街) ・管理栄養士ラダーを見直し、運用を進めていく。 ・調理師ラダーの運用に向けてラダー作成準備の開始。 ・栄養部ワーキンググループ、調理師ワーキンググループの継続実施。 ・合同研修会の実施の継続 (2026年2月28日実施) 参加者：29名 ・実習生受け入れ 愛と結の街：8月、9月に鹿児島純心大学生、各月1名受け入れ いづろ今村病院：特別支援学級 実習生受け入れ (厨房) ・第42回市民健康まつり (鹿児島市) 栄養相談コーナー担当 中蘭・萬福 (いづろ今村病院) ・鹿児島市糖尿病重症化予防会議 2025年10月28日 中蘭 (いづろ今村病院) ・鹿児島糖尿病療養指導士会 事務局 (いづろ今村病院) ・循環器病予防療養指導士 ニュースレター No.50執筆 慈愛会クリニック 加藤 (循環器病予防に関する情報コラム 生活指導法の紹介) ・鹿児島中央看護専門学校 看護栄養学講師 慈愛会クリニック 加藤 ・J-seatyナース研修 (糖尿病看護) 食事のコマ 講師 内田 (いづろ今村病院)	①病棟訪問 (ラウンド) や食事摂取状況、疾患に即した食事を提供できているか、検査値等の確認を行う。また、必要に応じて、主治医や多職種との連携・協働を行った。 ②食事時間に病棟訪問することで、食形態などの確認を行った。体重の変化や検査値を確認し、必要に応じて食事形態等を変更する。 ③スクリーニング、食事摂取量、体重変化、検査値データを定期的に把握し、多職種と情報共有を行った。 ①各種イベントへ参加、協力ができた。 ②イベント等へ協力できる体制の構築ができている。 ③イベントへの参加体制を整えられた。 ・栄養士としてのスキルアップ、資格取得 (維持) に向けた取り組みが各々できている。 ・ラダーの見直し (管理栄養士)、新規作成 (調理師) に向けて取り組むことができた。 ・栄養部ワーキンググループ、調理師ワーキンググループそれぞれ継続して実施できた。 ・栄養部門合同研修会など、慈愛会内での研修会を継続して実施できた。 ・研修会やWEBセミナー等の開催情報を共有し、声掛けを行い、参加を促した。 ・実習生の受け入れの継続ができた。 ・地域におけるイベントへの参加、院内外のイベント、行事への参加、協力ができた。 ・講師派遣依頼等、関連団体からの協力要請に応えることができた。 ・資格の維持や新規の資格取得に向けて学会や研修会への参加ができた。	①管理栄養士の病棟配置に向け体制を整える。 ②低栄養対策の継続、NST導入や人材育成の体制を整える。 ③多職種と連携し、栄養マネジメント維持に努める。 ①在宅・地域に向けて必要な情報の収集に向けての取り組みが必要である。 ②在宅・地域に向けての栄養ケアマネジメントの体制づくりの検討、構築を実施していく。 ③地域で暮らす高齢者に根付いた栄養管理を目指し、各方面との協力体制を構築していく。 ・管理栄養士ラダーの見直し、運用を行った。 ・調理師ラダーの作成に向け、鹿児島市内施設を中心に協議を行った。 ・合同研修会、職種毎の勉強会の実施を継続していく。 ・実習生の積極的な受け入れを継続できた。 ・資格取得や資格の維持に向け、研修会、学会に参加できた。 ・人材育成や慢性的な人員不足に対する協力体制の構築、継続ができた。 ・施設間での応援、協力が得られた。

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画（Stage4）	実施 2025.4月～2026.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
病院給食、介護給食の合理化と更なる発展に向けた取り組み	(1)厨房運営の合理化や品質向上に向けた取り組み ①調理スタッフ不足への対策 ・体制の見直し、派遣も含め求人継続。 調理師WGにて効率化の検討・情報共有 ・状況に応じた給食提供の維持（完調品、カット野菜、冷凍食品、献立簡素化・共有など） ②品質向上、給食運営の発展に向けて ・ニーズに合わせた給食提供、適正な材料費維持の検討および情報共有 (2)安全管理における連携 ①衛生管理、感染対策、その他安全管理 ・大量調理施設衛生マニュアルの遵守、マニュアルの見直しと共有 ②非常食 ・情報共有、在り方と内容検討、更新などの情報共有 ・自助、互助、共助など連携への検討	①各施設の状況を鑑み、体制の見直し等を含め、人員不足に対して対応できた。 施設間の応援協力もあった。 カット野菜の利用や完調品の利用、献立の簡素化など、状況に応じた対応ができた。 ②食材費高騰が続いており、各施設間で情報を共有している。 谷山病院と愛と結の街の協業に向けて協議を継続中。 ①各施設にてマニュアルを随時更新している。必要に応じ情報共有している。 ②現段階では各施設毎の対応だが、自助、互助、共助に向け対策、体制を整えていく。	①各施設において、厨房スタッフ不足に対して、状況に応じた対応ができ、給食提供ができた。 施設間の応援など、その都度できる限りの対応を検討し、給食の提供ができた。 ②食材費高騰の情報共有が、慈愛会内でできた。 谷山病院と愛と結の街の協業に向けた協議が継続できた。 ①各施設の状況を考慮し、マニュアルを見直すことができた。 ②非常食に関しては、施設毎での対応だが、情報の共有ができた。 自助、互助、共助に向け体制を整えていくことが今後の課題である。	①給食提供維持に向けた取り組み 慢性的な調理スタッフ不足への対応、施設間での応援協力ができた。 ニーズに合わせた給食提供維持のために体制作りの検討、協業に向けて給食方式を学び、必要に応じて他施設の視察に出かけた。 他施設の取り組みなどを共有することができた。 ②物価高騰に際して、慈愛会内の施設間で情報共有することができた。 ①各施設にて、必要に応じてマニュアルを更新、見直しができた。 ②非常食は各施設毎の対応であるが、情報の共有ができた。 施設間での自助、互助、共助の体制を整えることが今後の課題である。
	栄養部門の組織体制の整理、財務の視点	(1)慈愛会栄養部門の組織体制の検討 ・栄養マネジメントと給食管理の整理、進捗状況をみながら組織体制など検討 (2)栄養部門からの収益増に向けて ①栄養指導、経口維持などの件数 目標値の設定 いづろ今村病院 個別100件 集団35件 透析予防30件 今村総合病院 個別90件 谷山病院 個別20件 集団1件 慈愛会クリニック 個別5件 透析予防180件 七波クリニック 個別30件 奄美病院 個別10件 徳之島病院 個別10件 集団1件 愛と結の街 経口維持20件 栄養改善1件 ②診療報酬、介護報酬の算定拡充 ・対象項目をピックアップして点数獲得に向けて取り組む	①栄養指導、経口維持などの件数の平均 いづろ今村病院 個別139件 集団40件 透析予防28件 今村総合病院 個別67件 谷山病院 個別16件 集団1件 慈愛会クリニック 個別9件 透析予防209件 七波クリニック 個別33件 奄美病院 個別0件 徳之島病院 個別2件 集団0件 愛と結の街 経口維持41件 栄養改善0件 ②各施設にて算定できることを継続中	・慢性的な人員不足の中、給食提供を維持するため、対策を立て対応ができた。 ・各施設での取り組みに関することや、今後の給食の在り方について情報共有ができた。 ・栄養指導の件数は概ね達成できた。離島が達成できていない。 ②目標達成に向けて各施設において計画的に取り組めた。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

管理栄養士は離島と共に、ワーキンググループ活動（WG）を継続して行っている。調理師も鹿児島市内4施設にてWGを行い、お互いの取り組みや問題点など施設間での情報共有が行えた。今後の給食方式については、法人事業本部とも情報共有しながら、継続的な給食提供に向けて取り組んでいく。

①栄養ケアマネジメントの機能強化と人材育成

- ・管理栄養士の病棟配置を検討したが、今年度は実施できなかった。病棟担当制にて、ラウンドやカンファレンスは継続できた。入所時・入院時のスクリーニング・ミールラウンドを実施し適切な食事形態を提供できるよう努めた。個々に応じた栄養管理を行い、必要に応じ栄養指導を実施した。健康・介護まつりや町内会等のイベントへ参加・協力し、地域交流も行えた。
- ・人材育成では、管理栄養士はラダーの見直しを行っ

た。調理師はWGの中でラダー作成を行っている。完成次第運用を開始する予定。学会発表、各種研修会への参加・単位取得や新たな資格取得など、自己研鑽に努めている。各種講師依頼への協力、各種関連団体への参加協力にも応じた。栄養士実習生も可能な限り受け入れ協力している。また、調理の方で特別支援学校の実習も受け入れた。

- ・学会、院外セミナー、研修会への参加

②給食の合理化と発展に向けた取り組み

- ・各施設人員不足が続いている。体制変更、派遣など対応、作業工程の見直し、完調品やカット野菜の導入など各施設状況に応じて対応を行った。人員が足りていればカット野菜を元に戻すなど、食材の値上げが続く中、情報と各施設で対策を共有し、食材の適正化にも努めている。

③栄養部門の組織体制の整理、財務の視点

- ・管理栄養士・調理師共に離島も含めWGを継続している。情報共有をしっかりと行うことができ連携強化に繋がっている。合同研修会も実施でき講話を取り入れるなど、学びの場ともなっている。
- ・谷山病院・愛と結の街給食部門協業化に向けて、食事形態の統一や献立のすり合わせ、作業工程について等、また調理機器の選定を行っている。業者にも協力を頂き、事務部、調理師ともに皆で協力し6月の統合を目指し準備を進めている。
- ・診療報酬、介護報酬は改訂がある。情報収集をしっかり行い、対象項目があれば対応できるように体制を整えていく。栄養相談などは目標設定をして継続して取り組む。

合同研修会

集合（鹿児島市内）とZoomを併用して開催。（栄養部門全職種合同34名参加）

「第12回 慈愛会栄養部門合同研修会」

・2026年2月28日（土）15：00～17：30

【内容】

I. 報告①

「慈愛会栄養部門WG事業計画と進捗状況」

谷山病院 管理栄養士 四本悠佳

II. 報告②

「調理師ラダー作成について進捗状況」

いづろ今村病院 調理師 志賀友洋

III. 報告③

「愛と結の街と谷山病院の協業に向けて」進捗状況

谷山病院 管理栄養士 四本悠佳

愛と結の街 管理栄養士 今村瑞香

谷山病院 調理師 中原圭祐

株式会社明治 による講話

調理師「摂食嚥下と食事介助について」

グループワーク実施 上記講話の内容について

管理栄養士「経腸栄養時の胃食道逆流とその対策」「リハビリテーション栄養」

技能・能力向上に向けた取り組み

- ・日本糖尿病療養指導士 取得

いづろ今村病院 下野真央

- ・日本糖尿病療養指導士 更新

いづろ今村病院 中藺智美、内田紗弥

慈愛会クリニック 加藤実穂

- ・JADECカードシステム 応用編 トレーナー資格取得

いづろ今村病院 中藺智美、内田紗弥

- ・在宅訪問管理栄養士 受験合格

いづろ今村病院 萬福有理

院内外活動

- ・鹿児島糖尿病療養指導士会 事務局

いづろ今村病院 中藺智美

- ・糖尿病ウォークラリー参加

いづろ今村病院 中藺智美、萬福有理

- ・小児糖尿病サマーキャンプ スタッフメンバー

いづろ今村病院 中藺智美、萬福有理

- ・垂水研究 協力

今村総合病院 七枝美香

いづろ今村病院 中藺智美

- ・鹿児島市民健康まつり 協力

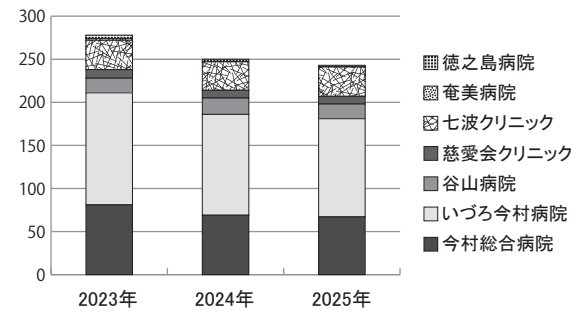
いづろ今村病院 中藺智美、萬福有理

- ・糖尿病患者会（いずみ会）事務局

慈愛会クリニック 加藤実穂

各種指標

個別栄養食事指導件数（件／月）



	2023年	2024年	2025年
今 村 総 合 病 院	81	69	67
いづろ今村病院	130	117	114
谷 山 病 院	17	19	17
慈愛会クリニック	10	9	9
七波クリニック	34	33	34
奄 美 病 院	2	0	0
徳 之 島 病 院	4	3	2

*糖尿病透析予防指導管理料

いづろ今村病院 336 件／年（2024 年度 353 件／年）

慈愛会クリニック 2,485 件／年（2024 年度 2,391 件／年）

*無料栄養相談（公益事業）

慈愛会クリニック 65 件／年（2024 年度 57 件／年）

*介護関連

愛と結の街経口維持 494 件／年（2024 年 360 件／年）

業 績 一 覧

【論文（論文・著書・雑文）】

慈愛会クリニック

＜雑文＞

1. 加藤実穂：循環器病予防に関する情報コラム 生活指導法の紹介. 循環器病予防療養指導士ニュースレター No.50,2025

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 牛野涼夏：健康と食生活 ～今日からできる食事の工夫～. 鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会, 2026 年 2 月 4 日, 鹿児島

いづろ今村病院

1. 中蘭智美：あなたのことを教えて～それがきっかけになります～. 第 29 回鹿児島糖尿病スタッフセミナー, 2025 年 12 月 1・8・15 日, 鹿児島

慈愛会クリニック

1. 加藤実穂：看護栄養学（講義）. 鹿児島中央看護専門学校, 2025 年 12 月 1・8・15 日, 2026 年 1 月 5・19・26 日, 2 月 2 日, 鹿児島

【マスメディア】

今村総合病院

1. 七枝美香：こどもの水分補給. 鴨池校区広報誌 LL かもいけ 138 号. 2025 年 9 月
2. 下村莉美：朝ごはんの効果について. 鹿児島県垂水市「広報たるみず」. 2025 年 11 月

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

ソーシャルワーカー部門 (JSW)

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
地域貢献	(1)地域交流会等に参加し、社会福祉・精神保健福祉に関する知識の普及啓発活動に参画する - 鴨池校区コミュニティ協議会への参加 1回/月 (今村総合病院) - 鴨池校区福祉合同研修会への参加 (今村総合病院) - かもいけ健康まつりへの参加 (今村総合病院) - いづろ健康・介護まつりへの参画 (いづろ今村病院) - 地域交流行事の開催 (谷山病院) - 地域交流行事 (愛結介護マルシェの開催) (愛と結の街) - 地域講話 2回/年 (愛と結の街) (2)認知症疾患医療センターの役割の充実と機能強化 - 認知症カフェの開催 (谷山病院)	【今村総合病院】(1) - 鴨池校区コミュニティ協議会への参加 1回/月(今村総合病院) - かもいけ健康まつりへの参加(今村総合病院) 【いづろ今村病院】(1) - いづろ健康・介護まつりへの参画 【谷山病院】(1)(2) - 地域交流行事 ところのマルシェ開催 - 認知症疾患医療センター合同症例検討会 - 認知症カフェ - 認知症サポーター養成講座 - 認知症疾患医療連携会議 ・介護従事者、医療従事者向け認知症研修会 - かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修 【奄美病院】(1)(2) - 日本精神保健福祉士実習指導者養成研修サポーター - 鹿児島県精神保健福祉士協会基幹研修講師 - 地域WRAP - 依存症家族教室 - 認知症施策推進協議会 【愛と結の街】(1) - 認知症カフェ - 認知症家族会 - 認知症疾患医療連携協議会 - 認知症サポート医フォローアップ研修 【愛と結の街】(1) 介護マルシェの開催	【今村総合病院】(1) - 鴨池校区コミュニティ協議会とも定例会を開催し、情報共有が図れた。 - かもいけ健康まつりでは、介護保険など相談対応を行った。 【いづろ今村病院】(1) - 介護相談、ACPのブースを担当し、対応した。 【谷山病院】(1)(2) - 地域交流行事 ところのマルシェ - 認知症疾患医療センター 症例検討会を実施、多職種で実施できた。 - 認知症疾患医療センター 認知症カフェ(あいカフェ)スターバックスをお借りして実施 【奄美病院】(1)(2) - 就労事業所や社協に出向き、WRAPの活動を通して知識の普及を行った。 - 認知症疾患医療センターの活動でラジオへ出演し啓蒙活動ができた。 【愛と結の街】(1) - 介護マルシェを開催、介護相談窓口を開設して相談対応し、地域住民とのつながりがもてた。	【今村総合病院】(1) - 引き続き定例の委員会に参加し、地域との交流を図っていく。 【いづろ今村病院】(1) - 次年度開催に向け、実行委員会へ参加していく 【谷山病院】(1)(2) - 引き続き、センター症例検討会、認知症カフェを行っていく 【奄美病院】(1)(2) - 引き続き福祉に関する知識の普及に貢献していく。 【愛と結の街】(1) - 引き続き、地域社会とのつながりをもち地域社会へ貢献できるよう交流を図っていく。
地域連携	(1)関係機関との連携強化 - 挨拶回り等の外部機関との連携 (全病院) - 地域連携のつとめ開催 (いづろ今村病院) - 地区居宅介護支援事業所向け研修・意見交換会 (いづろ今村病院) - 認知症疾患医療センター合同症例検討会 (谷山病院) - 複数事業所との協働体制 (あゆみ)	【今村総合病院】 - 絆を深める地域医療交流会 【いづろ今村病院】 - 医師、プロジェクト委員等と協力し・県内45医療機関への訪問を実施 - 地域連携のつとめ開催 - 地区居宅介護支援事業所向け研修・意見交換会開催 【谷山病院】 - 自立支援協議会への参加 - 県居住支援ネットワーク会議 - 鹿児島市地域移行戦略会議 - 鹿児島市地域生活支援拠点協定法人ミーティング - セルフヘルプネットがこしま定例会 - 鹿児島市障害者基幹相談支援センター運営協議会 - ゆうあいフェスティバル実行委員 - 鹿児島南特別支援学校障害者支援施設等説明会 - 鹿児島市重層的支援体制整備事業推進委員会実務者会議 - こころで描く絵画展実行委員 - 日置市相談支援部会 - 鹿児島市地域活動支援センター連携会議 【奄美病院】 - 奄美地区地域医療連携室協議会 - 自立支援協議会 - 居住支援協議会 - 多職種連携推進チーム会議 - 奄美市自殺対策地域ネットワーク会議 - 介護保険審査会 - 民生委員定例会 - 奄美広域権利擁護ネットワーク協議会 - 子どもネット会議 - 奄美大島、喜界島在宅医療介護連携推進事業連絡会 - 相談支援事業所協働体制連絡会議	【今村総合病院】 - 自院主催 (年4回) と他医療機関主催 (年4回)、それぞれにSWが参加し、外部との交流、連携を図ることができた。 【いづろ今村病院】 - 多職種での訪問を実施、様々な視点での案内ができた。 - 会場の利便性もあり多くの参加となり、交流、連携を図ることができた。 - 定期開催となり、活発な意見交換等ができた。 【谷山病院】 - 行政、医療、福祉、介護機関と緊密に連携を図ることができた。 【奄美病院】 - 医療機関や公的機関と連携し専門性を生かした関わりが持てた。	【今村総合病院】 - 今後も積極的に他機関主催の地域連携の集いへの参加をしていく。 - 円滑な退院調整のためにも、SW 独自でも挨拶回りを行っていく。 【いづろ今村病院】 - 多職種での挨拶まわりの継続。ケースの状況等、タイムリーな実施も検討。 - 引き続き主催部署として来年度開催に向け準備をしていく。 - 対象を広げる等拡大した開催を検討する。 【谷山病院】 - 今後も関係機関との連携を継続していく。 【奄美病院】 - 引き続き、役所・保健所・自立支援協議会などと連携し、地域が抱える問題の解決に取り組んでいく。

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
地域連携		【徳之島病院】 ・徳之島地区自立支援協議会 ・精神保健福祉業務に係る関係者連絡会 ・徳之島町自殺対策推進連絡会議 ・在宅医療介護運営委員会 ・徳之島3町介護連携推進事業運営委員会 ・徳之島地区母子連絡会 ・徳之島地区子ども若者支援者研修会 【愛と結の街】 ・地域貢献活動の実施 ・関係病院へのあいさつ回り	【徳之島病院】 ・行政、医療、福祉に係る関係機関等と継続した連携体制を図ることができた。 【愛と結の街】 ・地域の高齢者クラブで老健の機能や役割について講話を実施することができた。 ・地域の病院へのあいさつ回りを実施。空床情報等を提供し連携することができた。	【徳之島病院】 ・今後も関係機関との連携を図り、地域課題の共有や解決に向けて取り組みを継続していく。 【愛と結の街】 ・今後も社会貢献活動として地域の高齢者クラブ等での講話を実施し地域の問題や課題などについて問題解決できるよう取り組んでいく。
法人内連携強化	(1)慈愛会ソーシャルワーカー(JSW)部門の組織体制の強化 ・JSW代表者会開催1回/月(全病院) ・総会準備委員会の開催1回/月(全病院) ・教育委員会1回/月(全病院) ・3精神科病院会議1回/月(谷山病院、奄美病院、徳之島病院) ・キャリア開発推進委員会1回/2カ月(いづろ今村病院、今村総合病院、谷山病院)	【全体】(1)X(2) ・JSW代表者会開催1回/月(全病院) 12回 ・総会準備委員会の開催1回/月(全病院) 12回 ・教育委員会1回/月(全病院) 12回 ・3精神科病院会議1回/月(谷山病院、奄美病院、徳之島病院) 12回	【全体】(1)X(2) ・JSW代表者会開催1回/月(全病院) 12回 ・総会準備委員会の開催1回/月(全病院) 12回 ・教育委員会1回/月(全病院) 12回 ・3精神科病院会議1回/月(谷山病院、奄美病院、徳之島病院) 12回	【全体】(1)X(2) ・継続していく。
教育体制	(1)キャリアラダーを活用した教育体制の充実 ・ラダー内容の見直し(社会福祉士、精神保健福祉士協会に準ずる)・ラダー内容の見直し(社会福祉士、精神保健福祉士協会に準ずる) (2)大学や専門学校等の実習生受け入れの継続 ・今村総合病院 1～2名/年 ・今村総合病院 1～2名/年 ・谷山病院 2～5名/年 ・谷山病院 2～5名/年 ・奄美病院 1～2名/年 ・奄美病院 1～2名/年 (3)支援者としての質の担保、向上 ・新人教育研修開催 4回/年(全病院) ・活動報告会1回/年(全病院) ・事例検討会1回/月(今村総合病院) ・MHSW定例会1回/3カ月(谷山病院) ・事例勉強会1回/月(谷山病院)	【全体】(1)X(3) ・職員能力開発プログラム(キャリアラダー)の申請と認定 ・JSW初任者研修(全4回実施) ・JSW総会、活動報告会の開催(演題) 【今村総合病院】 ・事例勉強会 1回/月(今村総合病院) ・e-ラーニング 1回/月(今村総合病院) ・実習生の受け入れ 【谷山病院】(1)X(2)(3) ・キャリアラダー(I～V)の申請者8名 ・実習生4名受け入れ ・MHSW定例会1回/2カ月(谷山病院) ・事例勉強会 1回/月(谷山病院) 【奄美病院】(1)X(2)(3) ・キャリアラダー(I)の申請者1名 ・実習受け入れなし ・MHSW定例会 1回/月	【全体】(1)X(3) ・キャリアラダーの申請者 10名中、認定者は 10名 ・JSW初任者研修 4回目は、初任者・異動者の8名が事例発表 ・JSW総会、活動報告会の開催 8名が活動報告 【今村総合病院】 ・事例検討会は、担当者体調不良で開催できない月もあった。内容としては、経験値の違いが大きい中でも積極的な意見交換ができる場となった。 ・鹿児島国際大学から1名の受け入れ。3年後の受け入れにあたり、志学館大学との契約。 【谷山病院】(1)X(2)(3) ・キャリアラダー(I～V)の認定者8名 ・実習生は、志学館大学、鹿児島国際大学、日本福祉教育専門学校 ・MHSW定例会 年4回開催(事例班2回、研修班2回) ・事例勉強会 開催できない月もあったため、研修報告など事例以外でも勉強会としていく。 【奄美病院】(1)X(2)(3) ・キャリアラダー(I)の認定者1名	【全体】(1)X(3) ・キャリアラダー申請者に対する支援体制の強化 ・職員能力開発プログラム(キャリアラダー)の内容の見直し ・ラダーV取得者に初任者研修の講師を依頼していく。 ・役職者用のラダー(マネジメント)は作成途中である。 【今村総合病院】 ・退院支援看護師、緩和ケア認定看護師、臨床心理士も参加して事例検討会の継続 【谷山病院】(1)X(2)(3) ・異なる部署のMHSWでキャリア開発推進委員会を5名で行い、ラダー申請者の支援を行う 【奄美病院】(1)X(2)(3) ・実習指導者研修を受け、指導者を増やす。受け入れ体制を整えていく。
退院支援	(1)地域移行・地域定着支援の充実を図る ・外部(ピアサポーター)と協働し長期入院者の退院支援を図る(谷山病院、奄美病院、徳之島病院)	【谷山病院】 ・鹿児島市保健所 地域移行戦略会議・地域移行推進会議に参加 【奄美病院】 ・ピアサポーター(精神保健福祉士)採用 ・精神障害者地域移行・地域定着会議 ・ピア交流会開催 【徳之島病院】 ・徳之島・沖永良部・与論地区地域移行・地域定着推進会議 ・徳之島地区自立支援協議会(地域移行・地域定着部会)	【谷山病院】 ・地域移行・地域定着事業の対象者に退院支援を実施したが退院や期間終了で対象者0となった。 【奄美病院】 ・病院内でピア交流会を開催し退院支援や啓発活動が行えた。 【徳之島病院】 ・地域移行・地域定着部会研修会においてピアサポーターを講師として研修会を開催し、地域移行・地域定着促進・充実に向けた活動を実施できたが、年度計画より少ない機会が終わった。	【谷山病院】 ・鹿児島市保健所 地域移行戦略会議・地域移行推進会議に参加 【奄美病院】 ・ピア交流会を毎月開催し、地域移行地域定着支援の充実を図る。 【徳之島病院】 ・地域移行・地域定着部会としての活動を充実させ、さらなる地域移行・地域定着の支援の促進を図る。

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
財務	(1)算定可能な加算等を積極的に取得していく ・診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定への順応 (全病院) (2)相談支援専門員を増員し、契約者数の増加を目指し支援の充実を図る (あゆみ)	【今村総合病院】(1) ・入院時支援加算 I 229件 ・入退院支援加算 I 2,224件 ・介護支援等連携指導加算 108件 ・退院時共同指導料 25件 ・多機関共同指導加算 18件 ・高齢者総合評価加算 1078件 【いづろ今村病院】(1) ・入退院支援加算 576件 ・入院時支援加算 21件 ・退院時共同指導料 81件 (算定可29件) ・多機関共同指導加算 4件 (算定可 3件) ・介護支援連携指導料 25件 (算定可 5件) 【谷山病院】(1) ・介護支援等連携指導料 9件 ・精神科急性期医師配置加算 475件 ・地域移行実施加算 8件 ・精神科退院前訪問指導料 (共同加算含む) 131件 【奄美病院】(1) ・介護支援等連携指導料 60件 ・精神科急性期医師配置加算 8571件 ・地域移行実施加算 5件 ・精神科退院前訪問指導料 237 【徳之島病院】(1) ・介護支援等連携指導料 25件 ・地域移行実施加算 7件 ・退院前訪問指導料 (共同加算含む) 58件 【愛と結の街】 ・協力医療機関連携加算 1,181件 ・生産性向上推進体制加算 1,181件 【あゆみ】 ・相談支援専門員の資格取得 1名 ・他部署職員の相談支援専門員資格更新 1名	【今村総合病院】(1) ・算定可能な加算を取得できてはいるが、取り漏れもあった。 【いづろ今村病院】(1) ・積極的に算定。特に地域包括ケア病棟の施設基準に関わる加算は計画的に取得した。 【谷山病院】(1) ・算定可能な診療報酬を積極的に算定した。 【奄美病院】(1) ・人員不足ではあるが、算定可能な加算を積極的に算定できた。 【徳之島病院】 ・算定可能な加算を積極的に算定できた。 【愛と結の街】 ・算定可能な加算を算定できた。 【あゆみ】 ・資格を取得していない者を採用し、採用後に資格を取得してもらった。 ・職員不足により契約者は減少となった。	【今村総合病院】(1) ・入退院支援加算 I の適切な取得率を見直す。継続的に算定できる体制の整備 ・介護支援等連携指導料の算定向上を目指し、外部とも積極的に連携を図る。 【いづろ今村病院】(1) ・算定漏れがないよう、確認体制の再検討 ・診療報酬改定へ対応していく 【谷山病院】(1) ・継続的に算定できる体制を整える。 【奄美病院】(1) ・引き続き算定可能な加算を取得していく。 【徳之島病院】 ・加算を積極的に算定していく意識・体制を継続していく。 【愛と結の街】 ・今後も積極的に加算を取得していく。 【あゆみ】 ・資格取得者の入職希望がないため今後も採用後に取得できる体制を継続する。 ・タスクシフトやITの活用で人手不足を補う。
人材確保財務	(1)必要な人材を安定的に確保していく ・大学や専門学校の合同企業説明会等に参加 ・鹿児島県MSW協会医療ソーシャルワーカー合同就職説明会 (今村総合病院)	全体(1) ・鹿児島国際大学学内合同企業説明会へ参加	全体(1) ・鹿児島国際大学学内合同企業説明会へ参加	全体(1) ・安定した人員を確保できるよう、企業説明会に継続して参加する。 【奄美病院】 ・採用強化のためリファーマル(職員紹介)制度を導入する。
DX(デジタル)関連財務	・医療DXを活用できる人材となる具体的な内容について、検討を重ねながらDXを推進する。			

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会ソーシャルワーカー部 (JSW)

いづろ今村病院：2名

今村総合病院：12名(10月1名入職)

谷山病院：32名(12月1名退職。1月からは31名。)

奄美病院：8名(9月末1名退職。10月からは7名。)

徳之島病院：5名(5月1名異動。6月1名入職。12月1名退職。1月から4名。)

介護老人保健施設愛と結の街：4名(5月1名退職。

3月末1名退職。3月末から2名)

計59名

【人事交流・施設間の協力体制】

特になし

【2024年度の活動】

1. JSW代表者会議(12回/年)

(目的)

慈愛会内のソーシャルワーカー間の情報共有を図るこ

とで、質の高いマネジメントを行い、互いの業務、役割、現状を知ること、法人内の連携を強化することを目的としている。

2. JSW総会・合同研修会準備班（1回／年）

（目的）

総会準備、合同研修会の企画立案を目的としている。

3. JSW教育委員会（2017年12月より教育プログラム作成委員会として活動。2019年4月名称変更）（12回／年）

（目的）

統一した教育プログラムの作成、運用により、援助の質の担保、離職防止を図ることを目的としている。

合同研修会

【慈愛会ソーシャルワーカー部門総会・活動報告会】

- ・2025年6月21日（土）13：30～17：30
- ・今村総合病院
- ・集合とオンライン（Zoom）のハイブリット開催

<内容>

1. 理事長挨拶
2. 活動報告会①「地域連携室合同パンフレットの作成報告」
 - ①「主体的な目標設定に向けて」～治療プログラム参加を通しての試み～
（清水一寿子・谷山病院デイケア）
 - ②「身寄りがいない・KPがいない患者に対しての支援」～ソーシャルワーカーの関わり方～
（平山翔大・今村総合病院）
 - ③「重度知的障害の子を持つ母からのSOSに対応した事例の報告」～既存の障害福祉サービスでは支援が困難だった事例から地域に必要な社会資源について考察する～
（島由紀子・相談支援事業所ひだまり）
 - ④「今村総合病院の精神科病棟の役割と今後の課題」～患者様に寄り添った支援と連携について～
（前岡美玖・今村総合病院）
 - ⑤「サテライトグループホームのニーズと今後の展望」
（遠矢ふみ・共同生活援助事業所しらゆりの郷）
 - ⑥「認知症支援の啓発“しまロバ隊”で鹿児島をオレ

ンジに染める」～SNSやオンラインツールで離島の距離的ハンデを強みに変えて～

（西牟田智子・奄美病院）

- ⑦「認知症支援の啓発“しまロバ隊”で鹿児島をオレ
ンジに染める」～しまロバ隊が築いた地域の絆～

（森越志保・奄美病院）

- ⑧グループワーク「地域共生社会を目指してソーシャルワーカーに出来る事」

【慈愛会ソーシャルワーカー 初任者研修】

対象：2025年度新規採用者4名、2024年度中途採用者4名
計8名

会場：集合研修・Zoom使用

- ①2025年5月17日（土）8：30～12：30

・慈愛会でのSWの役割、JSW、慈愛会フィロソフィについて

（講師：内門直人・谷山病院）

・慈愛会における各施設の機能や連携について

（講師：各施設代表者）

・倫理綱領、SWの価値・倫理について

（講師：南尚江・いづろ今村病院）

- ②2025年8月30日（土）8：30～12：30

・スーパービジョンについて

（講師：西牟田智子・奄美病院）

・面接技法、コミュニケーションスキルについて

（講師：濱田凌・谷山病院デイケア）

・精神保健福祉について

（講師：別府千尋・谷山病院）

・ストレスマネジメントについて

（講師：南尚江・いづろ今村病院）

- ③2025年11月1日（土）8：30～12：30

・離島医療について

（講師：下田清一・相談支援事業所あゆみ、

梅岡啓香・徳之島病院）

・介護保険について

（講師：山中ゆかり・居宅介護支援事業所愛と結の街）

・無料定額診療について

（講師：黒瀬絢未・谷山病院）

・社会保障（年金、公的扶助）について

（講師：上野彩乃・今村総合病院）

・障害者福祉について

(講師：遠矢ふみ・共同生活支援事業所しらゆりの郷)

④2026年3月13日(土) 8:30～12:30

・ケース記録の必要性、個人情報の取扱いについて

(講師：日高洋美・今村総合病院)

・個別発表(初任者8名)(1年間の総括、自己覚知および事例発表を行う)

【今村総合病院 事例検討会】

①日付：2025年4月23日

症例提供者：相羽遥日

テーマ「家族の自宅退院希望が強い患者様の事例」

②日付：2025年6月25日

症例提供者：永田悠果

テーマ「ご家族の協力を得ることが難しい患者様への支援について」

③日付：2025年7月23日

症例提供者：辻恵理

テーマ「回復期リハビリテーション病棟からの自宅退院支援」

④日付：2025年8月27日

症例提供者：原田美和

テーマ「外国人(外国籍のある方)の事例からみえた課題を考える①」

⑤日付：2025年9月24日

症例提供者：原田美和

テーマ「外国人(外国籍のある方)の事例からみえた課題を考える②」

⑥日付：2025年10月22日

症例提供者：迫山富貴子

テーマ「早期の初期面談、早期介入の必要性を改めて実感した事例」

⑦日付：2025年11月26日

症例提供者：上野彩乃

テーマ「本人と家族の関係性へのアプローチ」

⑧日付：2026年1月21日

症例提供者：倉英子

テーマ「ACPを踏まえた在宅調整～グリーフケア訪問」

⑨日付：2026年3月18日

症例提供者：前岡美玖

テーマ「本人のエンパワメントを引き出すために何ができるのか」

【谷山病院 事例検討会】

①日付：2025年5月10日

症例提供者：別府千尋

テーマ「拒絶から受容へ～病態理解がもたらした家族の心の変化～」

②日付：2025年6月21日

症例提供者：鈴木朋哉

テーマ「施設入所への心理的葛藤を抱える家族への支援」

③日付：2025年7月19日

症例提供者：住吉亜紀美

テーマ「前施設でのトラブルを教訓とした具体的支援策の検討」

④日付：2025年8月23日

症例提供者：元見竜也

テーマ「連絡不能な家族に代わり親族(兄妹)が主導する退院調整プロセス」

⑤日付：2025年10月25日

症例提供者：新谷真由子

研修報告「多罰的な家族への組織的対応とスタッフのメンタルケアを並行した退院支援」

⑥日付：2025年11月15日

症例提供者：佐々木奈美

テーマ「話を聞きたくないと言う感情に向き合う退院支援」

⑦日付：2025年12月20日

症例提供者：有馬喜隆

テーマ「自己決定の尊重と現実的制約の狭間で」

⑧日付：2026年2月20日

症例提供者：竹原美月

テーマ「苦手意識のある患者を通して自己覚知」

【奄美病院 院内勉強会】

①日付：2025年4月12日

症例提供者：森越志保

テーマ「リカバリーについて」

②日付：2025年7月12日

症例提供者：西牟田智子

テーマ「認知症ケア学会『わたくし認知症ですが、何か?』」

③日付：2025年8月9日

症例提供者：吉村あゆみ

テーマ：「取り組もう！地域と一緒に退院支援」

④日付：2025年9月13日

症例提供者：西牟田智子

テーマ：「全国大会参加報告～精神国賠について考えよう～」

芹ヶ野春美、清水一寿子、濱田凌、東郷莉空、
内門直人、住吉亜紀美、宮竹敦史、佐々木奈美、
別府千尋、前田結華、黒瀬絢未、有馬喜隆、
元見竜也、濱崎健志、鈴東朋哉、新谷真由子、
竹原美月

(実習指導者) 岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、
満窪圭吾、久保早苗、内門直人、住吉亜紀美、
宮竹敦史、清水一寿子、佐々木奈美、別府千尋、
新谷真由子

技能・能力向上に向けた取り組み

【有資格者数】

○社会福祉士：41名（実習指導者：6名）

・今村総合病院：9名（実習指導者：5名）

原田美和、辻恵里、日高洋美、上野彩乃、倉英子、
相羽遥日、久松聡一郎、平山翔大、上野峻輔
(実習指導者) 原田美和、日高洋美、辻恵里、
上野彩乃、倉英子

・いづろ今村病院：2名（実習指導者：0名）

南尚江、内屋敷香織

・谷山病院：19名（実習指導者：0名）

岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、久保早苗、
上ノ堀知美、今元大祐、松崎里香、満窪圭吾、
遠矢ふみ、染川悠希、内門直人、住吉亜紀美、
前田結華、濱田凌、黒瀬絢未、元見竜也、
濱崎健志、鈴東朋哉、新谷真由子

・奄美病院：6名（実習指導者：1名）

下田清一、吉村あゆみ、西牟田智子、有村美幸、
貴島世梨香、悦本遼
(JSW非会員…上堂雅美、元俊智)
(実習指導者) 西牟田智子

・徳之島病院：1名（実習指導者：0名）

有山さつ美

・愛と結の街：4名（実習指導者：0名）

斉藤尚美、今元浩子、高城明子、中西鉄矢

○精神保健福祉士：50名（実習指導者：14名）

・今村総合病院：4名（実習指導者：0名）

上野彩乃、前岡美玖、迫山富貴子、永田悠果

・谷山病院：33名（実習指導者：12名）

岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、島由紀子、
久保早苗、上ノ堀知美、古園友理恵、佐澤佳史朗、
今元大祐、茅野真奈美、染川悠希、松崎里香、
濱平真維、満窪圭吾、遠矢ふみ、日高明歩、

・奄美病院：8名（実習指導者：2名）

下田清一、吉村あゆみ、西牟田智子、有村美幸、
森越志保、貴島世梨香、悦本遼、宮崎智子
(JSW非会員…上堂雅美、元俊智)
(実習指導者) 下田清一、西牟田智子

・徳之島病院：5名（実習指導者：0名）

梅岡啓香、宮上桂子、有山さつ美、山口いずみ、
本山和秀

○介護福祉士：4名

・愛と結の街：3名

斉藤尚美、今元浩子、中西鉄矢

・徳之島病院：1名 有山さつ美

○介護支援専門員：3名

・いづろ今村病院：1名 南尚江

・愛と結の街：2名 中西鉄矢、斉藤尚美

○相談支援専門員：12名

・谷山病院：8名

岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、島由紀子、
久保早苗、上ノ堀知美、古園友理恵、前田結華

・奄美病院：4名

下田清一、吉村あゆみ、有村美幸、悦本遼
(JSW非会員…安田衣寿美)

○サービス管理責任者：8名

・谷山病院：4名 満窪圭吾、岩元利保子、佐々木奈美、
遠矢ふみ

・奄美病院：3名 下田清一、吉村あゆみ、有村美幸

・徳之島病院：1名 宮上桂子

- がん相談支援センター相談員基礎研修（１）（２）知識確認コース終了者：９名
 - ・今村総合病院：８名 原田美和、辻恵理、上野彩乃、日高洋美、平山翔大、相羽遥日、久松聡一郎、前岡美玖
 - ・いづろ今村病院：１名 南尚江
- 福祉住環境コーディネーター：３名
 - ・愛と結の街：２名 中西鉄矢、斉藤尚美
 - ・奄美病院：１名 西牟田智子
- 公認心理師：３名
 - ・いづろ今村病院：１名 南尚江
 - ・奄美病院：２名 西牟田智子、貴島世梨香
- 認定社会福祉士認証・認定機構 認定社会福祉士（障害分野）：１名
 - ・奄美病院：１名 西牟田智子
- 認定社会福祉士認証・認定機構 認定スーパーバイザー：１名
 - ・奄美病院：１名 西牟田智子
- 認知症ケア専門士：１名
 - ・奄美病院：１名 西牟田智子
- 認定精神保健福祉士：１名
 - ・谷山病院：１名 内門直人
- 両立支援コーディネーター基礎研修：１７名
 - ・今村総合病院：１１名 原田美和、日高洋美、辻恵理、上野彩乃、倉英子、前岡美玖、平山翔大、相羽遥日、久松聡一郎、迫山富貴子、永田悠果
 - ・いづろ今村病院：１名 南尚江
 - ・谷山病院：１名 内門直人
 - ・奄美病院：４名 吉村あゆみ、西牟田智子、森越志保、貴島世梨香
- WRAPファシリテーター養成研修：４名
 - ・奄美病院：４名 吉村あゆみ、西牟田智子、森越志保、悦本遼

院内外活動

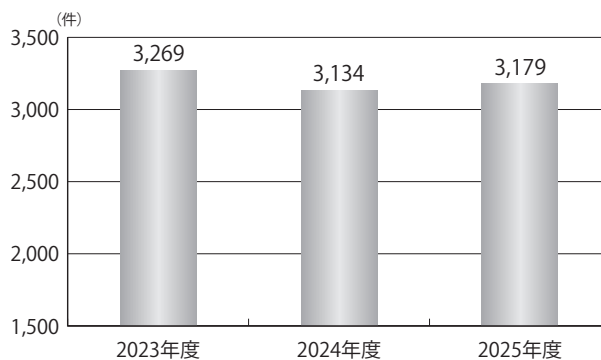
【院外活動】

- ・社会福祉法人鹿児島市手をつなぐ育成会 第三者委員
いづろ今村病院：南尚江
- ・介護認定審査会（奄美地区）
奄美病院：吉村あゆみ、西牟田智子、有村美幸、貴島世梨香、悦本遼
- ・鹿児島県精神医療審査会委員
谷山病院：住吉亜紀美
- ・鹿児島国際大学非常勤講師
谷山病院：内門直人
- ・鹿児島市障がい者総合支援審査会
谷山病院：別府千尋
- ・日置市障がい者総合支援審査会
谷山病院：佐々木奈美
- ・介護認定審査会（徳之島地区）
徳之島病院：宮上桂子
- ・奄美看護福祉専門学校非常勤講師
奄美病院：吉村あゆみ、西牟田智子

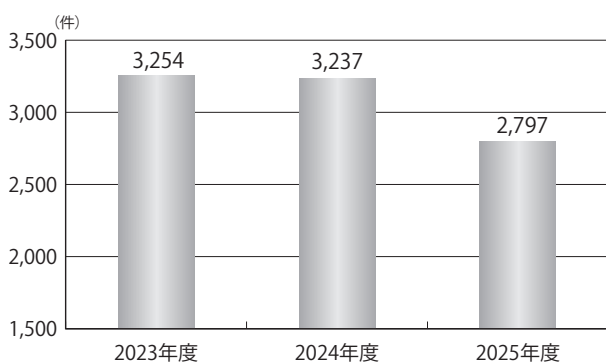
各種指標

今村総合病院

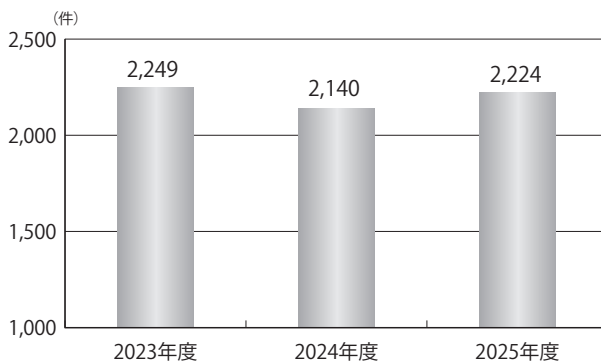
介入者数（延べ患者数）



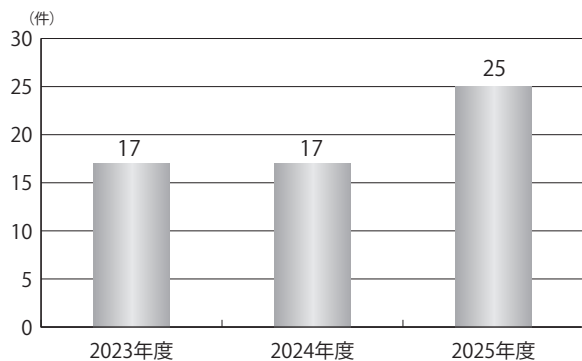
終了者数（延べ患者数）



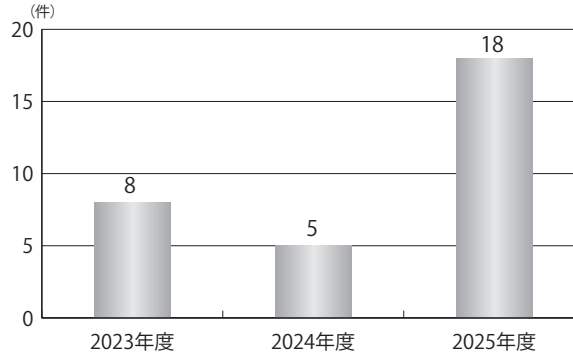
入退院支援加算1



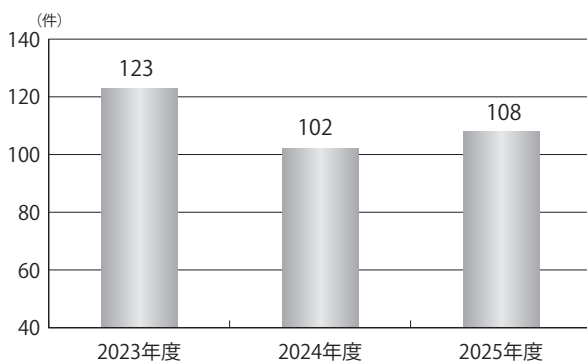
退院時共同指導料2



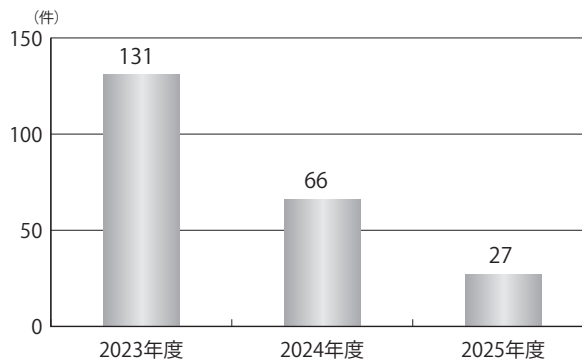
多機関共同指導加算



介護支援等連携指導料



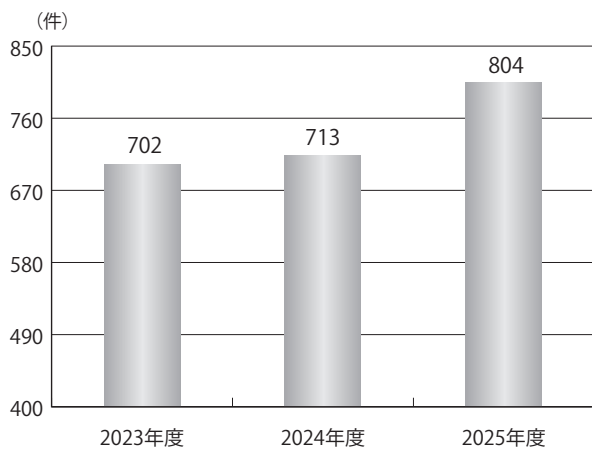
地域連携診療計画加算



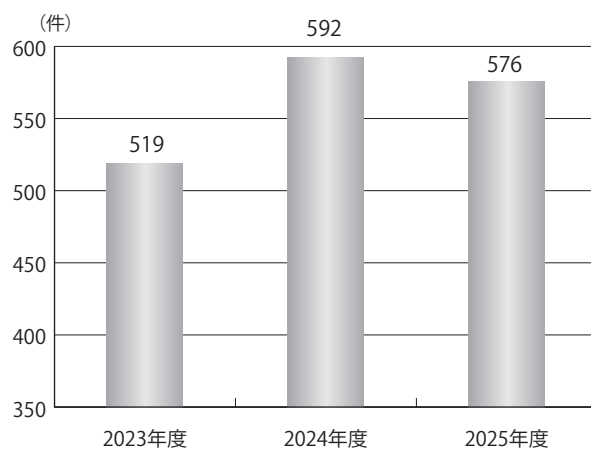
※2025年9月以降算定なし

いづろ今村病院

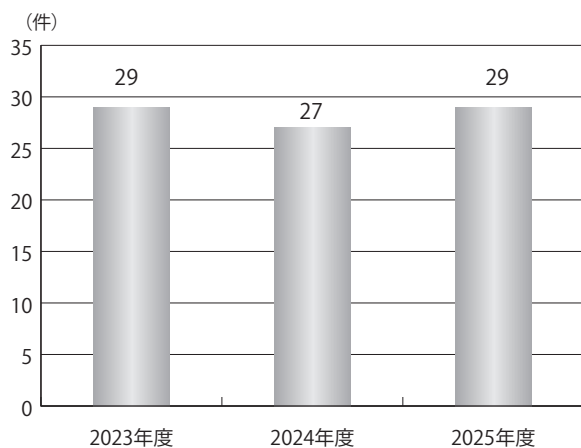
介入者数（延べ患者）



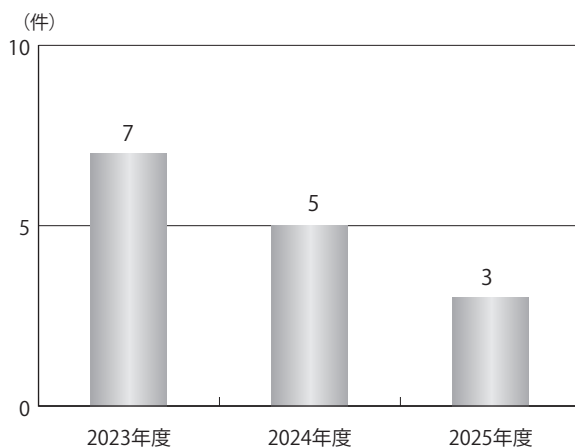
入退院支援加算1



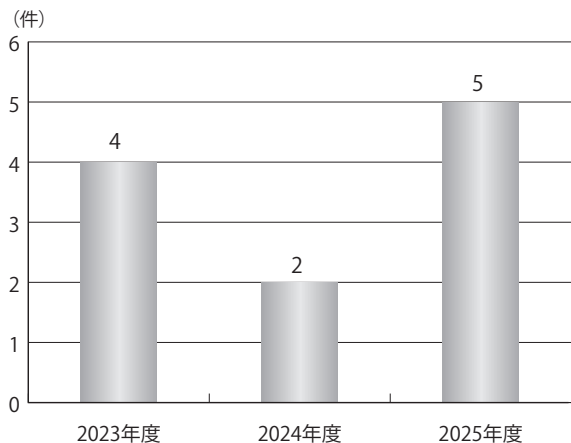
退院時共同指導料2



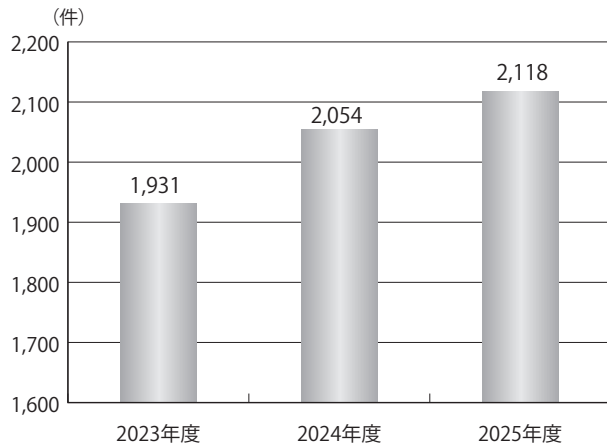
多機関共同指導加算



介護支援等連携指導料

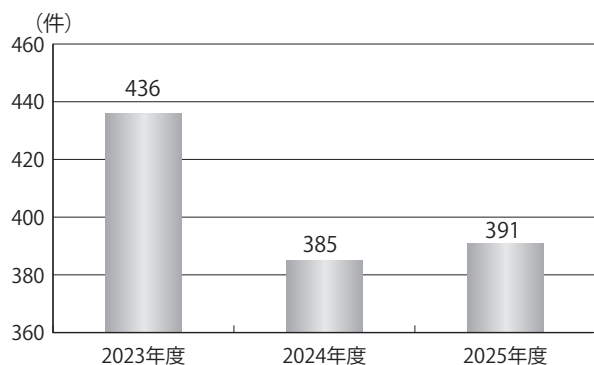


患者サポート体制充実加算

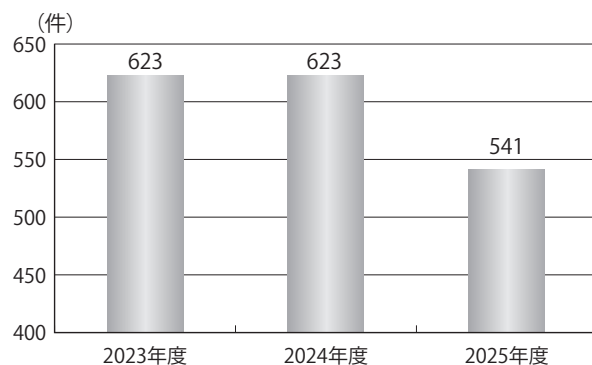


谷山病院

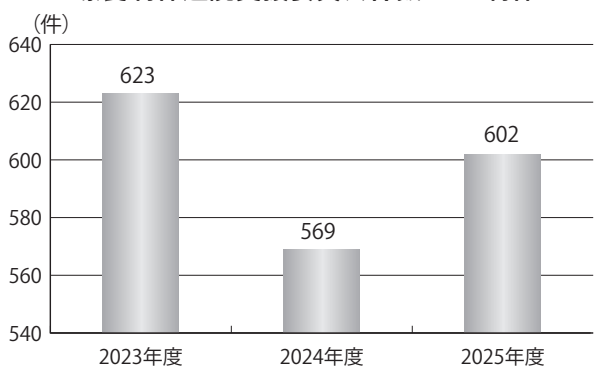
患者サポート体制加算



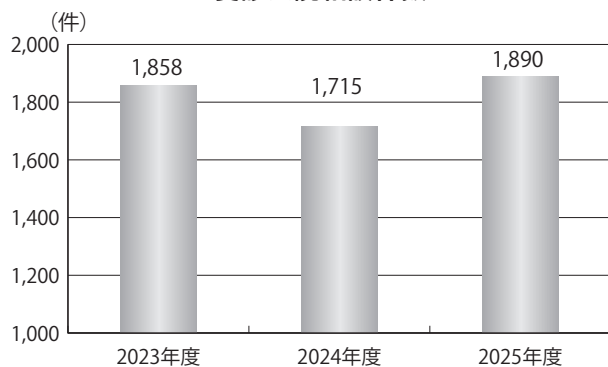
療養病棟退院支援委員会件数 C5病棟



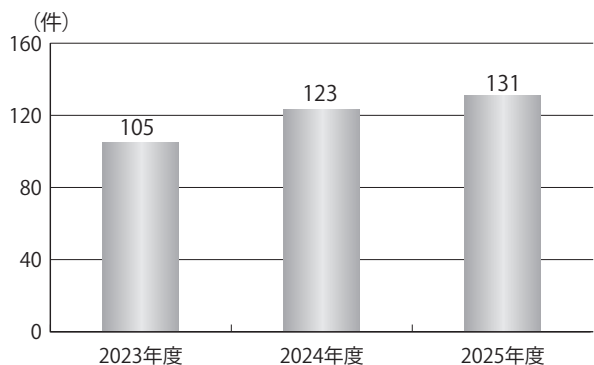
療養病棟退院支援委員会件数 C6病棟



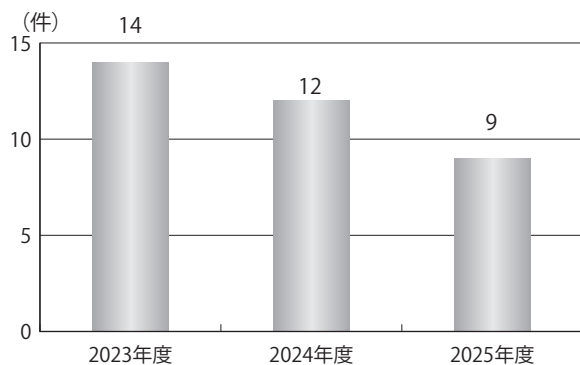
受診入院相談件数



退院前訪問指導料

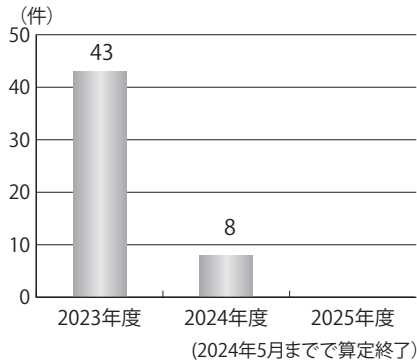


介護支援等連携指導料

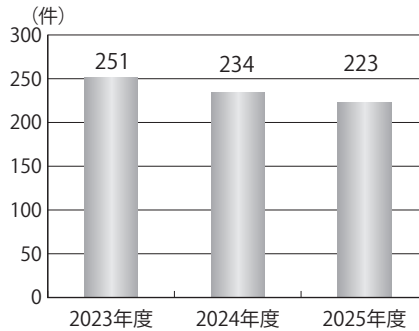


奄美病院

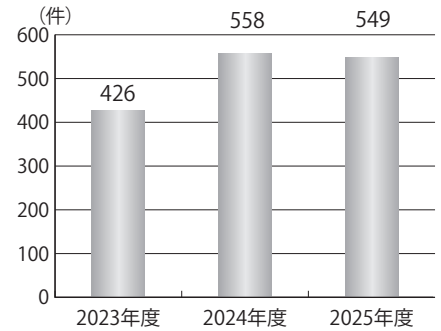
退院調整加算



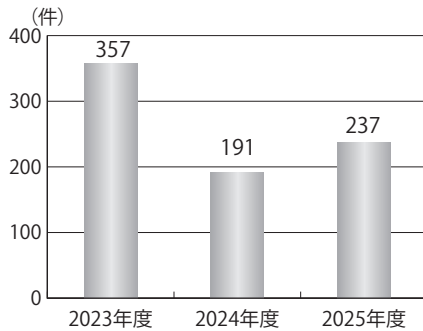
患者サポート体制加算



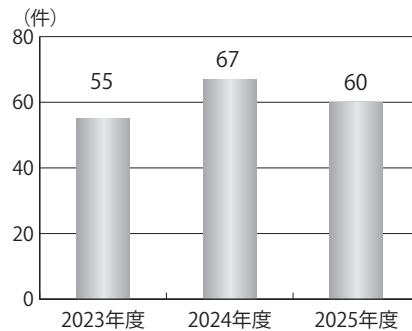
療養病棟退院支援委員会件数
(2西病棟)



退院前訪問指導料

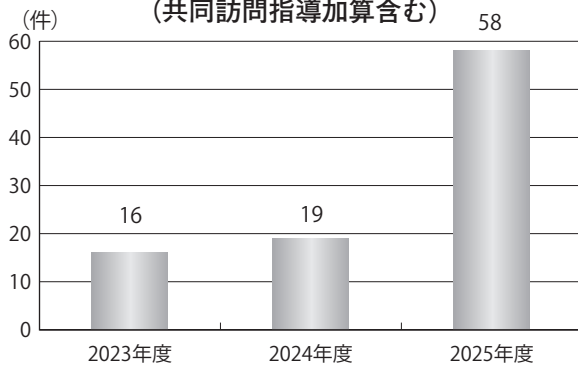


介護支援等連携指導料

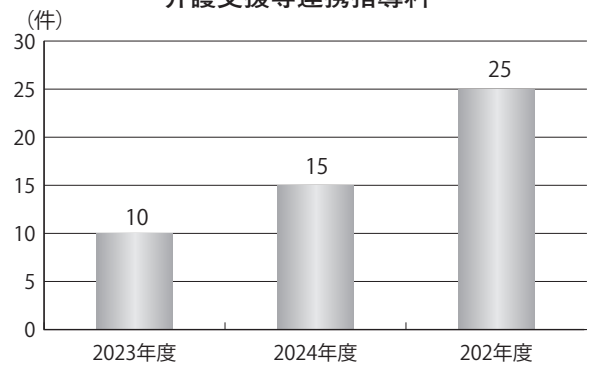


徳之島病院

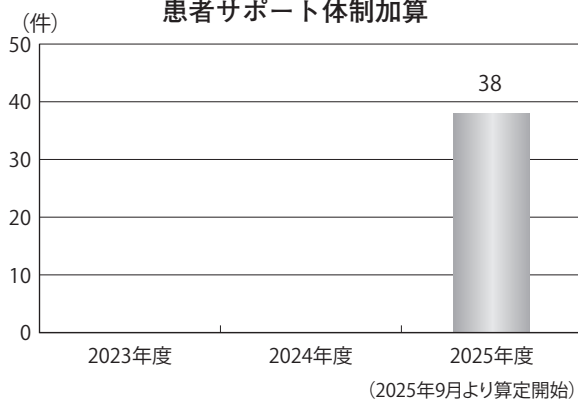
退院前訪問指導料
(共同訪問指導加算含む)



介護支援等連携指導料

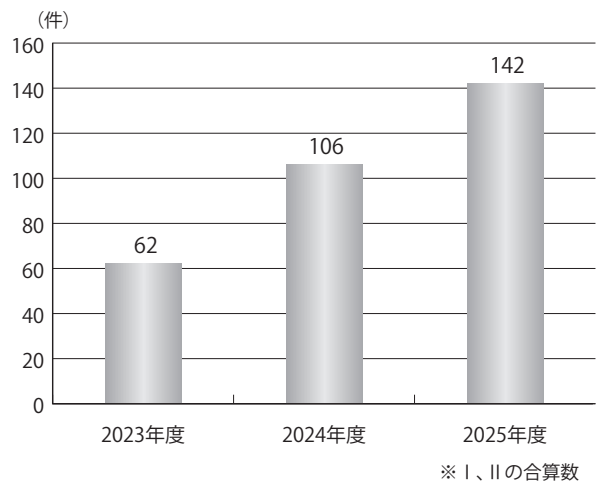


患者サポート体制加算

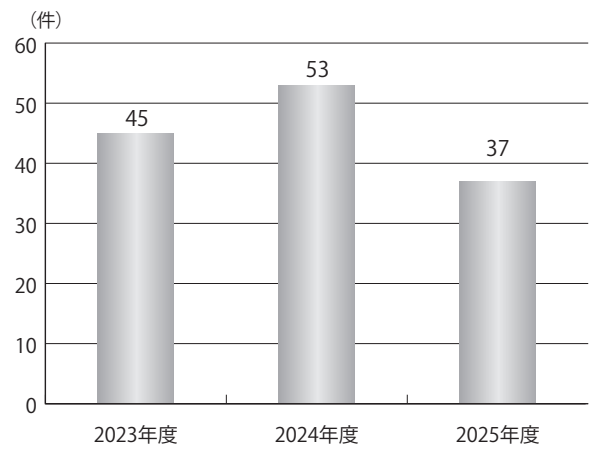


介護老人保健施設 愛と結の街

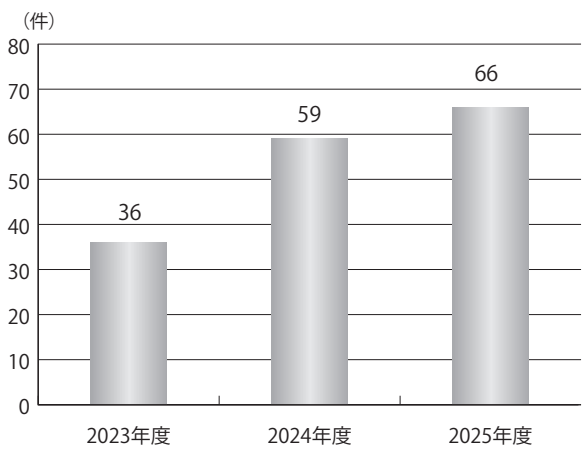
退所時情報提供加算



入退所前連携加算Ⅱ



入所前後訪問指導加算Ⅰ



業 績 一 覧

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 原田美和：地域医療の充実を目指して、絆を深める地域医療交流会，2025 年 12 月 8 日，鹿児島

奄美病院

1. 西牟田智子：基幹研修Ⅱ 精神保健福祉士の専門性，鹿児島県精神保健福祉士協会，2025 年 11 月 23 日，鹿児島
2. 西牟田智子：依存症とは，名瀬保健所 依存症家族支援教室，2025 年 11 月 26 日，大島郡瀬戸内町
3. 吉村あゆみ，元俊智：地域移行・地域定着のさらなる一歩に向けて，徳之島地区地域自立支援協議会 地域移行・地域定着部会関係者研修会，2025 年 12 月 12 日，大島郡徳之島町
4. 西牟田智子：研修 SV について，鹿児島県精神保健福祉士協会，2026 年 1 月 18 日，鹿児島

【マスメディア】

谷山病院 認知症疾患医療センター

1. 別府千尋：認知症 スタバで語ろう 店提案、慈愛会と初開催，南日本新聞，2025 年 5 月 18 日

奄美病院

1. 貴島世梨香：認知症啓発，あまみエフエム タ方フレンド，2025 年 9 月 13 日
2. 貴島世梨香：認知症啓発，MBC ラジオ たんぽぽ倶楽部，2025 年 9 月 18 日
3. 森越志保，元俊智：こころのがじゅまるプロジェクトの取り組みについて，南海日日新聞，2025 年 10 月 10 日
4. 森越志保，元俊智：こころのがじゅまるプロジェクトの取り組みについて，奄美新聞，2025 年 10 月 22 日
5. 元俊智，吉村あゆみ：「ピアといっしょ」紹介，奄美新聞，2026 年 3 月 22 日
6. 元俊智，吉村あゆみ：「ピアといっしょ」紹介，南海日日新聞，2026 年 3 月 23 日

臨床工学技士(CE)部門

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会の臨床工学部は今村総合病院に技士を集約しており、他施設との組織横断的な取り組みはない。いつも今村病院に週に3回、1名の技士を出向させている状況が続いているが、同院での臨床工学技士業務は少なくなっている。

・立ち合い業務

ダヴィンチ：70件

・ペースメーカー関連

MRI：29件、OPE：44件、チェック：149件

技能・能力向上に向けた取り組み

<学会・研修会参加>

第20回九州沖縄臨床工学会

第32回鹿児島県臨床工学会

急性血液儒家学会学術集会

日本リハビリテーション学術集会

臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修

認定血液浄化臨床工学技士

第46回透析技術認定士

第29回日本透析アクセス医学会学術集会・総会（参加）

第18回植え込みデバイス関連冬期集会

人工腎臓装置保守管理研修

JHAT隊員養成研修

各種指標

・透析センター内

HD：23,382件、DFPP：5件、PE：20件、CART：16件、PTA：24件

・ICU内

HD：85件、CHDF：148件、PE：7件、PMX：10件

・その他病棟透析

A棟7階HD：6件、SCUHD：7件、A棟5階HD：4件

・HBO：410件

・PBSCH：16件、骨髄液処理：2件

業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

<国内>

1. 川井田季睦, 竹之内聖三, 村岡良朗, 田淵智久, 中村英仁, 三重陽一, 福元まゆみ, 坂口政人, 原康隆: 当院での電子聴診器 (HVSII モニタ) の使用経験. 第 70 回日本透析医学会学術集会・総会, 2025 年 6 月 27-29 日, 大阪
2. 塩浦大介, 土屋雄大, 古川正貴, 松田宣明, 里葵衣, 川井田季睦, 坂口政人, 竹之内聖三: 疼痛緩和を目的とした当院透析患者に対する交番磁界治療機器の使用経験. 第 20 回九州・沖縄臨床工学会 第 17 回大分県臨床工学学会, 2026 年 1 月 17-18 日, 大分
3. 里葵衣: 透析患者の待ち時間における運動療法への取り組み. 第 16 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2026 年 3 月 14-15 日, 久留米

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 松田歩美: 当院透析センターにおける災害に備える取り組みについて. 鹿児島 CKD チーム医療研究会, 2025 年 5 月 15 日, 鹿児島
2. 川井田季睦: 血液透析の原理. 日々の業務に + α ゼロから学ぶ透析入門セミナー, 2026 年 1 月 11 日, 鹿児島

部門別 事業報告(PDCA) 総括 業績一覧

事務部門

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
公正・公平な処遇の実現	(1)ドクターパフォーマンスレビューの進化(深化)、部門別原価計算の導入 ・管理原価計算および部門別原価計算等を活用した実績管理 ・医師賞与支給について、貢献度をより反映させた支給基準の検討 (2)一般職員給与水準の適正化、人事評価制度の見直し ・持続的な賃上げの検討 ・原価計算を活用した部門業績を個人の処遇に反映させる評価制度の構築 ・人事評価に基づく、一般職員への賞与プラス査定を導入 ・多面評価対象者拡大 ・効率的な人事評価システムの導入 (3)嘱託職員の給与水準の適正化 ・正職員給与体系見直しに準じた給与水準への見直し ・定年後再雇用職員について、業務内容・役割に応じた処遇の検討	(2)一般職員給与水準の適正化、人事評価制度の見直し ・2025.11.1より正職員基本給のベースアップを実施。 ・人事評価ナビゲーターを本格導入。2025年度人事評価を実施し効率化を図った。 (3)嘱託職員の給与水準の適正化 ・定年後再雇用職員について、定年時の給与の75%未満に下げるという規定を廃止。再度経歴換算を行い、職務内容に見合った給与支給額への見直しを実施。 ・2025年12月10日給与より、嘱託職員についても月額7,000円程度のベースアップを実施。	(2)一般職員給与水準の適正化、人事評価制度の見直し ・ベースアップ評価料、処遇改善加算を活用し、メリハリのある給与水準の適正化を検討する。 ・2025年度人事評価結果を精査し、今後の運用改善、評価者研修を実施する。 (3)嘱託職員の給与水準の適正化 ・60歳定年が妥当であるか、あるいは定年後の働き方、処遇等について今後も検討を継続する。	
多様性に対応できる人事施策の展開	(1)更なる法人内連携強化に向けての組織体制の構築 ・法人経営戦略会議を中心とした、各施設の連携強化推進 ・慈愛会トータルヘルスケアシステムの構築 ・関連法人の経営改善支援への関与 (2)地域社会および法人外事業所等との連携の展開 ・県内外医療機関との人材交流実施、高いスキルを有する職員派遣による経営支援の実施 ・大学生インターンシップの継続実施および異業種からの人材導入 (3)多様な働き方への対応と多様な人材確保・活用策の展開 ・兼業・副業規程の整備(改定)に向けての検討 ・奨学金制度、リファーマル制度拡充による人材確保 ・職員に対する福利厚生への更なる充実検討 (4)人事情報の集中一元管理システムの構築 ・職員一人ひとりのプロファイリングシステムの構築 (5)医療DX活用による人事・労務業務の効率化 ・職員に医療DXの考え方を浸透させ、DX人材化を図る ・給与・勤怠システム等の連携による業務効率化、生産性向上	・ストレスチェックを㈱ロプへ委託し実施。職場環境改善へ繋げられるよう集計結果をフィードバックした。 (3)多様な働き方への対応 ・兼業・副業規程を改定、制定の上、制度を開始。 ・2025年度、看護学生17名、薬学部生1名へ奨学金貸与を開始し人材確保に繋げた。 (5)医療DX活用による人事・労務業務の効率化 ・勤怠システムバージョンアップを行い、年次有給休暇や時間外申請等の電子化、年次有給休暇の取得義務(5日)等について、システムでの残日数管理を行える仕組みとした。	・職場環境改善の具体的な内容、方法について専門家のサポートを受けながら実施・検証を行う。 (3)多様な働き方への対応 ・副業については2025年年度末までに40件ほどの申請あり。制度として一定程度活用されている。 (5)医療DX活用による人事・労務業務の効率化 ・年次有給休暇等の申請について一部紙で行っているところが残っているため、最終的には全て電子化できるようにする。	・ストレスチェック実施者が全体の70%程度と低い受診率であった。90%を目指し早めにアナウンス等を実施する。 ・副業による職員本人の体調への影響、また本業のパフォーマンスへの影響等、今後も注視していく。 (5)医療DX活用による人事・労務業務の効率化 ・現在各施設で現金で支給している出張旅費等について、給与での支給ができないかについても検討を行う。

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
地域社会、地域医療機関他に貢献できる人材の育成	(1)キャリアラダーに基づく人材育成、若手職員の積極的登用・幹部候補者に対する研修制度構築・役職者任期制度の適切な運用 (2)長期研修派遣制度（キャリアアップ支援強化）の継続 ・派遣要領見直しによる、若手職員の派遣推進 ・派遣者の終了後の活用状況の検証 (3)法人外医療機関他との人材交流および人的派遣 ・法人外事業所への経営支援・コンサルの継続、拡充 ・経営支援に関するスタッフの派遣形態、報酬についての検討	(2)長期研修派遣制度（キャリアアップ支援強化）の継続 ・長期研修派遣要領見直しにより若手職員の派遣を実施した。		
収益性と安全性を維持できる医療経営への転換	(1)的確に財務状況を認識できる管理会計の展開 ・事業利益、償却前事業利益に着目した管理会計の実施 ・予算管理の徹底、課題に対する具体的対策実施による事業利益黒字化 (2)法人経営戦略会議の活性化による各種課題の解決 ・予算達成のための具体的取組事項立案・実行、新たなサービスメニューの実行 ・法人全体の課題に関する協議、解決策の実行 ・医療DX推進によるリアルタイムデータを活用した経営改善実施 (3)将来の建物改修準備資金の確保 ・将来の投資規模、時期、必要積立額の明確化 ・建物再建設準備資金確保に基づく目標キャッシュフロー管理の実施 (4)新たな収益向上策の検討 ・本部近隣ビル購入による七波クリニック移転、テナント誘致 ・柔軟な金融資産運用の実施	(1)2026年3月末実績（単位：百万円） ⇒事業収益：25,006、事業費用：25,757 → 事業利益▲751 償却前利益：1,045、長期借入金返済：828、自己資金設備投資：184、リース調整：118 → 最終C/F▲151 (2)各事業所予算達成に向けたアクションプランを策定、月2回進捗状況を確認しながら必要な対応を実施。 (3)2025年度投資準備資金積立目標額 109百万円 2026年3月迄の実績 80.3百万円 設備投資については、リース・割賦も活用し、計画的に実施。 (4)2025年12月 本部近隣ビル購入。活用方法についてプロジェクトチームにて検討中。また、薬局、臨床検査センター、スポーツジム等へテナント入居のアプローチ実施。 資産運用について、各証券会社より提案を受け、4月に運用開始予定。寄附金募集拡大のため、サポーター制度制定。	(1)事業利益ベースで大幅な赤字計上アクションプランの見直し、実施による収益改善が必要 (2)同左 (3)同左	(1)2026年度予算（単位：百万円） ⇒事業収益：26,563、事業費用：26,387 → 事業利益：175 償却前利益：1,193、長期借入金返済額：741、自己資金設備投資額：341 → 最終C/F +112 (2)アクションプランを迅速に遂行し、事業利益段階での黒字化を達成する。 (3)引き続き、適切なタイミングでの投資を促していく。 (4)購入したビルの活用法について、引き続き検討し、2026年度中の稼働を目指す。 資産運用額増額についても検討を行う
各種会計基準に基づく適正・適確な経理処理の実施	(1)改正公益認定法による新公益法人会計基準への対応 ・財務諸表の表示形式の変更への対応 ・徹底した区分経理の周知 ・新公益法人会計基準についてトーマツとの情報共有 (2)経理業務におけるDXの推進 ・職員に医療DXの考え方を浸透させ、DX人材化を図る ・経費精算等の処理と会計システムとの連携対応 ・給与システムと会計システムとの連携対応 (3)トーマツと連携した現場における経理処理状況の把握 ・施設等の監査を通じて発見された改善事項への対応 ・監査を通じての適切な経理処理の検証	(1)改正公益認定法による新公益法人会計基準への対応 ・財務諸表の表示形式の変更への対応 ・徹底した区分経理の周知 ・新公益法人会計基準についてトーマツとの情報共有 (2)経理業務におけるDXの推進 ・職員に医療DXの考え方を浸透させ、DX人材化を図る ・経費精算等の処理と会計システムとの連携対応 ・給与システムと会計システムとの連携対応 (3)トーマツと連携した現場における経理処理状況の把握 ・施設等の監査を通じて発見された改善事項への対応 ・監査を通じての適切な経理処理の検証	(1)改正公益認定法による新公益法人会計基準への対応 ・財務諸表の表示形式の変更への対応 ・徹底した区分経理の周知 ・新公益法人会計基準についてトーマツからの情報提供待ち (2)経理業務におけるDXの推進 ・経理のDX化について今村総合病院をモデルとして検討を行う。 ・経費精算等の処理と会計システムとの連携対応今村総合病院にて現在システム採用予定 ・給与システムと会計システムとの連携対応については現在未対応検討中 (3)トーマツと連携した現場における経理処理状況の把握 ・トーマツとの連携による改善事項については概ね改善できるように行った ・経理処理についても改善すべきところの確認が行われた。	(1)改正公益認定法による新公益法人会計基準への対応 経過措置期間において新会計基準に対応する財務諸表の表示形式を引き続き対応作成完成させる (2)経理業務におけるDXの推進 ・来季より今村総合病院にて経費精算システムと会計システムの連携を試験的に実施する。 (3)トーマツと連携した現場における経理処理状況の把握 監査法人トーマツの施設往査により経理等の改善事項については改善が行われた。

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
法人保有資産の有効活用 法人保有資産の保全体制の強化と	(1)本部管財機能の見直し ・本部管財課の総務人事部組織内での位置づけ見直し (2)法人保有資産のCEIAシステムによる一元管理 ・CEIAシステムの入力継続及び登録施設、登録項目の拡充 (3)法人保有資産の保全計画策定 ・本部管轄資産の保全計画、修理計画の策定、実施 (4)法人保有資産の有効活用 ・法人所有の遊休資産の売却、賃貸等、有効活用の実施継続	(1)CE部門、今村総合病院用度担当との連携・CEIA管理、保守・購入の連携継続 (2)CEIAシステム CE部門・今村総合病院用度担当と連携して入力継続 (3)保全計画の策定 ⇒旧看護学校キュービクル内トランス＆コンデンサー交換（低濃度PCB）、慈愛会ビル5F及びかごしまオハナビル3F・4F空調機薬品洗浄実施。慈愛会ビルスプリンクラーポンプ固着修理。慈愛会ビル非常用発電機固着修理及び負荷試験実施。本部管轄地除草作業実施。 (4)泉町再開発協議会参加 4回	(1)医療機器の購入・保守が多い今村総合病院のCE部門、用度担当と連携し速やかな機器導入・修理保守・更新が実施可能。 (2)昨年同様新規機器導入機器・備品はほぼ登録。リース情報や本部の資産システムの資産番号も登録。昨年同様古い機器の情報もCE部門の方で進めてもらった。 (3)・慈愛会ビルは昨年同様に突発的な修理には早急に対応し計画的な保守は最小限に実施した。 (4)泉町の再開発協議会に参加したが、県体育館等の詳細が把握できないと具体的な計画が難しいため当面中止となった。	(1)CE部門、今村総合病院の用度担当との連携を継続 (2)CEIAへの登録継続 (3)今後も建物の保全計画は後続計画が策定されるまで最小限で計画実施する。医療機器の保全計画は引き続きCE部門との連携を継続 (4)法人保有資産の有効活用の検討継続
適正な物品管理の実施（購入、更新、配置）	(1)本部における価格交渉の定型化 ・本部におけるチェック体制、まとめ交渉、2次交渉による適正かつ妥当な価格による取引の実施継続 ・修理履歴、更新履歴を考慮したリース・割賦条件及び交渉の継続 (2)医療および施設関係機器の更新計画策定 ・慈愛会施設の機器等過去の更新年数の把握・修理履歴の把握、機器・設備の更新目安一覧の作成 (3)医療機器の適正配置 ・法人施設の医療機器の保有数と他医療機関との保有数比較の資料作成	(1)リース見積・割賦見積本部交渉 59件 (2)2008年以降の慈愛会の更新機器使用期間、更新後機器の使用年数一覧の作成 放射線機器・超音波検査・薬剤関連機器・生理検査機器・検体検査機器・透析関連機器・厨房機器・車両等の一覧作成の継続。眼科機器、手術機器、除細動器、人工呼吸器関連機器の新規作成。現保有機器の使用年数の把握と更新時期の把握継続。 (3)上記資料により法人の機器ごとの保有数、使用年数、更新した年数の把握	(1)本部交渉及び本部連携したことによる効果 ⇒リース動産保険入金 33件 20,348千円 ・リースは昨年同様修理実績をもとに修理が多いものは新価特約付きへ、非課税施設の場合は割賦など費用を削減するような見積依頼を実施。リース期間、条件は過去の使用期間データや修理情報をもとに再リース継続条件が寄贈（購入）かを決定する方法を継続した。 (2)3/CEIAの登録が急性期中心にとどまっており、主要な機器・備品ごとに更新までの使用期間、現使用機器の使用期間が分かるよう一覧表を作成を継続。慈愛会各病院の機器・備品の使用期間、保有台数が分かるような資料作成を継続した。 (3)機器等に関して納入業者、メーカー等にも協力を依頼し情報収集を行う。	(1)本部交渉及び本部と連携した購入対応を継続 修理実績や使用期間などの資料をもとに費用を削減するようなリース・割賦見積及び交渉の継続 (2)慈愛会医療機器・備品の使用期間の資料作成を継続する。 (3)機器等に関して納入業者、メーカー等にも協力を依頼し情報収集を行う。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 人事評価制度の改定

- ・全職種基本給のベースアップを行い採用力向上に努めた。
- ・新人事評価制度を構築し、等級毎の評価表を作成し、人事評価システムを導入し、2025年度人事評価よりシステムを用いて実施予定。

2. 多様な働き方への対応

- ・兼業・副業規程の整備を実施し、制度の運用を開始した。

3. 給与・勤怠システム等の連携による業務効率化

- ・勤怠システムのバージョンアップを行い、超過勤務や年次有給休暇等の申請について、電子化を実施した。

4. 奨学金制度の定着

- ・効率的かつ有効的な人材確保策として創設した看護学生、薬学部生に向けた奨学金貸与希望者が増加し、本奨学金制度が定着してきている。2025年度、看護学生14名、薬学部生1名貸与実施。

5. 医療機器管理システムCEIAへの登録継続

- ・昨年同様に急性期病院及びクリニックを中心に登録を継続。新規物件を中心に購入価格や本部の償却資

産システムの資産番号、リース情報も登録し、より情報共有ができる体制を進めた。

技能・能力向上に向けた取り組み

1. 「役職者を対象とした多面評価」の実施

2025年度役職者多面評価については、日本経営「多面評価Navigator」システムを導入して実施し、評価、結果集計、フィードバックの効率化を図った。

<実施状況>

179名（看護部86名、診療支援部49名、事務部44名）

合同研修会

1. 新入職員研修会

（1）入職式

開催日：2025年4月1日

- ・リモートによる理事長の式辞、新入職員は各配属病院・事業所にて参加

（2）新入職員研修会

開催日：2025年4月1日

- ・リモートで実施 136名参加

<研修の目的>

- ①慈愛会職員として理念、基本方針、法人概要等の基礎知識を身につける
- ②社会人・医療人として必要なマナー・接遇について学ぶ
- ③医療安全・感染管理の基本について学ぶ
- ④健全な生活設計（消費者トラブルの対処）について学ぶ
- ⑤401kの説明
- ⑥慈愛会教育体制、キャリア開発プログラムラダー認定制度について学ぶ
- ⑦新卒同期職員の親睦を図る

2. 総務担当者合同研修会

（1）第1回 2025年10月29日

<主なテーマ>

- ・年末調整について
- ・年末調整電子申告について
- ・出生後休業支援給付金（ハローワーク）について
- ・健康保険扶養要件変更について

- ・健康保険被扶養者再確認のお願い
- ・規則改定等について

（2）第2回 2026年2月18日

<主なテーマ>

- ・2026年4月～5月の業務スケジュール確認
- ・社会保険料額表変更について
- ・2026年4月採用者に関するお知らせ・お願い
- ・2026年度年間休日予定表について
- ・成長祝金について
- ・36協定について
- ・宿日直時に提供される食事の課税について
- ・人事評価制度について
- ・エッジトラッカー用メールアドレスの収集方法について

業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院 総務課

<国内>

1. 前田雄介, 川北莉愛, 川田原ひかる, 喜村華恋: 診療情報管理士クリニカルラダーの実践. 第51回日本診療情報管理学会学術大会, 2025年8月28-29日, さいたま
2. 佐々木大輔, 池田祐太: Excelを活用した低コストでの集計業務の負担軽減. 第66回全日本病院学会 in 北海道, 2025年10月11-12日, 札幌
3. 前田雄介, 中馬敦志: 重症度、医療・看護必要度の精度向上に向けた取り組み. 第66回全日本病院学会 in 北海道, 2025年10月11-12日, 札幌
4. 栗ヶ窪みゆき, 植村靖子: 選ばれる病院を目指す多面的アプローチ～「私たちの病院」を育てるために～. 日本医療マネジメント学会第22回九州・山口連合大会, 2025年11月28-29日, 別府

今村総合病院 医師事務補助課

<国内>

1. 登美奈子: 業務フロー活用事例の報告～院内の業務改善をめざして～. 第60回全国病院経営管理学会, 2025年11月21日, 東京

【研究会・講演会】

法人事業本部 経営企画室

1. 野添幸輔: 学生生活とキャリア形成. 熊本大学法学部法学科1年 基礎演習Ⅰ, 2025年6月3日, 熊本
2. 野添幸輔: 「雇用関係法」講師. 熊本大学法学部法学科, 2025年11月28日, 熊本

今村総合病院 総務課

1. 佐々木大輔: メディカル秘書学Ⅰ 医療関係法規と医療保険制度. 鹿児島純心女子短期大学, 2025年4月-5月, 鹿児島
2. 佐々木大輔: メディカル秘書学Ⅱ 療養担当規則と保険診療の仕組み. 鹿児島純心女子短期大学, 2025年5月-7月, 鹿児島
3. 佐々木大輔: メディカル秘書学Ⅲ 医科診療報酬点数. 鹿児島純心女子短期大学, 2025年7月1日, 鹿児島
4. 前田雄介: 診療情報管理士 医療管理各論 (病院管理、医療安全・医療の質管理). 鹿児島キャリアデザイン専門学校, 2025年4月-7月, 鹿児島
5. 前田雄介: 診療情報管理士 医療管理総論. 鹿児島キャリアデザイン専門学校, 2025年9月-2026年2月, 鹿児島

今村総合病院 医師事務補助課

1. 東雅美: 鹿児島市立東谷山小学校「総合的な学習の時間」, 2026年2月14日, 鹿児島

部門別 事業報告(PDCA) 総括

医療情報室 慈愛会総合情報システム (J-TIS)

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
J-TISの安定稼働	(1)J-TIS基盤の更新 ・J-TIS基盤となるハードウェアの更新を行う ・クラウドサービスやデータセンターのホスティングサービスの利用拡大 ・ハードウェアの老朽化に伴うシステム更新の影響を受けにくい環境を整備する。	・サーバーの耐用年数経過に伴い更新計画を策定。 次期電子カルテ (CSI・SSI両環境) のどちらに決定しても稼働できるように汎用性と拡張性を担保した機種選定を行った。	・次期電子カルテのベンダー決定 (CSI/SSI) を待たずに汎用的なサーバーへ更新したことで、システム選定のスケジュールに余裕を持たせつつ、老朽化リスクを確実に排除できた	・整備が完了した新サーバー基盤をベースに、次期電子カルテの具体的なシステム構築・データ移行プロジェクトを本格的にスタートさせる。
	(2)システムの最新化 ・電子カルテシステム (MIRAI/ PX・LIVE) の更新 ・医事システム (MegaOakIBARS II) の更新 ・スマートフォン・タブレットを利用したコミュニケーションツールの導入と活用 ・部門システムの更新の検討 電子カルテ更新に伴い、部門システム更新の要否を確認。 更新または新規システムへの切替を検討する。	・今後のスマートフォン導入や院内DX推進を見据え、影響を受けにくい堅牢なネットワーク強化計画を立案した。 ・電子カルテ更新に向け、機能面 (タスクシフトへの貢献度など) と費用面の両軸で比較検討できるよう、現場部門との綿密な調整を実施した。 ・新サーバーへの更新を実施。業務への影響 (システム停止時間) を最小限に抑えるためベンダーと綿密な移行計画を練り、大きなトラブルなく安全に更新を完了した。各部署・病棟への影響が広範に及ぶネットワーク機器の更新を実施。ベンダーとの緻密な事前調整により、業務への影響を最小限に留め問題なく完了した。	・緻密な移行計画により、病院の24時間365日の稼働に影響 (システム停止等) を与えることなくインフラ刷新を完遂できた。	・今年度デモ検証と導入準備を進めたスマートフォン (iPhone) および内線機能の本格稼働を開始する。次期電子カルテとの連携も見据え、医療スタッフ間のコミュニケーションを円滑化し、現場のタスクシフトを推進する。 ・高度なセキュリティ対策 (EDR、メールゲートウェイ等) の具体的な導入フェーズへ移行する。
	(3)慈愛会ネットワークの強化 ・スマートフォン導入に伴う院内WiFi環境の強化整備 ・慈愛会ネットワーク (WAN) の増強 ・奄美病院、垂水サテライトクリニックのネットワーク増強を検討する。 ・各拠点におけるネットワーク機器の更新	・垂水サテライトクリニックに「NTTプライオ」を導入し、通信回線の高速化を実現。 奄美病院についても同サービスの導入に向けた検討を進めた。	・垂水サテライトクリニックへの高速回線 (NTTプライオ) 導入により、体感速度の向上や通信遅延の解消が確認されており、今後のグループ間連携を支える十分な通信品質を確保できた。	・インフラ基盤 (サーバー・ネットワーク) の刷新に伴い、システム障害時や災害時におけるデータ保護・復旧手順を最新の環境に合わせて見直す。いかなる状況下でも病院機能を維持できるよう、より強靱なバックアップ体制とBCPを確立する。
	(4)セキュリティの強化 ・NGAV (次世代型アンチウィルス対策ソフト) の導入 ・EDR・NDRなどの振舞い検知機能の導入 ・MDR、SOCなどセキュリティマネジメントサービスの検討	・情報漏洩・サイバー攻撃対策として、メールサーバーのゲートウェイセキュリティ導入に向けた具体的な検討を行った。		
	(5)仮想端末環境の拡充 ・インターネット回線分離システム (SCVX) の導入によるインターネット分離環境の構築			
DWHの活用拡大	(1)急性期電子カルテと介護システムの連携 ・医療・介護連携システムMINETの導入検討 法人内連携だけでなく他法人施設との連携も視野に活用を検討	・法人内外を見据えた医療・介護連携については、次期電子カルテへの移行完了後に新しい環境をベースとした最適な連携手法を検討する。	・各DWH環境(精神科、介護連携など)の構築を現行システムで行わず次期電子カルテ移行後に統合する方針としたことは、構築作業の二重化や追加コスト(二重投資)を防ぐ観点から最適な判断であったと評価できる。	・次期電子カルテの仕様確定と並行して、今年度洗い出した要件を新システム上でどう実現するか、具体的な設計・運用フローの構築に着手する。
	(2)精神科および介護・福祉基盤のDWH構築 ・精神科電子カルテ情報・医事情報をDWHへ取り込む環境の整備を進める。	・精神科電子カルテおよび医事情報のデータ統合については、新電子カルテシステム側に機能が統合される見込みであるため、新システム稼働時の要件に合わせて実装を検討する。		
	(3)介護・福祉基盤のDWH構築 ・介護情報をDWHへ取り込む環境の整備。	・介護情報のDWHへの取り込み環境整備については、(1)の「急性期電子カルテと介護システムの連携」が実施・確立された後に、次のステップとして検討を行う。	・現段階での個別システム構築は見送ったものの、「将来的にどのようなデータ分析・連携が必要か」という要件の洗い出しは進んでおり、次期電子カルテ導入後に着手できる状態となっている。	・システム移行後、速やかにデータ分析 (RPA連携等含む) の利活用が始められるよう、システム稼働前から現場部門を交えたデータ活用の運用ルール策定などを進める。
	(4)DWHの利活用拡大 ・DWHを利用したデータ分析支援 ・DWHを利用したダッシュボードの構築 ・RPAによるデータ抽出の自動化。	・新電子カルテへの移行を契機とし、蓄積されるデータを最大限に活用できるよう、ダッシュボード構築やRPA連携を含めた多様で高度なデータ分析環境を構築する。		

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
人材育成	(1)職員教育 ・法人全体でDXおよびDX人材の育成を推進する各施設のDXの取り組みについて情報を共有し、慈愛会としてのDX推進に取り組む。 ・SE会議の実施	・年1回の全職員向け研修を実施し、組織全体のDX推進に向けた土台作りと情報リテラシーの向上を図った。 ・「SE会議」を月1回のペースで継続開催。慈愛会全体としての連携強化を行った。	・月1回のSE会議が継続して実施されたことで、各施設間の情報共有が密になり電子カルテ導入時の連携体制構築に役立つ。	・効果が確認された「SE会議」と「外部研修」を継続しつつ、次期電子カルテへの大規模な移行プロジェクトを牽引できるように、各施設におけるDXのキーマンの実践的なスキルアップに注力する。
	(2)スキルの向上 ・ネットワークに関する勉強会の実施 システムの開発・保守に関する勉強会の実施データベースの構築やデータベースアクセスに関する勉強会の実施	・ネットワークやデータベースに関する院内勉強会については実施できなかったがそれを補完する形で多様な外部研修へ積極的に参加。最新の技術動向の把握や実務に直結する専門スキルの継続的な向上に努めた。	・院内勉強会が実施できなかったことは課題だが、代替として外部研修へ積極的に参加したことで、結果として内部だけでは得られない最新の技術動向や知見を獲得できた点はプラスの成果であった。	

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. J-TIS基盤ハードウェアおよびネットワークの更新

- ・J-TISの基盤となるハードウェアについて、次期電子カルテのベンダー決定を待たずに汎用的なサーバーへの更新を実施した。
- ・ベンダーとの綿密な移行計画により、病院の24時間365日の稼働に影響を与えることなく安全に更新を完了した。これにより、システム選定のスケジュールに余裕を持たせつつ、ハードウェア老朽化のリスクを確実に排除できた。
- ・各部署や病棟へ広範な影響を及ぼすネットワーク機器の更新も実施し、いづろ今村病院および今村総合病院でのL3スイッチ交換を完了した。
- ・垂水サテライトクリニックには高速回線（NTTプライオ）を導入して通信遅延を解消し、体感速度の向上を確認したほか、奄美病院についても同サービスの導入検討を進めた。

2. 次期電子カルテ・部門システムの更新検討およびコミュニケーションツールの導入

- ・次期電子カルテシステムについて、MIRAIs/V（CSI社）とNEWTONS2/新版e-カルテ（SSI社）の導入費用や運用費用に関する各医療機関の按分資料を作成し、機能面（タスクシフトへの貢献度等）も勘案したうえで最終調整を行った。
- ・奄美病院および徳之島病院については、別ベンダーによる電子カルテ導入の検討を進めた。
- ・コミュニケーションの円滑化に向け、今村総合病院にてiPhoneのデモ機を使用したアンケートを実施した。次期電子カルテとの連携も見据え、内線機能

を含めたスマートフォンの本格稼働に向けた準備を進め、現場のタスクシフト推進を目指した。部門システムについては、健診システム、栄養管理システム、リハビリシステム、輸血システム、PACS、分娩管理システム、インシデント・アクシデント管理システム、看護勤務システムについて、他社システムへの入れ替えを検討。

3. DWH（データウェアハウス）の活用拡大および連携基盤の整備

- ・急性期電子カルテと介護システムなどのDWH環境構築については、構築作業の二重化や追加コスト（二重投資）を防ぐ観点から、次期電子カルテ移行後に新たな環境をベースとして統合する方針とした。
- ・将来的なデータ分析や連携の要件洗い出しを進めるとともに、デモ機を用いて新システムでのDWH機能の動作検証を実施し、南日本情報処理センターへの報告およびアンケートを実施した。

4. 人材育成とシステム運用体制の強化

- ・月1回のSE会議を継続して開催し、各施設間の密な情報共有と慈愛会全体としての連携体制強化を図った。
- ・内部での勉強会に代わり、外部研修へ積極的に参加することで、最新の技術動向の把握や実務に直結する専門スキルの継続的な向上に努めた。

部門別 事業報告(PDCA) 総括

教育開発室

※2025年度より「教育開発室」へ改称

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
医療の達人プロフェッショナル育成	(1)職員能力開発プログラム（キャリア開発ラダー） ・開発及び活用推進 ・2025.4改訂した能力開発プログラムの活用 ・認定申請率・認定率の向上 ・キャリア開発ラダー未導入の職種への作成支援	(1)職員能力開発プログラム開発及び活用促進 ①職員能力開発プログラムの見直しと修正 ・多職種の能力開発プログラム運用開始5年目。各部門で、見直しと追加・修正を行いながら運用している。 ②職員能力開発プログラム（キャリア開発ラダー）、申請・認定状況の把握 ・診療支援部、事務部のラダー申請・認定状況把握（キャリア開発推進委員） ・ラダーレベル認定者の把握（入力依頼中） *2025年度キャリア開発ラダー申請者・認定者の状況（4月30日現在）（共有フォルダを活用） 薬剤部）25名申請、23名認定 リハビリテーション部門）谷山病院のみ入力：12名申請、11名認定 診療放射線技師）11名申請、7名認定 臨床検査技師）入力途中 臨床工学技士）12名申請、11名認定 ソーシャルワーカー）9名申請、9名認定 公認心理師）2名申請、2名認定 視能訓練士）3名申請、2名認定 事務部）入力途中	・診療支援部・事務部にキャリア開発ラダーが導入（運用開始）され5年目となった。運用する中での気づき・課題について、各部門で修正見直しを実施。キャリア開発推進委員会議で、状況を共有している。 ・キャリア開発ラダー未構築の職種について、構築への支援が必要である。 ・キャリア開発ラダーの認定状況については、4月末で未入力の部門・職種がある。	(1)職員能力開発プログラム（キャリア開発ラダー）開発及び活用推進 ・キャリア開発ラダーを作成している部門・職種において、活用を推進。 ・キャリア開発ラダー未導入の職種について、能力開発プログラムの作成支援。
	(2)一人ひとりのスタッフの付加価値向上 ・チャレンジプランの徹底 ・資格を活かした地域での活動推進			
	(3)専門スキル、高い医療提供による退院促進、重症化予防 ・多職種チームケアによる満足度向上			
	(4)キャリアアップ支援：スペシャリスト、ジェネラリストの育成			
	(5)キャリアアップ支援：大学教育へのキャリア支援、放送大学編入制度活用推進 ・資格取得支援、大学教育（放送大学編入）支援 ・研修内容への組み込み、情報提供・周知 ・キャリアアップ支援セミナー実施 ・情報発信			(5)キャリアアップ支援：大学教育へのキャリア支援、放送大学編入制度活用推進 看護学校、看護部支援室と具体的な支援方法について協議、計画
	(6)スタッフプロファイリング管理によるキャリア支援（DX） ・研修受講歴、ラダー認定等のスタッフカードへの反映	(6)スタッフプロファイリング管理によるキャリア支援（DX） ①プロファイリングシステム導入に向けて、各職種の評価項目（資格・経験等）の情報提供を依頼、収集 ②収集した項目は総務人事部を通じて、システム開発担当へ提供	・スタッフプロファイリングシステムの運用開始に向けた取り組みが開始された。運用開始に向けて、キャリア開発推進委員への説明・協力が必要である。	(6)スタッフプロファイリング管理によるキャリア支援（DX） ・スタッフプロファイリングシステムについて、今後全職員に向けての説明が行われる予定であるが、各部門の運用にあたりキャリア開発推進委員が中心になると考える。キャリア開発推進委員会議等において、情報共有を行っている。

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
医療の達人プロフェッショナル育成	(7)キャリアアップ、資格取得等の人事評価制度（給与）への反映検討 ・大学卒業、資格取得、研修会受講歴、ラダー認定歴等の人事評価制度へのリンク付け (8)多職種合同入職者研修の充実 ・新入職員オリエンテーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ開催 ・中途入職者研修実施（2025年度～内容改定）	(8)多職種合同入職者研修の充実 ①新入職者オリエンテーション（研修）開催 対象：2025年度新入職者108名 部門：診療部12名、診療支援部34名、事務部11名、看護部51名 施設：いづろ今村16、今村総合71、谷山17、奄美2、徳之島1、愛と結の街1 ・4月1日（火）新入職員オリエンテーションⅠ（hop） ＊入職式に引き続き開催。診療部（研修医）12名は、一部の講義を除いて受講。 ・5月31日（土）新入職員オリエンテーションⅡ（step）集合研修 ＊心に届く慈愛の物語を紡ぐ会に引き続き開催 対象者は、96名（研修医を除く新入職員95名、入職2年目の職員1名） ・12月6日（土）新入職員オリエンテーションⅢ（jump）集合研修 ②中途入職者研修（全4回開催） 対象：研修開催前の該期間中の入職者 会場：かごしまオハナビル3階大会議室、離島施設（リモート） 開催日：5月22日、8月28日、11月27日、2月26日 延べ参加人数：105名 部門：診療支援部25名、事務部19名、看護部61名 施設：いづろ今村19、今村総合38、谷山6、奄美14、徳之島8、愛と結の街4、七波CL2、かごしまオハナCL5、節英会9（節愛4・みま森5）	・新入職員オリエンテーションⅡ・Ⅲは集合研修で開催した。同期入職者が一堂に会し、絆を深める機会となった。 ・オリエンテーションⅡ（step）は、心に届く慈愛の物語を紡ぐ会参加を研修内容に含みエピソード発表（朗読）を聞いて感じたことを発表・共有し、慈愛の心について考える機会となった。また、同期で語り合う時間（グループワーク）を主とし、全グループにファシリテーターを配置することで、参加者が発言しやすい環境を整えた。入職後2カ月が経過した時期の研修開催であり、各々が感じ、抱えている思いや気持ちを共有する機会となった。成長した自分を認めることができるように、ファシリテーターが関わり、思いを表出することができていた。 ・オリエンテーションⅢ（jump）は12月の開催であり、2年目に向けて気持ちを高める機会となるよう内容を計画した。研修前課題として、チャレンジプランの立案に向け、所属長から部署目標とBSCについて説明を受けることを提示し、部署目標とチャレンジプランの関連について理解を深められるようにした。研修では、具体的なシートの記載方法について説明し、2年目に取り組みたいことを、文字や言葉で表現してもらった。ファシリテーターの関わりや、指導者からのメッセージを受け取り、入職後の自分の成長を認めることができていた。 ・2025年度より中途入職者研修のプログラム（内容）と担当者を一部変更した。法人事業本部経営企画室が「慈愛会概要」「慈愛会フィロソフィ」の講義を担当し、作成された動画は、新入職員研修でも使用している。「コンプライアンス（法令順守）」は、危機管理室長が講義を担当した。 ・講義受講中の反応や、受講報告書の記載内容で研修評価を行った。	(8)多職種合同入職者研修の充実 ＊2026年度研修計画 ①新入職者研修 ＊研修名を変更 Ⅰ（hop）4月1日（水）、入職式に引き続き開催 Ⅱ（step）5月30日（土）、心に届く慈愛の物語を紡ぐ会に引き続き開催 Ⅲ（jump）12月12日（土） ②中途入職者研修（全4回開催） 5月28日、8月27日、12月3日、2月25日
	(9)多職種合同研修の実施 ・ラダーレベル研修 ・キャリア開発推進委員研修	(9)多職種合同研修の実施 ①ラダーレベル研修（全2回開催） 対象：キャリア開発ラダーレベルⅢ取得者・レベルⅣを目指す者 内容：講義①「キャリア開発ラダーレベルⅣに求められること」 聴講と意見交換（グループワーク） 講義②「アンガーマネジメントの必要性」 動画視聴と意見交換（グループワーク） ラダーレベルⅤ実践取り組み報告の聴講と意見交換 ワーク「リーダーとして取り組んでいく多職種連携」 事例を基にした意見交換（グループワーク）と講義 ・事後課題：レポート提出 「自分が目指すリーダー像とリーダーとしてどう行動していくか」 参加人数）78名 部門：診療支援部21、事務部12、看護部45 施設：いづろ今村11、今村総合54、谷山8、奄美3、愛と結の街1、訪看愛の街1 [第1回] 6月14日（土）、かごしまオハナビル3階大会議室 ・参加者34名 部門：診療支援部12、事務部6、看護部16 施設：いづろ今村7、今村総合21、谷山5、訪看愛の街1 [第2回] 8月2日（土）、かごしまオハナビル3階大会議室・リモート（Zoom） ・参加者44名 部門：診療支援部9、事務部6、看護部29 施設：いづろ今村4、今村総合33、谷山3、奄美3、愛と結の街1	・研修内容の「アンガーマネジメント」は、動画視聴とグループワークで構成した。「アンガーマネジメントの必要性」について話し合い、自分自身の行動を振り返る機会となっていた。 ・ワーク「リーダーとして取り組んでいく多職種連携」では、事例を用いて意見交換を行った。自分たちがどのように情報を共有し、多職種に働きかけていくか、実際の行動レベルまで意見交換を行うことができていた。 ・ラダーレベルⅣ取得者は、職場においてリーダーとなる者、指導にあたる者となる。講義・グループワークの内容を活かし、役割を果たしてくれることを期待している。	(9)多職種合同研修の実施 ＊2026年度研修計画 ①ラダーレベル研修（全2回開催） 6月13日（土）、8月1日（土）

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
医療の達人プロフェッショナル育成	(10) 慈愛会フィロソフィの活用 ・研修内容への組み込み(周知・説明)、入職者へのフィロソフィ冊子配布	②キャリア開発推進委員研修 対象) キャリア開発推進委員、参加希望者(現場で人材育成・指導に携わっている者) 内容) ワーク形式(講義・説明、職種ごとにワーク(作業)) ワーク①「キャリア開発ラダー(能力開発プログラム)について」 自部門の能力開発プログラム(キャリア開発体系図)の確認 ワーク②「マネジメントラダーについて」 管理者に求められる能力、役割等級4～6で求められること、自部門のマネジメント者に求められる能力 7月12日(土)、かごしまオハナビル3階大会議室、離島施設(Zoom) 参加者32名(キャリア開発推進委員26、希望参加者6)部門) 診療支援部20、事務部6、看護部6 職種) 11職種(管理栄養士2、リハビリ PT・OT・ST) 6、診療放射線技師3、臨床検査技師5、臨床工学技士1、精神保健福祉士3、事務6、看護師4、介護福祉士2、) (10) 慈愛会フィロソフィの活用 ・フィロソフィ ver2について、入職者への配布と保管管理を行っている。	・2026年度からの多職種マネジメントラダー運用開始に向けて、キャリア開発推進委員が中心となりマネジメントラダー構築に取り組むこととなった。研修では、看護部マネジメントラダーを参考に、講義形式とワークで自部門・職種のマネジメントラダーの枠組み(求められる能力)について検討した。	②キャリア開発推進委員研修会開催 *7月会議を研修に充てる。土曜日開催。 7月11日(土)
管理者(マネジャー)のマネジメント力向上	(1) 管理者任用候補者選考研修継続及び研修受講後支援 2025年11月、研修開催 初期キャリア(初役職者就任)支援研修開催	(1) 管理者任用候補者選考研修継続及び研修受講後支援 ① 管理者任用候補者選考制度、対象者の基準見直し ・7月18日、対象者・プログラム・講師について総務人事部と検討 [対象者基準の一部変更] 直近(前年度)で実施している人事考課評定が「BC」以上である者 →直近で実施している人事考課評定が「BC」以上である者 *前年度を削除 [講師の交代・変更] 7名 愛と結の街講義(愛と結の街 看護・介護部長交代による変更) 医療制度、地域医療構想・医療計画(今村総合病院事務長) 診療報酬と改定、DPC制度(いづろ今村病院 診療情報管理士) 財務管理(法人事業本部財務経理課長) 医療安全(今村総合病院医療安全担当看護師長) 医療機関における災害マネジメント(今村総合病院看護部長交代による変更) 介護報酬制度、老人保健施設の役割と展望(愛と結の街 介護福祉士長) ② 管理者任用候補者選考制度について、連絡・発信など ・7月30日、参事会にて承認 ・8月18日、講師22名へ講義依頼文書・テキスト及び試験問題作成依頼文書発信 *テキスト原稿締め切り: 9月16日(火) ・8月21日、各施設へ事務連絡の発出 選考制度、プログラム、受講者案内、各様式、各施設対象者リスト 2025年度制度対象者: 596名 *参加申込締め切り: 9月12日(金) ・10月27日、テキスト完成、参加者・各施設管理者等へ発送(193冊) *受講者へ受講案内文書を発信 ③ 管理者任用候補者選考における研修実施 ・10月24日、事前レポート提出 テーマ 「慈愛会第3次マスタープランを実践するための自己の役割とは何か～現在取り組んでいること、今後取り組みたいこと～」 ・管理者任用候補者選考における研修開催 会場: かごしまオハナビル3階大会議室、離島施設(リモート) 受講終了者: 88名(92名申込、4名受講辞退あり88名が受講修了) 部門) 診療支援部34、事務部23、看護部31 施設) いづろ16、今村総合37、谷山11、奄美8、徳之島9、愛と結の街3、法人事業本部4 日時: 11月11日8時30分～17時30分、講義(講師8名)・グループワーク 11月12日8時30分～17時30分、講義(講師6名)・グループワーク 11月20日8時30分～17時30分、講義(講師7名)・グループワーク 11月21日8時30分～12時30分、講義(講師2名)・グループワーク発表 *講義欠席者(2名)の対応: 講義録画データの視聴、レポート提出	・管理者任用候補者選考制度は、慈愛会の昇任制度として定着している。 ・2025年度の申込者は97名(再受験者5名を含む)であった。研修受講者92名のうち、開始前辞退1名、途中辞退2名、受講後辞退1名となり研修受講修了者は88名であった。 ・選考試験受験対象者は、研修受講修了者88名と再受験者5名の合計93名となった。 ・選考試験において、看護部の1名が筆記試験・面接試験を受験できず、判定会議対象者は92名となった。 ・合格者は79名(うち再受験者3名)で、合格率は85.9%であった。 ・合格者の延べ人数は、2014年から制度開始された看護部は297名、2017年から開始された診療支援部237名、同じく事務部135名となった。 ・研修受講者・選考合格者は、各々が現場で活躍している。今後も、管理者任用候補者選考制度が、法人内の管理者を目指す職員にとってのキャリアアップの支援となるよう、計画・実施していく。 ・2024年役割等級制度が導入され、2025年から人事制度(昇格基準等)が変更された。 管理者任用候補者選考の対象者基準の見直しが必要である。	(1) 管理者任用候補者選考研修継続及び研修受講後支援 ・2026年11月17日、18日、26日、27日 ・筆記試験 2026年12月15日

管理者任用候補者選考 研修受講者数・合格者数

		全体		看護部		診療支援部		事務部	
		研修受講者数	合格者数	研修受講者数	合格者数	研修受講者数	合格者数	研修受講者数	合格者数
第1期	2014年(平成26年度)	33	28	33	28	-	-	-	-
第2期	2015年(平成27年度)	31	25	31	25	-	-	-	-
第3期	2016年(平成28年度)	32	27	32	27	-	-	-	-
第4期	2017年(平成29年度)	50	49	26	25	11	11	13	13
第5期	2018年(平成30年度)	70	69	20	23	35	33	15	13
第6期	2019年(令和元年度)	68	67	18	16	31	31	18	20
第7期	2020年(令和2年度)	76	72	27	26	35	33	14	13
第8期	2021年(令和3年度)	90	78	33	32	41	33	14	13
第9期	2022年(令和4年度)	61	60	26	26	22	20	13	14
第10期	2023年(令和5年度)	62	55	21	21	21	19	20	15
第11期	2024年(令和6年度)	60	60	21	21	25	24	14	15
第12期	2025年(令和7年度)	88	79	31	27	35	33	23	19
合計人数		573	530	319	297	256	237	147	135

*研修修了数には、再試験合格者を含む。

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
管理者（マネジャー）のマネジメント力向上	(2)多職種合同管理者研修実施 初期キャリア（初役職者就任）支援研修開催 ミドルマネジメント研修開催	・12月22日、事後レポート提出 テーマ「管理者任用候補者選考制度の目標 1) 2) 3) の達成状況について」 ④管理者任用候補者選考 選考に関する事項 〔多面評価〕評価対象者：92名（再受験者5名含む） ・11月4日、評価者へ依頼文書発出（評価期間11/11～11/28） 〔筆記試験〕受験者：88名（再受験者含む） ・12月9日、8時30分～9時40分（試験時間60分） ・試験会場：かごしまオハナビル3階大会議室（鹿児島市内施設）、奄美病院 〔面接試験〕対象者：87名（再受験者含む） ・看護部）12月9日 ＊筆記試験終了後 ・診療支援部/事務部）11月26・27日、12月1・2・8・9・11日 ⑤管理者任用候補者選考 判定会議・可否通知 ・1月6日、判定会議 対象者：92名（うち再受験者5名） ＊判定結果：合格79名、不合格13名 ・1月14日、可否通知文書発送 施設長・事務長・看護部長宛て、個人宛て ⑥管理者任用候補者選考 理事長面談 ・2月9日、10時00分～ ・会場：かごしまオハナビル3階大会議室、各施設（リモート） ・対象：2025年度管理者任用候補者選考合格者79名 ⑦管理者任用候補者選考 合格証書発送 ・2月9日、合格証書発送 ・合格者：79名（うち再受験合格3名） ＊理事長面談を欠席した5名は、録画データ視聴確認後に送付 (2)多職種合同管理者研修実施 ①多職種合同 初期キャリア支援研修開催 日時）8月8日（金）午前 会場）かごしまオハナビル3階大会議室＋離島施設（リモート） 対象：2024年7月から2025年4月までの新任昇任者（副主任・主任・副看護師長） 2025年7月新昇任者で受講希望の者、2024年度研修未受講者 内容：理事長講話 講義1「管理とは、管理者に求められる資質・管理者に必要な能力、人材育成」 講義2「人事評価・チャレンジプランについて」、 講義3「自院の財務状況の把握」、先輩の語り、グループワーク ＊グループワークテーマ 「管理者としての立ち位置を自覚し、慈愛会役職者としてどう行動するか」 事前課題：①管理者に求められる資質評価表に回答 ②管理者に求められる行動目標 （看護部マネジメントラダーレベルⅠ）に回答 事後課題：研修内容の伝達・報告を部署内で実施し「研修後伝達用紙」に記入し提出 受講者：29名 部門）診療支援部7名、事務部14名、看護部8名 施設）いづろ今村8、今村総合11、谷山2、奄美2、徳之島1、オハナクリニック1、愛と結の街2、笹貫訪看1、法人本部1 (2)多職種合同 ミドルマネジメント研修開催 日時）9月13日（土）午前 ＊午後、評価者研修 会場）鹿児島県市町村自治会館4階ホール、離島施設（リモート） 対象）役割等級5等級で次の役職位に就いている者 診療支援部）科長、科長代理、室長、技師長、技士長 事務部）課長、課長代理、室長 看護部）看護師長、介護福祉士長 対象者数）120名 施設：いづろ20、今村総合44、谷山22、奄美9、徳之島5、愛と結の街6、笹貫訪看2、慈愛会クリニック2、法人本部・社会福祉法人10 内容：理事長講話 講義1「キャリア開発ラダー」について、「マネジメントラダー」について 講義2「新人事評価制度・プロファイリングシステム」について グループワーク テーマ「人材育成について再考する」	・初めて昇任した者（役職位に就いた者）を対象とした研修である。 研修内容は、管理について、目標管理とチャレンジプラン、財務状況の把握について、先輩の語り、とした。 ・グループワークでは、昇任して思うこと、役職者として取り組んでいきたいことを話し合い、新任役職者としての不安な思いや目標を共有した。 ・管理者任用候補者選考における研修の講義内容を振り返り、管理について考える機会となった。また、多施設・多職種でのグループワークで意見交換し、多職種との繋がりを再確認できていた。 ・受講後アンケートには、「皆、同じように不安や悩みを感じていることが分かった」「上司を補佐する役割を果たしたい」「リーダーシップのスキルを高めたい」等の記載があった。 ・人事制度が改定され、人事評価制度の中でラダー取得が昇格要件になることから、ラダーについての講義を計画した。また同日午後から「評価者研修」が開催されたため、「新人事評価」についてを講義に組み込んだ。 ・グループワークでは、グループを多施設・多職種で構成した。テーマに沿って「職員の“やりがい”を引き出す関わり方」「新しい評価制度を人材育成にどう活かしていくか」について、活発な意見交換が行われた。	(2)多職種合同管理者研修実施 ＊2026年度研修計画 ①初期キャリア支援研修 8月21日（金）午前 ②ミドルマネジメント研修 9月12日（土）午前（新）多職種合同トップマネジメント研修 検討 ・新人事制度に伴い役職者任期制度内のトップマネジメント研修を今後検討していく。

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
管理者 の マネ ジ メ ン ト 力 の 向 上	(3)多職種管理者育成プログラム (マネジメントラダー) 構築 作成支援、検討 人事制度 (役割等級) との関連付け	(3)多職種管理者育成プログラム (マネジメントラダー) 構築 ①作成支援: キャリア開発推進委員研修に記載 ②多職種マネジメントラダー (役割等級4・5を対象) 構築の状況 *共有フォルダで確認 (2026年4月30日現在) ・6部門作成: 看護部、画像診断部、臨床検査部、臨床工学部、ソーシャルワーカー、視能訓練士、介護福祉士 ・2部門作成途中: 薬剤部、リハビリテーション部	・看護部を除く多職種のマネジメントラダーは、2026年度運用開始となる。運用しながら、追加修正を行えるよう支援する。	(3)多職種管理者育成プログラム (マネジメントラダー) 構築 ・作成状況の把握と支援。 ・キャリア開発ラダー運用中の全部門について、マネジメントラダーの2026年度中の完成を目標とする。
人事 交流 ・ 地 域 人 材 の 派 遣	(1)一人ひとりのスタッフの付加価値向上 資格を活かした地域での活動推進			
慈愛会学会学術集会継続開催	(1)慈愛会学会運営 第5回慈愛会学会学術集会開催	(1)慈愛会学会運営 ①慈愛会学会運営委員会 会議開催 4月28日、6月30日、8月4日、9月29日、11月10日、1月19日、3月16日 ②慈愛会学会理事会 ・第5回慈愛会学会学術集会 優秀発表演題について報告 ・第7回慈愛会学会学術集会 大会長について報告 帆北修一 理事長補佐兼今村総合病院名誉院長 ③第5回慈愛会学会学術集会について 大会長: 長野真二郎 いづろ今村病院院長 ・7月26日 (土) 9:15～17:00 ・会場: 鹿児島県市町村自治会館4階ホール、会議室403号 Zoom会場6施設 (いづろ今村病院) ・参加者数: 420名 (会場355、Zoom65) *参加者数には、発表者、係・担当者を含む ・発表演題数: 67題 (口演発表24題、ポスター発表43題) 部門) 診療部3、診療支援部27、事務部7、看護部3 施設) いづろ25、今村総合6、谷山11、奄美6、徳之島2、愛と結の街2、高麗町クリニック1、看護学校1、社会福祉法人3 ・特別セッション テーマ『今ならまだ間に合う医療DX ～みんなで学び・考え・創造する働き方とは～』 コーディネーター: 長野真二郎 大会長 講演) 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 ソリューション&サービス営業統括部 亀岡義文先生 報告) 今村総合病院 医療情報室 課長 野崎真吾 今村総合病院 言語聴覚士 副主任 鮫島悠子 登壇者) いづろ今村病院 副看護部長 中窪尊子、上記3名 計4名 ・優秀発表演題の決定と表彰 最優秀賞) 口演発表1題・ポスター発表1題 優秀賞) 口演発表3題・ポスター発表5題 今村節子賞) 1題 (口演発表) 特別賞) 1題 (ポスター発表) 奨励賞) 口演発表6題・ポスター発表5題 ④第6回慈愛会学会学術集会について ・日時: 2026年7月25日 (土) ・会場: 鹿児島県市町村自治会館4階ホール、会議室403号 ・テーマ: Adapt to New Conditions ～新しい状況にも順応するJiaikai～ ・発表演題: 65題 (口演発表24題、ポスター発表41題) 部門: 診療部4、診療支援部27、事務部4、看護部30 施設: いづろ今村11、今村総合15、谷山グループ23、奄美グループ5、徳之島1、高麗町クリニック1、愛と結の街1、訪看護の街2、看護学校2、社会福祉法人4 ・特別講演・ディスカッション 特別講演) テーマ「発達障害と社会参加」講師 岩波明 先生 ディスカッション) テーマ①発達障害の生きやすさや生きづらさについて ②グレーゾーンを踏まえた社会順応の支援方法 ③職場における発達障害者の活躍できる環境作り コーディネーター 福田恭哉 大会長 登壇者 岩波先生、看護師1名、臨床心理士1名、専任教員1名	・慈愛会学会運営委員会を開催し、学術集会に関する事項について協議・決定した。 ・慈愛会学会理事会に、慈愛会学会に関する必要事項の報告を行いながら進めた。 ・7月26日に第5回慈愛会学会学術集会を開催した。演題発表は67題。参加者は420名。 ・口演発表24題(4セッション)、パネルディスカッションもプログラムに計画され、充実した内容となった。 ・多職種から演題発表が行われた。質疑応答も活発に行われ、慈愛会内の多職種の取り組みを知り、共有できる機会として、学術集会が位置付けられている。	(1)慈愛会学会運営 ・運営委員会定期開催 ・第6回慈愛会学会学術集会の開催、スムーズな運営日時: 2026年7月25日(土) 会場: 鹿児島県市町村自治会館4階ホール、会議室403号 テーマ: Adapt to New Conditions ～新しい状況にも順応するJiaikai～ ・第7回慈愛会学会学術集会に向けての取り組み開催案内ポスター募集と決定、演題募集

中長期計画	中長期計画と2025年度事業計画 (Stage4)	実施 2025.4月～2026.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
慈愛会学会学術集会継続開催	(2) かごしま慈愛会ジャーナル発行	(2)かごしま慈愛会ジャーナル発行 ①かごしま慈愛会ジャーナル編集委員会 会議開催 4月7日、8月25日、10月20日、2月16日 ②かごしま慈愛会ジャーナル第4巻発行について ・発行日：4月30日 *印刷完了は5月 ・掲載内容) トピックス2、パネルディスカッションまとめ6題、論文17 (学術集会入賞17) ・発行数：1,120冊 全部署・全部門へ配布、連携施設467箇所へ発送 ・慈愛会ホームページでPDFを公開 ③かごしま慈愛会ジャーナル第5巻発行について ・2026年4月30日発行予定 ・掲載内容) トピックス1 (特別セッションまとめ)、論文14 (学術集会入賞14)		(2)かごしま慈愛会ジャーナル発行 ・編集委員会定期開催 ・かごしま慈愛会ジャーナル第5巻の発行と配布 ・かごしま慈愛会ジャーナル第6巻の発行に向けた取り組み
慈愛会学術集会継続開催 おおよび普及	(1)多職種業務フロー開発と整備支援 (2)慈愛会多職種協働チーム組織化・活動支援 (3)多職種チーム活動による診療報酬上位取得			
心に届く慈愛の物語を紡ぐ会継続	(1)心に届く慈愛の物語を紡ぐ会運営 第6回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催 心に届く慈愛の物語を紡ぐ会の参加対象者の拡大検討 (2)心に届く慈愛の物語、冊子発行	(1)心に届く慈愛の物語を紡ぐ会運営 ①運営委員会開催 4月28日、6月30日、10月20日、1月19日、3月23日 ②第6回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会に関する事 ・エピソード応募期間：2024年12月1日～2025年2月28日 ・エピソード応募数：73 部門別：診療支援部25、事務部3、看護部43、看護学生2 施設別：いづろ今村14、今村総合9、谷山19、奄美12、徳之島1、愛と結の街9、訪看護の街5、看護学校4 (教員2・学生2) ・選考：選考委員長、選考委員21名。 一次選考) 73作品から28作品を選出。 二次選考) 28作品を順位化。 *4月7日選考会にて、二次選考の上位13作品を入賞と決定。 入賞作品の中から、選考委員長が最優秀賞、優秀賞2作品を決定。 ・5月31日 (土) 第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催 会場：カクイックス (かごしま県民交流センター県民ホール 参加者：230名 (会場参加217、Zoom参加13) 内容：入選13作品の朗読 結果発表と、選考委員長三角みづ紀先生エピソードの朗読、表彰式、受賞者・選考委員代表・理事長挨拶。 ③第7回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会に関する事 ・エピソード応募期間：2025年12月1日～2026年2月28日 ・応募エピソード：59題 施設：いづろ14、総合5、谷山20、奄美3、徳之島3、愛結5、訪看護の街4、看護学校3、法人本部2 部門：診療部1、診療支援部13、事務部1、看護部44 ・選考状況：一次選考) ～3月19日 (木) 二次選考) 3月24日 (火) ～4月3日 (金) 選考会) 4月8日 (水) ・第7回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 日程：2026年5月30日 (土) 午前 会場：鹿児島県市町村自治会館4階ホール (2)心に届く慈愛の物語、冊子発行 ・第6回心に届く慈愛の物語 冊子発行 発行数1000冊、慈愛会内の各施設、全部署へ配布 ・メッセージ交換、「慈愛の便り」発出 入賞者へ、新入職員からのメッセージカードを送付 入賞者から、メッセージに対する返信コメントを受領、「慈愛の便り」として作成	・運営委員の働きかけにより、第6回のエピソード応募数は73作品であった。 ・5月31日「第6回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」は、カクイックス交流センター県民ホールで開催し、選考委員長の三角みづ紀先生からはエピソードを寄せていただいた。参加者は230名となり、盛大な催しとなった。 ・冊子発行と配布、入賞者と新入職員のメッセージ交換、慈愛の便り発行、の一連の流れは、職員に「慈愛の心」を感じてもらう機会となっていると考える。 ・第7回開催に向けて、エピソード応募数は59作品となった。 ・第6回に比べ応募数は減少したが、初めて診療部 (医師) の応募があった。引き続き、運営委員を中心に、エピソード募集を働きかける。	(1)心に届く慈愛の物語を紡ぐ会運営 ・運営委員会定期開催 ・第7回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催 日時：2026年5月30日 (土) 午前 会場：鹿児島県市町村自治会館4階ホール、離島施設 (Zoom) ・第8回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会、開催に向けての取り組み エピソード募集と選考
法人全体でDXを推進するDX人材の育成	(1)DX人材の育成 (若手職員のDXスキル向上、中堅職員・管理職のDX能力再開発) 各研修会にDXについての内容を組込む	①新入職員オリエンテーション・中途入職者研修研修での動画活用 「法人概要」「慈愛会フィロソフィ」について動画を用いる *人的リソース (講師稼働) の削減 ②ラダーレベル研修での動画活用 「アンガーマネジメント」人的リソース (講師費用) の削減 繰り返し視聴可能であり理解度向上と定着率のアップ ③第5回慈愛会学会学術集会 特別セッション 『今ならまだ間に合う医療DX～みんなで学び・考え・創造する働き方とは～』 講師：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 報告：今村総合病院DXテクニカルチーム (2名)		

組織横断的な取り組み

慈愛会学会

1. 第5回慈愛会学会学術集会

- 1) 日 時：2025年7月26日（土）9:15～17:00
- 2) 会 場：鹿児島県市町村自治会館4階ホール、会議室403号、会議室401号
- リモート会場（9施設）

（施設別演題登録数）

いづろ今村病院	25
今村総合病院	16
谷山病院	11
奄美病院	6
徳之島病院	2
高麗町クリニック	1
愛と結の街	2
鹿児島中央看護専門学校	1
社会福祉法人慈愛会	3

- 3) 大会長：長野真二郎 いづろ今村病院 院長
- 4) テーマ：「JIAIKAI TRANSFORMATION」
- 5) 発表演題数と詳細
- (1) 演題数67題（口演発表24題、ポスター発表43題）
- (2) 詳細

（職種別演題登録数）

診療部	3
診療支援部	27
薬剤部	4
管理栄養部	1
リハビリテーション部	10
診療放射線技師	2
臨床検査技師	2
医療相談部（MSW・MHSW）	5
視能訓練士	1
介護支援専門員	2
看護部	30
保健師	1
助産師	1
看護師	25
介護福祉士	2
専任教員	1
事務部	7
事務員	6
保育士	1

6) 学術集会参加者

420名：会場参加355名、リモート参加（9施設）65名

（施設・職種別参加者数）

	参加者人数			診療部	診療支援部	事務部	看護部	学生
	会場	リモート	合計					
いづろ今村病院	82	24	106	6	45	25	30	
今村総合病院	86	1	87	6	29	21	31	
谷山病院	86	8	94	1	47	19	27	
奄美病院	3	16	19		8	3	8	
徳之島病院		8	8		4	2	2	
慈愛会クリニック		3	3	1	1	1		
高麗町クリニック	2	3	5	1	3		1	
七波クリニック	1		1				1	
かごしまオハナクリニック		1	1			1		
愛と結の街	12		12		5	3	4	
笹貫訪問看護ステーション愛の街	2		2				2	
鹿児島中央看護専門学校	45		45			1	5	39
法人事業本部	17		17	2		11	4	
社会福祉法人慈愛会	13	1	14			14		
熊本放射線、富士フィルム	6		6			6		
合計	355	65	420	17	142	107	115	39

2. かごしま慈愛会ジャーナル第4巻の発行

1) 掲載内容

【野村秀洋先生 追悼】

- 1 野村秀洋先生のご功績
- 2 故野村秀洋先生を偲んで

【第4回慈愛会学会学術集会パネルディスカッション まとめ】

- 1 「Jiaikai2040 未来を先取りする創造力を」
- 2 データから見る2040年の慈愛会
- 3 2040年 未来予測（社会変化について）
- 4 2040年に向けての医療機器の今後
～医療DXに貢献 医療機器データ通信サポートシステムHN LINE～

5 すでに起こった？未来より

6 地域医療in2040 変わること、変えるべきこと、変わらないこと

【論文】17題（最優秀賞2、今村節子賞1、優秀賞8、特別賞1、奨励賞5）

2) 発行日：2025年4月30日

3) 発行数：1,120冊（予備20冊含む）

4) 配布及び送付先：

慈愛会内636冊（各部門・部署へ2冊ずつ配布）

外部施設（連携施設等）464冊

3. 第6回慈愛会学会学術集会

1) 日 時：2026年7月25日（土）開催予定

2) 会 場：鹿児島県市町村自治会館4階ホール、会議室403号
リモート会場

3) 大会長：福田恭哉 谷山病院 院長

4) テーマ：「Adapt to New Conditions ～新しい状況にも順応するJiaikai～」

5) 登録演題数と詳細

(1) 演題数65題（口演発表24題、ポスター発表41題）

(2) 詳細

(施設別演題登録数)

いづろ今村病院	11
今村総合病院	15
谷山病院	23
奄美病院	5
徳之島病院	1
高麗町クリニック	1
愛と結の街	1
笹貫訪問看護ステーション愛の街	2
鹿児島中央看護専門学校	2
社会福祉法人慈愛会	4

(職種別演題登録数)

診療部	4
診療支援部	27
薬剤部	4
リハビリテーション部	7
診療放射線技師	2
臨床検査技師	2
臨床工学技士	1
医療相談部（MSW・MHSW）	5
公認心理師	1
視能訓練士	1
保育教諭	2
機能訓練指導員	1
相談支援専門員	1
看護部	30
看護師	26
介護福祉士	2
専任教員	2
事務部	4
事務員	4

心に届く慈愛の物語

1. 第6回「心に届く慈愛の物語」エピソード募集と選考

1) エピソード応募数と詳細

- ・募集期間：2024年11月1日～2025年2月28日
- ・応募数：73

(施設別応募数)

いづろ今村病院	14
今村総合病院	9
谷山病院	19
奄美病院	12
徳之島病院	1
愛と結の街	9
笹貫訪問看護ステーション愛の街	5
鹿児島中央看護専門学校	4

2) エピソード選考

一次選考：選考委員により28作品を選出

二次選考：選考委員により28作品の順位付け

選考会：入選13作品の決定

選考委員長：入選13作品の中から、最優秀作品1編、優秀作品2編を選出 (2) 詳細

(職種別応募数)

診療部	0
診療支援部	25
薬剤部	2
管理栄養部	2
リハビリテーション部	8
診療放射線技師	3
医療相談部 (MSW・MHSW)	2
公認心理師	2
視能訓練士	2
介護支援専門員	4
看護部	43
保健師	1
看護師	32
准看護師	1
介護福祉士	5
ナースエイド	2
専任教員	2
事務部	3
事務員	3
看護学生	2

2. 第6回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」開催

- 1) 日時：2025年5月31日 (土) 9:20～11:50
 - 2) 会場：カクイックス (かごしま県民) 交流センター 県民ホール
 - 3) 参加者：230名 (会場参加217名、リモート参加13名)
- (施設・職種別参加者数)

	参加者人数			診療部	診療支援部	事務部	看護部	学生
	会場	リモート	合計					
いづろ今村病院	27		27		11	1	15	
今村総合病院	74		74	1	27	12	34	
谷山病院	35	1	36		10	3	23	
奄美病院	2	10	12			2	10	
徳之島病院	1	2	3		2		1	
七波クリニック	1		1				1	
愛と結の街	7		7				7	
笹貫訪問看護ステーション愛の街	3		3				3	
鹿児島中央看護専門学校	51		51				8	43
法人事業本部	16		16	2		9	5	
合計	217	13	230	3	50	27	107	43

3. 心に届く慈愛の物語 冊子発行

1) 発行数：1,000冊

2) 配布：

- ・各施設の部署・病棟・診療科、施設管理者、看護師長、エピソード応募者、運営委員、選考委員
- ・研修参加者（ラダーレベル研修、新入職者研修、中途入職者研修、3年目看護師研修）
- ・看護学校1年生

5. 第7回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」

1) 日時：2026年5月30日（土）9：20～11：35 開催予定

2) 会場：鹿児島県市町村自治会館4階ホール

3) エピソード応募数と詳細

- ・募集期間：2025年11月1日～2026年2月28日
- ・応募数：59編

(施設別応募数)

いづろ今村病院	14
今村総合病院	5
谷山病院	20
奄美病院	3
徳之島病院	3
愛と結の街	5
笹貫訪問看護ステーション愛の街	4
鹿児島中央看護専門学校	3
法人事業本部	2

4. 慈愛の便り 発行

1) 「入選者宛てメッセージ」の記載と送付

新入職員1人が、入選者2名宛てにメッセージを記載。
メッセージカードをホルダーにまとめ入選者へ届ける。

2) 入選者からの返信メッセージを「慈愛の便り」としてまとめ、各施設へ発信。

4) エピソード選考経過

3月5日～3月19日一次選考：26作品が選出

3月25日～4月3日二次選考：*選考中

4月8日選考会 開催予定

(職種別応募数)

診療部	1
医師	1
診療支援部	12
薬剤部	1
管理栄養部	1
リハビリテーション部	4
診療放射線技師	1
臨床検査技師	1
医療相談部（MSW・MHSW）	3
公認心理師	1
看護部	43
看護師	33
准看護師	2
介護福祉士	5
介護支援専門員	1
ナースエイド	1
専任教員	1
事務部	1
事務員	1
看護学生	2

一年のあゆみ

	病院・施設	主なできごと	
2025年 4月	奄美病院	新管理者に坂江清弘医師就任（4/1） 複合施設「結浜ビル」オープン（4/1）	 慈愛会第76期入職式
	慈愛会	第76期入職式（4/1）	
	鹿児島中央看護専門学校	3年課程入学式 第23期生44名（4/7）	
	七波クリニック	「歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー in Kagoshima」に参加（4/20）	 徳之島病院 中学生職場体験学習の受け入れ
	今村総合病院	ポップアップストア開始 脳ドック開始（4/21） 垂水市2024年度活動報告会（4/25） 第21回ACL教室（スポーツ整形外科・スポーツ整形リハビリテーション）（4/26）	
	慈愛会クリニック	名山小学校内科健診（4/23）	
	かごしまオハナクリニック	鹿児島大学医学部医学科生 臨床実習受け入れ（～7月）	
5月	今村総合病院	手術室増室（6室→9室） 網膜センター開設（5/1） Gamma Knife Electa Esprit導入記念講演会（エレクトラ株式会社共催/ 会場:城山ホテル鹿児島）（5/2） 桜丘中学校職場体験（5/14-15） 共有ビジョン創造SECI研修開始（5/23,12月まで全6回） 消防訓練（5/27）	 スターバックスコーヒー店舗での 認知症カフェ定期開催スタート
	慈愛会クリニック	名山小学校内科健診（5/1）	
	いづろ今村病院	休日当番医（内科）（5/3） 新入職員歓迎会（5/23）	
	徳之島病院	鹿児島医療技術専門学校作業療法実習生1名受け入れ（5/5-6/27） 亀津中学校職場体験学習の受け入れ（5/14-16）	 「グループホームゆいはま」開設
	谷山病院	医療技術専門学校見学（5/8） 避難訓練（5/22）	
	谷山病院・愛と結の街	認知症カフェ「あいゆいカフェ」をスターバックスコーヒー店舗にて共 催（5/14,毎月第2水曜定期開催へ）	
	慈愛会	第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会（5/31）	
6月	奄美病院	「グループホームゆいはま」開設（6/1）	 「今村節子を偲ぶ会」 鹿児島サンロイヤルホテルにて開催
	今村総合病院	救急カンファレンス（症例カンファレンス:消化器内科/軸屋主任部長）（6/3） 介護講習会講師派遣（リハビリテーション部） （6/6・13・21・24,8/20・21,9/12・19,11/8・17・19実施） BCP訓練（6/20） 絆を深める地域医療交流会（講演:脳神経内科/有主主任部長）（6/26） 鴨池校区つながる時間開催「突然の心停止に備える！AEDの使い方と心 肺蘇生方法」救急救命士（6/28）	
	谷山病院	LAIエキスパート開講式（6/12）	
	鹿児島中央看護専門学校	オープンキャンパス開催（6/13・28）	 鹿児島中央看護専門学校 オープンキャンパス
	徳之島病院	初めて鹿児島大学の看護学生実習受け入れ（6/23-7/4）	
	慈愛会	「今村節子を偲ぶ会」開催（6/29） （鹿児島中央看護専門学校第三代校長<4/6逝去>の追悼式）	
	今村総合病院	谷山北中学校職場体験（7/2-3） 災害支援ナース派遣（鹿児島診療所）（7/7-13） 垂水市子育て支援センター講演会/言語聴覚士（7/8） 病院機能評価訪問審査（7/14-15） 参議院選挙不在者投票（7/16）	
7月	鹿児島中央看護専門学校	1年目サポートキャンパス開催（7/5） オープンキャンパス開催（7/26）	 鹿児島中央看護専門学校 オープンキャンパス
	徳之島病院	鹿児島医療技術専門学校作業療法実習生2名受け入れ（7/14-9/5）	
	慈愛会クリニック	「糖尿病川柳」いづろ今村病院広報誌「にじ」夏号掲載	
	谷山病院	災害支援ナース派遣（鹿児島診療所）（7/21-27）	
	七波クリニック	第5回糖尿病教室「猛暑による運動不足を防ごう」開催（7/23）	
	慈愛会	第5回慈愛会学会学術集会開催（7/26）	

	病院・施設	主なできごと
8月	今村総合病院	診療科名変更「耳鼻咽喉科」→「頭頸部・耳鼻咽喉科」(8/1) 病棟名変更「B棟+C棟」→「B棟」(8/1) 病院モニター会議(8/2) 第24回高校生・受験生を対象とした病院薬局見学会(薬剤部)(8/7) 腎臓病教室(8/9) 女性医師の会(8/9) 特定技能外国人入職式(8/12)
	奄美病院	第62回奄美まつりパレード参加(8/3)
	谷山病院	こころのマルシェ/認知症キッズサポーター養成講座(8/7)
	慈愛会クリニック	带状疱疹ワクチン定期接種開始(8/12)
	徳之島病院	福岡医健・スポーツ専門学校作業療法実習生2名受け入れ(8/25-9/20)
	いづろ今村病院	防犯訓練(8/26)
9月	七波クリニック	第6回糖尿病教室「自身の腎臓の状態を知ろう」開催(8/30)
	いづろ今村病院	適時調査(9/9) 休日当番医(内科)(9/21) 地域連携のつどい(9/19) 防火訓練(9/26)
	今村総合病院	VHJ材料部会(9/11-12) 原子力規制庁立入検査(9/19) 救急カンファレンス(症例カンファレンス:脳神経内科/神田副院長)(9/30)
	徳之島病院	許可病床数206床から186床へ減床(9/12)
	愛と結の街	老健敬老会開催(9/13)
	奄美病院	許可病床数326床から315床へ減床(9/18)
10月	鹿児島中央看護専門学校	教育セミナー開催(9/13) オープンキャンパス開催(9/20)
	谷山病院	新人看護卒後研修/救急法研修(看護部)(9/20)
	徳之島病院	昭和医科大学より医師2名着任(10/1) 福岡医健・スポーツ専門学校作業療法実習生2名受け入れ(10/13-12/13) 徳之島町どんどん祭りパレード参加(10/26)
	今村総合病院	形成外科増科(10/1) 産科特設サイト開設(10/1) 病院機能評価再受審〈3rdG:Ver. 3.0〉(10/3) 絆を深める地域医療交流会(講演:歯科口腔外科/坂元部長)(10/3) 投球教室(スポーツ整形リハビリテーション部)(10/4) かもいけ健康まつり、高校生ボランティア受け入れ(10/18) スポーツ障害予防教室(スポーツ整形外科・スポーツ整形リハビリテーション部)(10/18) 膝前十字靭帯断裂の診断・治療・リハビリをテーマとした講演会(スポーツ整形外科・スポーツ整形リハビリテーション部)(10/19) 防災・避難訓練(10/20) 第22回ACL教室(スポーツ整形外科・スポーツ整形リハビリテーション部)(10/25)
	鹿児島中央看護専門学校	第23期生戴灯式(10/3) 2026年度推薦入学選考試験(10/25)
	慈愛会クリニック	インフルエンザワクチン・コロナワクチン接種開始(10/14-3/31)
11月	七波クリニック	第7回糖尿病教室「お薬について知ろう」開催(10/14)
	愛と結の街	あいゆいマルシェ(10/26)
	慈愛会/各施設	おはら祭夜まつり参加(11/2)
	鹿児島中央看護専門学校	第23期生地域体験学習実施(11/4-6) 2026年度入学選考試験実施(11/29)
	今村総合病院	デジタル問診開始(11/4) さんさんすまいる園児によるクリスマスツリー設置(11/10) 令和7年度外部講師を利用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業(薬剤部)(11/11桜丘東中学校・12/12山下小学校) 第9回絵画コンクール表彰式(11/15) 市民公開講座「脳を守る2つのおはなし」(講師:脳神経内科 有水琢朗医師・ガンマナイフセンター 八代一孝医師)(11/22) 消防訓練(11/25)
	谷山病院	TIC開講式(11/11)
11月	いづろ今村病院	第2回いづろ健康・介護まつり(11/22) 監査(11/26)
	慈愛会クリニック	名山小未就学児健診(11/14) 第2回いづろ健康・介護まつりサポート(11/22)



特定技能外国人入職式



こころのマルシェ/認知症キッズサポーター養成講座



七波クリニック糖尿病教室「自身の腎臓の状態を知ろう」



かもいけ健康まつり・高校生ボランティア受け入れ



あいゆいマルシェ



第2回いづろ健康・介護まつり
慈愛会クリニックも開催サポート

	病院・施設	主なできごと
12月	今村総合病院	スマート面会開始 クリスマス会（B棟6階）（12/ 2） 鴨池中学校職場体験受入れ（12/ 3- 4） 冬まつり開催（職員自由参加/かごしまオハナビル）（12/ 5） クリスマスコンサート（リハビリセンター /カモカル音楽隊）（12/ 6） 鹿児島県高校野球連盟主催肩肘健診（12/7・21, 1/11・25） 絆を深める地域医療交流会（講演:医療福祉相談部 原田科長代理）（12/ 8） 第9回医療にまつわる絵画コンクール作品展示（山形屋ななテラスギャラリー）（12/18- 1/ 5） 高校生ボランティア&職場体験受入れ（12/26）  かごしまオハナクリニックによる、 地元小学校での「出前授業」
	七波クリニック	職員洪水避難訓練（12/ 3）
	谷山病院	ケーススタディ発表会（12/ 5） 避難訓練（12/12） 褥瘡予防学習会（12/18）
	かごしまオハナクリニック	鴨池小学校 出前授業（12/ 9）
	鹿児島中央看護専門学校	21期生ケーススタディ発表会（12/10・11）
	徳之島病院	インスタグラム開設（12/11）
	慈愛会/各施設	仕事納め式（12/30）
2026年 1月	いづろ今村病院	休日当番医（内科）（12/31）
	慈愛会/各施設	仕事始め式（1/ 5）
	奄美病院	喜界島オンライン診療開始（1/19-20）
	徳之島病院	横浜のリンクスメンタルクリニックへ先進地視察（1/22）
	いづろ今村病院	消防訓練（1/23）
	鹿児島中央看護専門学校	イブニングガイダンス開催（1/23）
	今村総合病院	精神科病院実地審査・実地指導（1/26） 救急カンファレンス（症例カンファレンス:救急・内科/白石医師）（1/30） 鴨池校区文化祭作品展示（ふれあいアートストリート）（1/31- 3/ 1）  電美病院オンライン診療開始  いづろ今村病院消防訓練
2月	慈愛会クリニック	糖尿病川柳募集開始
	今村総合病院	CAR-T療法施設認証を取得（2月） 衆議院選挙不在者投票（2/ 3） 原子力規制庁立入検査（2/ 6） TQM活動表彰式（2/16） Gamma Knife Electa Esprit導入記念講演会（鹿屋市医師会館/エレクトラ株式会社共催）（2/19） 絆を深める地域医療交流会（講演:外科消化器外科/田辺主任部長）（2/20） BCP訓練（2/26）  今村総合病院BCP訓練
	いづろ今村病院	衆議院選挙不在者投票（2/ 4）
	鹿児島中央看護専門学校	2026年度入学選考試験: 2次（2/ 7） 第115回看護師国家試験3年課程40名受験（2/15）
	谷山病院	救急法研修（コメディカル）（2/19） r TMS導入（2/28）
	かごしまオハナクリニック	鴨池小学校 出前授業（2/19） 鹿児島大学医学生 臨床実習受け入れ（～3月）
	徳之島病院	離島における精神ケアを考える研究報告会・検討会（2/20）  徳之島病院「離島における精神ケアを考える 研究報告会・検討会」
3月	鹿児島中央看護専門学校	卒業式 21期生40名（3/ 5） 2026年度入学選考試験: 3次（3/14） オープンキャンパス開催（3/19） 看護師国家試験合格発表、3年課程38名合格（3/24）
	今村総合病院	職員情報共有サイト「みんなのページ」運用開始 錦江湾プログラム研修修了式兼祝賀会（3/13） 女性医師の会（3/16） 
	谷山病院・愛と結の街	認知症カフェ「あいゆいカフェ」の名称を「オレンジカフェ」に改称（3/11）
	七波クリニック	第8回糖尿病教室「自身の腎臓の状態を知ろう」開催（3/30）

編集後記

慈愛会年報作成委員会 副委員長
公益財団法人慈愛会今村総合病院 名誉院長兼臨床研究センター長
宇都宮 與



慈愛会法人年報の記念すべき第10号が完成しました。5病院、1介護老人保健施設、1看護師養成所、5診療所、19併設事業所の1年間の活動実績の集約で、200ページ以上に及ぶ大作です。理事長の巻頭言に始まり、各施設の総括、概要、病院施設指標、法人業績がつづられ、医師育成の取り組み、部門別事業報告と続きます。全施設の1年の歩みが掲載され慈愛会全体の活動実績が見渡せます。法人年報がスタートした時点では、各施設で施設内の年報への取り組みに温度差があり、全体としてのとりまとめは困難を極めました。年報作成委員会のメンバーで作成会議を重ね、粘り強く取り組んできた成果として、今回の第10号のような全体としてまとまった年報へと成長しました。法人年報は、いかに多くの法人職員が年報に興味を持ち、閲覧し、データに基づいて今後の事業発展につながる役割を果たすことができるか、が重要です。一人でも多くの職員の有効活用を期待致します。

慈愛会年報作成委員会

委員長 納 光弘（公益財団法人慈愛会 会長）

副委員長 宇都宮 與（公益財団法人慈愛会今村総合病院 名誉院長 兼 臨床研究センター長）

委員 栗ヶ窪 みゆき（今村総合病院）、福留 浩美・山名 舞子（いづろ今村病院）、松山 匡博（谷山病院）、白原 弘紀（奄美病院）、芳 あずさ（徳之島病院）、前田 有架・餅田 智三（愛と結の街）、濱下 千浪（鹿児島中央看護専門学校）、岡村 則和（高麗町クリニック）、三反田 直子（慈愛会クリニック）、米元 拓子（七波クリニック）、溝口 恭子（かごしまオハナクリニック）、黒瀬 寛・今村 英香・瀬涯 里花（法人事業本部）

公益財団法人慈愛会 年報

— 第10号 —

発行日	2026年7月
発行者	今村 英仁
発行所	公益財団法人慈愛会 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号 TEL 099(256)0311
編集	慈愛会年報作成委員会
制作・印刷	株式会社イースト朝日 鹿児島県鹿児島市南栄3丁目30-7 TEL 099(266)5522

医療の原点は慈愛にあり